

バイオサイエンス研究科  
Graduate School of Biological Sciences

# 学生ハンドブック

履修案内・キャンパスライフ・諸規則



# Student Handbook 2015 Biological Sciences



奈良先端科学技術大学院大学  
Nara Institute of Science and Technology

# 平成27年度 カレンダー

4 2015  
H27

日	月	火	水	木	金	土
			1	2	3	4
5	6	7	8	9	10	11
12	13	14	15	16	17	18
19	20	21	22	23	24	25
26	27	28	29	30		

5 2015  
H27

日	月	火	水	木	金	土
					1	2
3	4	5	6	7	8	9
10	11	12	13	14	15	16
17	18	19	20	21	22	23
24	25	26	27	28	29	30

6 2015  
H27

日	月	火	水	木	金	土
			1	2	3	4
5	6	7	8	9	10	11
12	13	14	15	16	17	18
19	20	21	22	23	24	25
26	27	28	29	30		

7 2015  
H27

日	月	火	水	木	金	土
			1	2	3	4
5	6	7	8	9	10	11
12	13	14	15	16	17	18
19	20	21	22	23	24	25
26	27	28	29	30	31	

8 2015  
H27

日	月	火	水	木	金	土
						1
2	3	4	5	6	7	8
9	10	11	12	13	14	15
16	17	18	19	20	21	22
23	24	25	26	27	28	29
30	31					

9 2015  
H27

日	月	火	水	木	金	土
			1	2	3	4
5	6	7	8	9	10	11
12	13	14	15	16	17	18
19	20	21	22	23	24	25
26	27	28	29	30		

10 2015  
H27

日	月	火	水	木	金	土
				1	2	3
4	5	6	7	8	9	10
11	12	13	14	15	16	17
18	19	20	21	22	23	24
25	26	27	28	29	30	31

11 2015  
H27

日	月	火	水	木	金	土
		2	3	4	5	6
7	8	9	10	11	12	13
14	15	16	17	18	19	20
21	22	23	24	25	26	27
28	29	30				

12 2015  
H27

日	月	火	水	木	金	土
			1	2	3	4
5	6	7	8	9	10	11
12	13	14	15	16	17	18
19	20	21	22	23	24	25
26	27	28	29	30	31	

1 2016  
H28

日	月	火	水	木	金	土
					1	2
3	4	5	6	7	8	9
10	11	12	13	14	15	16
17	18	19	20	21	22	23
24	25	26	27	28	29	30
31						

2 2016  
H28

日	月	火	水	木	金	土
		1	2	3	4	5
6	7	8	9	10	11	12
13	14	15	16	17	18	19
20	21	22	23	24	25	26
27	28	29				

3 2016  
H28

日	月	火	水	木	金	土
			1	2	3	4
5	6	7	8	9	10	11
12	13	14	15	16	17	18
19	20	21	22	23	24	25
26	27	28	29	30	31	

## 平成27年度バイオサイエンス研究科学年曆

学期	月 日 (曜日)	事 項
春学期	4月 1日 (水) ~ 4月 2日 (木)	春季休業
	4月 3日 (金)	新入生オリエンテーション
	4月 6日 (月)	入 学 式 <small>(終了後、全学共通オリエンテーション)</small>
	4月 7日 (火)	春学期授業開始
	6月25日 (木)	健康診断日
	6月25日 (木)	学位記授与式
	8月 1日 (土) ~ 8月31日 (月)	夏季休業
	9月25日 (金)	学位記授与式
	9月30日 (水)	春学期授業終了
秋学期	10月 1日 (木)	創立記念日
	10月 2日 (金)	秋学期入学式 秋学期授業開始
	12月22日 (火)	学位記授与式
	12月25日 (金) ~ 1月 4日 (月)	冬季休業
	2月19日 (金)	秋学期授業終了
	3月24日 (木)	学位記授与式
	3月25日 (金) ~ 3月31日 (木)	春季休業

※ 健康診断日は授業休止となります。

### 授業時間

1時限	9:20~10:50 (90分授業)
2時限	11:00~12:30 //
3時限	13:30~15:00 //
4時限	15:10~16:40 //
5時限	16:50~18:20 //
6時限	18:30~20:00 //

# 目 次

1	奈良先端科学技術大学院大学の教育方針	
	・目的、教育使命、人材養成目的、教育方針	1
	・Educational policies	2
	・アドミッション・ポリシー	3
	・Admission Policy	4
	・ディプロマ・ポリシー	5
	・Diploma Policy	6
	・カリキュラム・ポリシー	7
	・Curriculum Policy	9
	・研究活動上の行動規範	12
	・Code of Conduct for Research Activities at NAIST	14
2	バイオサイエンス研究科の概要	
	・バイオサイエンス研究科の目的	17
	・特色	17
	・専攻の研究室名、教育連携研究室名及び教育研究分野	20
3	バイオサイエンス研究科の教育及び研究指導方針	
	・進路希望と学習歴・学習到達度等に応じた教育コース	27
	・バイオエキスパートコース	28
	・フロンティアバイオコース	31
	・NAIST最優秀学生賞と最優秀学生賞	34
4	バイオサイエンス研究科履修要件等（バイオサイエンス研究科履修規程を含む）	
	・修了要件	35
	・授業科目の履修等	40
	・Subject registration, etc.	43
	・履修規程	46
	・Registration Regulations for the Graduate School of Biological Sciences at the Nara Institute of Science and Technology	53
5	学位審査基準等（学位規程を含む）	
	・学位審査基準	61
	・学位規程	63
	・Degree Regulations of Nara Institute of Science and Technology	68
	・論文の提出から論文審査の日程	74
6	バイオサイエンス研究科授業科目及び担当教員一覧	
	・平成27年度バイオサイエンス研究科授業科目及び担当教員一覧	75
7	シラバス等	
	・電子シラバスについて	79
	・英語教育・国際化教育について	81
	・成績評価について	82
	・English education-International education	83
	・Evaluation of academic performance	85
8	他研究科授業科目及び担当教員一覧	87
9	各種相談受付体制	
	・授業内容に関する相談	97
	・研究指導に関する相談	97
	・就職に関する相談	97
	・健康に関する相談	97
	・Our various counseling service systems	99
10	学修支援	
	・保健管理センター	101



	・ Health Care Center .....	102
	・ 健康診断ならびに健康・安全教育 .....	103
	・ Medical Checkups and Health & Safety Education .....	104
	・ キャリア支援室 .....	105
	・ Career Services Office .....	106
	・ 総合情報基盤センター .....	107
	・ Information iniTiative Center .....	109
	・ 附属図書館 .....	125
	・ NAIST Library .....	126
	・ 英語 E-ラーニングシステム (ALC NetAcademy 2) .....	127
	・ English E-Learning System (ALC NetAcademy 2) .....	128
11	キャンパスライフ	
	・ 授業料の額及び納付方法 .....	129
	・ 学生証 .....	129
	・ 学生個人報告書 .....	130
	・ 諸手続・諸証明書 .....	130
	・ 通学証明書 .....	132
	・ 日本学生支援機構奨学金制度 .....	133
	・ 民間育英団体の奨学金 .....	133
	・ 授業料免除 .....	133
	・ 海外への留学制度 .....	133
	・ 学生教育研究災害傷害保険 .....	134
	・ 学研災付帯賠償責任保険 .....	134
	・ 学研災付帯学生生活総合保険 .....	134
	・ 学生宿舎 .....	135
	・ 大学借り上げ住宅 .....	135
	・ 駐車場及び駐輪場の利用 .....	135
	・ 国立博物館キャンパスメンバーズ .....	136
	・ 福利厚生施設 .....	136
	・ 日本語補講 .....	137
	・ その他 .....	137
	・ Campus Life .....	138
	・ キャンパスマップ・建物平面図 .....	148
12	学則・諸規程	
	・ 学 則 .....	153
	・ Regulations of Nara Institute of Science and Technology .....	174
	・ 特別研究学生交流規程 .....	195
	・ Regulations for Special Research Students Exchange Program .....	198
	・ 特別聴講学生交流規程 .....	203
	・ Regulations for Special Auditing Students Exchange Program .....	206
	・ 研究生規程 .....	211
	・ Regulations for Research Students .....	213
	・ 科目等履修生規程 .....	216
	・ Regulations for Non-Degree Students .....	216
	・ 特別学修生規程 .....	218
	・ Regulations for Undergraduate Internship Students .....	223
	・ 学生表彰規程 .....	225
	・ Regulations for Student Commendation .....	226
	・ 優秀学生奨学制度規程 .....	228
	・ Regulations for NAIST Excellent Student Scholarship Program .....	230

1 奈良先端科学技術大学院大学  
の教育方針

# 1 奈良先端科学技術大学院大学の教育方針

## 目的

奈良先端科学技術大学院大学(NAIST)は、学部を置かない大学院大学として、最先端の研究を推進するとともに、その成果に基づく高度な教育により人材を養成し、科学技術の進歩と社会の発展に寄与します。

## 教育使命

NAIST は、先端科学技術の発展に資する人材を養成するために、学部を置かない大学院大学として平成3年10月に設置されました。NAIST の研究教育分野は、「情報科学」「バイオサイエンス」及び「物質創成科学」の3つの基盤的な学問領域です。

21世紀における人類の豊かな生活と住みよい社会を実現し、持続していくためには、次代を担う人材を養成し、人類の存続に役立つ多様な研究成果を社会に提供することが不可欠です。そのためには、単に科学技術に精通するだけでなく、大局的な視点をあわせ持つ人材を育成する全人的な教育が必要です。

本学では、「情報科学」、「バイオサイエンス」及び「物質創成科学」という先端科学技術の基盤的な学問領域に加え、それらの融合領域の研究教育、また倫理教育や知的財産教育などにも積極的に取り組んでいます。

## 人材養成目的

体系的な授業カリキュラムと研究活動を通じて、博士前期課程では、社会・経済を支える高度な専門性を持ち、社会において指導的な立場に立てる人材を、博士後期課程では、科学技術に高い志を持って挑戦し、国際社会で指導的な役割を果たす研究者・技術者を養成します。

## 教育方針

専門教育カリキュラムに加えて、人間として備えておくべき倫理観、広い視野、理論的な思考力、積極的な行動力、総合的な判断力、さらには豊かな言語表現能力を養う、教育カリキュラムを実施します。

また、新たな融合領域へ挑戦する人材を養成するための、3研究科が連携した教育プログラム、高度な国際性を養成するための、海外の教育研究連携校との共同プログラムを含む、教育プログラムを実施します。

そして、自己評価や外部評価をフィードバックして、常に教育の質の向上を図ると共に、教育研究環境の充実と優秀な学生の経済的支援を進めます。

# 1 Educational policies of the Nara Institute of Science and Technology

## Objectives

As a university composed solely of graduate schools, NAIST promotes cutting edge research and offers a sophisticated outcome-based education for each student so as to promote advances in science and technology and in society as a whole.

## Educational mission

NAIST was founded in October 1991 as a graduate university which nurtures individuals who will contribute to the development of advanced science and technology. Research and education at NAIST cover the three core areas: Information Science, Biological Sciences and Materials Science.

In order to promote a suitable standard of living for people throughout the world in the 21st century, and indeed to secure our very survival, the coming generation of leading researchers must possess the highest scientific and technical competence, along with a clear grounding in professional ethics. At NAIST, we aim to cultivate such researchers and educators.

Therefore, in addition to the areas of Information Science, Biological Sciences and Materials Science, we actively encourage interdisciplinary research and provide educational training in the principles of ethics and intellectual property.

## Objectives for each individual student

Education and research in NAIST Master's Courses cultivate sophisticated expertise and personal initiative to support society and the economy. The Doctoral Courses are designed to nurture in researchers and engineers a drive to seek new frontiers in science and technology and to take on leading roles internationally.

## Educational policy

In addition to a specialized education, a wide-ranging curriculum cultivates ethical thinking, vision, theoretical thinking, comprehensive judgment and sharpened writing skills.

A coordinated educational program is offered by the three Graduate Schools to promote interdisciplinary research and cooperative programs are offered with centers of education and research institutions abroad.

The quality of education is maintained through external evaluations, student-evaluations, improved research environments, and economic assistance for competent students.

## アドミッション・ポリシー

国内外を問わず、また大学での専攻にとらわれず、高い基礎学力をもった学生あるいは社会で活躍中の研究者・技術者などで、将来に対する明確な目標と志、各々の研究分野に対する強い興味と意欲をもった者を積極的に受け入れます。

### ○情報科学研究科

情報科学研究科では、情報・通信の科学と技術の発展や変化に柔軟に対応できる能力を身に付けるため、物事を論理的に考えることができ、また、自分の考えが的確に表現できる力をもった人を求めます。

- 1 前期課程では、旺盛な好奇心と何にでも挑戦する実行力をもった人。
- 2 後期課程では、専門テーマにおける問題の発見と解決の方策を見出す力をもった人。

### ○バイオサイエンス研究科

バイオサイエンス研究科では、次のような人を求めます。

- 1 生命現象の基本原則と生物の多様性を分子レベル及び細胞レベルで解明することに熱意と意欲を持っている人。
- 2 バイオサイエンスの深く広い専門知識を人類社会の諸問題の解決に役立たせることに強い関心を持ち、幅広い科学技術分野での活躍を志している人。

### ○物質創成科学研究科

物質創成科学研究科では、次のような人を求めます。

- 1 物質科学や融合領域の創造的かつ先端的研究を行うことに熱意と意欲を持っている人。
- 2 人類社会の諸問題や産業界の要請に強い関心を持ち、技術革新や幅広い科学技術分野での活躍を志している人。

## Nara Institute of Science and Technology Admission Policy

NAIST welcomes applications from highly motivated individuals seeking a world-class, inter-disciplinary graduate education based on information, biological, or materials sciences. Promising candidates are welcomed regardless of their nationality or their research background during undergraduate studies. The university also welcomes scientists, engineers and others currently engaged in researches who demonstrate a unique enthusiasm for scientific pursuit.

### ○Graduate School of Information Science

The Graduate School of Information Science seeks people who are able to think logically and articulate their thoughts, and who seek an ability to respond flexibly to change in the science and technology of information and communications.

1. Applicants to the master's courses must demonstrate a strong curiosity and a willingness to take on entirely new challenges.
2. Applicants to the doctoral courses must demonstrate the potential to identify problems in specialized fields and approach them with practical solutions.

### ○Graduate School of Biological Sciences

The Graduate School of Biological Sciences seeks the following types of students:

1. Those with enthusiasm and drive for discovering the basic principles underlying life phenomena and biotic diversity at the molecular and cellular levels.
2. Those with a keen interest in applying their expertise in biological sciences toward solving society's problems while working in one of the many fields of science and technology.

### ○Graduate School of Materials Science

The Graduate School of Materials Science seeks the following type of students:

1. Those who are highly motivated to conduct creative research in materials science or interdisciplinary scientific pursuit.
2. Those with a keen interest in technological innovation related to social problems and the needs of industry.

## ディプロマ・ポリシー

奈良先端科学技術大学院大学は、学部を置かない国立の大学院大学として、最先端の研究を推進するとともに、その成果に基づく高度な教育により人材を養成し、もって科学技術の進歩と社会の発展に寄与することを目的とし、次のようなディプロマ・ポリシーを定めます。

### ○博士前期課程

本学修士学位取得者は、社会・経済を支えるために必要とされる、幅広い視野、専門分野の学識、専攻分野における研究技術及び研究者・技術者あるいは高度の専門性を要する職業に必要な能力を備えていなければなりません。次に掲げる知識・能力等を習得している者に修士（工学、理学又はバイオサイエンス）の学位を授与します。

- 1 情報科学（情報科学研究科）、バイオサイエンス（バイオサイエンス研究科）あるいは物質科学（物質創成科学研究科）に関連する幅広い知識及び専門分野における先端知識。
- 2 研究・開発のプロセスを担うことのできる能力。
- 3 プレゼンテーション・コミュニケーション能力。

### ○博士後期課程

本学博士学位取得者は、研究者として自立して研究活動を行い、又はその他の高度に専門的な業務に従事するに必要な研究能力及びその基礎となる豊かな学識をもち、国際社会で指導的な役割を果たす能力を備えていなければなりません。次に掲げる知識・能力等を習得している者に博士（工学、理学又はバイオサイエンス）の学位を授与します。

- 1 創造性の豊かな研究者に求められる情報科学（情報科学研究科）、バイオサイエンス（バイオサイエンス研究科）あるいは物質科学（物質創成科学研究科）に関連する幅広く深い知識及び専門分野における高度な先端知識。
- 2 問題発見・解決能力及び研究立案・推進能力。
- 3 プレゼンテーション能力。
- 4 英語力を含めた国際性とコミュニケーション能力。

Nara Institute of Science and Technology  
Diploma Conferment Policy (Diploma Policy)

Nara Institute of Science and Technology (NAIST), a national graduate university without undergraduate departments, promotes cutting-edge research, offers advanced education based on research accomplishments, trains human resources, and thereby contributes to the progress of science and technology and social development. To this end, NAIST defines its diploma policy as follows.

#### Master's course

Students who receive a master's degree from NAIST must have attained (i) a broad perspective that is necessary for contributing to society and the economy, (ii) knowledge in specialized fields, (iii) research techniques in their majors, and (iv) capabilities that are required for professional occupations such as researchers and engineers. A master's degree (engineering, physical science, or bioscience) shall be conferred on individuals who have acquired the following knowledge and abilities:

1. Extensive knowledge related to information science (in the Graduate School of Information Science), bioscience (in the Graduate School of Biological Sciences) or materials science (in the Graduate School of Materials Science), and advanced knowledge in specialized fields
2. The ability to undertake research and development processes
3. Presentation and communication skills

#### Doctoral course

Students who earn a doctoral degree from NAIST must have (i) the ability to conduct research as independent researchers or to engage in other professional activities, (ii) extensive knowledge as the basis of such ability, and (iii) the ability to play leading roles in the international community. A doctoral degree (engineering, physical science, or bioscience) shall be conferred on individuals who have acquired the following knowledge and abilities:

1. Extensive and profound knowledge related to information science (in the Graduate School of Information Science), biosciences (in the Graduate School of Biological Sciences), or materials science (in the Graduate School of Materials Science), and advanced knowledge in specialized fields required of highly creative researchers
2. The ability to identify and solve problems, and to plan and promote research
3. Presentation skills
4. An international mindset (including English proficiency) and communication skills



## カリキュラム・ポリシー

### 博士前期課程

国内外の教育研究機関・企業等において先端科学技術に関する研究あるいはその活用・普及に従事する人材を養成するための体系的な専門教育カリキュラムを編成するとともに、人間として備えておくべき倫理観はもとより、広い視野、理論的な思考力、更には豊かな言語表現能力を養う教育を実施します。

### 博士後期課程

博士前期課程の方針に加え、科学技術に高い志をもって挑戦し、国際社会において指導的な役割を果たす人材を養成するため、高度な研究能力及び国際性を養成する教育を実施します。

### ○情報科学研究科

(博士前期課程)

博士前期課程では、以下の方針に沿って教育を行います。

- 1 情報科学に関連する幅広い知識及び専門分野の高度な先端知識を修得可能なカリキュラム。
- 2 多様な分野からの入学者に対応したカリキュラム。
- 3 専門分野だけに偏らない広い視野を修得可能なカリキュラム。
- 4 研究者として必要な英語力を修得可能なカリキュラム。
- 5 プレゼンテーション・コミュニケーション能力の向上を目指した教育。
- 6 専門分野における問題発見・解決能力の修得を目指した教育。

(博士後期課程)

博士後期課程では、以下の方針に沿って教育を行います。

- 1 ディスカッションや講義を通じた専門分野に関する深い学識の修得。
- 2 研究プロジェクトを主体的に企画立案・遂行する能力の修得。
- 3 国際的に活躍できるためのプレゼンテーション・コミュニケーション能力の修得。
- 4 専門分野だけに留まらない長期的な広い視野の修得。
- 5 未知の問題にも取り組める解決能力の修得。

### ○バイオサイエンス研究科

(博士前期課程)

博士前期課程では、以下の方針に沿って教育を行います。

《バイオエキスパートコース》

- 1 バイオサイエンスに関連する幅広い知識を修得させるカリキュラムを編成する。
- 2 バイオサイエンスの基盤となる研究力を養成する。
- 3 科学英語能力の向上を目指した教育を行う。
- 4 プレゼンテーション能力やコミュニケーション能力の向上を目指した少人数クラス

の教育方法を取り入れる。

- 5 産業活動・社会活動における科学技術の問題点やあるべき姿を考察する能力や倫理観を養成する。

《フロンティアバイオコース》

- 1 バイオサイエンスに関連する幅広く深い知識を修得させるカリキュラムを編成する。
- 2 最先端の機器や技術を使いこなす研究力を養成する。
- 3 科学英語能力の向上を目指した教育を行う。
- 4 プレゼンテーション能力やコミュニケーション能力の向上を目指した少人数クラスの教育方法を取り入れる。
- 5 研究活動における科学技術の問題点やあるべき姿を考察する能力や倫理観を養成する。

(博士後期課程)

博士後期課程では、以下の方針に沿って教育を行います。

- 1 バイオサイエンスに関連するより深く幅広い高度な専門知識を修得させる。
- 2 解決すべき問題を自ら探しだす探査能力を育成する。
- 3 問題解決に向けた方策を提案できる思考力と論理力を養成する。
- 4 提案した方策を自らの力で実行できる高度な研究能力を養成する。
- 5 他の研究者と日本語のみならず英語でも有用な情報を交換し、議論できるコミュニケーション能力を育成する。
- 6 得られた成果を幅広く情報発信できるプレゼンテーション能力を向上させる。

## ○物質創成科学研究科

(博士前期課程)

博士前期課程では、以下の方針に沿って教育を行います。

- 1 物質科学に関連する幅広い知識及び専門知識を修得させるカリキュラムを編成する。
- 2 物質科学の基盤となる研究・開発能力を養成する。
- 3 英語能力の向上を目指した少人数教育を行う。
- 4 プレゼンテーション・コミュニケーション能力の向上を目指した教育を提供する。
- 5 社会との関わりを深めるための一般科目が充実した教育を提供する。

(博士後期課程)

博士後期課程では、以下の方針に沿って教育を行います。

- 1 物質科学に関する先端研究や講義を通して先端研究能力、物質科学に関連する幅広く深い知識及び高度な先端知識を修得させる。
- 2 多様な視点からの多角的な討論を経験する教育を提供する。
- 3 得られた研究成果のプレゼンテーションを重視した教育を提供する。
- 4 英語力を含めた国際性を強化する教育を提供する。
- 5 研究プロジェクトを主体的に企画提案・運営する能力を養成する。

Nara Institute of Science and Technology  
Curriculum Development and Implementation Policy (Curriculum Policy)

#### Master's course

This systematic curriculum for specialized education is designed to train human resources who will be engaged in the research, utilization, and/or popularization of advanced science and technology at education and research institutions, companies, etc. in Japan and abroad. The curriculum facilitates students develop the required ethical awareness, as well as a broad perspective, logical thinking abilities, and excellent linguistic skills.

#### Doctoral course

In addition to the policy for the master's course, this curriculum facilitates students developing advanced research abilities and an international mindset, in order to train ambitious human resources who are committed to science and technology and will play leading roles in the international community.

#### ○Graduate School of Information Science

##### Master's course

The educational policy of the master's course is as follows:

1. To enable students to acquire extensive knowledge about information science and advanced knowledge in specialized fields
2. To accommodate students from various fields with appropriate curriculum
3. To facilitate the development of broad student perspectives, without focusing solely on specialized fields
4. To foster the attainment of English proficiency required of researchers
5. To facilitate student development of presentation and communication skills
6. To cultivate in students the ability to identify and solve problems in specialized fields

##### Doctoral course

The educational policy of the doctoral course is as follows:

1. To facilitate student acquisition of profound knowledge in specialized fields through discussion and lectures
2. To facilitate the development of student initiative-taking abilities in planning and implementing research projects
3. To facilitate student development in presentation and communication skills required of international scientists

4. To facilitate student development of a broad, far-reaching perspective, without focusing solely on specialized fields
5. To facilitate student development of the ability to tackle unknown problems

○Graduate School of Biological Sciences

Master's course

The educational policy of the master's course is as follows:

\*Bio-Expert course\*

1. To develop curricula that facilitate student acquisition of extensive knowledge related to bioscience
2. To facilitate student development of research capabilities as the foundation of bioscience
3. To provide education toward improving English proficiency in science
4. To employ small-group classes to improve presentation and communication skills
5. To facilitate student development of (i) the ability to consider issues and ideal models of science and technology in industry and society and (ii) ethical ideals

\*Frontier Bio course\*

1. To develop curricula to foster student acquisition of extensive and profound knowledge related to bioscience
2. To facilitate student acquisition of research capabilities to take full advantage of the latest equipment and technologies
3. To provide education toward improving English proficiency in science
4. To employ small-group classes to help improve presentation and communication skills
5. To facilitate student development of (i) the ability to consider issues and ideal models of science and technology in research activities and (ii) ethical ideals

Doctoral course

The educational policy of the doctoral course is as follows:

1. To facilitate student acquisition of more profound, extensive, and advanced expertise related to bioscience
2. To facilitate student development of investigative abilities to identify problems that should be solved
3. To facilitate student development of thinking and logical abilities so that they can propose solutions to problems
4. To facilitate student acquisition of advanced research abilities so that they can implement measures they propose

5. To facilitate student development of communication skills to exchange useful information and have discussions with other researchers in both Japanese and English
6. To facilitate student improvement of presentation skills so they can promote their accomplishments

○ Graduate School of Materials Science

Master's course

The educational policy of the master's course is as follows:

1. To develop curricula that facilitate student acquisition of extensive knowledge and expertise related to materials science
2. To facilitate student acquisition of research and development abilities as the foundation of materials science
3. To provide small-group education toward improving English proficiency
4. To offer education to facilitate student improvement of presentation and communication skills
5. To offer an extensive range of general subjects to raise student awareness of social developments

Doctoral course

The educational policy of the doctoral course is as follows:

1. To facilitate student development of advanced research abilities and acquire extensive, profound, and advanced knowledge related to materials science through advanced research activities and lectures related to materials science
2. To offer education that enables students to experience discussions from various aspects
3. To offer education that underscores the importance of presenting research accomplishments
4. To offer education that fosters students' international mindset (including English proficiency)
5. To develop student abilities to take initiative in planning and managing research projects

## 奈良先端科学技術大学院大学における研究活動上の行動規範

平成20年2月21日

研究活動とは、先人達が行った研究の諸業績を踏まえた上で、調査、観察、実験等によって知り得た事実やデータを素材としつつ、自分自身の省察、発想、アイデア等に基づく新たな知見を創造し、知の体系を構築していく行為である。

その成果は、人類共通の知的資産を築くものであり、人類の幸福、経済及び社会の発展を支えている。

このような研究活動は、研究活動に対する研究者の誠実さが前提となっており、データや結果の捏造、改ざん、及び他者の研究成果の盗用に加え、同じ研究成果の重複発表、論文著者が適正に公表されない不適切なオーサーシップ等の不正行為は、研究活動の本質に反するものであり、絶対に許されるものではなく、厳しい姿勢で臨まなければならない。

奈良先端科学技術大学院大学は、このような研究活動に関する基本的認識の下に、“本学で研究活動に携わるすべての者”（以下「研究者」という。）が研究を遂行する上で求められる行動規範を定める。

#### 1. 研究者の責任

研究者は、自らが生み出す専門知識や技術の質を担保する責任を有し、更に自らの専門知識、技術及び経験を活かして、社会の安全と安寧、そして環境の保全に対する責任を有する。

#### 2. 研究者の行動

科学の自律性が社会からの信頼と負託の上に成り立つことを自覚し、自らの研究姿勢を常に点検しつつ正しい信念に基づいて誠実に行動する。また、研究によって生み出される知の正確さや正当性を、科学的にかつ客観的に示す最善の努力をするとともに、科学者コミュニティ、特に自らの専門領域における研究者相互の評価に積極的に参加する。

#### 3. 自己の研鑽

自らの専門知識・能力・技芸の維持向上に努めるとともに、科学技術と社会・自然環境の関係を広い視野から理解できるようにたゆまず努力する。

#### 4. 説明と公開

自ら携わる研究の意義と役割を積極的に公開して説明し、その研究が人間、社会、環境に及ぼし得る影響並びに起こし得る変化を評価し、その結果を中立性・客観性をもって公表するとともに、社会との建設的な対話を築くように努める。



## 5. 研究活動

自らの研究の立案・計画・申請・実施・報告等の過程において、この規範の趣旨に沿って誠実に行動する。研究・調査データの記録保存や厳正な取扱いを徹底し、捏造、改ざん、盗用等の不正行為を行わず、また加担もしない。

## 6. 研究環境の整備

責任ある研究の実施と不正行為の防止を可能にする公正な環境の確立・維持も自らの重要な責務であることを自覚し、科学者コミュニティ及び自らの所属する組織の研究環境の質的向上に積極的に取り組む。また、これを達成するために社会の理解と協力が得られるよう努める。

## 7. 研究費の適正な使用

研究費の使用に当たっては、関係法令、学内諸規約等並びに各種外部資金による研究において定められた条件及び使用ルール等を遵守する。

## 8. 研究対象、環境、安全等への配慮及び生命倫理の尊重

研究への協力者の人格・人権を尊重し、福利に配慮する。また、研究実施上、環境及び安全に対して有害となる可能性のあるもの（放射線、放射性同位元素、遺伝子組換え生物、核燃料物質、外来生物、毒劇物、環境汚染物資等）を取り扱う場合には、関係法令、学内諸規約及び学会等の指針等を遵守し、ヒトや動物を対象とした研究においては、生命倫理を最大限尊重する。

## 9. 他者との関係

他者の成果を適切に評価すると同時に、自らの研究に対する批判には謙虚に耳を傾け、誠実な態度で意見を交える。また、他者の知的財産権に係るものに関しては、守秘義務を遵守する。中でも、論文や研究費の審査の過程で知り得たものについては、守秘義務の遵守に厳密に注意を払わなくてはならない。さらに、研究の過程で入手した他者の個人情報保護に努め適正な取扱いを行う。

## 10. 差別・ハラスメントの排除

人種、性別、地位、思想・宗教等によって個人を差別せず、公平に対応して、個人の自由と人格を尊重する。また、立場や権限を利用して、その指示・指導等を受ける者に不利益を与えるような言動は取らない。

## 11. 利益相反

自らの研究、審査、評価、判断等において、個人と所属組織又は異なる組織間の利益の衝突に十分に注意を払い、公共性に配慮しつつ適切に対応する。さらに、国立大学法人奈良先端科学技術大学院大学利益相反ポリシー等を遵守する。

## Code of Conduct for Research Activities at NAIST

“Research activities” refers to actions that generate new findings and construction of systems of knowledge based on reflections, thinking, and ideas while continually using facts and data obtained by means of surveys, observations, experiments and other activities as raw material, building on the results of studies carried out by previous researchers.

The fruits of such activities form the building blocks for the common intellectual assets of humanity, underpinning human happiness as well as economic and social development.

Such research activities have as their premise the integrity of researchers toward their research activities. Dishonest behavior, including the fabrication or falsification of data or results, plagiarism of the results of others’ work, multiple publication of the same results, and inappropriate authorship whereby the authors of a paper are not attributed correctly, is contrary to the basic character of research activities. Such actions are unacceptable under any circumstances, and will be dealt with severely.

Given this fundamental awareness of research activities, NAIST has set out the following Code of Conduct outlining the behavior expected of all those involved in research activities at the university (hereafter “researchers”) during the performance of research.

### **1. Responsibilities of Researchers**

Researchers shall be responsible for guaranteeing the quality of the specialist knowledge and techniques they themselves generate, and shall also be responsible for using their specialist knowledge, techniques, and experience for social safety and well-being, and for environmental preservation.

### **2. Actions of Researchers**

Researchers shall act with integrity on the basis of correct beliefs, constantly reviewing their attitude toward and approach to research in the awareness that the autonomy of science is built on the trust and mandate of society. They shall both make the utmost efforts to demonstrate the accuracy and appropriateness of the knowledge generated by their research in a scientific and objective manner, and participate actively in the mutual evaluation of researchers within the scientific community, particularly in their own fields of specialization.

### **3. Self-Improvement**

Researchers shall endeavor to maintain and improve their own specialist knowledge, abilities, and skills, and shall also strive unremittingly to understand the relationships of science and technology with society and the natural environment from a broad perspective.



#### **4. Explanation and Disclosure**

Researchers shall proactively disclose and explain the significance and role of the research in which they are involved, assessing the potential effect of this research on humanity, society, and the environment as well as any changes it may cause, and shall publish the results in a neutral and objective manner, while striving to build up a constructive dialogue with society.

#### **5. Research Activities**

Researchers shall act with integrity and in accordance with the spirit of this Code of Conduct during the process of making proposals, planning, submitting applications, carrying out research, reporting, and conducting other activities connected with their own research. They shall be scrupulous with respect to the recording and storage of research and survey data and strictly impartial treatment, without engaging in dishonest behavior such as fabrication, falsification, or plagiarism, nor shall they be complicit in such behavior.

#### **6. Improvement of Research Environment**

Researchers shall be aware that the establishment and maintenance of a fair research environment that enables the implementation of responsible research and the prevention of dishonest behavior is also an important obligation, and shall be actively engaged in improving the quality of the research environment of both the scientific community and the organization to which they belong. They shall also strive to obtain the understanding and cooperation of society in order to achieve this.

#### **7. Appropriate Use of Research Funds**

When using research funds, researchers shall comply with all applicable legislation, university regulations and other rules, and conditions, rules for use, and other stipulations set out for all types of externally funded research.

#### **8. Concern for Research Subjects, the Environment, Safety, and Related Issues, and Respect for Bioethics**

Researchers shall respect the persons and human rights of those who cooperate in their research, and shall take their well-being into account. When dealing with materials that could have an adverse effect on the environment or safety during the implementation of research (radiation, radioactive isotopes, genetically modified organisms, nuclear fuel material, non-native species, poisonous materials, environmental pollutants, etc.), they shall comply with all applicable legislation, university regulations, guidelines and other stipulations issued by academic societies and other bodies concerned, and shall have the greatest possible respect for bioethics in research on human or animal subjects.

#### **9. Interpersonal Relationships**

Researchers shall both evaluate others' results appropriately and listen humbly to criticism of their own research, exchanging opinions with an attitude of sincerity. They shall comply with the obligation of confidentiality concerning the intellectual property rights of others. In particular, they must pay strict attention to compliance with the obligation of confidentiality concerning information obtained during the review process for papers or research funds. They shall also endeavor to protect the personal information of others obtained during the process of research, and take appropriate measures for its handling.

#### **10. Elimination of Discrimination and Harassment**

Researchers shall not discriminate against any individual on the basis of his or her race, gender, rank, ideology, religion, or for any other reason, but shall treat each person fairly while respecting the freedom and person of the individual. They shall not use their status or authority to disadvantage any person under their instruction, guidance, or similar circumstances in either word or deed.

#### **11. Conflicts of Interest**

Researchers shall pay careful attention to any conflict of interest that may arise between an individual and his or her own institution or another organization in the course of their research, review, evaluation, judgment, or other undertaking, and shall deal with it appropriately while giving due consideration to its public nature. Researchers shall also comply with the NAIST Conflict of Interest Policy and related policies.

## 2 バイオサイエンス研究科の概要

## 2 バイオサイエンス研究科の概要

### バイオサイエンス研究科の目的

- ▶生命現象の基本原則と生物の多様性を分子・細胞・個体レベルで解明し、また、その成果を人類社会の諸問題の解決に活用するための最先端の研究を推進するとともに、バイオサイエンスが関わる広範な領域をカバーした体系的な教育を行い、バイオサイエンスの深化とその活用を担う、創造的かつ先端的な研究者及び高度な専門性を持った技術者を養成することを目的とします。

### 特色

- ▶本研究科は、これまで学部という枠の上にそれぞれ作られていた生物系の大学院研究科を総合化し、世界規模で大きく進展・変貌を遂げているバイオサイエンスの大学院での教育システムを新たに作り上げることを意図して設立されました。本研究科では、微生物、植物および動物のさまざまな機能を分子と細胞レベルで解明し、生命現象の基本原則と生物の多様性を明らかにする最先端の研究を推進していますが、その過程に大学院生を参画させ、優れた研究者や技術者を養成することを目指します。
- ▶これまでの研究・教育の取り組みの成果として、本研究科を中心とした「フロンティアバイオサイエンスへの展開」が文部科学省の21世紀COEプログラムに採択され、「細胞機能を支える動的分子ネットワーク」の解析に関する取り組みで、高い事後評価（A評価）を得ることができました。また、文部科学省グローバルCOEプログラム「フロンティア生命科学グローバルプログラム - 生物の環境適応と生存の戦略 - 」では、これを更に発展させ、世界を先導する先端的な生命科学研究を推進する中で、国際社会で活躍できる研究者の養成を行ってきました。
- ▶本研究科では、領域や配属研究室の区別なく、学生全員に対して研究科教員が一体となって基礎および専門教育、研究指導に取り組んでいます。また、多様な学習歴・教育歴、学問的興味や進路希望をもつ入学者に対し、オーダーメイドの大学院教育を実施するために、2年の履修期間のバイオエキスパートコース（BXコース）と5年一貫制のフロンティアバイオコース（FBコース）の2コース制を採用しています。さらに、大学院教育の先進国である米国の教育システムを積極的に取り入れて、学生の自主性、積極性、自立性を養うために、ディスカッションを中心とした少人数クラスでの講義を大幅に採用するなど、教育効果を上げるためのきめ細かい配慮をしています。両コースともに、基礎科目講義・演習等の初期教育は、研究室配属後の研究室での実験・演習・論文作成・研究発表の指導の効率を上げるように配慮されています。また、BXコース学生の博士

前期課程修了後の進路に応じた研究室内教育を行うため、従来の修士論文研究を改編して、研究実験と課題研究の二つの教育研究コースを設けています。国際的に活躍する人材の育成のために、英語教育や国際化教育の体系的なプログラムを設置しています。このような先進的な大学院教育の実践とその成果により、文部科学省の「魅力ある大学院教育」イニシアティブプログラム（平成17年度～平成18年度）と「大学院教育改革支援プログラム」（平成19年度～平成21年度）に選定・採用されました。

- ▶また、留学生や英語に堪能な日本人学生が英語のみの授業により学位取得に必要な全単位が取得できる5年一貫性の国際コースを設置しています。国際コースに入るには、国際コース向けの入学試験を受験します。FBコースと同様に、学生の自主性、積極性、自立性を養うために、ディスカッションを中心とした少人数クラスでの講義を大幅に採用するなど、工夫がされています。さらに、留学生向けに日本語（初級）の語学教育も開始しており、研究室や日本社会での日常生活をストレスなく送れるように配慮しています。

### 三つの教育コースの理念と教育内容の概要

#### バイオエキスパートコース

博士前期課程で修了を予定する学生に、学習歴や学習到達度に応じた効果的な教育を行うための教育コースです。

主に企業や公共機関などに就職を希望する学生を対象とし、バイオサイエンスの幅広い分野をカバーする講義に加えて、コミュニケーション能力を養成することを目的として、少人数クラスでの演習や英語の講義・演習を実施します。また、産業界からの外部講師の協力を得て、バイオテクノロジーの様々な分野や企業での研究活動に必要な知識についても幅広い講義を行います。修士論文研究では、研究能力に加えて発表や議論する能力の養成に重点をおいた指導を行います。

### フロンティアバイオコース

さらに優れた学力を有し、博士前期課程を修了した後に博士後期課程へ進学を希望する学生に対して、5年間一貫した教育を行うための教育コースです。

将来、国際的に活躍できる研究者を育成することを目的とし、ディスカッションを重視した少人数クラスでの講義・演習に加えて、外国人教師による5年間の体系的な英語教育を実施します。また、主指導教員と学位審査委員を兼ねるアドバイザー委員会の複数教員による継続的な研究指導、クラス担任による進路・学習指導、海外での語学研修・研究研修など、トップクラスの研究者養成のための革新的な教育を実施します。

### 国際コース

優れた学力を有し、博士前期課程を修了した後に博士後期課程へ進学を希望する留学生や英語に堪能な日本人学生に対して、5年間一貫した教育を行うための教育コースです。

将来、国内外で国際的に活躍できる研究者を育成することを目的としており、英語のみの授業により学位取得に必要な全単位が取得できます。フロンティアバイオコースと同様に、ディスカッションを重視した少人数クラスでの講義・演習を行います。また、主指導教員と学位審査委員を兼ねるアドバイザー委員会の複数教員による継続的な研究指導、クラス担任による進路・学習指導、海外での研究研修など、国際的に活躍できる研究者養成のための画期的な教育を実施します。

## バイオサイエンスに関する広範囲な分野を網羅した研究室構成

▶バイオサイエンス研究科は、日々発展するバイオサイエンス分野の教育・研究に柔軟に対応するため、平成23年度から、これまでの二専攻と講座制を廃止し、一つの専攻の中に三つの研究領域をつくり研究室を配置する体制としました。植物科学領域9研究室、メディカル生物学領域8研究室、統合システム生物学領域8研究室、計25の研究室から構成されています。また、R1実験施設、動物飼育実験施設、植物実験温室、遺伝子情報解析機器、遺伝子データベースなどの整備運営を行う遺伝子教育研究センターが設置されており、研究科での研究教育をサポートしています。さらに、国内の3研究機関と教育連携協定を結び、これら組織の全教員が協力してバイオサイエンス研究科の研究教育にあたっています。学内では、情報科学研究科および物質創成科学研究科とも密接に連携して、ポストゲノム時代のバイオサイエンスと他分野の融合領域の研究教育を進めています。国外の協力組織としては、米国2大学、中国1研究所、韓国1大学、1研究所、タイ2大学、インドネシア3大学、マレーシア4大学、ヴェトナム1研究所とも交流協定を結び、研究のみならず学生の国際的センスの涵養も図っています。

▶25の基幹となる研究室は、植物分野での研究教育を行う植物科学領域、および、動物と基礎医学分野での教育研究を行なうメディカル生物学領域、主として融合領域での研究教育を行う統合システム生物学領域、に分かれています。しかしながら、教育研究分野は互いに重なっているものが多く、研究科の大学院生は志向する分野に応じて所属研究室を選択できるようになっています。教育研究を担う教員は、理学部、農学部、医学部、工学部、薬学部など様々な分野の出身者ですが、領域や研究室間の壁を出来るだけ取り払い、学際的な教育研究を実現しています。教育・研究をさらに充実させるために、医学や環境等の分野の外部研究機関に、教育・研究協力を依頼しています。

▶研究教育分野を、研究材料や研究内容の観点から研究室を分類すると、次のようになり、バイオサイエンスの最先端分野のほぼ全てをカバーしています。

### 材料別

動物系	神経機能科学研究室 / 分子情報薬理科学研究室 / 遺伝子発現制御研究室 / 腫瘍細胞生物学研究室 / 動物遺伝子機能研究室 / 動物細胞工学研究室 / 機能ゲノム医学研究室 / 神経システム生物学研究室 / 分子免疫制御研究室 / 分子医学細胞生物学
植物系	細胞間情報学研究室 / 植物成長制御研究室 / 植物代謝制御研究室 / 植物形態ダイナミクス研究室 / 植物発生シグナル研究室 / 花発生分子遺伝学研究室 / 植物細胞機能研究室 / 植物発生学研究室 / 植物免疫学研究室



微生物系	ストレス微生物科学研究所 / 原核生物分子遺伝学研究所 / システム微生物学研究所 / 細胞シグナル研究室
物質・情報系	構造生物学研究所 / 細胞間情報学研究所 / システム微生物学講座 / 膜分子複合機能学研究所

## 研究内容別

分子遺伝学関連	原核生物分子遺伝学研究所 / 植物発生シグナル研究室 / 花発生分子遺伝学研究所 / 腫瘍細胞生物学研究所 / 植物形態ダイナミクス研究室 / 動物遺伝子機能研究室 / 植物細胞機能研究室 / 植物代謝制御研究室 / 植物免疫学研究所 / システム微生物学研究所 / 動物細胞工学研究所 / 植物成長制御研究室 / 細胞シグナル研究室
細胞生物学関連	神経機能科学研究所 / ストレス微生物科学研究所 / 分子情報薬理学研究所 / 植物細胞機能研究室 / 細胞間情報学研究所 / 植物形態ダイナミクス研究室 / 花発生分子遺伝学研究所 / 動物細胞工学研究所 / 植物成長制御研究室 / 神経システム生物学研究所 / 細胞シグナル研究室 / 分子免疫制御研究室 / 分子医学細胞生物学
生化学関連	ストレス微生物科学研究所 / 分子情報薬理学研究所 / 細胞間情報学研究所 / 植物細胞機能研究室 / 植物成長制御研究室 / 花発生分子遺伝学研究所 / 原核生物分子遺伝学研究所 / 腫瘍細胞生物学研究所 / 分子免疫制御研究室 / 構造生物学研究室 / 膜分子複合機能学研究所 / 分子医学細胞生物学
発生生物学関連	遺伝子発現制御研究室 / 植物形態ダイナミクス研究室 / 植物発生シグナル研究室 / 花発生分子遺伝学研究所 / 植物成長制御研究室 / 植物発生学研究所
神経生物学関連	神経機能科学研究所 / 分子情報薬理学研究所 / 神経システム生物学研究所 / 動物遺伝子機能研究室
植物分子育種関連	細胞間情報学研究所 / 植物代謝制御研究室 / 植物細胞機能研究室 / 植物免疫学研究所 / 植物成長制御研究室 / 花発生分子遺伝学研究所
ゲノム生物学関連	原核生物分子遺伝学研究所 / 機能ゲノム医学研究所 / システム微生物学研究所 / 遺伝子発現制御研究室 / 花発生分子遺伝学研究所
構造生物学関連	構造生物学研究所 / 細胞間情報学研究所 / 膜分子複合機能学研究所 / 分子医学細胞生物学
生理活性物質関連	細胞間情報学研究所 / 植物細胞機能研究室 / ストレス微生物科学研究所
応用微生物関連	ストレス微生物科学研究所



## 植物科学領域

植物の発生、細胞周期制御、細胞分化、器官形成、遺伝子発現制御、生殖、光合成、情報伝達、ストレス応答、環境応答など植物細胞・個体が有する様々な生命機能の解明を目指す基礎研究から植物生産性増強、環境耐性増強など環境・資源・エネルギー・食糧問題等の解決に向けた応用研究まで、持続的発展が可能な社会の実現を目指した先端的な研究を推進できる研究人材を育成する。

研究室及び教員	教 育 研 究 分 野 項
<b>■ 細胞間情報学</b> 教 授 高 山 誠 司 助 教 和 田 七 夕 子 助 教 村 瀬 浩 司 助 教 藤 井 壮 太	植物細胞間で機能する情報伝達分子、情報の細胞内伝達機構、情報分子の発現調節機構の解明を通じ、植物の根幹的な仕組みを理解するための研究・教育を行う。 ● 植物の細胞間クロストーク、シグナル伝達、受粉受精機構、自己識別機構、自然免疫機構、プロテオミクス、バイオイメージング、エピゲノム解析、優劣性発現調節
<b>■ 植物細胞機能</b> 教 授 橋 本 隆 准 教 授 庄 司 翼 助 教 加 藤 壮 英 崇 特 任 助 教 堀 田 崇	植物の細胞骨格、細胞分化、二次代謝を制御する遺伝子の機能について、変異株、形質転換体、培養細胞、細胞内動態観察などを用いて研究・教育を行う。 ● 微小管、左右性、環境応答、シグナル伝達、二次代謝、有用化合物の代謝工学、傷害応答
<b>■ 植物発生シグナル</b> 教 授 中 島 敬 二 助 教 宮 島 俊 介	植物個体の発生過程で各細胞が固有の機能を発現するしくみや、生殖細胞が初期化されるしくみの解明を目指し、分子生物学、トランスジェニック植物、イメージング技術などを用いて研究・教育を行う。 ● 細胞分化、細胞分裂、パターン形成、メリステム、胚発生、根、リプログラミング、情報伝達、転写因子、マイクロRNA、原形質連絡、シロイヌナズナ、ゼニゴケ
<b>■ 植物代謝制御</b> 教 授 出 村 拓 助 教 加 藤 晃 助 教 米 田 新 助 教 大 谷 美 沙 都	環境・エネルギー問題の解決に向けて、植物細胞の分化制御機構、植物の機能と代謝の調節機構、有用GM植物・樹木の作出、に関する研究・教育を行う。 ● 木質バイオマス、細胞分化、細胞壁、遺伝子発現制御、樹木バイオテクノロジー、分子育種、植物による有用物質生産
<b>■ 植物成長制御</b> 教 授 梅 田 正 明 子 助 教 奥 島 葉 子 助 教 高 橋 直 紀	植物の細胞分裂・伸長、DNA倍加、クロマチン構造の制御に焦点を当てて、環境ストレスや植物ホルモンシグナル伝達とのクロストークを解析し、器官成長の制御機構の解明と植物バイオマスの増産を目指した研究・教育を行う。 ● 植物の器官成長、植物バイオマス、細胞周期制御、DNA倍加、DNA損傷応答、植物ホルモン、シグナル伝達、クロマチン構造、エピジェネティクス、イメージング
<b>■ 植物形態ダイナミクス</b> 教 授 田 坂 昌 生 准 教 授 古 谷 将 彦 助 教 井 藤 純	シロイヌナズナを材料に植物の体作りと環境応答の分子機構の解明を目指し、分子遺伝学的な研究・教育を行う。 ● 植物の体作り、オーキシンを介した形態形成、オーキシンシグナル伝達、細胞極性、胚発生、側根形成、細胞内小胞輸送、二次成長、分裂組織、幹細胞
<b>■ 花発生分子遺伝学</b> 教 授 伊 藤 寿 朗 俊 助 教 山 口 暢	植物の花発生における時空間特異性の遺伝子発現制御機構、複数の遺伝子産物が調和的に機能する分子機構、環境応答性の解明を目指し、エピジェネティクスやその上流シグナル伝達に着目した研究・教育を行う。 ● 花発生、分子遺伝学、ゲノミクス、合成生物学、クロマチン、エピジェネティクス、シグナル伝達、ホメオティック転写因子、メリステム、環境応答
<b>■ 植物免疫学</b> 准 教 授 西 條 雄 介 敬 助 教 晝 間	植物が病原型から共生型までさまざまな感染様式をもつ微生物と織りなす巧妙でダイナミックな相互作用を対象とし、植物の免疫制御メカニズムや微生物の感染戦略について分子レベルで解明するための研究・教育を行う。 ● 植物免疫、パターン受容体、シグナル伝達、複合ストレス耐性、遺伝子発現の制御と記憶、ヒストン修飾、感染戦略、エンドファイト、共進化
<b>■ 植物発生学</b> 特 任 准 教 授 相 田 光 宏	植物の幹細胞組織である分裂組織(メリステム)の働きに焦点を当て、器官形成と細胞分化の基本原則を明らかにする研究・教育を行う ● 発生、分裂組織、メリステム、幹細胞、胚発生、花、生殖器官、雌しべ、転写制御、細胞間相互作用、イメージング

専攻の研究室名、教育連携研究室名及び教育研究分野

## メディカル生物学領域

動物の発生、細胞増殖制御、細胞分化、器官形成、遺伝子発現制御、情報伝達、恒常性維持、ストレス応答など動物細胞・個体が有する様々な生命機能の基礎研究から神経疾患、代謝疾患、ガンなど様々な疾患原因の解明による出口を見据えた応用研究まで、健康社会の実現を目的とした先端的な研究を幅広く推進できる研究人材を育成する。

研究室及び教員	教 育 研 究 分 野 項
<b>■ 分子情報薬理学</b> 教 授 伊 東 広 助 教 小 林 哲 夫 助 教 梶 紀 子	ヒトの身体の恒常性維持や個体形成を司るホルモン・神経伝達物質および細胞増殖・分化因子等による細胞応答の仕組みを解明し、がん・神経疾患・生活習慣病などの診断・治療への展開を目指した研究・教育を行う。 ● シグナル伝達機構、Gタンパク質、がん細胞の接着・遊走、分子標的薬、機能性抗体、新規受容体リガンド、神経幹細胞の増殖・分化・遊走、一次繊毛の形成・機能
<b>■ 神経機能科学(学生配属はしない)</b> 教 授 塩 坂 貞 夫 准 教 授 駒 井 章 治 助 教 中 澤 瞳	学習・記憶の分子機構、海馬・大脳皮質の機能を研究・教育する。神経系での分子・細胞のイメージング、行動生理学的解析とその技術の開発を行う。 ● 学習、記憶、認知機能の分子・生理・動物行動生物学、神経系での分子・細胞のイメージングとその技術開発
<b>■ 動物遺伝子機能(学生配属はしない)</b> 教 授 川 市 正 史 助 教 岡 千 緒 助 教 松 田 永 照	動物の発生を制御する遺伝子の作用機構や転写の調節機構について、ヒトの病気と関連した遺伝子に注目し、ES細胞でのジーントラップなどの新技術も応用した研究・教育を行う。 ● ヒトの病気の原因遺伝子、骨・軟骨・脳・網膜・筋肉などの発生機構と疾患、ES細胞、ジーントラップ、mRNAサーベイランスと翻訳終結、転写調節機構、メチル化DNA結合転写因子
<b>■ 機能ゲノム医学</b> 准 教 授 石 田 靖 雅	マウスES細胞を標的にしたランダムな挿入型遺伝子改変法を新規に開発し、多種多様な変異導入マウスを創出するとともに、動物細胞におけるタンパク質の翻訳終結とmRNAの品質管理に共通する分子機構を探索する研究・教育を行う。 ● ES細胞、遺伝子トラップ、mRNAサーベイランス、NMD、ジフテリア毒素、細胞系譜除去、ノックアウトマウス、翻訳終結、病態、免疫
<b>■ 動物細胞工学</b> 教 授 河 野 憲 二 准 教 授 木 俣 行 雄 助 教 都 留 秋 雄 助 教 小 池 雅 昭 特 任 助 教 芝 陽 子	細胞(酵母、動物細胞)や動物個体(マウス)のストレス応答に関して、シグナル伝達・遺伝子発現制御の観点からその分子基盤を明らかにする研究・教育を、また遺伝子改変マウスを用いた幹細胞探索や再生医学への研究・教育を行う。 ● 小胞体ストレス応答、分子シャペロン、タンパク質の品質管理、シグナル伝達、遺伝子発現制御、細胞質スプライシング機構、翻訳アレスト、ノックアウトマウス、ヒト疾患モデルマウス、糖尿病、幹細胞、再生医学
<b>■ 腫瘍細胞生物学</b> 教 授 加 藤 順 也 助 教 加 藤 規 子	哺乳類細胞の細胞周期制御、細胞老化、細胞分化、アポトーシス、オートファジー、幹細胞制御などに興味を持ち、腫瘍細胞の増殖、分化、生存を制御する分子メカニズムに関する研究・教育を行う。 ● 細胞周期制御、チェックポイントコントロール、細胞がん化、白血病、血液幹細胞、がん幹細胞、遺伝子改変マウス、細胞老化、細胞分化、アポトーシス、p53、タンパク質分解制御、COP9シグナロソーム
<b>■ 分子免疫制御</b> 准 教 授 河 合 太 郎 助 教 川 崎 拓 実	免疫応答の発動メカニズムやその破綻により引き起こされる自己免疫疾患、アレルギー、炎症性疾患などの発症メカニズムを理解するとともに、治療や診断法の開発を目指した研究・教育を行う。 ● 自然免疫、シグナル伝達、サイトカイン、炎症、自己免疫疾患、アレルギー、ワクチン開発、ノックアウトマウス
<b>■ 分子医学細胞生物学</b> 教 授 末 次 志 郎 助 教 塙 京 子	脂質膜形態形成および脂質膜を介したシグナル伝達に関して、生体膜の形態機能形成に着目し、タンパク質と脂質分子の共役した細胞内での分子機構を解明することにより、細胞や動物個体に見られる形態形成機構を理解し、かつ、疾患形成を解明することを目指した研究・教育を行う。 脂質膜、細胞骨格、シグナル伝達、細胞移動、超解像解析、イメージング、X線結晶構造解析、癌、遺伝病、システムズバイオロジー
<b>■ 細胞増殖学(学生配属はしない)</b> ★ 教 授 川 市 正 史 助 教 北 川 教 弘 (石田)	おもに骨代謝系を対象にして、哺乳類細胞の増殖・分化の制御機構を細胞並びに分子レベルで理解するための研究・教育を行う。 ● 骨代謝、破骨細胞分化、骨芽細胞分化/増殖、原がん遺伝子、骨代謝治療薬の開発

注) ★印:兼任

統合システム生物学領域

生物の遺伝現象、進化、細胞増殖、環境応答、組織・器官形成、発生プロセス、神経ネットワーク形成などを対象に生命現象をシステムとしてとらえ、細胞生物学および分子生物学を基盤とする実験的アプローチと数理解析・数理モデル的アプローチの両面から追求する先端的な研究を推進できる研究人材を育成する。また、従来のバイオサイエンス研究に、情報技術やナノ技術などの新しい手法・視点を導入して、革新的な新たな科学・技術を創造する意欲と能力を持つ人材を育成する。

研究室及び教員	教 育 研 究 分 野 項
<p>■ 原核生物分子遺伝学</p> <p>教授 真 木 壽 治 准教授 秋 山 昌 広 助教 真 木 智 子 助教 古 郡 麻 子</p>	<p>遺伝情報の正確な伝達がどのような仕組みに支えられているのか、あるいはこれとは逆に、不正確な遺伝情報の伝達により引き起こされる突然変異や染色体再編・異常はどのようなプロセスを経て発生するのかについて研究・教育を行う。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>DNA複製、DNA修復、DNA組換え、突然変異、染色体の再編、進化、細胞増殖、細胞周期制御、酸素ラジカルによるDNA損傷、DNA損傷応答</li> </ul>
<p>■ システム微生物学</p> <p>教授 森 浩 禎 助教 武 藤 愛</p>	<p>細胞内機能ネットワークの完全な解明を目指したシステムズバイオロジーの教育・研究を行う。生物学上最も研究蓄積の大きい大腸菌を使い、全遺伝子の相互関係解明を目指したネットワーク生物学を進める。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>ネットワークバイオロジー、システムズバイオロジー、ゲノム情報解析、interactome、transcriptome、proteome、metabolome</li> </ul>
<p>■ 細胞シグナル</p> <p>教授 塩 崎 一 裕 助教 建 部 恒 恒 助教 福 田 智 行</p>	<p>酵母からヒトまで進化的に保存された細胞内シグナル伝達ネットワークの構造とメカニズムの解明を通して、疾患における細胞機能不全の分子機構の理解を目指した研究・教育を行う。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>リン酸化によるタンパク質機能制御、タンパク質相互作用ネットワーク、酵母分子遺伝学、ゲノム改変技術、細胞イメージング、糖尿病・がん増殖</li> </ul>
<p>■ ストレス微生物科学</p> <p>教授 高 木 博 史 助教 大 津 巖 生 助教 渡 辺 大 輔</p>	<p>微生物が進化の過程で獲得した様々な「環境ストレス」に対する適応機構について、分子・代謝・細胞レベルで解明し、多様な微生物機能を理解するとともに、微生物育種・物質生産などの技術開発を通して、バイオテクノロジーへの貢献を目指した研究・教育を行う。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>応用分子微生物学、分子育種、物質生産、酵素機能改変、ゲノム情報、代謝制御、環境ストレス応答・耐性、シグナル伝達、アミノ酸の生理機能、レドックス制御、タンパク質活性制御、炭酸固定</li> </ul>
<p>■ 構造生物学</p> <p>教授 箱 嶋 敏 雄 助教 北 野 健 健 助教 平 野 良 憲 特任助教 森 智 行</p>	<p>生命の調和のとれた「複雑さ」や「しなやかさ」の根源にあるタンパク質の高度な分子認識と、ダイナミックな構造変化を通して実現される活性制御や機能変換のメカニズムを、三次元分子構造に基づいて、原子レベルで解明する。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>構造細胞生物学、構造分子医学、構造植物学、化学生物学、蛋白質結晶学、細胞内シグナル伝達、細胞接着・細胞骨格、力学センサータンパク質、薬物標的タンパク質、植物ホルモン受容体</li> </ul>
<p>■ 膜分子複合機能学</p> <p>准教授 塚 崎 智 也 助教 田 中 良 樹</p>	<p>生体膜を舞台とした基本的な生命現象には様々な膜蛋白質複合体が関わっている。これら複合体が織りなすダイナミックな構造変化に起因する分子メカニズムの解明に向け、新たな研究手法を組み合わせた構造生物学的解析による基礎研究・教育を行う。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>蛋白質科学、構造生命科学、蛋白質輸送、蛋白質立体構造形成、蛋白質相互作用、膜蛋白質複合体、トランスロコン、分子メカニズム、膜輸送体、X線結晶構造解析</li> </ul>
<p>■ 遺伝子発現制御</p> <p>教授 別 所 康 全 助教 松 井 貴 輝 助教 中 畑 泰 和</p>	<p>脊椎動物発生の過程で起こる体節形成や概日時計などの生物リズム、発生過程で起こる細胞運動パターン形成など生命の動的な現象の動作原理を解明することを目的とした研究・教育を行う。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>脊椎動物の体節形成、遺伝子発現の調節、発生過程の時間的制御、概日時計、細胞移動、左右パターン形成、ライブイメージング</li> </ul>
<p>■ 神経システム生物学</p> <p>教授 稲 垣 直 之 助教 浦 崎 明 宏</p>	<p>神経細胞や組織の形態形成の仕組みを、シグナル伝達、細胞骨格、細胞内輸送の観点から、分子・細胞・発生生物学的手法、力計測及び数理モデルの手法を用いて統合的に解明するとともに、その破綻により引き起こされる疾患の原因解明と治療法開発を目指す研究・教育を行う。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>神経回路、軸索、極性、対称性の破れ、細胞移動、細胞骨格、細胞内分子輸送、牽引力、シグナル伝達、ライブイメージング、ノックアウトマウス、ゼブラフィッシュ、システムバイオロジー、再生医学</li> </ul>
<p>■ 細胞機能システム(学生配属はしない)</p> <p>★教授 箱 嶋 敏 雄 助教 小 林 和 夫 助教 大 島 拓 周 助教 石 川 周</p>	<p>生命の基本単位である細胞を、ゲノムに書き込まれた遺伝子のネットワークと捉え、そのダイナミックな動態を解明するための研究・教育を行う。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>細胞ゲノムの構造と機能、細胞の情報伝達・転写制御ネットワーク、細菌の必須遺伝子の機能ネットワーク、細菌の細胞周期の制御機構</li> </ul>
<p>■ 細胞機能学(学生配属はしない)</p> <p>★教授 真 木 壽 治 助教 小 野 寺 慶 子</p>	<p>有用な微生物機能の分子・細胞レベルでの探索、解析、改良による微生物育種(酵母、大腸菌、放線菌など)、物質生産(アミノ酸、酵素、カロテノイド、キラルアルコールなど)、技術開発(食品、エネルギー、環境関連など)に関する基礎的研究・教育を行う。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>応用分子微生物学、探索・機能解析、分子育種、有用物質生産、酵素機能改変、ゲノム情報、代謝制御機構、ストレス耐性機構、レドックス制御、タンパク質分解、サイトメトリー、代謝工学、タンパク質工学</li> </ul>

専攻の研究室内、教育連携研究室名及び教育研究分野

注) ★印:兼任

## 教育連携研究室

バイオサイエンス専攻の3領域に含まれる研究室での研究内容に関連し、活発で質の高い研究活動を行っている近畿圏の研究機関と教育研究の連携協定を締結している。これらの研究機関に所属し、学生指導の意欲と能力を持つ研究者に、専攻の客員教授として博士前期および後期課程の学生の研究教育を担当してもらっている。バイオサイエンス専攻の学生は教育連携研究室を配属先として選択することができ、3領域の研究室と同様に学位論文研究を行うことが可能である。

研究室及び教員	教 育 研 究 分 野 項
<b>■ 疾患分子遺伝学</b> 客員教授 加藤 菊也	<b>ヒトの癌組織の分子生物学、特にゲノム科学の手法を用いた解析により、あたらしい診断治療法開発を目指した研究・教育を行う。</b> ● 癌の分子診断、分子標的薬、癌免疫療法、トランスクリプトーム、全ゲノム解析 ( 連携機関名: 大阪府立成人病センター研究所 )
<b>■ 組織形成ダイナミクス</b> 客員准教授 倉永 英里奈	<b>組織形成が発生の時間軸に沿ってどのように制御されているのか、ライブイメージングや遺伝学を用いて、個体・細胞・分子レベルで明らかにすることを目指した研究・教育を行う。</b> ● 組織形成、細胞死、細胞移動、細胞分裂、細胞分化、ライブイメージング、ショウジョウバエ、スクリーニング、組織再編成、組織形成の定量解析 ( 連携機関名: 独立行政法人理化学研究所 多細胞システム形成センター )
<b>■ 細胞成長学</b> 客員准教授 西村 隆史	<b>個体成長と発生タイミングの調節制御に関わる、組織間および細胞内シグナル伝達の分子基盤解明を目指した基礎研究・教育を行う。</b> ● 細胞成長・増殖、シグナル伝達、ショウジョウバエ、個体サイズ、発生タイミング、代謝制御 ( 連携機関名: 独立行政法人理化学研究所 多細胞システム形成センター )
<b>■ 微生物分子機能学</b> 客員教授 乾 将行	<b>統合オミックス解析と代謝改変により創製した微生物機能を駆使して、バイオリファイナリー(バイオマス有効利用とバイオ燃料・グリーン化学品生産等)に関する基礎研究・教育を行う。</b> ● 微生物学、分子生物学、ゲノム工学、培養工学、メタボローム解析、メタボリックエンジニアリング、システムバイオロジー、高効率バイオプロセス ( 連携機関名: 公益財団法人地球環境産業技術研究機構 )

専攻の研究室名、  
教育連携研究室名及び教育研究分野

### 3 バイオサイエンス研究科の教育 及び 研究指導方針



### 3 バイオサイエンス研究科の教育及び研究指導方針

#### 進路希望と学習歴・学習到達度等に応じた教育コース

バイオサイエンス研究科に入学する学生の進路希望が多様化していることと、産業界や社会の変化により大学院修了後に活躍が期待される分野が大きく広がっていることから、本研究科では平成16年度からバイオエキスパートコースとフロンティアバイオコースの2つの教育コースを、平成22年度から英語のみの授業で学位取得が可能な国際コースを開設し、併せて3つの教育コースを設けています。

3つの教育コースのうち、国際コースは国際コース向けの入学試験を受験して入学した学生が対象となりますので、ここではバイオエキスパートコースとフロンティアバイオコースについてのみ概説します。

#### <コースの選択>

学生は、各自の進路希望と入学試験及びオープニングテストの成績に基づいて定められた基準とを参考に、研究科教務委員会の指導を受け、バイオエキスパートコースとフロンティアバイオコースのいずれかを選択します。博士前期課程修了後に企業等に就職することを希望する者はバイオエキスパートコースを選択することができます。また、バイオエキスパートコースの学生は、2年次春学期の終わりまでに、指導教員と相談の上、研究実験かあるいは課題研究を修得するかを決定します。

入学試験やオープニングテストにおいて十分な基礎学力を有すると認められる者のうち、博士後期課程への進学を希望するものは、1年次の4月に教務委員会へ申請しフロンティアバイオコースを選択することができます。本コースの学生に対しても博士前期課程の修了により修士の学位の授与が行われます。

#### <コースの変更>

コースの選択は1年次の春学期に確定します。バイオエキスパートコースからフロンティアバイオコースへ変更する場合は、バイオエキスパートコースで博士前期課程を修了した後、博士後期課程入学試験を受験して博士後期課程へ進学することになります。フロンティアバイオコースからバイオエキスパートコースへの変更は基本的に認めませんが、止む得ない事情により変更する必要がある場合は、2年次の春学期終了までに指導教員と相談の上、教務委員会に申請します。

## バイオエキスパートコース

### 教育目標

入学者の多様な進路希望に合った弾力的な教育を目指します。特に、将来、企業において活躍する際に重要となるバイオサイエンスに関連する幅広い知識の習得、実用的な科学英語能力の向上、プレゼンテーションやコミュニケーション能力の向上などに重点をおきます。また、産業活動・社会活動における科学技術の問題点やあるべき姿を考察する能力や倫理観を養成します。

### 指導計画と方針

#### 1. 学習歴および学習到達度にあわせた講義の選択と、少人数のディスカッションによるバイオサイエンス知識の体系的な教育

基礎科目としてまず「先端科学のための実践生物学I～II」を受講することになります。この講義では、細かな知識を記憶するのではなく、分子生物学および細胞生物学の基本的概念と全体像を把握することに重点をおきます。オープニングテストの成績により2クラスに分け、学習歴と学習到達度にあわせた教育を行います。この講義と密接にリンクした「バイオゼミナール基礎I～II」と「バイオゼミナール実践I～II」は少人数のクラス単位で実施するディスカッションを中心とした演習です。指定された課題に取り組み、学生同士での発表と質疑を通じて学習した内容の理解を深め、発表力、コミュニケーション力の育成を行います。

#### 2. 英語教育の充実

入学後すぐに、TOEIC英語試験を受験し、各自の英語能力を把握・点検します。TOEICテストの対策に主眼をおいた「実践キャリア英語」を受講します。英語の能力別にクラス編成を行い、きめ細やかな指導をします。また、博士前期課程の2年間を通してI、II、IIIと段階的にレベルアップを図ることができるよう設計されています。毎年4月と1月にTOEICを受験して、英語能力の向上度をチェックします。

#### 3. 研究室配属

研究室への配属は、各研究室の研究内容に関する講義「現代生物学概論」を聴いた後、希望調査をもとにおこなわれます。配属希望者が多数の場合には、入試結果やオープニングテストにおける結果を参考にして配属を決定します。4月末ごろに研究室配属が決定され、各研究室における研究をスタートします。

#### 4. キャリアパス形成の支援

修了後に、企業などで研究開発に取り組むためには博士前期課程でどのような知識と能力を習得すべきかを理解するため、研究開発に携わる企業人による「バイオインダストリー特論」で企業活動について学び、さらに企業の活動を実際に体験する演習プログラム「バイオインダストリー特論演習」を実施します。



## 5. 修士論文研究

研究室配属後にスタートする修士論文研究は、「研究実験」と「課題研究」のどちらかを選択して行います。「研究実験」は研究課題に対して実験を中心にアプローチするのに対して、「課題研究」では論文や書物などの文献や各種データベースを対象にした調査や分析を通じて研究課題にアプローチします。主指導教員の指導に加えて、アドバイザー教員による複数指導教員制をとっています。1年次秋には、修士論文研究の目的や研究計画をディスカッションする「プロジェクト演習」を受講して各自の研究分野での基礎知識を深めます。また、2年次後半には中間報告を行って、研究の進捗のチェックと主指導教員以外の教員からのアドバイスを受けることができます。

## 6. クラス担任とアドバイザー教員

研究室での指導教員による指導以外に、各学生はクラスに所属し、クラス担任から修学や学生生活に関するさまざまな指導を受けることができます。また、就職アドバイザーによるガイダンス等を受けることができます。

## 7. 博士後期課程への進学

修学中に博士号取得を目指す方向に意思変更したバイオエキスパートコース学生は、博士後期課程入学試験を受験し、合格することにより後期課程へ進学することができます。

## カリキュラムの概要

### 1. 1年次の基礎的な専門教育(必修)

まず、「先端科学のための実践生物学 I~II」を履修します。この科目では、参考書としてアルバーツら著「エッセンシャル細胞生物学」を用います。細かな知識を教員が一方的に話すのではなく、基本的な概念を説明し、講義中の学生同士のディスカッションを通じて、最も重要な概念を理解させることを目指します。学生は予習復習をすることが求められます。次に受講する「バイオゼミナール基礎 I~II」では、学生を10~12人程度の小グループに分け、演習形式の講義により、自らが学ぶ習慣を身に付けながら基礎知識を習得していきます。「バイオゼミナール実践 I~II」では、配属研究室の研究分野での専門的な基礎知識を演習形式の講義で学んでいきます。「プロジェクト演習」では、4月末ごろから始まる各配属研究室での研究実験のテーマについて、学生同士がディスカッションを重ねることにより、研究テーマに対する理解を深めることを目指します。

## 2. 1・2年次の特論による専門教育（選択）

1年次春学期のバイオインダストリー特論では、外部講師による企業におけるバイオテクノロジー研究の現状に関する講義を実施します。さらにこの講義に関連した「バイオインダストリー特論演習」で二つの企業を訪問し調査することにより、企業で活躍するための素養や基礎知識がどのようなものであるか学び、キャリア形成の促進を図ります。

研究実験を行う学生は2年間で3単位以上の単位修得を、課題研究を行う学生は2年間で5単位以上の単位修得を必要とします。

## 3. 英語教育（必修）

入学後、3回のTOEIC英語試験を行い、英語力の上昇をチェックします。入学時のTOEICの成績を参考にクラスを分け、「実践キャリア英語」を受講します。

## 4. ゲノム先端科学・社会生命科学（必修）

「ゲノム先端科学」では、現代社会が抱えるさまざまな問題を認識し、それらに科学技術がどう立ち向かっていくのかを学びます。「社会生命科学」では、生命倫理および科学倫理の観点を含む、社会と科学の関わり方を幅広い観点から学びます。この2科目は必修となっています。

## フロンティアバイオコース

### 教育目標

最先端バイオサイエンスに関する研究と教育の国際的拠点を目指して、バイオサイエンス研究科では平成14年度から21世紀COEプログラム「フロンティアバイオサイエンスへの展開」の活動を開始し、とくに博士後期課程での教育に着実な成果をおさめてきました。この取り組みをさらに強化・充実させる目的で、自立した基礎研究者の育成のための5年一貫教育コースを平成16年度からスタートさせました。本コースの受講者は、博士後期課程内部進学審査が簡略化され、5年間の標準修業年限をフルに生かした大学院教育を受けることが可能になりました。

フロンティアバイオコースでは、自立した研究者として活躍する際に重要となる、解決すべき問題を自ら探しだし、自らの力で問題の解明を行える研究能力、バイオサイエンスに関連する幅広く深い知識の習得、英語を含めたプレゼンテーションやコミュニケーション能力の向上などに重点をおきます。また、研究活動における科学技術の問題点やあるべき姿を考察する能力や倫理観を養成します。

### 指導計画と方針

#### 1. 学習歴および学習到達度にあわせた講義の選択と、少人数クラスでの討議を中心とした講義と演習

基礎科目としてまず「先端科学のための実践生物学I～II」を受講することになります。この講義では、細かな知識を記憶するのではなく、分子生物学および細胞生物学の基本的概念と全体像を把握することに重点をおきます。オープニングテストの成績によりバイオエキスパートコースの学生と合わせて2クラスに分け、学習歴と学習到達度にあわせた教育を行います。この講義と密接にリンクした「バイオゼミナール基礎I～II」と「バイオゼミナール実践I～II」は少人数のクラス単位で実施するディスカッションを中心とした演習です。指定された課題に取り組み、学生同士での発表と質疑を通じて学習した内容の理解を深め、発表力、コミュニケーション力の育成を行います。

また、1年次秋学期からは、フロンティアバイオコース用の講義「フロンティアプロジェクト演習」が始まります。2年次からは、最新の研究成果についてのセミナーを聴講する「フロンティアバイオチュートリアル」を開講し、特論講義とともに、最先端の研究成果をより深く理解することを目指します。また、5年間を通じた英語教育のカリキュラムにより、研究者として国際的に活躍する上で不可欠なコミュニケーションスキルの向上を目指します。

#### 2. 配属研究室・指導教員の選択

フロンティアバイオコースの選択は4月に行います。コース受講者には自らの判断で指導教員や研究テーマの方向を選択させます。そのために、入学直後に実施される「現代生物学概論」などを参考にするとともに、ローテーションで複数の研究

室に滞在し、実際に実験を行ったり、教員や先輩大学院生と話し合いを行います。その後、自分の興味や教員との適合性を吟味したうえで、配属研究室を決定します。

### 3. 指導教員+2名以上の教員から構成されるアドバイザーコミティーによる研究指導

研究室での研究指導の開始とともに、コース受講者の個々人に指導教員+2名以上の教授・准教授をメンバーとしたアドバイザーコミティーを設置し、ほぼ1年に1回の定期的なコミティー開催による継続的な指導をおこないます。学年進行に応じて研究計画書や研究報告書、学位論文の研究提案などを提出させ、ヒアリングを通じて評価やアドバイスをしておこないます。これにより、自立した研究者として不可欠な問題探索能力・問題解決能力を伸ばしていくとともに、研究提案や研究報告のスキルを実践的に育成します。コミティーのメンバーが学位審査委員を兼ねるために、学位論文の作成の上でも長期にわたる効率的な指導が可能となります。

### 4. クラス担任制度と5年間継続したクラス指導

コース受講者は15名程度の二つのクラスに分かれて、それぞれのクラス担任教員の指導や助言を5年にわたって受けることが出来ます。研究室での研究指導とは補完的に、修学上あるいは学生生活上のアドバイスをを行います。

## カリキュラムの概要

### 1. 1年次の基礎的専門教育（必修）

基礎科目としては、「現代生物学概論」、「先端科学のための実践生物学I、II」、「バイオゼミナール実践I、II」など、バイオエキスパートコースと共通の科目を学びます。「バイオゼミナール基礎I、II」は研究室のローテーションでの学習とその成果発表により履修します。また、「フロンティアプロジェクト演習」により、ディスカッションを通じて5年間の課程中に行う研究テーマに関する基礎知識を学び、プレゼンテーション力やコミュニケーション能力の育成を行います。

### 2. 1・2年次の特論による専門教育（選択必修）

主に7月から12月までの期間に開講される特論講義では、知的財産やバイオインフォマティクスなど融合領域の講義を用意しています。これらの特論は、基礎知識の充実した2年次に習得することを勧めています。

2年間で「フロンティアバイオチュートリアル」を含め2科目以上（3単位）の受講が必要です。

### 3. 5年間を通じた国際化教育と研究者育成教育

入学後すぐに、TOEIC英語試験を受験し、各自の英語能力を把握・点検します。TOEICテストの対策に主眼をおいた「実践キャリア英語」を受講します。英語の能力別にクラス編成を行い、きめ細やかな指導をします。また、博士前期課程の2年間を通してI、

II、IIIと段階的にレベルアップを図ることができるよう設計されています。毎年4月と2年次の1月にTOEICを受験して、英語能力の向上度をチェックします。

1年次秋学期、2年次春学期及び秋学期に、英語でのコミュニケーション能力に重点をおいた「グローバルコミュニケーションの手法」、「英語による科学的発見の思考法」、「発音とリズムのコミュニケーション技術」を主に専任の英語担当外国人教員が指導します。また、博士後期課程1年次に1ヶ月間の海外英語研修「海外ラボインターンシップ」を実施し、実地英語教育と海外の研究室に滞在することにより国際性の涵養を図ります。

博士後期課程では、「仮想研究プロジェクト」により博士論文テーマとは異なる未解明の生命科学の問題について、問題解決の手段ならびに将来の展望を整理して発表することにより、解決すべき問題を自ら探し出す探査能力を育成し、問題解決に向けた方策を提案できる思考力と論理力を養成します。さらに海外の教育研究連携締結校から招聘した外国人教員によるセミナー形式の集中講義「国際バイオゼミナールI～VI」により英語での講義および演習を受講することができます。4年次(博士後期課程2年次)に行われるサマーキャンプでは英語による口頭研究発表を行います。研究プロジェクトプレゼンテーション」として担当教員との個人指導による英語によるプレゼンテーションの技法を学びます。また、サマーキャンプの後に開催される「国際学生ワークショップ」では、海外から招いた学生と寝食をともにしながら、研究について討論し生きた英語によるコミュニケーションを学びます。英語によるプレゼンテーションやコミュニケーション能力に優れた学生は、5年次(博士後期課程3年次)に米国で開催される「UCDリトリート」に参加することにより更にスキルアップを図り、外国人研究者や学生と人的ネットワークを強めることもできます。

#### 4. 学位論文研究とアドバイザーコミティーによる研究指導

2年次8月には研究進捗報告書の提出とヒアリングを実施します。その後も、2年次2月、3年次8月、4年次8月、5年次の秋に研究進捗報告書の提出とヒアリングを実施し、アドバイザーコミティーが指導と評価を行います。2年次2月のヒアリングが修士論文審査に相当します。博士論文の研究内容についてはアドバイザーコミティーのみならず、それ以外の研究科教員による予備審査が行われます。早期修了を目指す場合には5年次以前でも予備審査を行えます。この審査に合格すれば、本審査を受けることができます。本審査は主にアドバイザーコミティーから構成される学位論文審査委員会が審査を行います。



## NAIST最優秀学生賞と最優秀学生賞

博士前期課程（BXコース）および博士後期課程（FBコースおよび国際コース）の修了時（毎年度、3月修了者が対象）に、修了者の学位論文あるいはそれに相当する論文の審査とそれ以外の成績や研究業績を総合的に判断して、それぞれの課程修了者の中から若干名を最も優秀な学生として選定し、NAIST最優秀学生賞および最優秀学生賞を与えるとともに、賞金と記念品を贈ります。

NAIST最優秀学生賞は、学位記授与式において奈良先端科学技術大学院大学支援財団理事長より贈呈されます。また、最優秀学生賞は、学長により表彰され、研究科での修了式において研究科長より贈呈されます。

学位論文審査にあたっては、学位論文審査会において研究科の全ての教授および准教授が学位論文発表および質疑を聴講して評点を与え、審査員の人数で調整した総合得点により評価します。なお、博士後期課程修了者は全員が審査の対象になりますが、博士前期課程の修了者については指導教員の推薦を受けた学生、それ以外の学生で最優秀学生賞の審査を希望するものが対象となります。

FBコースおよび国際コースの2年次修了生を対象に、矢野賞の選定を行います。矢野賞は、バイオサイエンス研究科博士後期課程3年に在学中、2004年11月4日に交通事故で逝去した矢野大輔君のご遺族からの寄付金を基にしたものです。矢野君は逝去した時、既にPNASに第一著者としての論文を公表しており、また、日本学術振興会の博士課程研究員でした。矢野君は、博士課程約5年間の間、自分の興味に基づいて、敢えて困難なテーマにチャレンジし、粘り強く努力を重ねる事で着実に研究を前進させてきました。本研究科において、博士の学位取得を目指す学生諸君が、こうした矢野君の精神を引き継ぎ、研究者として成長していくことを期待して、チャレンジ精神と努力で前期課程2年間で修了し、後期課程3年間へ進もうとする、FBコースおよび国際コースの前期課程修了者、若干名に矢野賞を授与します。その選考は、前期課程2年間の研究内容と、それに基づく後期課程での研究計画の意欲性・独創性についての、アドバイザーコミティーヒアリング（学位審査会）における発表と質疑を基にした、出席した全教授・准教授による評点を参考にして、研究科の優秀学生賞選考委員会で決定します。

4 バイオサイエンス研究科履修要件等  
(バイオサイエンス研究科履修規程を含む)

## 4 バイオサイエンス研究科履修要件等

## 修了要件

## 博士前期課程

学生は、研究科教務委員会の指導を受け、フロンティアバイオコースあるいはバイオエキスパートコースのいずれかを選択すること。

また、バイオエキスパートコースを選択した学生は、指導教員と協議の上、研究実験又は課題研究の組合せを選択すること。

修了要件一覧 [平成27年度入学者用]

授業科目の種類	設置 単位数	フロンティア バイオコース	バイオエキスパートコース	
		必要修得単位数	必要修得単位数	
共通科目	科学技術論・科学技術者論	1	1	
	計算機システムI~II	2	(**)	
	アルゴリズムI~II	2	(**)	
	物質創成科学概論	1	(**)	
	科学コミュニケーション	1	(**)	
	科学哲学	1	(**)	
	技術と倫理	1	(**)	
	バイオサイエンス概論	1	(*)	
一般科目	グローバルアントレプレナーI	1	(*)	
	グローバルアントレプレナーII	1	(*)	
	グローバルアントレプレナーIII	1	(*)	
	グローバルアントレプレナーIV	1	(*)	
	グローバルアントレプレナーPBL	1	(*)	
	プロトタイピングI	1	(*)	
	プロトタイピングII	1	(*)	
	実践キャリア英語 I	1	1	
	実践キャリア英語 II	1	1	
	実践キャリア英語 III	1	1	
	グローバルコミュニケーションの手法	1	(*)	
	発音とリズムのコミュニケーション技術	1	(*)	
	英語による科学的発見の思考法	1	(*)	
	社会生命科学	1	1	
	ゲノム先端科学	1	1	
基礎科目	現代生物学概論	1	1	
	先端科学のための実践生物学I~II	2	2	
	応用生命科学・微生物バイオテクノロジー	1	1	
	応用生命科学・環境植物科学	1		
	応用生命科学・バイオメディカルサイエンス	1		
	応用生命科学・情報生命科学	1	2	
	バイオゼミナール基礎I~II	2		
	バイオゼミナール実践I~II	2		
	プロジェクト演習	1	—	
フロンティアプロジェクト演習	1	1		
専門科目	発生生物学特別講義	1	2	
	バイオインダストリー特論	1		
	バイオインダストリー特論演習	1		
	動物科学特論	1		
	植物科学特論	1		
	統合システム生物学特論	1		
	知的財産特論	1		
	情報生命科学特論	1		
	生命機能計測学	1		
	システムズバイオロジII	1		
	国際バイオ特論 I	1		3
	国際バイオ特論 II	1		
	フロンティアバイオチュートリアル	1	1	5
			—	



授業科目の種類	設置 単位数	フロンティア バイオコース	バイオエキスパートコース	
		必要修得単位数	必要修得単位数	
ゼミナールI～IV	8	4	4	4
研究実験I～IV	12	6	6	—
研究論文	2	2	2	—
課題研究I～IV	8	—	—	4
課題論文	2	—	—	2
合 計		30	30	30

— : コースにより履修することのできない授業を示す。

(\*) : この授業の単位は、修了の要件となる単位としては算入しない。

(\*\*): 情報科学研究科及び物質創成科学研究科が他研究科学生に履修を認めている授業科目を履修し修得した単位及び共通科目を修得した単位については、専門科目として計2単位まで修了の要件となる単位として充当することができる。

## 博士前期課程 国際コース (International course of master program)

Students from foreign countries and Japanese students who have fluency in English can enroll in this International course after consultation with the education committee of the school.

List of subjects and requirements (For students who enroll in 2015)

Section	Subject	Credit allocated	Credits required for completion
Common	Japanese Class for Beginners I	2	*
	Japanese Class for Beginners II (1)	1	*
	Japanese Class for Beginners II (2)	1	*
	Japanese Class for Beginners III (1)	1	*
	Japanese Class for Beginners III (2)	1	*
	Technology and Professional Ethics	1	1
Responsible Conduct of Research	1		
General	Professional English I	1	*
	Professional English II	1	*
	Professional English III	1	*
	Communication Strategies	1	*
	Communication Quality through Phonology	1	1
	Logic in Scientific Discovery	1	1
	Basic	Molecular Cell Biology	1
Advanced Topics in Bioscience		1	1
Laboratory Rotation I		1	1
Laboratory Rotation II		1	1
Literature in Bioscience Research I		1	1
Literature in Bioscience Research II		1	1
Research Presentation Forum		1	1
Special	International Forefront in Bioscience I	1	3
	International Forefront in Bioscience II	1	
	Bioscience Colloquium	1	
	UCD Online Seminar	1	
	**Systems Biology I	1	
	Bioresource Research Proposal	1	*
Seminar I-IV		8	6
Research Experiment I-IV		12	9
Thesis		2	2
Total credits required for completion			30

\* Not counted toward the degree requirement.

\*\* Subjects in Graduate School of Information Science.

## 博士後期課程

学則第42条及び学位規程に関連

### 1. 博士後期課程の修了要件

博士後期課程を修了して、博士の学位を取得しようとする者は、定められた授業科目の必要な単位を修得し（P52のバイオサイエンス研究科教育課程表を参照）、必要な研究指導を受けた上、博士論文を提出して、その内容を審査会で発表し、論文審査及び最終試験に合格しなければならない。

### 2. 博士論文を提出するときの条件は次のとおりである。

- (a) 博士論文の研究内容に、独創性、新規性あるいは有効性があること。
- (b) アドバイザーコミティー及びその他の教員による学位申請予備審査に合格すること。

### 3. 博士の学位を授与する条件

論文審査により、博士論文を提出した者が、独立した研究者又は技術者として、研究・開発活動を続けて行く十分な素養を備えていると判断できること。

## Doctoral Course

In connection with Article 42 of the NAIST Regulations and the Degree Regulations

### 1. Completion requirements for the Doctoral Course

Individuals who wish to complete the Doctoral Course and obtain a doctoral degree are required to earn necessary credits in specified subjects (refer to Graduate School of Biological Sciences curriculum table p.52), receive necessary research guidance, submit a doctoral thesis, deliver a presentation before the Screening Committee, and pass the doctoral thesis examination and final examination.

### 2. To submit a doctoral thesis, the following requirements must be met:

- (a) The research is characterized by its originality, novelty, or applicability.
- (b) The thesis has passed a degree application preliminary examination by the Advisory Committee and other faculty members.

### 3. Conditions for awarding a doctoral degree

A doctoral degree is awarded to individuals who are recognized to be fully capable of continuing research and development as independent researchers or engineers based on the doctoral thesis submitted for the thesis examination.

## 授業科目の履修等

### ・履修方法等

#### 1. 履修手続

授業科目の履修計画については、指導教員とよく相談し「履修届」を作成の上、指定された期日までに本研究科事務室へ提出してください。

なお、バイオエキスパートコースを選択した学生は、指導教員と協議の上、研究実験又は課題研究の組合せを選択してください。

#### 2. 入学前の既修得単位の認定について

本研究科教授会において教育上有益と認めるときは、10単位を超えない範囲で本研究科入学前の大学院での既修得単位を認定することができます。認定を願い出る者は次の書類を添えて学生課学務係まで願い出てください。

- (1) 入学前の既修得単位認定願出書（学生課にあります。）
- (2) 単位を修得した大学院の単位修得・成績証明書
- (3) 認定を希望する授業科目の講義内容が説明できる書類（講義概要等の写）

※願出手続き等の日時については、掲示等により連絡しますので注意してください。  
詳しくは学生課学務係までお問い合わせください。

#### 3. 他の研究科との間における授業交流

本研究科と情報科学研究科及び物質創成科学研究科との間において授業交流を実施していますので、履修希望者は次の事項を熟読の上、所定の手続きをとってください。詳細については、学生課学務係に照会してください。

- (1) 履修方法等について
  - ① 履修希望学生は、所定の履修願を提出してください。
  - ② 履修することができる授業科目は、次のとおりです。

研究科名	授業科目の種類
情報科学研究科	基礎科目及び専門科目
物質創成科学研究科	一般科目、基礎科目及び専門科目

- ③ 履修希望学生は、相手研究科の学生ハンドブックのシラバス及び時間割を参考に履修科目を選定し、主指導教員の承諾及び履修しようとする当該授業科目担当教員の許可を得てください。
  - ④ 授業科目によっては、相手研究科の授業収容人数その他の都合により、履修が許可されないことがあります。
- (2) 単位の認定について
 

相手研究科で認定された単位及び共通科目を修得した単位については、専門科目として計2単位まで修了の要件となる単位として充当することができます。
  - (3) 履修願取扱期間
 

履修願の提出期間及び提出先等手続きに関する詳細については、後日掲示等にて連絡します。

#### 4. 他の大学院との間における授業交流

本研究科と奈良女子大学大学院人間文化研究科（生活環境学専攻及び生物科学専攻）と

の間において授業交流を実施しています。

履修希望者は次の事項を熟読の上、所定の手続きをとってください。詳細については、学生課学務係に照会してください。

(1) 履修方法等について

- ① 希望学生は、所定の履修願及び理由書を提出してください。
- ② 総単位数は、博士前期課程において、10単位以下とします。
- ③ 履修科目の範囲は、原則として講義のみとし、演習、実習、実験、研究等を含みません。
- ④ 授業科目によっては、相手大学院研究科の授業収容人数その他の都合により、履修が許可されないことがあります。

(2) 単位の認定について

当該授業科目を履修する前に、本研究科教授会で修了に必要な単位として認められた場合は、相手先大学院研究科で修得した単位は、本研究科所定の単位に認定します。

(3) 履修願及び理由書取扱期間

詳しい日程は、各大学により取扱いが異なりますので、後日掲示にて連絡します。

(4) 履修願及び理由書提出手続

- ① 履修願及び理由書の用紙は、学生課学務係で交付します。
- ② 履修希望学生は、相手大学院研究科の講義内容及び開講時期等を参考に履修科目を選定し、指導教員の承認（承認印を必要とする）を得て、履修願及び理由書を学生課学務係に提出してください。

## 5. 成績表の交付について

登録科目の確認及び成績の結果については、附属図書館玄関ロビーの証明書自動発行機により成績表（交付用）を出力し、本人自らが確認する方法を取っています。

## 6. 他の大学院等における研究指導

他の大学院や研究所等において研究指導を受けることが教育上有益であると認められた場合には、該当する他の大学院等と協議の上、他の大学院等において必要な研究指導を受けることができます。研究指導を受けられる期間は、博士前期課程、博士後期課程ともそれぞれ通算して1年以内ですが、博士後期課程については、期間の延長を認められることがあります。他の大学院等における研究指導を希望される場合は、事前に指導教員と相談の上、指導を受ける予定月の2ヶ月前までに学生課学務係に連絡してください。

### ・教育職員免許状（専修免許状）について

現に中学校教諭又は高等学校教諭一種免許状（理科）を有する者は、本学の博士前期課程を修了する時に次に掲げる「教科に関する科目」を24単位修得していれば当該校種の専修免許状（理科）を取得することができます。

奈良県教育委員会への申請は、学生課学務係が一括して行います。手続き等詳細については、10月中旬に申請予定を照会后、1月頃に電子メール等により通知します。

(教科に関する科目)

	授 業 科 目 名
共通科目	物質創成科学概論
一般科目	社会生命科学、ゲノム先端科学
基礎科目	現代生物学概論、先端科学のための実践生物学Ⅰ、先端科学のための実践生物学Ⅱ、応用生命科学・微生物バイオテクノロジー、応用生命科学・環境植物科学、応用生命科学・バイオメディカルサイエンス、応用生命科学・情報生命科学、バイオゼミナール基礎Ⅰ、バイオゼミナール基礎Ⅱ、バイオゼミナール実践Ⅰ、バイオゼミナール実践Ⅱ、プロジェクト演習、フロンティアプロジェクト演習
専門科目	発生生物学特別講義、バイオインダストリー特論、バイオインダストリー特論演習、動物科学特論、植物科学特論、フロンティアバイオチュートリアル、国際バイオ特論Ⅰ、国際バイオ特論Ⅱ
実習等	研究実験Ⅰ、研究実験Ⅱ、研究実験Ⅲ、研究実験Ⅳ、課題研究Ⅰ、課題研究Ⅱ、課題研究Ⅲ、課題研究Ⅳ

以上の授業科目から、24単位を修得すること。

## ・交通機関運休及び気象警報発令の場合の授業の取扱いについて

### 1. 交通機関運休の場合

大規模な災害、事故等の発生により、通学路線のうち「近鉄電車(けいはんな線、奈良線、京都線)」あるいは「奈良交通バス(学研北生駒駅、学園前駅、高の原駅路線)」が運休した場合、授業は休講とします。

なお、運休が解除された場合の取扱いは次表のとおりです。

### 2. 気象警報発令時の場合

奈良市・生駒市のいずれか又はこれらの市を含む地域に「暴風警報(又は暴風雪警報)」又は「特別警報」が発令された場合、授業は休講とします。

なお、同警報が解除された場合の取扱いは次表のとおりです。

運休及び警報解除時刻	授業の取扱い
午前7時以前に解除された場合	全日授業実施
午前10時以前に解除された場合	午後授業実施
午前10時を超過しても解除されない場合	全日授業休講

(注) 運休(運行)及び発令(解除)の確認は、テレビ・インターネット等の報道によります。

「特別警報とは」

特別警報が発表された地域は数十年に一度しかないような非常に危険な状況にあります。居住地や通学経路において、特別警報が発令された場合は、周囲の状況や市町村から発表される避難指示・避難警告などの情報に留意し、ただちに命を守る行動をとってください。

### 3. 感染症に罹患した場合の出席停止の取り扱いについて

学校保健安全法第19条に規定される感染症(インフルエンザなど)に罹患した場合、出席停止となります。これにより欠席した学生に対して、補講、追試などの措置を講じます。



## Subject registration, etc.

### • Registration

#### 1. Preliminary requirements

Students are required to determine course registration plans based on consultation with their research instructors, and to submit registration forms to the Graduate School Office by the specified deadline.

Please note that students who select the Bio-Expert course are also required to select either Experimental Research or Thematic Research, based on consultation with their research instructors.

#### 2. Treatment of credits earned prior to admission to NAIST

The Faculty Council of this graduate school can treat up to 10 credits that have been earned at non-NAIST graduate schools as those earned at this graduate school, if deemed educationally beneficial to do so. Students who apply for such treatment are required to apply to the Academic Affairs Section of the Student Affairs Division with the following documents.

- (1) Application form to treat credits that have been earned at non-NAIST graduate schools as those earned at this graduate school (The form is available at the Student Affairs Division.)
- (2) Certificate of credits earned/certificate of academic record issued by non-NAIST graduate schools at which credits have been earned
- (3) Documents that show the details of lectures given in subjects whose credits should be treated as those earned at this graduate school (a copy of the syllabus, etc.)

\* The schedule for application procedures, etc. will be notified via the bulletin board, etc. Please check the information carefully. For more information, please contact the Academic Affairs Section of the Student Affairs Division.

#### 3. Credit transfer program with other NAIST graduate schools

A credit transfer program is in place between this graduate school and the Graduate Schools of Information Science and Materials Science. Students who want to use the credit transfer program must carefully read the instructions below and follow the prescribed procedures. For more information, please contact the Academic Affairs Section of the Student Affairs Division.

(1) Registration method, etc.

(i) Students who want to use the credit transfer program are required to submit a prescribed registration application form.

(ii) The following subjects are available via the credit transfer program.

Graduate school	Subject
Information Science	Basic subjects and special subjects
Materials Science	General subjects, basic subjects, and special subjects

(iii) Students who want to use the credit transfer program are required to select subjects to take by referring to the syllabus and class schedule in the Student Handbook issued by the Graduate Schools of Information Science and/or Materials Science, and obtain approval from their main research instructors and permission from faculty members in charge of the subjects that they want to take.

(iv) Students may not be given permission to take specific subjects due to reasons including class capacity at the Graduate Schools of Information Science and/or Materials Science.

(2) Credit transfer

Up to two credits in total (i) earned by taking subjects at the Graduate Schools of Information Science and/or Materials Science and (ii) earned by taking common subjects may be counted as credits toward the completion requirements of special subjects.

### (3) Timing of registration application

For more information about the procedures (including the timing of submitting registration application forms and offices to which application forms should be submitted), students will be notified via the bulletin board, etc. at a later date.

## 4. Credit transfer program with a non-NAIST graduate school

A credit transfer program is in place between this graduate school and the Graduate School of Humanities and Sciences, Nara Women's University (the Department of Residential Environment and Design and the Department of Biological Sciences).

Students who want to use the credit transfer program must carefully read the instructions below and follow the prescribed procedures. For more information, please contact the Academic Affairs Section of the Student Affairs Division.

### (1) Registration method, etc.

(i) Students who want to use the credit transfer program are required to submit a prescribed registration application form and a statement of reasons.

(ii) For the Master's Course, the total number of credits shall be ten credits or less.

(iii) In principle, the scope of subject registration shall be lectures only, and shall not cover seminars, practical work, experiments, research, etc.

(iv) Students may not be given permission to take specific subjects due to reasons including class capacity at the Graduate School of Humanities and Sciences, Nara Women's University.

### (2) Credit transfer

Credits earned at the Graduate School of Humanities and Sciences, Nara Women's University (the Department of Residential Environment and Design and the Department of Biological Sciences) are counted as credits that constitute the completion requirements for this graduate school, as long as the Faculty Council of this graduate school recognizes that such credits constitute the completion requirements before students take such subjects.

### (3) Acceptance period for a registration application form and a statement of reasons

The acceptance period differs depending on the graduate school department. Students will be notified via the bulletin board at a later date.

### (4) Procedures for submitting a registration application form and a statement of reasons

(i) Registration application and reason statement forms are available from the Academic Affairs Section of the Student Affairs Division.

(ii) Students who want to use the credit transfer program are required to select subjects to take by referring to the details of lectures and the class schedule, etc. at the Graduate School of Humanities and Sciences, Nara Women's University, obtain approval from their research instructors (a seal of approval is required), and submit a registration application form and a statement of reasons to the Academic Affairs Section of the Student Affairs Division.

## 5. Issuance of academic records

Students can confirm the subject registration status and academic performance by means of academic records which can be obtained from the automatic certificate issuing machine in the entrance lobby of the NAIST Library.

## 6. Research guidance offered at non-NAIST graduate schools, etc.

Students can receive necessary research guidance at non-NAIST graduate schools and research institutions, etc. (hereinafter referred to as “non-NAIST graduate schools, etc.”) based on consultation with relevant non-NAIST graduate schools, etc. when it is deemed educationally beneficial to do so. The duration for which such research guidance is available is up to one year in total for the Master’s Course and Doctoral Course, respectively. Permission may be given to extend the duration for the Doctoral Course. Students who want to receive research guidance at non-NAIST graduate schools, etc. are required to consult with their research instructors in advance, and inform the Academic Affairs Section of the Student Affairs Division at least two months before the month in which such students will start to receive guidance.

### • Handling of classes when public transport services are suspended, etc.

#### 1. Handling of classes when public transport services are suspended

Classes will be cancelled when the services of the Kintetsu lines (Keihanna, Nara, and Kyoto) and/or Nara Kotsu Bus lines (routes serving Gakken Kita-Ikoma Sta., Gakuenmae Sta., and Takanohara Sta.) (which are used by students to commute to the NAIST campus) are suspended due to a major disaster, accident, etc. The table below shows the handling of classes when public transport services are restored.

#### 2. Handling of classes when a weather warning is issued

Classes will be cancelled when an Emergency Warning and a storm (or snowstorm) warning is issued in Ikoma City, Nara City and the area including those cities.

The table below shows the handling of classes when the warning is cancelled.

Status at 7:00 a.m./10:00 a.m.	Handling of classes
Public transport services are restored/the warning is cancelled at or before 7:00 a.m.	Classes are held for the whole day
Public transport services are restored/the warning is cancelled at or before 10:00 a.m.	Classes are held in the afternoon
Public transport services remain suspended/the warning remains in effect after 10:00 a.m.	Classes are cancelled for the whole day

Note: Information on the TV, Internet, etc. is used to check if public transport services are suspended/restored or a warning is issued/cancelled.

#### 3. Handling of class attendance when students have contracted an infectious disease

A student who has contracted an infectious disease listed under Article 19 of the School Health and Safety Act (Influenza etc.) is not permitted to attend classes until completely cured. There will be make-up classes and examinations given to those students accordingly.

## 奈良先端科学技術大学院大学バイオサイエンス研究科履修規程

平成16年4月1日

規程第21号

## (趣旨)

**第1条** この規程は、奈良先端科学技術大学院大学学則第34条に基づき、バイオサイエンス研究科における学生の履修に関し必要な事項を定める。

## (指導教員)

**第2条** 授業科目の履修指導及び学位論文の作成等に対する指導（以下「研究指導」という。）を行うため、学生1人ごとに講座等が異なる2人以上の指導教員を定める。

2 指導教員のうち、1人を主指導教員とする。

3 学修上又は研究指導上必要がある場合は、指導教員を変更することができる。

## (研究指導)

**第3条** 研究指導の内容は、学生1人ごとに定めるものとする。

## (授業科目及び単位数)

**第4条** 博士前期課程における授業科目、単位数及び履修方法は、別表第1及び別表第2のとおりとする。

2 博士後期課程における授業科目、単位数及び履修方法は、別表第3のとおりとする。

## (履修手続き)

**第5条** 学生は、主指導教員の指導により、所定の履修届を、指定する期日までに研究科長に提出しなければならない。

2 履修しようとする授業科目を変更する場合は、授業科目担当教員及び主指導教員の承認を得て、履修届の変更を研究科長に申告しなければならない。

## (履修の認定)

**第6条** 授業科目履修の認定は、試験又は研究報告により行う。ただし、平常の学修活動の評価をもって試験に代えることがある。

2 試験又は研究報告の成績は、100点を満点とする点数によって評価し、60点以上を合格、59点以下を不合格とする。この場合において次の区分により、優、良、可及び不可をもって表すことができる。

80点以上	優
70点～79点	良
60点～69点	可
59点以下	不可

3 前項の点数をもって評価し難い場合は、合格又は不合格をもってこれに代えることができる。

4 前2項により合格とされたものには、所定の単位を与える。

5 既に単位を修得した授業科目については、再履修することはできない。

## (研究指導の認定)

**第7条** 研究指導の認定は、主指導教員が行い、研究科長に報告するものとする。

## (学位論文の題目)

**第8条** 学生は、学位論文の題目について主指導教員の承認を得て、指定する期日までに申告しなければならない。

（学位論文の提出）

**第9条** 学生は、学位論文を主指導教員の承認を得て、指定する期日までに提出しなければならない。

2 学位論文は、課程修了に必要な単位を修得した者又は修得見込みの者で、かつ、指導教員による必要な研究指導が修了した者でなければ提出することができない。

（授業料未納により除籍された者の単位の不認定）

**第10条** 学則第53条の2第4号の規定により除籍された者については、授業料未納期間に係る単位は認定しない。

（雑則）

**第11条** この規程に定めるもののほか、学生の履修に関し必要な事項は、別に定める。

附 則

（施行期日）

1 この規程は、平成16年4月1日から施行する。

（経過措置）

2 平成15年度以前に入学した学生（以下「在学生」という。）については、旧奈良先端科学技術大学院大学バイオサイエンス研究科履修規則は、この規程の施行後も、なおその効力を有する。ただし、在学生がこの規程の授業科目を履修した場合は、別に定めるところにより旧授業科目に読み替えるものとする。

（途中省略）

附 則

（施行期日）

1 この規程は、平成22年4月1日から施行する。

（経過措置）

2 平成21年度以前に入学した学生（以下「在学生」という。）については、改正後の規程にかかわらず、なお従前の例による。ただし、在学生がこの規程の授業科目を履修した場合は、別に定めるところにより旧授業科目に読み替えるものとする。

附 則

（施行期日）

1 この規程は、平成23年4月1日から施行する。

（経過措置）

2 平成22年度以前に入学した学生（以下「在学生」という。）については、改正後の規程にかかわらず、なお従前の例による。ただし、在学生がこの規程の授業科目を履修した場合は、別に定めるところにより旧授業科目に読み替えるものとする。

附 則

（施行期日）

1 この規程は、平成24年4月1日から施行する。

（経過措置）

2 平成23年度以前に入学した学生（以下「在学生」という。）については、改正後の規程にかかわらず、なお従前の例による。ただし、在学生がこの規程の授業科目を履修した場合は、別に定めるところにより旧授業科目に読み替えるものとする。

附 則

(施行期日)

- 1 この規程は、平成25年4月1日から施行する。

(経過措置)

- 2 平成24年度以前に入学した学生（以下「在学生」という。）については、改正後の規程にかかわらず、なお従前の例による。ただし、在学生がこの規程の授業科目を履修した場合は、別に定めるところにより旧授業科目に読み替えるものとする。

附 則

(施行期日)

- 1 この規程は、平成26年4月1日から施行する。

(経過措置)

- 2 平成25年度以前に入学した学生（以下「在学生」という。）の授業科目、単位数及び履修方法については、改正後の別表第1、別表第2及び別表第3の規定にかかわらず、なお従前の例による。ただし、在学生がこの規程の授業科目を履修した場合は、別に定めるところにより旧授業科目に読み替えるものとする。

附 則

(施行期日)

- 1 この規程は、平成27年4月1日から施行する。

(経過措置)

- 2 平成26年度以前に入学した学生（以下「在学生」という。）の授業科目、単位数及び履修方法については、改正後の別表第1、別表第2及び別表第3の規定にかかわらず、なお従前の例による。ただし、在学生がこの規程の授業科目を履修した場合は、別に定めるところにより旧授業科目に読み替えるものとする。



別表第1 (第4条第1項関係)

バイオサイエンス研究科教育課程表

(1) 授業科目名等

(博士前期課程)

区分	授業科目名	単位数	フロンティアバイオコース		バイオエキスパートコース		履修方法等		
			履修区分	修了要件単位数	履修区分	修了要件単位数			
共通科目	科学技術論・科学技術者論	1	◎	1	◎	1	全学共通科目		
	計算機システムI	1	○	(*)	○	(*)	全学共通科目		
	計算機システムII	1	○		○		全学共通科目		
	アルゴリズムI	1	○		○		全学共通科目		
	アルゴリズムII	1	○		○		全学共通科目		
	物質創成科学概論	1	○		○		全学共通科目		
	科学コミュニケーション	1	○		○		全学共通科目		
	科学哲学	1	○		○		全学共通科目		
	技術と倫理	1	○		○		全学共通科目		
	バイオサイエンス概論	1	△		△		全学共通科目		
一般科目	グローバルアントレプレナーI	1	△		5		△	5	情報科学研究科開講科目
	グローバルアントレプレナーII	1	△	△		情報科学研究科開講科目			
	グローバルアントレプレナーIII	1	△	△		情報科学研究科開講科目			
	グローバルアントレプレナーIV	1	△	△		情報科学研究科開講科目			
	グローバルアントレプレナーPBL	1	△	△		情報科学研究科開講科目			
	プロトタイピングI	1	△	△		情報科学研究科開講科目			
	プロトタイピングII	1	△	△		情報科学研究科開講科目			
	実践キャリア英語 I	1	◎	◎		5	5		
	実践キャリア英語 II	1	◎	◎					
	実践キャリア英語 III	1	◎	◎					
	グローバルコミュニケーションの手法	1	△	△					
	発音とリズムのコミュニケーション技術	1	△	△					
	英語による科学的発見の思考法	1	△	△					
社会生命科学	1	◎	◎						
ゲノム先端科学	1	◎	◎						
基礎科目	現代生物学概論	1	◎	9	◎	9			
	先端科学のための実践生物学 I	1	◎		◎				
	先端科学のための実践生物学 II	1	◎		◎				
	応用生命科学・微生物バイオテクノロジー	1	□		□				
	応用生命科学・環境植物科学	1	□		□				
	応用生命科学・バイオメディカルサイエンス	1	□		□				
	応用生命科学・情報生命科学	1	□		□				
	バイオゼミナール基礎 I	1	◎		◎				
	バイオゼミナール基礎 II	1	◎		◎				
	バイオゼミナール実践 I	1	◎		◎				
	バイオゼミナール実践 II	1	◎		◎				
	プロジェクト演習	1			◎				
フロンティアプロジェクト演習	1	◎							
専門科目	発生生物学特別講義	1	○	3	○	5	3		
	バイオインダストリー特論	1	○		○				
	バイオインダストリー特論演習	1	△		○				
	動物科学特論	1	○		○				
	植物科学特論	1	○		○				
	統合システム生物学特論	1	○		○				
	知的財産特論	1	○		○				
	情報生命科学特論	1	○		○				
	生命機能計測学	1	○		○				
	システムズバイオロジII	1	○		○				
	国際バイオ特論 I	1	○		○				
	国際バイオ特論 II	1	○		○				
	フロンティアバイオチュートリアル	1	◎		◎				

履修規程



区分	授業科目名	単位数	フロンティアバイオコース		バイオエキスパートコース		履修方法等
			履修区分	修了要件単位数	履修区分	修了要件単位数	
	ゼミナールⅠ	2	<input type="checkbox"/>	4	<input type="checkbox"/>	4	4
	ゼミナールⅡ	2	<input type="checkbox"/>				
	ゼミナールⅢ	2	<input type="checkbox"/>				
	ゼミナールⅣ	2	<input type="checkbox"/>				
	研究実験Ⅰ	3	<input type="checkbox"/>	6	<input type="checkbox"/>	6	(バイオエキスパートコース) 研究実験を選択する者は、 研究論文を併せて履修すること。
	研究実験Ⅱ	3	<input type="checkbox"/>				
	研究実験Ⅲ	3	<input type="checkbox"/>				
	研究実験Ⅳ	3	<input type="checkbox"/>				
	研究論文	2	◎	2	<input type="checkbox"/>	2	
	課題研究Ⅰ	2		30	<input type="checkbox"/>	4	(バイオエキスパートコース) 課題研究を選択する者は、 課題論文を併せて履修すること。
	課題研究Ⅱ	2					
	課題研究Ⅲ	2					
	課題研究Ⅳ	2					
	課題論文	2			<input type="checkbox"/>		
修了要件単位数				30		30	

1. 履修区分欄の◎は必修科目を、□は選択必修科目を、○は選択科目を示す。  
2. 履修区分欄の△は修了の要件となる単位としては算入しない。

## (2) 履修方法

- ア 学生は、研究科教務委員会の指導を受け、フロンティアバイオコース又はバイオエキスパートコースのいずれかを選択すること。
- イ バイオエキスパートコースを選択した学生は、指導教員と協議の上、研究実験又は課題研究の組合せを選択すること。
- ウ 学則第37条の規定により、他の研究科の授業科目を履修し修得した単位及び(\*)で示した共通科目を修得した単位については、専門科目として計2単位まで修了の要件となる単位として充当することができる。

別表第2(第4条第1項関係)

## Educational Curriculum for Graduate School of Biological Sciences

List of subjects and requirements

(International program for master's course)

Section	Subject	Credit	Classification (*)	Credits required for completion	Comment
Common	Japanese Class for Beginners I	2	△	1	Common Subjects for All Graduate Schools
	Japanese Class for Beginners II (1)	1	△		Common Subjects for All Graduate Schools
	Japanese Class for Beginners II (2)	1	△		Common Subjects for All Graduate Schools
	Japanese Class for Beginners III (1)	1	△		Common Subjects for All Graduate Schools
	Japanese Class for Beginners III (2)	1	△		Common Subjects for All Graduate Schools
	Technology and Professional Ethics	1	□		Common Subjects for All Graduate Schools
General	Responsible Conduct of Research	1	□	2	
	Professional English I	1	△		
	Professional English II	1	△		
	Professional English III	1	△		
	Communication Strategies	1	△		
	Communication Quality through Phonology	1	◎		
	Logic in Scientific Discovery	1	◎		
Basic	Molecular Cell Biology	1	◎	7	
	Advanced Topics in Bioscience	1	◎		
	Laboratory Rotation I	1	◎		
	Laboratory Rotation II	1	◎		
	Literature in Bioscience Research I	1	◎		
	Literature in Bioscience Research II	1	◎		
	Research Presentation Forum	1	◎		
Special	International Forefront in Bioscience I	1	□	3	Subject in Information Science
	International Forefront in Bioscience II	1	□		
	Bioscience Colloquium	1	□		
	UCD Online Seminar	1	□		
	Systems Biology I	1	□		
	Bioresource Research Proposal	1	△		
Seminar I	2	□	6		
Seminar II	2	□			
Seminar III	2	□			
Seminar IV	2	□			
Research Experiment I	3	□	9		
Research Experiment II	3	□			
Research Experiment III	3	□			
Research Experiment IV	3	□			
Thesis	2	◎	2		
Total credits required for completion				30	
* Symbols indicate: ◎, compulsory; □, elective-compulsory; △, credits of this subject are not counted as those required for completion					

## 別表第3 (第4条第2項関係)

## バイオサイエンス研究科教育課程表

授業科目名等

(博士後期課程)

授業科目名	単位数	履修区分	修了要件 単位数	履修方法等
仮想研究プロジェクト	1	◎	1	
海外ラボインターンシップ I	3	△		
海外ラボインターンシップ II	3	△		
国際バイオゼミナール I	1	○	3	原則として、1年次に国際バイオゼミナールI～VIのうち少なくとも1科目を履修すること。
国際バイオゼミナール II	1	○		
国際バイオゼミナール III	1	○		
国際バイオゼミナール IV	1	○		
国際バイオゼミナール V	1	○		
国際バイオゼミナール VI	1	○		
研究プロジェクトプレゼンテーション	1	○		
国際学生ワークショップ	1	○		
UCDリトリート	1	○		
グローバルコミュニケーションの手法	1	△		
発音とリズムのコミュニケーション技術	1	△		
実践キャリア英語 I	1	△		
実践キャリア英語 II	1	△		
実践キャリア英語 III	1	△		
研究者倫理	1	△		
UCDオンラインゼミナール	1	△		
研究実験 I	6	□	6	
研究実験 II	6	□		
研究実験 III	6	□		
修了要件単位数			10	
1. 履修区分欄の◎は必修科目を、□は選択必修科目を、○は選択科目を示す。 2. 履修区分欄の△は修了の要件となる単位としては算入しない。				

**Registration Regulations for the Graduate School of Biological Sciences  
at the Nara Institute of Science and Technology**

April 1, 2004  
Regulation No. 21

Article 1 (Purpose)

These regulations stipulate matters necessary for registration by students of the Graduate School of Biological Sciences in accordance with Article 34 of the Regulations of Nara Institute of Science and Technology(2004 Regulations No.1)(“NAIST Regulations”).

Article 2 (Research instructors)

1. Two or more research instructors of different courses, etc. shall be designated for each student to provide guidance on choosing subjects and preparing a degree thesis, etc. (hereinafter referred to as “research guidance”).
2. One of such research instructors shall be designated as the main research instructor.
3. Research instructors may be changed if needed in the course of studying or research guidance.

Article 3 (Research guidance)

The details of research guidance shall be defined for respective students.

Article 4 (Subjects and number of credits)

1. The subjects, number of credits, and registration methods for the Master’s Course shall be as shown in Schedule 1 and Schedule 2.
2. The subjects, number of credits, and registration methods for the Doctoral Course shall be as shown in Schedule 3.

Article 5 (Registration procedures)

1. Students shall be required to submit the prescribed registration form, under the guidance offered by the main research instructor, to the dean of the graduate school by the specified date.
2. Students who want to change their chosen subjects written on the registration form shall report the changes to the dean of the graduate school, with the approval of the faculty member in charge of such subjects and the main research instructor.

Article 6 (Awarding of credits)

1. Credits shall be awarded by means of an examination or a research report. Credits may be awarded based on an evaluation of day-to-day study activities, instead of such examination.
2. Academic performance based on an examination or a research report shall be evaluated by points (full score: 100 points); 60 points or more is a “pass”, and 59 points or less is a “fail”. For evaluation purposes, academic performance may be represented as “Excellent,” “Good,” “Fair,” and “Fail” in accordance with the categories below.

80 points or more	Excellent
70–79 points	Good

60–69 points	Fair
59 points or less	Fail

- In the event that it is difficult to evaluate academic performance based on points as described in the preceding paragraph, “pass” or “fail” may be used instead of such points.
- Prescribed credits shall be awarded to students whose academic performance is “pass” in accordance with the two preceding paragraphs.
- Subjects whose credits have been earned cannot be taken again.

#### Article 7 (Approval of research guidance)

Research guidance shall be approved by the main research instructor and reported to the dean of the graduate school.

#### Article 8 (Theme of the degree thesis)

Students shall be required to report the theme of their degree thesis by the specified date, with the approval of the main research instructor.

#### Article 9 (Submission of the degree thesis)

- Students are required to submit a degree thesis by the specified date, with the approval of the main research instructor.
- A degree thesis can be submitted by students who (i) have earned or who are expected to earn credits necessary for completion of the course and (ii) have completed the necessary research guidance offered by research instructors.

#### Article 10 (Disqualification of credits for students who have been expelled due to unpaid tuition)

Credits accrued during the period of unpaid tuition will be disqualified when the student has been expelled from school, pursuant to Article 53-2-4 of Regulation.

#### Article 11 (Miscellaneous provision)

Other matters relating to registration by students shall be stipulated separately.

#### Supplementary provisions

(Effective date)

- These Regulations shall come into effect on April 1, 2004.

(Transitional measures)

- For students who were admitted in academic year 2003 or earlier (hereinafter referred to as “enrolled students”), the former Registration Regulations for the Graduate School of Biological Sciences at the Nara Institute of Science and Technology shall remain in effect even after these Regulations come into effect. In the event that enrolled students take subjects within the scope of these Regulations, such subjects shall be deemed to be replaced with former subjects as set forth separately.

(An omission)

#### Supplementary provisions

(Effective date)

- These Regulations shall come into effect on April 1, 2010.

(Transitional measures)

2. For students who were admitted in academic year 2009 or earlier (hereinafter referred to as “enrolled students”), the former Registration Regulations for the Graduate School of Biological Sciences at the Nara Institute of Science and Technology shall supersede these Regulations after revision. In the event that enrolled students take subjects within the scope of these Regulations, such subjects shall be deemed to be replaced with former subjects as set forth separately.

Supplementary provisions

(Effective date)

1. These Regulations shall come into effect on April 1, 2011.

(Transitional measures)

2. For students who were admitted in academic year 2010 or earlier (hereinafter referred to as “enrolled students”), the former Registration Regulations for the Graduate School of Biological Sciences at the Nara Institute of Science and Technology shall supersede these Regulations after revision. In the event that enrolled students take subjects within the scope of these Regulations, such subjects shall be deemed to be replaced with former subjects as set forth separately.

Supplementary provisions

(Effective date)

1. These Regulations shall come into effect on April 1, 2012.

(Transitional measures)

2. For students who were admitted in academic year 2011 or earlier (hereinafter referred to as “enrolled students”), the former Registration Regulations for the Graduate School of Biological Sciences at the Nara Institute of Science and Technology shall supersede these Regulations after revision. In the event that enrolled students take subjects within the scope of these Regulations, such subjects shall be deemed to be replaced with former subjects as set forth separately.

Supplementary provisions

(Effective date)

1. These Regulations shall come into effect on April 1, 2013.

(Transitional measures)

2. For students who were admitted in academic year 2012 or earlier (hereinafter referred to as “enrolled students”), the former Registration Regulations for the Graduate School of Biological Sciences at the Nara Institute of Science and Technology shall supersede these Regulations after revision. In the event that enrolled students take subjects within the scope of these Regulations, such subjects shall be deemed to be replaced with former subjects as set forth separately.

Supplementary provisions

(Effective date)

1. These Regulations shall come into effect on April 1, 2014.

(Transitional measures)

2. For students who were admitted in academic year 2013 or earlier (hereinafter referred to as “enrolled students”) with regard to subjects, number of credits, and registration, the former Registration Regulations for the Graduate School of Biological Sciences at the Nara Institute of Science and Technology shall supersede these Regulations after revision notwithstanding the provisions of appended Schedule 1, 2 and 3. In the event that enrolled students take subjects within the scope of these Regulations, such subjects shall be deemed to be replaced with former subjects as set forth separately.

Supplementary provisions

(Effective date)

1. These Regulations shall come into effect on April 1, 2015.

(Transitional measures)

2. For students who were admitted in academic year 2014 or earlier (hereinafter referred to as “enrolled students”) with regard to subjects, number of credits, and registration, the former Registration Regulations for the Graduate School of Biological Sciences at the Nara Institute of Science and Technology shall supersede these Regulations after revision notwithstanding the provisions of appended Schedule 1, 2 and 3. In the event that enrolled students take subjects within the scope of these Regulations, such subjects shall be deemed to be replaced with former subjects as set forth separately.

Schedule 1 (supplement to Article 4, Paragraph 1)

Curriculum table of the Graduate School of Biological Sciences

(1) Subject name, etc.

(Master's Course)

Section	Subjects name	Number of credits	Frontier Bio course		Bio-Expert course		Registration method, etc.
			Required/elective	Number of credits required for completion	Required/elective	Number of credits required for completion	
Common Course	Commentaries on Science and Technology	1	◎	1	◎	1	Common Subjects for All Graduate Schools
	Computer System I	1	○		○		Common Subjects for All Graduate Schools
	Computer System II	1	○		○		Common Subjects for All Graduate Schools
	Algorithm I	1	○		○		Common Subjects for All Graduate Schools
	Algorithm II	1	○	(*)	○	(*)	Common Subjects for All Graduate Schools
	Foundation of Materials Science	1	○		○		Common Subjects for All Graduate Schools
	Science Communication	1	○		○		Common Subjects for All Graduate Schools
	Philosophy of Science	1	○		○		Common Subjects for All Graduate Schools
	Technology and Professional Ethics	1	○		○		Common Subjects for All Graduate Schools
	Introduction to Biological Sciences	1	△		△		Common Subjects for All Graduate Schools
	General Course	Global Entrepreneur I	1	△		△	
Global Entrepreneur II		1	△		△		Subject in Information Science
Global Entrepreneur III		1	△		△		Subject in Information Science
Global Entrepreneur IV		1	△		△		Subject in Information Science
Global Entrepreneur PBL		1	△		△		Subject in Information Science
Prototyping I		1	△		△		Subject in Information Science
Prototyping II		1	△		△		Subject in Information Science
Professional English I		1	◎		◎		
Professional English II		1	◎		◎		
Professional English III		1	◎		◎		
Communication Strategies		1	△	5		5	
Communication Quality through Phonology		1	△				
Logic in Scientific Discovery		1	△				
Social Life Science		1	◎		◎		
Advanced Genome Science and Technology	1	◎		◎			
Basic Course	Introduction of Current Biology	1	◎		◎		
	Practical Biology for Advanced ScienceI	1	◎		◎		
	Practical Biology for Advanced ScienceII	1	◎		◎		
	Microbial Biotechnology	1	□		□		
	Environmental Plant Science	1	□		□		
	Biomedical Sciences	1	□		□		
	Bioinformatics	1	□	9	□	9	
	Basic Bioscience Seminar I	1	◎		◎		
	Basic Bioscience Seminar II	1	◎		◎		
	Practical Bioscience Seminar I	1	◎		◎		
	Practical Bioscience Seminar II	1	◎		◎		
	Bioexpert Seminar for Research Project	1			◎		
	Frontier Bioscience Seminar for Research Project	1	◎				
Specialized Course	Advanced Lecture in Developmental Biology	1	○		○		(Bio-Expert course) Students who select a combination of Research Experiment and Thesis are required to earn three credits or more.
	Bio-industrial Technology	1	○		○		
	Practice in Bio-industrial Technology	1	△		○		
	Topics in Animal Science	1	○		○		Students who select a combination of Research on Biological Subjects and Project Report are required to earn an additional two credits or more (five credits or more in total).
	Frontiers of Plant Sciences	1	○		○		
	Advanced Systems Biology	1	○		○		
	Lecture of intellectual property right	1	○	3	○	5	
	Topics in Bioinformatics	1	○		○		
	Bio-Imaging	1	○		○		
	Systems Biology II	1	○		○		
	International Forefront in Bioscience I	1	○				
	International Forefront in Bioscience II	1	○				
	Frontier Bioscience Tutorial	1	◎				

Registration Regulations for the Graduate School of Biological Sciences at the Nara Institute of Science and Technology



Section	Subjects name	Number of credits	Frontier Bio course		Bio-Expert course		Registration method, etc.	
			Required/elective	Number of credits required for completion	Required/elective	Number of credits required for completion		
	Seminar I	2	<input type="checkbox"/>		<input type="checkbox"/>			
	Seminar II	2	<input type="checkbox"/>	4	<input type="checkbox"/>	4		
	Seminar III	2	<input type="checkbox"/>		<input type="checkbox"/>			
	Seminar IV	2	<input type="checkbox"/>		<input type="checkbox"/>			
	Research Experiment I	3	<input type="checkbox"/>		<input type="checkbox"/>			
	Research Experiment II	3	<input type="checkbox"/>	6	<input type="checkbox"/>	6	(Bio-Expert course) Students who select Research Experiments are also required to take Thesis.	
	Research Experiment III	3	<input type="checkbox"/>		<input type="checkbox"/>			
	Research Experiment IV	3	<input type="checkbox"/>		<input type="checkbox"/>			
	Thesis	2	◎		2			<input type="checkbox"/>
	Research on Biological Subjects I	2			<input type="checkbox"/>		(Bio-Expert course) Students who select Research on Biological Subjects are also required to take Project Report.	
	Research on Biological Subjects II	2			<input type="checkbox"/>	4		
	Research on Biological Subjects III	2			<input type="checkbox"/>			
	Research on Biological Subjects IV	2			<input type="checkbox"/>			
	Project Report	2			<input type="checkbox"/>			2
Number of credits required for completion				30		30	30	
1. In the "Required/elective" column, ◎, □, and ○ represent required subjects, required elective subjects, and elective subjects, respectively.								
2. In the "Required/elective" column, subjects marked △ do not count as credits toward the completion requirements.								

## (2) Registration procedures

- A. Students are required to select either the Frontier Bio course or the Bio-Expert course under the guidance offered by the education committee of the school.
- B. Students who select the Bio-Expert course are also required to select either Research Experiment or Research on Biological Subjects, based on consultation with their research instructors.
- C. In accordance with Article 37 of the NAIST Regulations, up to two credits in total earned by taking (i) subjects that are offered by other graduate schools or (ii) common courses marked by an asterisk (\*) may be counted as credits earned by taking specialized courses that constitute the completion requirements.

## Schedule 2 (supplement to Article 4, Paragraph 1)

**Educational Curriculum for Graduate School of Biological Sciences**

List of subjects and requirements

(International program for master's course)

Section	Subject	Credit	Classification (*)	Credits required for completion	Comment
Common	Japanese Class for Beginners I	2	△	1	Common Subjects for All Graduate Schools
	Japanese Class for Beginners II (1)	1	△		Common Subjects for All Graduate Schools
	Japanese Class for Beginners II (2)	1	△		Common Subjects for All Graduate Schools
	Japanese Class for Beginners III (1)	1	△		Common Subjects for All Graduate Schools
	Japanese Class for Beginners III (2)	1	△		Common Subjects for All Graduate Schools
	Technology and Professional Ethics	1	□		Common Subjects for All Graduate Schools
General	Responsible Conduct of Research	1	□	2	
	Professional English I	1	△		
	Professional English II	1	△		
	Professional English III	1	△		
	Communication Strategies	1	△		
	Communication Quality through Phonology	1	◎		
Basic	Logic in Scientific Discovery	1	◎	7	
	Molecular Cell Biology	1	◎		
	Advanced Topics in Bioscience	1	◎		
	Laboratory Rotation I	1	◎		
	Laboratory Rotation II	1	◎		
	Literature in Bioscience Research I	1	◎		
	Literature in Bioscience Research II	1	◎		
Research Presentation Forum	1	◎			
Special	International Forefront in Bioscience I	1	□	3	Subject in Information Science
	International Forefront in Bioscience II	1	□		
	Bioscience Colloquium	1	□		
	UCD Online Seminar	1	□		
	Systems Biology I	1	□		
	Bioresource Research Proposal	1	△		
Seminar I	2	□	6		
Seminar II	2	□			
Seminar III	2	□			
Seminar IV	2	□			
Research Experiment I	3	□	9		
Research Experiment II	3	□			
Research Experiment III	3	□			
Research Experiment IV	3	□			
Thesis	2	◎	2		
Total credits required for completion				30	
* Symbols indicate: ◎, compulsory; □, elective-compulsory; △, credits of this subject are not counted as those required for completion					

## Schedule 3 (supplement to Article 4, Paragraph 2)

**Curriculum table of the Graduate School of Biological Sciences**

Subject name, etc.

(Doctoral Course)

Subject name	Number of credits	Required/elective	Number of credits required for completion	Registration method, etc.
Research Project Design	1	◎	1	
Overseas Internship I	3	△		
Overseas Internship II	3	△		
International Bio-Seminar I	1	○	3	Students are required to take at least one subject of International Bio Seminar I to VI in the first academic year.
International Bio-Seminar II	1	○		
International Bio-Seminar III	1	○		
International Bio-Seminar IV	1	○		
International Bio-Seminar V	1	○		
International Bio-Seminar VI	1	○		
Research Project Presentation	1	○		
International Student Workshop	1	○		
UCD Research Retreat	1	○		
Communication Strategies	1	△		These courses cannot be taken in cases where they have already been taken at Frontier Bio Master Course level.
Communication Quality through Phonology	1	△		
Professional English I	1	△		
Professional English II	1	△		
Professional English III	1	△		
Responsible Conduct of Research	1	△		
UCD Online Seminar	1	△		
Research Experiment I	6	□	6	
Research Experiment II	6	□		
Research Experiment III	6	□		
Number of credits required for completion			10	
1. In the “Required/elective” column, ◎, □ and ○ represent required, required elective and elective subjects, respectively.				
2. Subjects marked △ in the “Required/elective” column do not count as credits toward the completion requirements.				



## 5 学位審査基準等（学位規程を含む）

## 5 学位審査基準等

### 学位審査基準

#### 博士前期課程

修士論文の内容と口頭発表および口頭試問により審査を行います。バイオエキスパートコースの学生は研究論文あるいは課題論文、フロンティアバイオコースの学生は研究論文を作成して提出します。それぞれ以下の項目についての審査が行われます。

- **研究の目的は十分に理解できているか**
- **研究課題の背景や意義について知識の整理が十分になされているか**

論文の序論や発表のイントロダクションに、研究を理解するための基本的な知識の解説や関連する研究についての説明、研究課題を考えた動機や課題が達成された場合の意義などについて簡潔にかつ明確に記載すること。
- **研究計画や研究方法についての理解と十分な吟味がなされているか**

研究の目的に応じてどのように研究を進めていったのかを全体像を示しながら、序論の中でも簡潔に記載する。研究方法や材料については、参考にした文献の引用も必要であるが、実験の再現性の観点から詳細な記載を行う。
- **実験データや調査結果についての整理と解析は十分になされているか**

単なるデータの羅列にならないように、各項目毎の研究目的や研究方法についても簡潔に記載し、各項目のタイトルが内容を反映するように分かりやすく整理する。図表については分かりやすく十分な説明を行う。
- **得られた結果に基づいて仮説や結論の展開は十分であるか**

序論の内容に対応づけて研究の目的がどのように、どの程度達成されたかについて簡潔にまとめ、新しい仮説や説明などの可能性や、結論についてはどのような点に新規性や重要性があるかを記載する。今後の研究の必要性や方向についても考察する。
- **引用文献については適切であるか**
- **論文や口頭発表は論理的に分かりやすく構成されているか**

## 博士後期課程

博士論文の内容と口頭発表および口頭試問により審査を行います。審査願いの提出や、それ以降の手続きなどについては、後述の博士後期課程修了要件に記されています。それぞれ以下の項目についての審査が行われます。

- **研究の目的は合理的で独創性のあるものかどうか**
- **研究課題の背景や意義についての知識は専門家として十分なものか**

論文の序論や発表のイントロダクションに、研究を理解するための基本的な知識の解説や関連する研究についての説明、研究課題を考えた動機や課題が達成された場合の意義などについて簡潔にかつ明確に記載すること。
- **研究計画や研究方法について十分な吟味と説明がなされているか**

研究の目的に応じてどのように研究を進めていったのかを全体像を示しながら、序論の中でも簡潔に記載する。研究方法や材料については、参考にした文献の引用も必要であるが、実験の再現性の観点から詳細な記載を行う。
- **実験データや調査結果についての整理と解析は十分になされているか**

単なるデータの羅列にならないように、各項目毎の研究目的や研究方法についても簡潔に記載し、各項目のタイトルが内容を反映するように分かりやすく整理する。図表については分かりやすく十分な説明を行う。
- **得られた結果に基づいて仮説や結論の展開は十分であるか**
- **得られた研究成果は学術上および応用面で貢献するものであるか**

序論の内容に対応づけて研究の目的がどのように、どの程度達成されたかについて簡潔にまとめ、新しい仮説や説明などの可能性や、結論についてはどのような点に新規性や重要性があるかを記載する。今後の研究の必要性や方向についても考察する。
- **引用文献については適切であるか**
- **論文や口頭発表は論理的に分かりやすく構成されているか**



## 奈良先端科学技術大学院大学学位規程

平成16年4月1日

規程第19号

## （趣旨）

**第1条** この規程は、奈良先端科学技術大学院大学学則（平成16年学則第1号。以下「学則」という。）第44条第3項の規定に基づき、奈良先端科学技術大学院大学（以下「本学」という。）において授与する学位に関し必要な事項を定める。

## （学位の種類及び専攻分野の名称）

**第2条** 本学において授与する学位は、修士及び博士とする。

2 学位には、次表の研究科名欄に掲げる研究科ごとに、同表専攻分野の名称欄の名称を付記するものとする。

研 究 科 名	専 攻 分 野 の 名 称
情 報 科 学 研 究 科	理 学 又 は 工 学
バ イ オ サ イ エ ン ス 研 究 科	バ イ オ サ イ エ ン ス
物 質 創 成 科 学 研 究 科	理 学 又 は 工 学

## （学位授与の要件）

**第3条** 修士の学位は、本学の博士前期課程を修了した者に授与する。

2 博士の学位は、本学の博士後期課程を修了した者に授与する。

3 前項に定めるもののほか、博士の学位は、博士論文の審査に合格し、かつ、本学の博士後期課程を修了した者と同等以上の学力を有することを確認（以下「学力の確認」という。）された者に授与することができる。

## （学位論文の提出等）

**第4条** 本学研究科の博士前期課程を修了しようとする者は、所定の学位論文審査願に修士論文を添えて、当該研究科長に提出し、最終試験を受けるものとする。

2 特定の課題についての研究の成果を、前項の修士論文に代えることができる。

3 本学研究科の博士後期課程を修了しようとする者は、所定の学位論文審査願に博士論文、論文目録、論文内容の要旨及び履歴書を添えて、当該研究科長に提出し、最終試験を受けるものとする。

4 前条第3項の規定により、博士の学位の授与を受けようとする者は、学位申請書に博士論文、論文目録、論文内容の要旨、履歴書及び学位論文審査手数料を添え、学位に付記する専攻分野を指定して学長に提出するものとする。

5 学位論文審査手数料は、57,000円とする。

6 学長は、第4項の申請書類を受理したときは、専攻分野に応じて、当該研究科長に回付するものとする。

7 提出した学位論文等及び納付した学位論文審査手数料は、返還しない。

**(学位論文)**

- 第5条** 学位論文は、1編とし、修士論文は1通、博士論文は3通を提出するものとする。ただし、参考として他の論文を添付することができる。
- 2 当該研究科長は、学位論文の審査のため必要があるときは、学位論文の訳文、模型、標本その他必要な資料の提出を求めることができる。

**(最終試験及び学力の確認)**

- 第6条** 最終試験は、学位論文に関連のある専門分野について、筆記又は口述により行うものとする。
- 2 第3条第3項に規定する学力の確認は、博士論文に関連のある科目及び外国語について、筆記又は口述により行うものとする。

**(審査委員会)**

- 第7条** 当該研究科の教授会は、論文の審査、最終試験及び学力の確認を行うため、審査委員会を設ける。
- 2 審査委員会は、当該研究科及び学内共同教育研究施設の教員のうちから2名以上で構成する。ただし、教授2人を構成員としなければならない。
- 3 審査委員会に主査を置く。
- 4 前項の規定にかかわらず、当該研究科の教授会において、審査のため必要があると認めるときは、他の研究科の教員又は他の大学院若しくは研究所等の教員等を審査委員に加えることができる。
- 5 第4条第4項の規定により提出のあった者の論文の審査及び学力の確認は、博士論文が提出された日から1年以内に終了しなければならない。ただし、特別の事由があるときは、当該研究科の教授会の議を経て、その期間を延長することができる。

**(審査結果の報告)**

- 第8条** 修士の学位に係る審査委員会は、論文の審査及び最終試験が終了したときは、直ちに、学位を授与できるか否かの意見を当該研究科の教授会に文書で報告しなければならない。
- 2 博士の学位に係る審査委員会は、論文の審査及び最終試験又は学力の確認が終了したときは、直ちに、次の各号に定める書類に、学位を授与できるか否かの意見を添え、当該研究科の教授会に文書で報告しなければならない。
- (1) 第4条第3項の規定による提出論文の内容の要旨、審査の結果の要旨及び最終試験の結果の要旨
- (2) 第4条第4項の規定による提出論文の内容の要旨、審査の結果の要旨及び学力の確認の結果の要旨

**(学位授与の審議)**

- 第9条** 当該研究科の教授会は、前条の報告に基づいて、学位の授与について審議する。

**(審議結果の報告)**

- 第10条** 当該研究科長は、当該研究科の教授会の審議結果を文書で学長に報告しなければならない。

**（学位の授与）**

**第11条** 学長は、前条の報告に基づいて学位を授与できると決定した者に学位記を授与する。

2 学位記の様式は、様式第1号、様式第2号及び様式第3号までのとおりとする。

3 学長は、学位を授与できないと決定した者には、その旨通知する。

**（博士論文の要旨等の公表等）**

**第12条** 学長は、博士の学位を授与したときは、当該博士の学位を授与した日から3月以内に文部科学大臣に報告するとともに、その論文の内容の要旨及び論文審査の結果の要旨をインターネットの利用により公表するものとする。

**（博士論文の公表）**

**第13条** 博士の学位を授与された者は、当該博士の学位を授与された日から1年以内に当該博士論文の全文を公表しなければならない。ただし、当該博士の学位を授与される前に既に公表したときは、この限りでない。

2 前項の規定にかかわらず、博士の学位を授与された者は、やむを得ない事由がある場合には、本学の承認を得て、当該博士論文の全文に代えてその内容を要約したものを公表することができる。この場合において、本学は、当該博士論文の全文を求めに応じて閲覧に供するものとする。

3 博士の学位を授与された者が行う前2項の規定による公表は、本学を通じて、インターネットの利用により行うものとする。

**（学位名称の使用）**

**第14条** 本学の学位を授与された者が、学位の名称を用いるときは、本学の名称を付記するものとする。

**（学位授与の取消）**

**第15条** 学長は、学位を授与された者が、不正の方法により学位の授与を受けた事実が判明したときは、当該研究科の教授会の議を経て、学位授与を取り消し、学位記を返還させ、かつ、その旨を公表するものとする。

**（雑則）**

**第16条** この規程に定めるもののほか、学位の授与に関し必要な事項は、別に定める。

**附 則**

この規程は、平成16年4月1日から施行する。

**附 則****（施行期日）**

1 この規程は、平成25年6月1日から施行する。

**（経過措置）**

2 この規程による改正後の学位規程（以下「新学位規程」という。）第12条の規定は、この規程の施行の日以後に博士の学位を授与した場合について適用し、同日前に博士の学位を授与した場合については、なお従前の例による。

3 新学位規程第13条の規定は、この規程の施行の日以後に博士の学位を授与された者について適用し、同日前に博士の学位を授与された者については、なお従前の例による。

様式第1号（第11条関係）（博士前期課程を修了した場合）

修第 号
学 位 記
氏 名
年 月 日生
本学大学院○○○研究科○○○専攻の博士前期課程を修了したので修士(○○)の学位を授与する
平成 年 月 日
奈良先端科学技術大学院大学長
大学の印 <span style="float: right;">学長名 学長の印</span>

(注1) 用紙の大きさは、A4版とする。

NARA INSTITUTE OF SCIENCE AND TECHNOLOGY
Hereby confers the degree of Master of (専攻分野の名称)
Upon
(氏 名) (Surname) (Givenname)
(Date of Birth)
for having successfully completed the Master`s Program in the Graduate School of (研究科名) on this day, (年月日)
Official Seal of the Institute <span style="float: right;">President`s Seal</span>
(学長署名) (学長名) President
Masterdom No. : (番号)

(注1) 用紙の大きさは、A4版とする。

様式第2号（第11条関係）（博士後期課程を修了した場合）

博第 号
学 位 記
氏 名
年 月 日生
本学大学院○○○研究科○○○専攻の博士後期課程を修了したので博士(○○)の学位を授与する
平成 年 月 日
奈良先端科学技術大学院大学長
大学の印 <span style="float: right;">学長名 学長の印</span>

(注1) 用紙の大きさは、A4版とする。

NARA INSTITUTE OF SCIENCE AND TECHNOLOGY
Hereby confers the degree of Doctor of (専攻分野の名称)
Upon
(氏 名) (Surname) (Givenname)
(Date of Birth)
for having successfully completed the Doctorate Program in the Graduate School of (研究科名) on this day, (年月日)
Official Seal of the Institute <span style="float: right;">President`s Seal</span>
(学長署名) (学長名) President
Doctorate No. : (番号)

(注1) 用紙の大きさは、A4版とする。

## 様式第3号 (第11条関係) (第3条第3項の規定により授与する場合)

博第 号	
学 位 記	
氏 名	
年 月 日生	
本学に学位論文を提出し所定の審査に合格したの で博士(〇〇)の学位を授与する	
平成 年 月 日	
奈良先端科学技術大学院大学長	
大学の印	学長名 学長の印

(注1) 用紙の大きさは、A4版とする。

NARA INSTITUTE OF SCIENCE AND TECHNOLOGY
Hereby confers the degree of Doctor of (専攻分野の名称)
Upon
(氏 名) (Surname) (Givename)
(Date of Birth)
for having submitted a Doctoral Dissertation and having passed the Prescribed Evaluation on this day, (年月日)
Official Seal of the Institute      President's Seal
(学長署名) (学長名) President
Doctorate No. : (番号)

(注1) 用紙の大きさは、A4版とする。

# Degree Regulations of Nara Institute of Science and Technology

April 1, 2004  
Regulations No. 19

## Article 1 (Purpose)

The purpose of these Regulations is to stipulate matters relating to conferral of degrees by the Nara Institute of Science and Technology (“NAIST”) pursuant to Article 44-3 of the Regulations of the Nara Institute of Science and Technology (2004 Regulations No. 1) (“NAIST Regulations”).

## Article 2 (Degree types and majors)

1. Degrees conferred by NAIST shall be master’s degrees and doctoral degrees.
2. The name of the Graduate School and the major shown in the following table shall be specified in the degree certificate.

Graduate School	Major
Information Science	Science or Engineering
Biological Sciences	Biological Science
Materials Science	Science or Engineering

## Article 3 (Degree requirements)

1. A master’s degree shall be conferred to students who have completed the Master’s Course at NAIST.
2. A doctoral degree shall be conferred to students who have completed the Doctoral Course at NAIST.
3. In addition, a doctoral degree may be conferred to individuals who have passed the doctoral thesis examination and been recognized as having academic ability equivalent to or greater than that of a student who has completed the Doctoral Course at NAIST (individuals who have passed the “Examination of Academic Ability”).

## Article 4 (Submission of thesis)

1. To complete the Master’s Course, students shall submit a master’s thesis together with the

prescribed application form for thesis examination to the Dean of the relevant Graduate School and take the final examination.

2. Examination of research results on specified themes may be conducted in place of the master's thesis examination specified in the foregoing subsection.
3. To complete the Doctoral Course, students shall submit a doctoral thesis together with the prescribed application form for thesis examination, list of related papers, abstract of the thesis and curriculum vitae to the Dean of the relevant Graduate School and take the final examination.
4. To receive a doctoral degree pursuant to the provision of subsection 3 of Article 3, students shall specify the major to be indicated in the degree certificate, and pay the thesis examination fee when submitting a degree application form, doctoral thesis, list of related papers, abstract of the thesis, and curriculum vitae to the President.
5. The thesis examination fee shall be 57,000 yen.
6. Upon receipt of the documents specified in subsection 4 of this Article, the President shall forward the documents to the Dean of the relevant Graduate School according to the major specified by the student.
7. Thesis and other documents, once submitted, shall not be returned, and the thesis examination fee, once paid, shall not be refunded.

#### Article 5 (Thesis)

1. One thesis shall be accepted for degree examination. Students shall submit one copy per master's thesis and three copies per doctoral thesis, provided, however that additional papers may be attached to the thesis for reference.
2. The Dean of the relevant Graduate School may request submission of a translation of the thesis, model, specimen, or other materials if necessary for the thesis examination.

#### Article 6 (Final examination and Examination of Academic Ability)

1. The final examination shall be conducted by means of a written or oral examination on specialized topics relating to the thesis.
2. The Examination of Academic Ability specified in Article 3-3 above shall be conducted by means of a written or oral examination on the academic subjects relating to the doctoral thesis and on foreign language.

#### Article 7 (Screening Committee)

1. The Faculty Councils of the respective Graduate Schools shall have a Screening Committee for evaluating theses and conducting the final examination and Examination of Academic Ability.



2. Each of the Screening Committees shall consist of at least two faculty members of the respective Graduate School and common educational and research institution, provided, however, that the Committee members shall include two professors thereof.
3. Each of the Screening Committees shall have a chief referee.
4. Notwithstanding the provision of the foregoing subsection 2, faculty members of other Graduate Schools of NAIST or other graduate schools or research institutions outside of NAIST may be invited to join the Screening Committee if doing so is deemed necessary by the Faculty Council of the Graduate School for screening purposes.
5. Evaluation of doctoral theses submitted pursuant to Article 4-4 and the Examination of Academic Ability shall be completed within one year after the submission thereof, provided, however, that such a period may be extended if there is a special reason, subject to deliberation by the relevant Graduate School.

#### Article 8 (Notification of results)

1. The Screening Committee involved in conferral of master's degrees shall notify the Faculty Council of the relevant Graduate School of its decision as to whether to confer a master's degree or not in writing, immediately after completion of the evaluation of thesis and final examination.
2. The Screening Committee involved in conferral of doctoral degrees shall notify the Faculty Council of the relevant Graduate School of its decision in writing by specifying whether to confer a doctoral degree or not in the following documents, immediately after completion of the evaluation of thesis and final examination:
  - (1) Abstract of the thesis submitted pursuant to Article 4-3, summary of the evaluation of the thesis and summary of the results of the final examination
  - (2) Abstract of the thesis submitted pursuant to Article 4-4, summary of the evaluation of the thesis and summary of the results of the Examination of Academic Ability

#### Article 9 (Deliberation by Faculty Council)

The Faculty Council of each of the Graduate Schools shall discuss whether to confer a degree or not based on the notification specified in the foregoing article.

#### Article 10 (Notification of conclusion)

The Dean of the relevant Graduate School shall notify the President of the conclusion of the deliberation reached by the Faculty Council thereof in writing.

#### Article 11 (Conferral of degree)

1. The President shall confer a degree to the student who has been approved to receive the degree based on the notification specified in the foregoing article.
2. The format of a degree certificate shall be Form No. 1, Form No. 2 or Form No. 3 shown separately.
3. If it has been decided not to confer a degree to a certain student, the President shall notify the student of the decision.

#### Article 12 (Publication of abstract of doctoral thesis)

Within three months after conferring a doctoral degree, the President shall notify the Minister of Education, Culture, Sports, Science and Technology of the conferral and make the abstract of the doctoral thesis and the summary of the results of the evaluation of the thesis public via the internet .

#### Article 13 (Publication of doctoral thesis)

1. The recipient of a doctoral degree shall make his or her doctoral thesis public within one year after receipt thereof, provided, however, that this provision shall not apply if the thesis has been made public prior to the receipt thereof.
2. Notwithstanding the provision of the foregoing subsection, a recipient of a doctoral degree may make the abstract of his or her doctoral thesis public instead of the full text, subject to approval of NAIST, if there is a justifiable reason. In this case, NAIST shall allow access to the full text of the doctoral thesis when requested.
3. The public release established in the previous two clauses for doctoral degree recipient, shall be conducted via NAIST and the internet.

#### Article 14 (Reference to the degree)

When an individual who has been conferred a degree from NAIST refers to his or her degree, the name of NAIST shall be also mentioned together with the degree.

#### Article 15 (Withdrawal of a degree)

If it transpires that an individual was conferred a degree by NAIST by fraudulent means, the President shall withdraw the degree, have the degree certificate returned, and make public the fact, following the deliberation by the Faculty Council of the relevant Graduate School.

#### Article 16 (Miscellaneous provision)

Other matters relating to conferral of degrees shall be provided for separately.

Supplementary provisions

These Regulations shall come into effect on April 1, 2004.

Supplementary provisions

(Effective date)

1. These Regulations shall come into effect on June 1, 2013.

(Transitional measures)

2. The revised degree regulations (hereinafter referred to as “new degree regulations”) outlined in Article 12 shall apply to those who have been conferred the doctoral degree on or after the date of regulation revision. However, for those who were conferred the doctoral degree prior to the date of revision, the regulations in force at the time of conferment shall apply.
3. The revised degree regulations outlined in Article 13 shall apply to those who have been conferred the doctoral degree on or after the date of regulation revision. However, for those who were conferred the doctoral degree prior to the date of revision, the regulations in force at the time of conferment shall apply.

Form No. 1 (Refer to Article 11) (To be issued for the degree conferred upon completion of the Master’s Course)

修第 号
学 位 記
氏 名
年 月 日 生
本学大学院□□□研究科□□□専攻の博士前期 課程を修了したので修士(□□)の学位を授与する
平成 年 月 日
奈良先端科学技術大学院大学長
大学の印 <span style="float: right;">学長名 学長の印</span>

(Note 1) The sheet is A4-sized.

NARA INSTITUTE OF SCIENCE AND TECHNOLOGY	
hereby confers the degree of Master of (専攻分野の名称)	
Upon	
( 氏 _____ 名 )	
(Surname)	(Given name)
_____	
(Date of birth)	
for having successfully completed the Master’s Program in the Graduate School of (研究科名) on this day, (年月日)	
Official Seal of the Institute	President’s Seal
	(学長署名) (学長名) President
Masterdom No.: (番号)	

(Note 1) The sheet is A4-sized.

Form No. 2 (Refer to Article 11) (To be issued for the degree conferred upon completion of the Doctoral Course)



## 論文の提出から論文審査の日程

学位の授与は、3カ月毎（3月、6月、9月、12月の下旬）に行なわれる予定である。

学位論文審査（本審査）を受けるには、予め予備審査を受け合格する必要がある。予備審査の実施要領や日程は別に通知する。予備審査は合格するまで、複数回受けることができる。

論文の提出から論文審査及び学位授与のおおよその日程を、3月に学位授与を行う場合を例として、次の表に示す。

番号	手 続 き	3月の学位授与を例とした場合
1	学生が「学位論文審査願」・「履歴書」・「論文目録」・「論文公開承諾書」各1部、「論文内容の要旨」2部及び博士論文PDFを大学に提出する。	1月（又は2月）の研究科教授会の7日前まで
2	審査委員を決定する。 審査委員は、教員3名以上とする。	1月（又は2月）の研究科教授会
3	教授、准教授全員が出席する予備審査公聴会を行う。公聴会后、予備審査の内容に対する意見交換を行い、予備審査の合否を決定する。	2月
4	審査委員は、論文審査を行うとともに審査会と最終試験の日程を決定し、実施する。	3月の研究科教授会の2日前まで
5	審査委員が審査結果を報告する。 それにより、合否の判定を行う。	3月の研究科教授会
6	合格者に対して学位授与を行う。 博士後期課程修了	3月下旬

6 バイオサイエンス研究科授業科目  
及び 担当教員一覧

## 平成27年度バイオサイエンス研究科授業科目及び担当教員一覧

## 博士前期課程

区分	授業科目名	単位数	担当教員	授業時期	総授業時間数	備考
共通科目	科学技術論・科学技術者論	1	担当教員	1年次春学期	15	全学共通科目
	計算機システムⅠ	1	中島、Tran	春学期	15	全学共通科目(4/17のみ英語による授業)
	計算機システムⅡ	1	安本、他	春学期	15	全学共通科目
	アルゴリズムⅠ	1	井上、他	春学期	15	全学共通科目
	アルゴリズムⅡ	1	松本(裕)、他	春学期	15	全学共通科目
	物質創成科学概論	1	香月、荒谷	春学期	15	全学共通科目
	科学コミュニケーション	1	別所、他	秋学期	15	全学共通科目
	科学哲学	1	(大西)	春学期	15	全学共通科目
	技術と倫理	1	(上田)	秋学期	15	全学共通科目
	バイオサイエンス概論	1	真木(壽)、他	春学期	15	全学共通科目
	一般科目	グローバルアントレプレナーⅠ	1	担当教員	春学期(集中)	15
グローバルアントレプレナーⅡ		1	担当教員	春学期(集中)	15	情報科学研究科開講科目
グローバルアントレプレナーⅢ		1	担当教員	春学期(集中)	15	情報科学研究科開講科目
グローバルアントレプレナーⅣ		1	担当教員	春学期(集中)	15	情報科学研究科開講科目
グローバルアントレプレナーPBL		1	担当教員	春学期(集中)	15	情報科学研究科開講科目
プロトタイピングⅠ		1	担当教員	春学期(集中)	15	情報科学研究科開講科目
プロトタイピングⅡ		1	担当教員	春学期(集中)	15	情報科学研究科開講科目
実践キャリア英語Ⅰ		1	McAleese	1年次春学期	15	
実践キャリア英語Ⅱ		1	McAleese	1年次秋学期	15	
実践キャリア英語Ⅲ		1	McAleese	2年次秋学期	15	
グローバルコミュニケーションの手法		1	McAleese	秋学期	15	
発音とリズムのコミュニケーション技術		1	McAleese	春学期	15	
英語による科学的発見の思考法		1	真木(智)	秋学期	15	
社会生命科学		1	別所	1年次	15	
ゲノム先端科学		1	別所	1年次	24	
基礎科目	現代生物学概論	1	塩坂、他	1年次春学期	20	
	先端科学のための実践生物学Ⅰ	1	秋山、他	1年次春学期	15	
	先端科学のための実践生物学Ⅱ	1	木俣、他	1年次春学期	15	
	応用生命科学・微生物バイオテクノロジー	1	高木、他	1年次春学期	15	
	応用生命科学・環境植物科学	1	中島、他	1年次春学期	15	
	応用生命科学・バイオメディカルサイエンス	1	加藤、他	1年次春学期	15	
	応用生命科学・情報生命科学	1	別所、他	1年次春学期	15	
	バイオゼミナール基礎Ⅰ	1	出村、他	1年次春学期	15	
	バイオゼミナール基礎Ⅱ	1	駒井、他	1年次春学期	15	
	バイオゼミナール実践Ⅰ	1	河野、他	1年次春学期	15	
	バイオゼミナール実践Ⅱ	1	塩坂、他	1年次	15	
	プロジェクト演習	1	別所、他	1年次秋学期	15	
	フロンティアプロジェクト演習	1	伊東、他	1年次秋学期	15	
専門科目	発生生物学特別講義	1	別所、他	春学期	15	
	バイオインダストリー特論	1	高木、他	1年次春学期	15	
	バイオインダストリー特論演習	1	高木、他	1年次春学期	15	
	動物科学特論	1	末次、他	1、2年次	15	
	植物科学特論	1	田坂、他	1、2年次	15	
	統合システム生物学特論	1	稲垣、他	1、2年次	15	
	知的財産特論	1	久保	秋学期	15	
	フロンティアバイオチュートリアル	1	伊東、他	2年次	15	
	国際バイオ特論Ⅰ	1	真木(智)、他	1、2年次	15	
	国際バイオ特論Ⅱ	1	真木(智)、他	1、2年次	15	
	情報生命科学特論	1	別所	秋学期	15	隔年開講科目
	生命機能計測学	1	杉浦、他	秋学期	15	情報科学研究科開講科目
	システムズバイオロジⅡ	1	金谷、他	秋学期	15	情報科学研究科開講科目



区分	授業科目名	単位数	担当教員	授業時期	総授業時間数	備考
	ゼミナールⅠ	2	配属研究室教員	1年次春学期	60	
	ゼミナールⅡ	2	配属研究室教員	1年次秋学期	60	
	ゼミナールⅢ	2	配属研究室教員	2年次春学期	60	
	ゼミナールⅣ	2	配属研究室教員	2年次秋学期	60	
	研究実験Ⅰ	3	配属研究室教員	1年次春学期	90	
	研究実験Ⅱ	3	配属研究室教員	1年次秋学期	90	
	研究実験Ⅲ	3	配属研究室教員	2年次春学期	90	
	研究実験Ⅳ	3	配属研究室教員	2年次秋学期	90	
	研究論文	2	配属研究室教員	1、2年次		
	課題研究Ⅰ	2	配属研究室教員	1年次春学期	60	
	課題研究Ⅱ	2	配属研究室教員	1年次秋学期	60	
	課題研究Ⅲ	2	配属研究室教員	2年次春学期	60	
	課題研究Ⅳ	2	配属研究室教員	2年次秋学期	60	
	課題論文	2	配属研究室教員	1、2年次		

## 平成27年度バイオサイエンス研究科授業科目及び担当教員一覧

## 博士前期課程国際コース

区分	授業科目名	単位数	担当教員	授業時期	総授業時間数	備考
共通科目	Japanese Class for Beginners I	2	(岩崎、他)	1年次秋学期	30	全学共通科目
	Japanese Class for Beginners II (1)	1	(橋本(昌))	1年次秋学期	15	全学共通科目
	Japanese Class for Beginners II (2)	1		2年次春学期	15	H27年度不開講 全学共通科目
	Japanese Class for Beginners III (1)	1		2年次	15	H27年度不開講 全学共通科目
	Japanese Class for Beginners III (2)	1		2年次	15	H27年度不開講 全学共通科目
	Technology and Professional Ethics	1	(上田)	1年次秋学期	15	隔年英語開講 全学共通科目
一般科目	Responsible Conduct of Research	1	塩崎、他	1年次	15	
	Professional English I	1	McAleese	1年次春学期	15	
	Professional English II	1	McAleese	1年次秋学期	15	
	Professional English III	1	McAleese	2年次秋学期	15	
	Communication Strategies	1	McAleese	秋学期	15	
	Communication Quality through Phonology	1	McAleese	春学期	15	
Logic in Scientific Strategy	1	真木(智)	秋学期	15		
基礎科目	Molecular Cell Biology	1	塩崎、他	1年次	15	
	Advanced Topics in Bioscience	1	塩崎、他	1年次	15	
	Laboratory Rotation I	1	中島、他	1年次	15	
	Laboratory Rotation II	1	中島、他	1年次	15	
	Literature in Bioscience Research I	1	別所、他	1年次	15	
	Literature in Bioscience Research II	1	塩崎、他	1年次	15	
Research Presentation Forum	1	別所、他	2年次	15		
専門科目	International Forefront in Bioscience I	1	真木(智)、他	1, 2年次	15	
	International Forefront in Bioscience II	1	真木(智)、他	1, 2年次	15	
	Bioscience Colloquium	1	伊東、他	1, 2年次	15	
	UCD Online Seminar	1	中島、他	1, 2年次	15	
	Systems Biology I	1	金谷、他	春学期	15	情報科学研究科開講科目
	Bioresource Research Proposal	1	出村、他	2年次	15	
Seminar I	2	配属研究室教員	1年次春学期	30		
Seminar II	2	配属研究室教員	1年次秋学期	30		
Seminar III	2	配属研究室教員	2年次春学期	30		
Seminar IV	2	配属研究室教員	2年次秋学期	30		
Research Experiment I	3	配属研究室教員	1年次春学期	90		
Research Experiment II	3	配属研究室教員	1年次秋学期	90		
Research Experiment III	3	配属研究室教員	2年次春学期	90		
Research Experiment IV	3	配属研究室教員	2年次秋学期	90		
Thesis	2	配属研究室教員				

授業時期は4月入学の場合を記載。

## 平成27年度バイオサイエンス研究科授業科目及び担当教員一覧

## 博士後期課程

授業科目名	単位数	担当教員	授業時期	総授業時間数	備考
仮想研究プロジェクト	1	アドバイザーコミティー教員	1年次	15	
海外ラボインターンシップ I	3	真木(智)	1年次秋学期	45	
海外ラボインターンシップ II	3	塩崎、他	各年次	45	
国際バイオゼミナール I	1	真木(智)、他	各年次	15	
国際バイオゼミナール II	1	真木(智)、他	各年次	15	
国際バイオゼミナール III	1	真木(智)、他	各年次	15	
国際バイオゼミナール IV	1	真木(智)、他	各年次	15	
国際バイオゼミナール V	1	真木(智)、他	各年次	15	
国際バイオゼミナール VI	1	真木(智)、他	各年次	15	
研究プロジェクトプレゼンテーション	1	真木(智)、他	2年次	15	
国際学生ワークショップ	1	真木(智)、他	2年次	15	
UCDリポート	1	塩崎、他	3年次	15	
グローバルコミュニケーションの手法	1	McAleese	秋学期	15	
発音とリズムのコミュニケーション技術	1	McAleese	春学期	15	
実践キャリア英語 I	1	McAleese	春学期	15	
実践キャリア英語 II	1	McAleese	秋学期	15	
実践キャリア英語 III	1	McAleese	秋学期	15	
研究者倫理	1	塩崎、他	各年次	15	
UCDオンラインゼミナール	1	中島、他	各年次	15	
研究実験 I	6	アドバイザーコミティー教員	1年次	180	
研究実験 II	6	アドバイザーコミティー教員	2年次	180	
研究実験 III	6	アドバイザーコミティー教員	3年次	180	

7 シラバス等

## 電子シラバスについて

バイオサイエンス研究科では研究科ホームページでシラバスを公開しています。  
シラバスについては以下のアドレス、もしくは「大学ホームページ→バイオサイエンス  
研究科ホームページ→電子シラバス」からページを開くことができます。

電子シラバス : [https://bs-education.naist.jp/bio\\_syllabus/](https://bs-education.naist.jp/bio_syllabus/)

※講義日程の詳細も電子シラバスに掲載されています。



## 英語教育・国際化教育について

英語の能力は科学者・技術者にとって必須のものです。この中には、英語論文を読み理解する能力、英語論文を書く能力、国際学会などにおいてプレゼンテーションをし、外国人研究者と討論をする能力が含まれます。英語能力の向上には、持続的な学習が欠かせません。以下のような講義体系で科学英語教育を行います。

### (1) バイオエキスパートコース

#### 実践キャリア英語 I、II、III

TOEIC テストの対策に主眼をおいた必須科目です。3段階の能力別クラス編成できめ細やかな指導をします。また、博士前期課程の2年間を通してI、II、IIIと段階的にレベルアップを図ることができるよう設計されています。

### (2) フロンティアバイオコース

#### 実践キャリア英語 I、II、III

TOEIC テストの対策に主眼をおいた必須科目です。バイオエキスパートコースの学生との混合能力別クラス編成で授業を行います。

#### グローバルコミュニケーションの手法

英語リスニング、スピーキングに主眼をおいた選択科目です。

#### 発音とリズムのコミュニケーション技術

英語の発声に主眼をおいた選択科目です。

#### 英語による科学的発見の思考法

小グループで英語論文を読みながら、論理的思考法を学ぶ選択科目です。

#### 国際バイオ特論 I、II

海外の大学等から招聘した外国人研究者の英語による集中講義およびゼミを行います。

### (3) 国際コース

#### 発音とリズムのコミュニケーション技術

英語の発声に主眼をおいた必須科目です。

#### 英語による科学的発見の思考法

小グループで英語論文を読みながら、論理的思考法を学ぶ必須科目です。

#### 実践キャリア英語 I、II、III

TOEIC テストの対策に主眼をおいた選択科目です。

#### グローバルコミュニケーションの手法

英語リスニング、スピーキングに主眼をおいた選択科目です。

#### 国際バイオ特論 I、II

海外の大学等から招聘した外国人研究者の英語による集中講義およびゼミを行います。

### (4) 博士後期課程

博士後期課程では海外から招聘した講師による英語による講義を通じて、特定の専門分野の基礎的な知識および最先端の研究内容について学びます。これら全体を通して英語でのコミュニケーション能力や国際感覚の育成を図ります。



#### 国際バイオゼミナール I - VI (各年次)

海外の大学等から招聘した外国人研究者の英語による集中講義およびゼミを行います。  
研究プロジェクトプレゼンテーション (2年次春学期)

博士後期課程2年次に行われるサマーキャンプで行う英語による口頭研究発表に向けて担当教員との個人指導により準備を行う中で、プレゼンテーションの技法を学びます。

#### 国際学生ワークショップ (2年次秋学期)

学外のセミナー施設で、海外の大学等から招待した大学院学生と寝食を共にしながら各自の研究発表を行い、国際感覚を育成すると共に英語によるプレゼンテーションとディスカッションの技術を学びます。また、このワークショップは大学院生の段階で、国際的な研究者ネットワークを形成するよい機会となります。

#### 海外ラボインターンシップ (1年次秋学期)

米国カリフォルニア大学デービス校等に4週間滞在して、実践的な英語コミュニケーション能力を磨くとともに、ホスト研究室においてミニ研究プロジェクトに取り組むなどの体験をします。

#### 英語選択科目 (各年次)

- ▶ グローバルコミュニケーションの手法
- ▶ 発音とリズムのコミュニケーション技術
- ▶ 実践キャリア英語 I、II、III

### (5) 全学生対象

#### ウェブ英語自習システム

ウェブ英語自習システムは、全ての学生が利用できます。必修科目ではありませんが、自由な時間を利用して継続的な英語学習を行うために、システムの積極的な利用を推奨します。

#### TOEIC IP テストの定期的な受験による英語コミュニケーション能力のチェック

博士前期課程では、入学直後、2年次進学時の4月、及び2年次の1月の3回 TOEIC テストの受験を義務付けています。後期課程では、毎年4月及び最終年次の1月に TOEIC テストを実施し、受験を推奨しています。

## 成績評価について

1. 成績評価を終了したときには、その旨を研究科ホームページや掲示板等により、各講義の終了後3週間以内に受講者にお知らせします。  
成績は、附属図書館1階に設置している証明書自動発行機により確認することができます。
2. 通知された成績評価に疑義がある場合は、上記1の成績評価終了の通知をした日から1ヶ月以内に講義担当教員に申し出てください。  
なお、申し出は各シラバスに記載しているオフィスアワーの欄を参照してください。

## English education - International education

English proficiency is an essential skill for scientists and engineers. In this context, English proficiency refers to skills such as reading, understanding and writing English theses, delivering presentations, and taking part in discussions with foreign participants at international conferences. Continual learning is required to improve English proficiency, and so the following programs are provided to help students achieve this objective.

### (1) Bio-Expert course

Professional English I, II, III

Compulsory courses focusing on improving TOEIC scores. Each course is tailored to student needs and proficiencies with level-specific classes. The three courses are structured in a way that students continue to improve their abilities over the 2 year Master's Course.

### (2) Frontier Bio course

Professional English I, II, III

Compulsory courses focusing on improving TOEIC scores. Each course is tailored to student needs and proficiencies with level-specific classes. The three courses are structured in a way that students continue to improve their abilities over the 2 year Master's Course.

Global Communication Strategies

An elective course focusing on English listening and speaking.

Communication Quality through Phonology

An elective course focusing on English pronunciation, stress, and rhythm.

Logic in Scientific Discovery

An elective small-group course focusing on logical thinking through reading and discussing English research papers.

International Forefront in Bioscience I, II

Intensive lectures and seminars held in English by researchers invited from universities abroad.

### (3) International course

Communication Quality through Phonology

A compulsory course focusing on English pronunciation, stress, and rhythm.

Logic in Scientific Discovery

A compulsory small-group course focusing on logical thinking through reading and discussing English research papers.

### Professional English I, II, III

Elective courses focusing on improving TOEIC scores. Each course is tailored to student needs and proficiencies with level-specific classes. The three courses are structured in a way that students continue to improve their abilities over the 2 year Master's Course.

### Global Communication Strategies

An elective course focusing on English listening and speaking.

### International Forefront in Bioscience I, II

Intensive lectures and seminars held in English by researchers invited from universities abroad.

### (4) Doctoral Course

By attending lectures etc. held in English by researchers invited from universities abroad, students are expected to further increase their knowledge on specified specialized topics and cutting-edge research. These classes also have the aim of increasing student communicative proficiency in English and cultural/international awareness.

### International Bio Seminars I–VI (in each academic year of the Doctoral Course)

Intensive lectures and seminars in English held by researchers invited from overseas universities, etc.

### Research Project Presentation (in the second year of the Doctoral Course)

Individual practice and training in research presentation techniques with a view to doing English oral presentations at the Summer Camp in the second year of the Doctoral Course.

### International Student Workshop (in the second year of the Doctoral Course)

Students spend time with other graduate school students invited from overseas universities, etc. at a seminar facility outside NAIST. They are expected to gain further experience in communicating using scientific English by presenting and discussing their research. Students also have the opportunity to build networks with other international researchers.

### US Laboratory Internship (in the first year of the Doctoral Course)

Students take part in a four-week program in the US at the University of California, Davis. While focusing on improving their practical English communication skills, students also take part in a mini-research project at a host laboratory.

### Elective English courses (held each year)

Global Communication Strategies

Communication Quality through Phonology

Professional English I, II, III

### (5) Requirements for all students

#### Web-based self-study English learning system

All students have access to a web-based self-study system to learn English. Although this is not a compulsory course, it is highly recommended that students use this system to continue improving their English whenever possible.

#### Periodic TOEIC IP tests to evaluate English ability

All students are required to take TOEIC IP tests. In the Master's Course, students take TOEIC tests three times: (i) immediately after admission, (ii) in April when students move to the second academic year, and (iii) in January of the second academic year. In the Doctoral Course, students take TOEIC tests in April of every academic year and in January of the final academic year.

### **Evaluation of academic performance**

1. After their academic performance has been evaluated, students will be informed of their results/grades within three weeks after the completion of course/lectures via the graduate school website and the bulletin board, etc. Academic performance can be checked via the automatic certificate issuing machine on the first floor of the NAIST Library.
2. In cases where students wish to appeal their results/grades mentioned in (1) above, students are required to inform the faculty members in charge of the lectures within one month of the date of receiving the results/grades in question. To inform the faculty members in charge, please check the office hours in the syllabus.



## 8 他研究科授業科目 及び 担当教員一覧

## 平成27年度情報科学研究科授業科目及び担当教員一覧

区分	授業科目名	領域	授業形態	単位数	担当教員	毎週授業時間数				総授業時間数	英語科目	備考
						I	II	III	IV			
基礎科目	計算機システムⅠ	L	1	1	中島康彦、Tran Thi Hong、川波弘道(ビデオ講義担当)	2		2		15	4/17のみ英語	全学共通科目 Ⅲ期は原則秋入学対象
	計算機システムⅡ	L	1	1	安本慶一、荒川豊、川波弘道(ビデオ講義担当)	2		2		15		全学共通科目 Ⅲ期は原則秋入学対象
	アルゴリズムⅠ	L	1	1	井上美智子、米田友和、川原純(ビデオ講義担当)	2		2		15		全学共通科目 Ⅲ期は原則秋入学対象
	アルゴリズムⅡ	L	1	1	松本裕治、新保仁、Kevin Duh、進藤裕之、川原純(ビデオ講義担当)	2		2		15		全学共通科目 Ⅲ期は原則秋入学対象
	バイオサイエンス概論	L	1	1	真木壽治 他	2				15		全学共通科目
	物質創成科学概論	L	1	1	香月浩之 他	2				15		全学共通科目
	情報理論	L	1	1	楯勇一	2				15		
	形式言語理論基礎	L	1	1	伊藤実	2				15		
	プログラミング基礎演習Ⅰ	P	1	1	門田暁人、伊原彰紀	4				30		
	プログラミング基礎演習Ⅱ	P	1	1	松本健一、畑秀明		4			30		
	信号処理論	L	1	1	加藤博一、山本豪志朗、武富貴史	2				15		
	数値計算法	L	1	1	加藤博一、山本豪志朗	2				15		
	応用解析学	L	1	1	佐藤嘉伸		2			15		
	最適化数学基礎	L	1	1	杉本謙二	2				15		
	微分積分学	L	1	1	池田和司	2				15		
	データ解析基礎	L	1	1	金谷重彦	2				15		
	確率過程論基礎	L	1	1	笠原正治		2			15		
	組合せ数学	L	1	1	(丸尾健二)	2				15		
	代数的構造	L	1	1	(丸尾健二)			2		15		
	専門科目	計算理論Ⅰ	C	L	1	伊藤実		2			15	
計算理論Ⅱ		C	L	1	井上美智子		2			15	○	
リコンフィギャラブルコンピューティング		C	L	1	高前田伸也、Tran Thi Hong	2				15	○	
ハードウェアテスト設計論		C	L	1	井上美智子、米田友和、大和勇太		2			15	○	
高性能計算機アーキテクチャ		C	L	1	中島康彦		2			15		
分散システムとモデルウェア		C	L	1	安本慶一		2			15	○	
ユビキタス情報処理		C	L	1	荒川豊			2		15		
モバイルコンピューティング論		C	L	1	柴田直樹		2			15	○	
ソフトウェア設計論		C	L	1	飯田元、(吉田則裕)	集中講義				15		
システム要求工学		C	L	1	高井利憲、(田中康、片平真史、石濱直樹、氏家亮)	集中講義				15		
仮想化システム基盤		C	L	1	市川昊平、渡藤康弘			2		15	○	
ソフトウェア工学Ⅰ		C	L	1	松本健一、畑秀明	2				15		
ソフトウェア工学Ⅱ		C	L	1	松本健一、門田暁人、伊原彰紀			2		15		
符号理論		C	L	1	楯勇一			2		15	○	
情報ネットワーク論Ⅰ		C	L	2	山口英、門林雄基	4				30	○	
情報ネットワーク論Ⅱ		C	L	2	藤川和利、猪俣敦夫、垣内正年			4		30		
現代情報セキュリティ論		C	L	2	山口英、(村井純)			2	2	30	○	
人工知能:探索とマイニング		M	L	1	松本裕治、新保仁、Kevin Duh	2				15	○	
環境知能		M	L	1	(萩田紀博)、神原誠之			2		15	○	
自然言語処理		M	L	1	松本裕治、(柏岡秀紀)、進藤裕之			2		15		
コンピュータビジョンⅠ		M	L	1	佐藤智和、中島悠太			2		15	○	
コンピュータビジョンⅡ		M	L	1	向川康博			2		15		
コンピュータグラフィックス		M	L	1	船富卓哉、久保尋之	2				15	○	
バーチャルリアリティ		M	L	1	神原誠之、武富貴史			2		15		
画像情報処理		M	L	1	横矢直和、河合紀彦		2			15		
無線通信システム		M	L	1	岡田実、東野武史		2			15		
信号検出理論		M	L	1	岡田実、東野武史			2		15	○	
ネットワークシミュレーション		M	L	1	岡田実、東野武史			2		15		
音情報処理		M	L	1	中村哲、戸田智基、(猿渡洋)、川波弘道			2		15		
系列データモデリング		M	L	1	戸田智基、Sakti Sakriani Watiarsi、Graham Neubig	2				15	○	
ヒューマンコンピュータインタラクション		M	L	1	Christian Sandor			2		15	○	
パターン認識		M	L	1	浮田宗伯		2			15		
ゲーム理論		A	L	1	笹部昌弘		2			15		
システム制御Ⅰ		A	L	1	(平田健太郎)		2			15	○	
システム制御Ⅱ		A	L	1	杉本謙二			2		15		
ロボティクスⅠ		A	L	1	小笠原司、高松淳	2				15		
ロボティクスⅡ	A	L	1	小笠原司、高松淳、(松本吉央、多田充徳)			2		15	○		
数理モデル論	A	L	1	池田和司、久保孝富		2			15			
計算神経科学	A	L	1	池田和司、(柴田智広、川人光男、神谷之康、銅谷賢治、吉本潤一郎)、久保孝富、爲井智也			2		15	○		
生命機能計測学	A	L	1	杉浦忠男、(飯田秀博、錢谷勉)			2		15			



専門科目	システムズバイオロジ I	A	L	1	金谷重彦, Md. Altaf-Ul-Amin	2			15	○	
	システムズバイオロジ II	A	L	1	金谷重彦, Md. Altaf-Ul-Amin			2	15		
	生体医用画像解析	A	L	1	佐藤嘉伸			2	15	○	
	生体医用メディア情報学	A	L	1	大竹義人		2		15		
	ビッグデータアナリティクス	共	L	1	中村哲、鈴木優、金谷重彦、(岩爪道昭、松井くにお)			2	15		
	先進情報科学特別講義 I, III	共	L	1	大和勇太、Gao Juntao、諏訪博彦、進藤裕之、武富貴史、久保尋之、吉川雅博、南裕樹、爲井智也、佐藤哲大			2	15	○	10クラス実施 (2クラスで1単位)
	先進情報科学特別講義 II, IV	共	L	1					15	○	H27年度不開講
	プロジェクト実習 I	共	P	2	各テーマ担当教員及び学外講師	テーマ毎に異なる			60		数クラス実施
	プロジェクト実習 II	共	P	2					60		H27年度不開講
	プロジェクト実習 III	共	P	2	各テーマ担当教員及び学外講師	テーマ毎に異なる			60		数クラス実施
	プロジェクト実習 IV	共	P	2					60		H27年度不開講
	ソフトウェア開発演習 I	共	P	2	飯田元、渡場康弘、河合紀彦			2	30		
	ソフトウェア開発演習 II	共	P	2	市川吳平、渡場康弘、山本豪志朗				2	30	
	先端複合技術論	共	L	1	飯田元、高松淳、猪俣教夫、(田中康)、高井利憲			1	1	15	
	先端複合演習 I	共	P	2	高松淳、(田中康)、高井利憲、大平健司	テーマ毎に異なる			30		
	先端複合演習 II	共	P	2	高松淳、(田中康)、高井利憲、大平健司	テーマ毎に異なる			30		
	先端ロボット概論	A	L	1	高松淳、(重見聡史、松本隆志、井上博允、藤本弘道、大原賢一、岡田慧、中岡慎一郎、小枝正直)		2		15		
	先端ロボット構成論	A	P	2	高松淳、神原誠之、松原崇充、吉川雅博	集中講義			60		
	先端ロボット開発論 I	A	P	1	高松淳、吉川雅博	集中講義			30		
	先端ロボット開発論 II	A	P	1	高松淳、吉川雅博、(山口明彦)	集中講義			30		
	情報セキュリティ運用リテラシー I	C	L	1	山口英、猪俣教夫、(高木浩光、松本隆、上原哲太郎)	集中講義			15		(大阪大学中之島センター)
	情報セキュリティ運用リテラシー II	C	L	1	藤川和利、(歌代和正)、猪俣教夫、(岡村久道、山川智彦)	集中講義			15		(大阪大学中之島センター)
	情報セキュリティPBL演習A	C	P	1	藤川和利、猪俣教夫、奥田剛、大平健司、(岡村真吾)	集中講義			15		
	情報セキュリティPBL演習B	C	P	1	藤川和利、猪俣教夫、奥田剛、大平健司、(岡村真吾)	集中講義			15		
	情報セキュリティPBL演習C	C	P	1	藤川和利、猪俣教夫、奥田剛、大平健司	集中講義			15		
	情報セキュリティPBL演習D	C	P	1	門林雄基、奥田剛、(篠田陽一、三輪信介)	集中講義			15		
	情報セキュリティPBL演習E	C	P	1	藤川和利、猪俣教夫、奥田剛、大平健司	集中講義			15		
	情報セキュリティPBL演習F	C	P	1	猪俣教夫、奥田剛、大平健司、(曾根秀昭、林優一、本間尚文)	集中講義			15		
情報セキュリティPBL演習G	C	P	1	藤川和利、猪俣教夫、奥田剛、大平健司、(岡村真吾)	集中講義			15			
一般科目	科学技術論・科学技術者論			1	担当教員		2		15		全学共通科目
	科学コミュニケーション			1	担当教員			2	15		全学共通科目
	英語プレゼンテーション法入門			1	(David Seil)	2			15	○	TOEIC点数により火・金の2クラス
	英語コミュニケーション法 I			1	Mike Barker			2	15	○	
	英語コミュニケーション法 II			1	Mike Barker			2	15	○	
	英語ライティング法			1	Mike Barker		2		15	○	
	英語プレゼンテーション法			1	Mike Barker	2			15	○	
	英語プロジェクトマネジメント法			1	Mike Barker		2		15	○	
	英語論文検索法			1	Mike Barker			2	15	○	
	英語デジタルメディア活用法			1	Mike Barker			2	15	○	
	異文化間コミュニケーション(先進学際領域特論 I)			1	(David Seil)			2	15	○	
	知的財産権			1	久保浩三			2	15	○	
	グローバルアントレプレナー I			1	担当教員	集中講義			15		
	グローバルアントレプレナー II			1	担当教員	集中講義			15		
	グローバルアントレプレナー III			1	担当教員	集中講義			15		
	グローバルアントレプレナー IV			1	担当教員	集中講義			15		
	グローバルアントレプレナー-PBL			1	担当教員	集中講義			15		
	プロトタイピング I			1	担当教員	集中講義			15		
	プロトタイピング II			1	担当教員	集中講義			15		
	科学哲学			1	(大西勇喜謙)		2		15		全学共通科目
	技術と倫理			1	(上田修史)			2	15	○	全学共通科目、隔年で英語
	環境と情報			1	(藤原健史)			2	15		
	日本文化入門			2	(Adarsh Bala Sharma)	2	2		30	○	
	日本語初級 I			2	(岩崎美紀子・國井紀子・笠井章代)			2	30		全学共通科目、留学生対象
	日本語初級 II(1)			1	(橋本昌子)			1	15		全学共通科目、留学生対象
	日本語初級 II(2)			1	(橋本昌子)				15		H27年度不開講
	日本語初級 III(1)			1					15		H27年度不開講
	日本語初級 III(2)			1					15		H27年度不開講
	アカデミックボランティア I			1	荒川豊	テーマ毎に異なる			30		
	アカデミックボランティア II			1	荒川豊	テーマ毎に異なる			30		

研究室特論	コンピューティングアーキテクチャ特論Ⅰ	1	中島康彦・高前田伸也・Tran Thi Hong	特論毎に異なる		
	コンピューティングアーキテクチャ特論Ⅱ	1	中島康彦・高前田伸也・Tran Thi Hong	特論毎に異なる		
	コンピューティングアーキテクチャ特論Ⅲ	1	中島康彦・高前田伸也・Tran Thi Hong	特論毎に異なる		
	コンピューティングアーキテクチャ特論Ⅳ	1	中島康彦・高前田伸也・Tran Thi Hong	特論毎に異なる		
	ディペンダブルシステム学特論Ⅰ	1	井上美智子・米田友和・大和勇太	特論毎に異なる		
	ディペンダブルシステム学特論Ⅱ	1	井上美智子・米田友和・大和勇太	特論毎に異なる		
	ディペンダブルシステム学特論Ⅲ	1	井上美智子・米田友和・大和勇太	特論毎に異なる		
	ディペンダブルシステム学特論Ⅳ	1	井上美智子・米田友和・大和勇太	特論毎に異なる		
	ユビキタスコンピューティングシステム特論Ⅰ	1	安本 慶一・荒川豊・諏訪博彦・藤本まなど	特論毎に異なる		
	ユビキタスコンピューティングシステム特論Ⅱ	1	安本 慶一・荒川豊・諏訪博彦・藤本まなど	特論毎に異なる		
	ユビキタスコンピューティングシステム特論Ⅲ	1	安本 慶一・荒川豊・諏訪博彦・藤本まなど	特論毎に異なる		
	ユビキタスコンピューティングシステム特論Ⅳ	1	安本 慶一・荒川豊・諏訪博彦・藤本まなど	特論毎に異なる		
	ソフトウェア基礎学特論Ⅰ	1	伊藤 実・柴田直樹	特論毎に異なる		
	ソフトウェア基礎学特論Ⅱ	1	伊藤 実・柴田直樹	特論毎に異なる		
	ソフトウェア基礎学特論Ⅲ	1	伊藤 実・柴田直樹	特論毎に異なる		
	ソフトウェア基礎学特論Ⅳ	1	伊藤 実・柴田直樹	特論毎に異なる		
	ソフトウェア工学特論Ⅰ	1	松本健一・門田暁人・伊原彰紀・畑秀明	特論毎に異なる		
	ソフトウェア工学特論Ⅱ	1	松本健一・門田暁人・伊原彰紀・畑秀明	特論毎に異なる		
	ソフトウェア工学特論Ⅲ	1	松本健一・門田暁人・伊原彰紀・畑秀明	特論毎に異なる		
	ソフトウェア工学特論Ⅳ	1	松本健一・門田暁人・伊原彰紀・畑秀明	特論毎に異なる		
	ソフトウェア設計学特論Ⅰ	1	飯田 元・市川晃平	特論毎に異なる		
	ソフトウェア設計学特論Ⅱ	1	飯田 元・市川晃平	特論毎に異なる		
	ソフトウェア設計学特論Ⅲ	1	飯田 元・市川晃平	特論毎に異なる		
	ソフトウェア設計学特論Ⅳ	1	飯田 元・市川晃平	特論毎に異なる		
	インターネット工学特論Ⅰ	1	山口 英	特論毎に異なる		
	インターネット工学特論Ⅱ	1	山口 英	特論毎に異なる		
	インターネット工学特論Ⅲ	1	山口 英	特論毎に異なる		
	インターネット工学特論Ⅳ	1	山口 英	特論毎に異なる		
	情報基盤システム学特論Ⅰ	1	藤川 和利	特論毎に異なる		
	情報基盤システム学特論Ⅱ	1	藤川 和利	特論毎に異なる		
	情報基盤システム学特論Ⅲ	1	藤川 和利	特論毎に異なる		
	情報基盤システム学特論Ⅳ	1	藤川 和利	特論毎に異なる		
	自然言語処理学特論Ⅰ	1	松本 裕治	特論毎に異なる		
	自然言語処理学特論Ⅱ	1	松本 裕治	特論毎に異なる		
	自然言語処理学特論Ⅲ	1	松本 裕治	特論毎に異なる		
	自然言語処理学特論Ⅳ	1	松本 裕治	特論毎に異なる		
	知能コミュニケーション特論Ⅰ	1	中村 哲	特論毎に異なる		
	知能コミュニケーション特論Ⅱ	1	中村 哲	特論毎に異なる		
	知能コミュニケーション特論Ⅲ	1	中村 哲	特論毎に異なる		
	知能コミュニケーション特論Ⅳ	1	中村 哲	特論毎に異なる		
	ネットワークシステム学特論Ⅰ	1	岡田 実	特論毎に異なる		
	ネットワークシステム学特論Ⅱ	1	岡田 実	特論毎に異なる		
	ネットワークシステム学特論Ⅲ	1	岡田 実	特論毎に異なる		
	ネットワークシステム学特論Ⅳ	1	岡田 実	特論毎に異なる		
	視覚情報メディア特論Ⅰ	1	横矢 直和	特論毎に異なる		
	視覚情報メディア特論Ⅱ	1	横矢 直和	特論毎に異なる		
	視覚情報メディア特論Ⅲ	1	横矢 直和	特論毎に異なる		
	視覚情報メディア特論Ⅳ	1	横矢 直和	特論毎に異なる		
	インタラクティブメディア設計学特論Ⅰ	1	加藤 博一・Christian Sandor、山本豪志朗、武富貴史	特論毎に異なる		
	インタラクティブメディア設計学特論Ⅱ	1	加藤 博一・Christian Sandor、山本豪志朗、武富貴史	特論毎に異なる		
インタラクティブメディア設計学特論Ⅲ	1	加藤 博一・Christian Sandor、山本豪志朗、武富貴史	特論毎に異なる			
インタラクティブメディア設計学特論Ⅳ	1	加藤 博一・Christian Sandor、山本豪志朗、武富貴史	特論毎に異なる			
光メディアインタフェース特論Ⅰ	1	向川 康博	特論毎に異なる			
光メディアインタフェース特論Ⅱ	1	向川 康博	特論毎に異なる			
光メディアインタフェース特論Ⅲ	1	向川 康博	特論毎に異なる			
光メディアインタフェース特論Ⅳ	1	向川 康博	特論毎に異なる			
環境知能学特論Ⅰ	1	萩田 紀博	特論毎に異なる			
環境知能学特論Ⅱ	1	萩田 紀博	特論毎に異なる			
環境知能学特論Ⅲ	1	萩田 紀博	特論毎に異なる			
環境知能学特論Ⅳ	1	萩田 紀博	特論毎に異なる			
ロボティクス特論Ⅰ	1	小笠原 司	特論毎に異なる			
ロボティクス特論Ⅱ	1	小笠原 司	特論毎に異なる			
ロボティクス特論Ⅲ	1	小笠原 司	特論毎に異なる			
ロボティクス特論Ⅳ	1	小笠原 司	特論毎に異なる			
知能システム制御特論Ⅰ	1	杉本 謙二	特論毎に異なる			

研究室特論	知能システム制御特論II	1	杉本 謙二	特論毎に異なる						
	知能システム制御特論III	1	杉本 謙二	特論毎に異なる						
	知能システム制御特論IV	1	杉本 謙二	特論毎に異なる						
	数理情報学特論 I	1	池田 和司	特論毎に異なる						
	数理情報学特論 II	1	池田 和司	特論毎に異なる						
	数理情報学特論 III	1	池田 和司	特論毎に異なる						
	数理情報学特論 IV	1	池田 和司	特論毎に異なる						
	計算システムズ生物学特論 I	1	金谷 重彦	特論毎に異なる						
	計算システムズ生物学特論 II	1	金谷 重彦	特論毎に異なる						
	計算システムズ生物学特論 III	1	金谷 重彦	特論毎に異なる						
	計算システムズ生物学特論 IV	1	金谷 重彦	特論毎に異なる						
	大規模システム管理特論 I	1	笠原 正治・笹部昌弘・川原 純	特論毎に異なる						
	大規模システム管理特論 II	1	笠原 正治・笹部昌弘・川原 純	特論毎に異なる						
	大規模システム管理特論 III	1	笠原 正治・笹部昌弘・川原 純	特論毎に異なる						
	大規模システム管理特論 IV	1	笠原 正治・笹部昌弘・川原 純	特論毎に異なる						
	研究室特論	生体医用画像特論 I	1	佐藤 嘉伸・大竹 義人	特論毎に異なる					
生体医用画像特論 II		1	佐藤 嘉伸・大竹 義人	特論毎に異なる						
生体医用画像特論 III		1	佐藤 嘉伸・大竹 義人	特論毎に異なる						
生体医用画像特論 IV		1	佐藤 嘉伸・大竹 義人	特論毎に異なる						
研究指導	ゼミナール I	1	所属研究室担当教員	2				15		
	ゼミナール II	1	所属研究室担当教員	2		4		15		
	研究論文	4	所属研究室担当教員							
	課題研究	4	所属研究室担当教員							
博士後期課程科目	国際化科目 I A, B	1	Mike Barker, (David Sell)	2	2	2	2	15	○	各期から選択
	国際化科目 II A, B, C	2	所属研究室担当教員	テーマ毎に異なる				30	○	
	先進学際領域特論 I	1	(David Sell)				2	15	○	
	先進学際領域特論 II	1						15	○	H27年度不開講
	先進情報科学特別講義 I ~IV	1	担当教員				2	15	○	10クラス実施 (2クラスで1単位)
	先進情報科学考究	2	所属研究室担当教員	随時実施				30		
	先進ゼミナール	2	所属研究室担当教員	随時実施				30		
	博士学位論文研究 I, III, V	3	所属研究室担当教員	随時実施				45		
博士学位論文研究 II, IV, VI	3	所属研究室担当教員	随時実施				45			

- ・講義形態のLは講義科目、Pは演習科目を示す。
- ・領域のCはコンピュータ科学領域、Mはメディア情報学領域、Aはシステム情報学領域、共は各領域に共通の授業科目を示す。
- ・担当教員の ( ) は、非常勤講師を示す。集中講義日程の詳細は電子シラバスに掲載。
- ・研究室特論について、修了に必要な単位としては算入しないが、所属する研究室以外の特論も一部履修可能である。  
他研究室からの履修が可能かどうかは電子シラバスに掲載。

## 平成27年度物質創成科学研究科授業科目及び担当教員一覧

## 博士前期課程

区分	授業科目名	単位数	担当教員	授業時期	総授業時間数	備考
共通科目	計算機システムⅠ	1	中島・Tran	4～5月	15	全学共通科目 (4/17のみ英語による授業)
	計算機システムⅡ	1	安本、他	5～6月	15	全学共通科目
	アルゴリズムⅠ	1	井上、他	4～5月	15	全学共通科目
	アルゴリズムⅡ	1	松本(裕)、他	5～6月	15	全学共通科目
	バイオサイエンス概論	1	真木(壽)、他	5～6月	15	全学共通科目
	物質創成科学概論	1	香月・荒谷	5～6月	15	全学共通科目
	科学技術論・科学技術者論	1	担当教員	6～7月	15	全学共通科目
	科学哲学	1	(大西)	7～8月	15	全学共通科目
	技術と倫理	1	(成瀬・三井)	6～9月	15	全学共通科目
	科学コミュニケーション	1	別所、他	10～11月	15	全学共通科目
一般科目	物質科学解析	1	石墨・富田・武田・野田 堀田・山崎・上沼・長尾	4月	15	
	物質科学英語Ⅰ	1	(中山)	4～7月 9～11月	15	
	物質科学英語ⅡA	1	McDowell	10～11月	15	単位修得した場合、博士後期課程で「物質科学英語ⅡB」は単位認定しない。
	物質科学英語ⅢA	1	McDowell	12月	15	単位修得した場合、博士後期課程で「物質科学英語ⅢB」は単位認定しない。
	科学技術政策と知的財産	1	久保・(大竹・松尾)	6～7月	15	
	サイエンスリテラシー	1	菊池・河合・山田	秋学期	15	
	グローバルアントレプレナーⅠ	1	担当教員	春学期	15	情報科学研究科開講科目
	グローバルアントレプレナーⅡ	1	担当教員	春学期	15	情報科学研究科開講科目
	グローバルアントレプレナーⅢ	1	担当教員	春学期	15	情報科学研究科開講科目
	グローバルアントレプレナーⅣ	1	担当教員	春学期	15	情報科学研究科開講科目
	グローバルアントレプレナー-PBL	1	担当教員	春学期	15	情報科学研究科開講科目
	プロトタイピングⅠ	1	担当教員	春学期	15	情報科学研究科開講科目
	プロトタイピングⅡ	1	担当教員	春学期	15	情報科学研究科開講科目
基礎科目	光ナノサイエンス概論Ⅰ	1	各研究室教員	4月	15	
	光ナノサイエンス概論Ⅱ	1	各研究室教員	4月	15	
	光ナノサイエンスコアⅠ	1	服部・中村 重城・小林・片山・鈴木	4月	15	
	光ナノサイエンスコアⅡ	1	冬木・服部・細糸 野田・谷本	4～5月	15	
	光ナノサイエンスコアⅢ	1	柳・河合・上久保 西山・寺田・湯浅・野々口	4月	15	
	光ナノサイエンスコアⅣ	1	柳・柳田 田原・山中・安原	4月	15	
	光と電子特講Ⅰ	1	(EC)稲垣・松井・細川 (AC)大門・服部・細糸	5月	15	
	光と電子特講Ⅱ	1	(EC)徳田・松井 (AC)大門・香月・細糸	5～6月	15	
	光と分子特講Ⅰ	1	(EC)谷原・森本・安藤 (AC)藤木・廣田・中嶋	5月	15	
	光と分子特講Ⅱ	1	(EC)廣田・松尾・細川 (AC)垣内・菊池・中嶋	5～6月	15	

区分	授業科目名	単位数	担当教員	授業時期	総授業時間数	備考
基礎科目	先端融合物質科学 I	1	(EC) 稲垣・松井・細川 (AC) 大門・服部・細糸	5月	15	
	先端融合物質科学 II	1	(EC) 谷原・森本・安藤 (AC) 藤木・廣田・中嶋	5月	15	
	先端融合物質科学 III	1	(EC) 徳田・松井 (AC) 大門・香月・細糸	5~6月	15	
	先端融合物質科学 IV	1	(EC) 廣田・松尾・細川 (AC) 垣内・菊池・中嶋	5~6月	15	
	現代量子力学特論	1	柳田・稲垣	6~7月	15	
	先端半導体工学	1	浦岡・石河	6~7月	15	
	先端光電子工学	1	太田	6~7月	15	
	先端電子材料工学	1	浦岡・石河	6~7月	15	
	現代有機化学特論	1	山田・森本	6~7月	15	
	先端高分子化学特論	1	藤木・安藤	6~7月	15	
	現代無機化学特論	1	松尾・(矢野重)	6~7月	15	
	先端生化学	1	谷原・上久保	6~7月	15	
	専門科目	光・磁気物性特論	1	柳・香月・細糸・細川	9~10月	15
電子原子物性特論		1	大門・服部・稲垣・松井	9~10月	15	
フォトニクス特論		1	太田・冬木・徳田	9~10月	15	
情報素子工学特論		1	浦岡・石河	9~10月	15	
分子フォトサイエンス特論		1	河合・山田・中嶋・荒谷	9~10月	15	
先端反応構造化学特論		1	藤木・森本・谷本・西山	9~10月	15	
生体機能物質特論		1	菊池・谷原・安原・田原・小林	9~10月	15	
生物物質科学特論		1	廣田・上久保・松尾	9~10月	15	
先端物質科学技術特論		1	連携研究室教員	9~10月	15	
物質科学特論 I		1	(古部)	秋学期	15	
物質科学特論 II		1	(坂田)	秋学期	15	
物質科学特論 III		1	(東・瀧宮)	秋学期	15	
物質科学特論 IV		1	(久枝・佐々木)	秋学期	15	
物質科学実験・実習	2	各研究室教員	4~5月	60		
ゼミナール A	1	配属研究室教員		15		
ゼミナール B	2	配属研究室教員		30		
融合ゼミナール A	1	各研究室教員		15		
融合ゼミナール B	2	各研究室教員		30		
研究論文	6	配属研究室教員				
特別課題研究	5	配属研究室教員				
課題研究	4	配属研究室教員				

担当教員の ( ) は、非常勤講師を示す。

(注)：日程の詳細は、後日発表する。

## List of subjects and faculty members in charge for the Graduate School of Materials Science in academic year 2015

## Master's Course (i course)

Category	Subject	Number of credits	Lecturer	Class period	Total number of classes	Remarks
Common Subjects	Technology and Professional Ethics (i)	1	(Ueda)	Autumn semester	15	Common Subjects for All Graduate Schools
	Japanese Class for Beginners I (i)	2	(Iwasaki・kunii・Kasai)	Autumn semester	30	Common Subjects for All Graduate Schools
	Japanese Class for Beginners II (1) (i)	1	(Hashimoto)	Autumn semester	15	Common Subjects for All Graduate Schools
	Japanese Class for Beginners II (2) (i)	1			15	N/A in this academic year
	Japanese Class for Beginners III (1) (i)	1			15	N/A in this academic year
	Japanese Class for Beginners III (2) (i)	1			15	N/A in this academic year
General Subjects	Mathematical Analysis for Materials Science (i)	1	Ishizumi・Tomita・Takeda・Noda・Horita・Yamazaki・Uenuma・Nagao	Autumn semester	15	
	Materials Science English I (i)	1	(Nakayama)	Autumn semester	15	
	Materials Science English II (i)	1	McDowell	Autumn semester	15	
	Materials Science English III (i)	1	McDowell	Autumn semester	15	
	Science Literacy (i)	1	Faculty members of assigned laboratory	Autumn semester	15	
	Intellectual Property Rights (i)	1	kubo	Autumn semester	15	"Intellectual Property Rights" provided by Information Science
	Intercultural Communication (i)	1	(Sell)	Autumn semester	15	"Intercultural Communication" provided by Information Science
	Japanese Culture (i)	2	(Sharma)	Spring semester	30	"Japanese Culture" provided by Information Science
Basic Subjects	Opto-Nano Science I (i)	1	Faculty members of respective courses	Autumn semester	15	
	Opto-Nano Science II (i)	1	Faculty members of respective courses	Autumn semester	15	
	Photon and Condensed Matters I (i)	1	Inagaki・Jujo	Autumn semester	15	
	Photon and Condensed Matters II (i)	1	Ishizumi・Takeda	Autumn semester	15	
	Photon and Molecules I (i)	1	Kamikubo・Yamazaki	Autumn semester	15	
	Photon and Molecules II (i)	1	Hosokawa・Suzuki	Autumn semester	15	
Specialized Subjects	Quantum Molecular Science (i)	1	Yanagi・Katsuki	Autumn semester	15	
	Surface Science (i)	1	Daimon・Hattori・Takeda・Taguchi	Autumn semester	15	
	Advanced Photonic Devices (i)	1	Ohta・Tokuda	Autumn semester	15	
	Information Device Science (i)	1	Uraoka・Ishikawa	Autumn semester	15	
	Photovoltaic Device and Applications (i)	1	Fuyuki・(Yano)	Autumn semester	15	
	Electronic and Magnetic Structure (i)	1	Hosoito・Matsui	Autumn semester	15	
	Synthetic Organic Chemistry (i)	1	Morimoto・Tanimoto・Nishiyama・(Mizuno)	Autumn semester	15	
	Biomolecular Chemistry (i)	1	Hirota・Matsuo	Autumn semester	15	



Category	Subject	Number of credits	Lecturer	Class period	Total number of classes	Remarks
Specialized Subjects	Advanced Biomaterials (i)	1	Tanihara・Ando・Terada・Kobayashi	Autumn semester	15	
	Photochemical Materials (i)	1	Kawai・Nakashima	Autumn semester	15	
	Organic Functional Materials (i)	1	Yamada・Aratani	Autumn semester	15	
	Advanced Polymers and Molecular Assemblies (i)	1	Fujiki・Kikuchi	Autumn semester	15	
	Materials Science Special I (i)	1	(Rappen)	Autumn semester	15	
	Materials Science Special II (i)	1	(Bonnassieux)	Autumn semester	15	
	Experiments in Materials Science (i)	3	Faculty members of assigned laboratory	Autumn semester	90	
	Seminar (i)	2	Faculty members of assigned laboratory		30	
	Interdisciplinary Seminar (i)	2	Faculty members		30	
	Research Thesis (i)	6	Faculty members of assigned laboratory			

Lecturers in charge (shown in parentheses) are part-time instructors  
 Note: The detailed schedule will be released at a later date.



## 平成27年度物質創成科学研究科授業科目及び担当教員一覧

## 博士後期課程

区分	授業科目名	単位数	担当教員	授業時期	総授業時間数	備考
国際化科目	物質科学英語 IIB	1	McDowell	9月 - 10月	15	博士前期課程で「物質科学英語 IIA」を単位修得した者は単位認定しない。
	物質科学英語 IIIB	1	McDowell	11月	15	博士前期課程で「物質科学英語 IIIA」を単位修得した者は単位認定しない。
	物質科学英語研修	2	国際交流委員長	1月	30	
	サイエンスリテラシー上級 I	1	配属研究室教員	通年	15	
	サイエンスリテラシー上級 II	1	配属研究室教員	通年	15	
	国際インターンシップ	2	国際交流委員長	通年	30	
	融合インターンシップ	1	配属研究室教員	通年	15	
	光ナノサイエンス特講	1	教務委員長	通年	15	
融合専門科目	物質科学融合特講	1	大門・浦岡・香月 徳田・中嶋・荒谷 (杉山)	10月 - 12月	15	
提案型演習科目	リサーチマネジメント演習 A	1	教務委員長	通年	15	
	リサーチマネジメント演習 B	1	教務委員長	通年	15	
	リサーチマネジメント演習 C	1	配属研究室教員	通年	15	
	先端物質科学演習	2	配属研究室教員	通年	30	
融合ゼミナール	特別融合科学ゼミナール A	1	教務委員長	秋学期	15	
	特別融合科学ゼミナール B	1	教務委員長	秋学期	15	
	特別融合科学ゼミナール C	1	教務委員長	秋学期	15	
総合探求	特別物質科学講究	6	配属研究室教員	通年		

担当教員の（ ）は、非常勤講師を示す。

(注)：日程の詳細は、後日発表する。



## 9 各種相談受付体制

## 9 各種相談受付体制



### 授業内容に関する相談

本学では、授業に対する理解をより深めることを目的として、オフィスアワーの時間帯を設定しています。

オフィスアワーでは、学生が授業担当教員の研究室を訪問し、授業についての質問又は相談をすることができます。

各授業担当教員のオフィスアワーの時間帯及び連絡方法については、各授業科目のシラバスの頁を参照してください。

各教員の部屋番号および電話番号については以下のアドレス、もしくは「バイオサイエンス研究科ウェブサイトトップページ→学内専用ページ→バイオサイエンス研究科事務室HP→バイオサイエンス研究科事務室→研究室別電話番号表」を参照してください。

研究室別電話番号表：[http://bsw3.naist.jp/gakunai/bio\\_tel.pdf](http://bsw3.naist.jp/gakunai/bio_tel.pdf)

### 研究指導に関する相談

教育・研究上の悩み等については、指導教員（本学では、複数教員指導制を採用しています）が相談に応じます。

### 就職に関する相談

就職や進路の悩みについては、企業経験豊かなキャリアアドバイザーやキャリアデザイン委員会の担当教員が相談に応じます。その他、多彩な「キャリア支援プログラム」の詳細は、「本研究科ホームページ>在校生の方へ>キャリア支援」に掲載されています。（10 学習支援「キャリア支援室」の頁も参照してください。）

### 健康に関する相談

体のことや心の悩み等については、保健管理センターで相談に応じます。保健管理センターには専門のカウンセラーが月に数回来ていますので、日程調整のうえ相談に応じています。（詳しくは、10 学修支援「保健管理センター」の頁を参照してください。）

## 学生なんでも相談窓口

みなさんが、大学院生活を送るうえで、さまざまな問題や悩みに直面することがあると思います。

本学では、そういった学生を支援するため、各研究科、保健管理センター、学生課に相談員を配置し、「学生なんでも相談」窓口を設けています。

相談員が、問題解決へのアドバイスのほか、相談内容によってはさらに適切な相談窓口を紹介しています。

悩み事が生じた場合は、一人で抱え込まず「学生なんでも相談」窓口を訪ねてください。

相談内容の秘密は厳守します。

なお、相談員等の詳細は、本学ホームページを参照してください。

<https://ad-info.naist.jp/gakusei/member/campus/soudan.html>

## ハラスメントに関する相談

ハラスメントとは、相手の意に反する言動や行為により、相手の人格を傷つけ、人権を侵害する行為をいいます。

ハラスメントには、主に以下の形態があります。

### ◎セクシュアル・ハラスメント

勉学、教育その他の場面において、優位な立場や権限を利用し、逆らえない立場にある者に対して性的な強要や働きかけで、相手や周囲に不快感や屈辱感を抱かせること。

### ◎アカデミック・ハラスメント

勉学、教育、研究に関連する場面において、教育等の権威的地位を有する者が、優位な立場や権限を利用して、精神的な面を含めて教育を受ける権利の侵害や学業の妨害、教育及び研究の妨害、教育研究に関わる職務の妨害等を生じさせる不適切な言動及び差別的待遇行為。

### ◎パワー・ハラスメント

上司又はこれに準ずる者が職務権限を利用して、職務とは関係のない事項又は職務上であっても適正な範囲を超えた事項について、有形無形に圧力を加える行為。

本学では、セクシュアル・ハラスメントに関する相談窓口を設けております。

セクシュアル・ハラスメントに関する苦情や相談がある場合は、各研究科・各センター・保健管理センター・事務局に相談員をおいていますので、遠慮なく電話やメール等で連絡してください。なお、相談員等の詳細は、本学ホームページのイントラネット／学生用ホームページの中にあるハラスメント関係を参照してください。

## 9 Our various counseling service systems



### Counseling regarding course content

We have office hours for you to help deepen your understanding of the courses offered. During office hours, students can visit the laboratories of our teaching staff overseeing the courses and ask questions about the courses or consult the teaching staff. As the office hour schedules and contact methods are established by each professor please check the corresponding page on each subject's syllabus.

For the rooms and telephone numbers of the Graduate School of Biological Sciences teaching staff, please access the following URL or proceed to “Top Page of the website of the Graduate School of Biology Sciences→ Internal Page→ Website of the Administrative Office of the Graduate School of Biological Sciences→ Administrative Office of the Graduate School of Biological Sciences→ List of Telephone Numbers of Laboratories” .

List of Telephone Numbers of laboratories:  
[http://bsw3.naist.jp/gakunai/bio\\_tel.pdf](http://bsw3.naist.jp/gakunai/bio_tel.pdf)

### Counseling related to research guidance

If you have issues related to education and research, you can consult one of your research supervisors. (This university has adopted a system whereby each student is assigned multiple research supervisors.)

### Counseling about job hunting

Our career advisors have rich experience with companies and they, along with the teaching staff supervising the Career Design Committee, will be available for you if you have any issues or concerns regarding your future career or academic courses. In addition, you can find detailed information on the various “Career Support Programs” by proceeding to “Webpage of the Graduate School > For students > Career Support”. (Also see the page entitled “10. Learning Support: Career Services Office”).

### Counseling on your health

The Health Care Center provides advice regarding physical and mental health. Professional counselors come to the Center several times a month to provide you with consultation services by appointment. (For more details, please see “10. Learning Support: Health Care Center.”)

## Student Consultation

Graduate students are faced with a variety of different problems and worries in the course of their everyday lives.

In order to give support to students facing problems, each graduate school, the Health Care Center, and the Student Affairs Division, has a Miscellaneous Consultation for Students office with consultation staff on hand.

As well as providing advice for the solution of problems, consultation staff can also point consults to an appropriate consultation office.

So don't keep your troubles to yourself. If you have any worries, please talk them over with Miscellaneous Consultation for Students staff. Strict confidentiality is maintained regarding the content of all consultations.

For more details about consultation staffs, please refer to the website of NAIST.

<https://ad-info.naist.jp/gakusei/member/campus/soudan.html>

## Counseling on harassment

Harassment refers to acts in violation of another person's character or human rights through speech or behavior against his or her will.

Principally, harassment takes the following forms:

### ◎Sexual harassment

To offend or humiliate one or more people around you by sexual coercion or approach, using a position of power or authority in such settings as study and education.

### ◎Academic harassment

Inappropriate speech and discriminatory treatment committed by those having authoritative status in an education setting by means of a position of power or authority in fields related to study, education and research, in violation of the right to receive education including mental mistreatment, or hindering education, research or related professional activities.

### ◎Power harassment

Acts by superiors or those having a similar status of applying conscious or subconscious pressure by exercising professional authority in matters that are beyond the boundary of their job description or that overstep the appropriate bounds even if related to the tasks.

We have a counseling window for sexual harassment cases.

If you have claims or seek advice on sexual harassment, please do not hesitate to contact us by telephone or mail. We have advisors in graduate schools, research centers, the Health Care Center, and the Administrative Bureau. For further details on advisors, please refer to the information on harassment on the Intranet/ internal page for students on our website.



## 10 学 修 支 援

## 10 学修支援

### 保健管理センター（キャンパスマップ③）

学生の心身の健康を保持するため、**check** 機能として健康診断を、**cure** 機能としては日常診療を行い、**care** 機能として生活指導・健康教育を充実させ、これらを相乗させ健康増進(health promotion)を目指すよう、大学会館の2階に保健管理センターがあります。

センターには、診察室・健康相談室・学生懇話室・休養室が配置され、内科医師・看護師各1名が常勤しています（他に、3名のカウンセラー、1名の看護師が非常勤）。

#### 1. 利用時間：

診察

診察時間	月	火	水	木	金
10:30～13:30	○(～12:00)	○	×	○(～12:00)	○
15:00～16:30	×	○	○	×	○

相談・休養・談話室 月曜日～金曜日 9:00～17:00

2. **診療**：身体的に異常があれば、遠慮なくセンターを受診して下さい。簡単な診断機器での対応や必要時は薬を処方します。当センターで対処出来ない病気や病態については、専門医や病院を紹介します。
3. **からだと心の相談**：心の悩みがあれば、医師と看護師で相談に応じます。週に2回、専門のカウンセラー3名によるカウンセリングも行っています。秘密は厳守しますので、気軽に相談して下さい。
4. **健康診断**：一般定期健康診断（6月）やRI、エックス線、遺伝子組換え、有機溶剤、特定化学物質の特殊定期健康診断を行っています。日程など必要な事項は、電子メール・案内状・掲示板で連絡します。  
（なお、当該年度内に人間ドックを受けられる方は、コピーを必ず保健管理センターにご提出ください）
5. **健康診断書の発行**：就職や進学に必要な健康診断書を発行します。一般定期健康診断時の全項目を検査していることが条件となります。発行は、附属図書館玄関ロビーにある証明書自動発行機または保健管理センターで行います。
6. **セルフチェック**：センター受付前に、自動身長体重計・自動血圧計・自動視力計を常置しています。健康チェックに役立てて下さい。
7. **学生懇話室**：リラクゼーション、団欒・交流に活用下さい。
8. **休養室**：からだの不調などで休養をとりたい時は利用して下さい。
9. **無料と守秘義務**：センターの利用は全て無料です。設備・機器類は大切に扱って下さい。ただし、紹介された医療機関を受診される場合の医療費は、健康保険証扱いの自己負担となります。身体的・精神的相談も含め、全ての医療行為には守秘義務があり秘密は厳守します。
10. **HCC NEWS（保健管理センターだより）**：HCC NEWS（保健管理センターだより）を年1回発行、配布しています。種々の情報を掲載していますので参考にして下さい。

#### 11. 連絡先

センター所長室：医師 寶學英隆（内線5105）

診察室受付：看護師 西山絹代（内線5108）

**健康保持・増進のため、保健管理センターを活用下さい。**

## 10. Study Support

### Health Care Center (③ on the campus map)

The Health Care Center (on 2F of the University Union Building) offers three functions below to maintain and promote student mental and physical health.

Check: Medical checkup

Cure: Day-to-day diagnosis and treatment

Care: Day-to-day lifestyle guidance and health education

The center has a consultation room, health counseling room, student chat room, and resting room, and is staffed by one physician and one nurse on a full-time basis (as well as three counselors and one nurse on a part-time basis).

#### 1. Open hours

##### 【Clinic】

Clinic Hours	Mon.	Tue	Wed.	Thu.	Fri.
10:30~13:30	○ (~12:00)	○	×	○ (~12:00)	○
15:00~16:30	×	○	○	×	○

Consultation, Resting, and Chat room: 9:00–17:00 from Mon. through Fri.

#### 2. Diagnosis and treatment

If you are experiencing any physical problems, please do not hesitate to visit the center. Diagnostic equipment is in place to offer simple treatment, and the center prescribes medicine if necessary. If the care required is beyond the capacity of the center, you will be introduced to outside specialists or hospitals.

#### 3. Mental health counseling

A doctor and nurses work together to offer mental counseling. The center is visited by professional counselors twice a week (three counselors each time) to offer counseling services. Please feel free to visit the center. Confidentiality obligations are strictly observed.

#### 4. Medical checkups

General regular medical checkups are available in June, while special regular medical checkups are offered to those who handle RI, X-ray, gene recombination, organic solvents, and specified chemical substances. Patients are informed of all details (including the schedule) via e-mails, letters, and bulletin boards.

(Those who take a complete medical checkup are required to submit copy of the report to Health Care Center.)

#### 5. Issuing health certificates

The center issues health certificates required for job applications and enrollment in advanced academic programs. Health certificates are available if you have gone through all the check items in the general regular medical checkups. Health certificates are issued (i) via the automatic certificate issuing system at the entrance lobby of the NAIST Library or (ii) at the Health Care Center.

#### 6. Self checks

Automatic height and weight scales, digital sphygmomanometers, and automatic optometers (located in front of the reception desk of the center) are available anytime for self checks.

#### 7. Student chat room

The room is available for relaxation and chatting.

#### 8. Resting room

The resting room is available when you feel ill and want to take a rest.

#### 9. Free-of-charge services and confidentiality obligations

- All the services offered by the center are free of charge. Please note, however, that medical expenses are incurred (but 70% of the expenses is covered by the National Health Insurance program) when you consult physicians at medical institutions introduced by the center.
- Please handle equipment carefully.
- All the medical practices (including physical and mental counseling) are subject to confidentiality obligations, which are strictly observed.

#### 10. HCC NEWS (the Health Care Center News)

HCC NEWS (the Health Care Center News) is issued and distributed annually to provide useful information.

#### 11. Contact information

Director's office at the center: Dr. Hidetaka Hougaku (physician) (extension 5105)

Reception desk at the Consultation Room: Ms. Kinuyo Nishiyama (nurse) (extension 5108)

**The Health Care Center is always available to maintain and promote your health.**

## 健康診断ならびに健康・安全教育

本学構成員に対し、健康の保持増進を図るため学校保健安全法に則り一般健康診断を、安全・衛生を確保するため労働安全衛生法に則り特殊健康診断を実施しています。

### 1. 健康診断

名称	区分	日程	対象	内容
一般健康診断 (※1)	情報科学研究科	6月24日(水)	学生全員	問診・診察、身体計測、視力・聴力検査、血圧測定、胸部X線検査、尿検査、血液検査
	バイオサイエンス研究科	6月25日(木)		
	物質創成科学研究科	6月26日(金)		
特殊健康診断	RI・X線健康診断 (※2)	(年2回) 第1回は一般定期健康診断時に、第2回は12月に予定	放射線実験従事者として登録の学生	問診、診察、血液検査
	遺伝子組換え健康診断 (※3)	(年1回) 一般定期健康診断時に併せて実施	遺伝子組換え実験従事者として登録の学生	問診、診察、血液検査
	有機溶剤健康診断	(年2回) 第1回は一般定期健康診断時に、第2回は12月に予定	有機溶剤実験従事者で、使用頻度・取扱量から産業医が必要と判断した学生	問診、診察、血液検査、尿検査など
	特定化学物質健康診断	(年2回) 第1回は一般定期健康診断時に、第2回は12月に予定	特定化学物質実験従事者で、使用頻度・取扱量から産業医が必要と判断した学生	各特定化学物質に定められた問診、診察、血液検査、尿検査など

※1：健康診断証明書の交付には、この一般健康診断時の全項目を受検していることが条件となります。

※2：RI・X線健康診断を受検していないと放射線実験はできません。

※3：遺伝子組換え健康診断を受検していないと遺伝子組換え実験はできません。

### 2. 健康・安全教育

健康の保持増進を図り、安全・衛生を確保し、安全意識の高い学生を世に送り出すため全学的な健康・安全教育を行っています。

名称	区分	日程	対象
健康教育	フィジカルヘルス・メンタルヘルス	5月19日(火) 4時限	新入学生全員
安全教育	安全教育(共通編)	4月7日(火) 4～5時限	
	安全教育(実験編)		

## Medical Checkups and Health & Safety Education

NAIST offers general medical checkups in accordance with the School Health and Safety Act to maintain and promote the health of its students, while conducting special medical checkups in accordance with the Industrial Safety and Health Act to ensure student safety and health.

### 1. Medical checkups

Name	Category	Date	Target	Details
General medical checkup* <sup>1</sup>	Graduate School of Information Science	Wed., June 24	All students	Interview/examination, body measurement, visual acuity/hearing tests, blood pressure measurement, chest X-ray, urine tests, and blood tests
	Graduate School of Biological Sciences	Thu., June 25		
	Graduate School of Materials Science	Fri., June 26		
Special medical checkup	RI/X-ray* <sup>2</sup>	(Twice a year) The first special medical checkup is conducted concurrently with the general regular medical checkup. The second special medical checkup is scheduled for December.	Students registered as participants of radiation experiments	Interview, examination, and blood tests
	Gene recombination* <sup>3</sup>	(Once a year) The special medical checkup is conducted concurrently with the general regular medical checkup.	Students registered as participants of gene recombination experiments	Interview, examination, and blood tests
	Organic solvents	(Twice a year) The first special medical checkup is conducted concurrently with the general regular medical checkup. The second special medical checkup is scheduled for December.	Students registered as participants of experiments using organic solvents and identified by industrial physicians based on frequency and volume of organic solvents handled	Interview, examination, blood tests, urine tests, etc.
	Specified chemical substances	(Twice a year) The first special medical checkup is conducted concurrently with the general regular medical checkup. The second special medical checkup is scheduled for December.	Students registered as participants of experiments using specified chemical substances and identified by industrial physicians based on frequency and volume of specified chemical substances handled	Interview, examination, blood tests, urine tests, etc., required for respective specified chemical substances

\*<sup>1</sup> Health certificates are available if you have gone through all the check items in the general medical checkups.

\*<sup>2</sup> Students who do not take medical checkups in the category of “RI/X-ray” are not allowed to engage in radiation experiments.

\*<sup>3</sup> Students who do not take medical checkups in the category of “Gene recombination” are not allowed to engage in gene recombination experiments.

### 2. Health & safety education

NAIST offers health and safety education programs for all the students to (i) maintain and promote health, (ii) ensure safety and health, and (iii) develop human resources with high levels of safety awareness.

Name	Category	Date	Target
Health education	Physical & mental health	Tue., May 19 4th period	All new students
Safety education	Safety education (common)	Tue., April 7 4th–5th periods	
	Safety education (experiment)		

## キャリア支援室

本学では、学生（主に博士後期課程学生）及び博士研究員のキャリア形成をサポートするために、平成 25 年度からキャリア支援室を設置しています。事務局棟 1 階（学生課隣り）に位置し、室内には求人票、情報検索用のパソコン 2 台、就職関連本（SPI 対策本や会社四季報など）を取り揃え、キャリア・アドミニストレーターが皆さんのキャリア形成に関する様々なサポートを行っています。

### 1. 開室時間：10:30～17:30（12:00～13:00 を除く）

※土曜、日曜、祝日、その他大学が定める休日は閉室します。

### 2. 就職関連図書の貸出

就職活動やキャリアビジョン策定に役立つ図書の貸出を行っています。

#### 図書貸出のルール

#### ①貸出期間：原則 1 週間以内

※ただし、次の貸出を希望する学生がいない場合は 1 週間の延長が可能です。

その際、返却日までにキャリア支援室まで連絡してください。

※長期間返却しない場合は、次回の貸出を受け付けません。

#### ②貸出可能な冊数：2 冊まで

※閲覧用図書、雑誌の貸出は行いません。

※貸出の際には、本人確認のため学生証が必要です。

#### ③貸出および返却場所：キャリア支援室

### 3. 就職ガイダンス

学生の就職活動を支援するために、就職ガイダンスを実施しています。日程等の詳細は、後日、キャリア支援室ホームページやメールによりお知らせします。

#### ●平成 27 年度実施予定

第 1 回	平成 27 年度就職活動の進め方	9 月～翌年 6 月で 第 1～13 回実施
第 2 回	自己分析対策講座	
第 3 回	自己 P R 作成講座	
第 4 回	履歴書・エントリーシート対策	
第 5 回	面接対策・マナー講座	
第 6 回	就職ナビサイト活用講座	
第 7 回	企業・業界研究に役立つ新聞の読み方講座	
第 8 回	面接集中講座①（集団面接）	
第 9 回	模擬グループディスカッション	
第 10 回	面接集中講座②（集団面接）	
第 11 回	面接集中講座③（集団面接）	
第 12 回	実践！模擬面接講座	
第 13 回	直前対策講座	
模擬エントリーシート添削、模擬試験（SPI 対策テスト）、公務員試験対策、留学生向け就職ガイダンス		

### 4. キャリア相談

キャリアビジョンや就職活動を進めていく上での悩み・不安などについての相談を受け付けています。相談には、キャリア・アドミニストレーター（博士後期課程学生のみ）のほか、就職支援機関のキャリア・アドバイザーが対応します。相談は完全予約制で、予約方法の詳細はキャリア支援室ホームページに掲載しています。なお、相談内容の秘密は厳守されます。

### 5. 連絡先

内線番号 5921/5922

E-mail : career@ad.naist.jp

URL : <http://www.naist.jp/career/>



## Career Services Office

Since its establishment in 2013, the Career Services Office has aimed to support students (principally Doctoral Course students) and post-doctoral researchers in career development. The office, located on the first floor of the Administrative Office building (next to the Student Affairs Office), has job posting information, two computers for information searches, and a collection of job-related books (including study-aid books for SPI and quarterly corporate reports) available, and the career administrator is available to provide various career development support.

### 1. Open hours: 10:30-17:30 (Closed between 12:00 and 13:00)

※ Closed on Saturdays, Sundays, National Holidays and specific university Holidays.

### 2. Lending service of books related to job hunting

You can borrow books that will be useful in your job hunting or development of your career vision.

#### Rules for borrowing books

① Borrowing period: Available for a week, in general

※ However, you can extend the borrowing period for another week if no student would like to borrow the same book.

In this case, please contact the Career Services Office by the return date.

※ Your next borrowing request will not be accepted if you have not returned books for an extended period of time.

② The maximum number of books to be lent per person at one time: 2

※ We do not lend books and magazines which are reserved for reading inside the office.

※ In order to borrow books, you need to present your student card for personal identification.

③ Where to borrow and return books: Career Services Office

### 3. Career guidance

We hold career guidance seminars to help students find and secure jobs. Details of the seminars, including the dates, will be available on the Career Services Office website or via e-mails.

#### ●Schedule for the academic year 2015

No. 1	How to proceed with job hunting for the academic year 2015	In total 13 seminars will be held between September and next June.
No. 2	Self-analysis seminar	
No. 3	Self-promotion seminar	
No. 4	Seminar on CVs and applications	
No. 5	Preparation for interviews and business etiquette	
No. 6	How to use job navigation sites	
No. 7	How to read newspapers to carry out research on companies and industry fields	
No. 8	Intensive seminar on interviewing① (Group interview)	
No. 9	Simulation of group discussion	
No. 10	Intensive seminar on interviewing② (Group interview)	
No. 11	Intensive seminar on interviewing③ (Group interview)	
No. 12	Practical seminar with a mock interview	
No. 13	Last-minute seminar	
Correction of mock applications, mock exams (preparation for SPI), preparation for civil service examination, job guidance for international students		

### 4. Career counselling

We provide advice on concerns and anxiety related to your career vision and job hunting. Our career administrators (for doctoral course students only) and career advisors from employment support organizations are available for counselling. Counselling services are available by appointment only and reservation instructions are provided on the Career Services Office website. Confidentiality will be strictly observed.

### 5. Contact

Extension: 5921/5922

E-mail: [career@ad.naist.jp](mailto:career@ad.naist.jp)

URL: <http://www.naist.jp/career/>



## 総合情報基盤センター：ITC（キャンパスマップ⑧）

総合情報基盤センター(ITC: Information iniTiative Center)は、本学の情報基盤および情報ネットワークシステム(曼陀羅システム)の整備・運用・管理、情報セキュリティ管理、情報メディアを活用した教育研究の支援を行なっています。

### 皆さんが曼陀羅システムで利用できる主なサービス

- 個人常用ワークステーション(ITC が管理する PC)
- ソフトウェア
- メール
- 印刷
- 無線 LAN を含む学内ネットワーク
- ファイルサーバ(ホームディレクトリやプロジェクトディスク)
- その他、利用方法など詳しい情報は以下をご参照ください  
<http://itcw3.naist.jp/ITC-local/mandara.html>

### 皆さんが曼陀羅システムを利用する上で守るべきこと

曼陀羅システムを利用する際は右の“情報ネットワーク利用に関する倫理規定”に記載されている遵守事項を守ってください。また、“全学情報環境システム運用方針”、“PC のセキュリティ対策について”、および“P2P ソフトウェア利用に関して”のページも必ず読み、ルールを守った上で利用してください。

- 全学情報環境システム運用方針  
[http://itcw3.naist.jp/ITC-local/policy/mandara\\_operation\\_policy\\_ja.pdf](http://itcw3.naist.jp/ITC-local/policy/mandara_operation_policy_ja.pdf)
- PC のセキュリティ対策について  
<http://itcw3.naist.jp/ITC-local/policy/security/>  
**使用する PC においてはセキュリティ対策を必ず実施してください。**
- P2P ソフトウェア利用に関して  
<http://itcw3.naist.jp/ITC-local/policy/p2p/>  
**P2P ソフトウェアは学内および学生宿舎での利用を禁止しています。**

これらの遵守事項やルール、また日本の法律を破った場合は、アカウント停止等の必要な措置を厳正に講じます。

### 曼陀羅システムとは

総合情報基盤センターでは、大学の情報基盤・情報ネットワークシステムのことを、**曼陀羅システム**と呼んでいます。“曼陀羅”とは密教における無限小の求心が逆に無限大の拡散に繋がる心理を意味しています。本学ではこれを基本理念として、利用者のニーズに基づいたシステム展開と、先進的な環境構築のために戦略的なアーキテクチャ構成を行っています。また“曼陀羅”が表す「過不足の無い充実した状態」の達成を目指し、曼陀羅システムの構築を進めています。

### 奈良先端科学技術大学院大学 情報ネットワーク利用に関する倫理規定

<http://reiki.naist.jp/kiyaku/pdf/12020.pdf>

#### 遵守事項(倫理規定第4条)

1. 他の者の通信の秘密を侵害しないこと
2. プライバシー等の他の者の人権を侵害しないこと
3. 著作権等の知的財産権を侵害しないこと
4. わいせつな図画の流布に係る通信行為がその他法令に違反し、又は公序良俗に反する通信を行わないこと
5. 有害なプログラムやデータによる情報ネットワークシステムや機器類の損傷その他情報ネットワークシステムの運用を妨害する行為をしないこと
6. 許可された利用権限以外のアクセスを行わないこと
7. 宗教的又は政治的な目的のために利用しないこと
8. 個人的な営利を目的として利用しないこと
9. 情報ネットワークシステムの円滑な利用を妨害しないこと
10. その他個人、本学や社会の利益を不当に損なう行為をしないこと

## 曼陀羅システムの各情報

曼陀羅システムの詳細や利用方法等については ITC のホームページをご覧ください。

### ■ ITC ホームページ

<http://itcw3.naist.jp/>

### ■ 利用方法が知りたいときは

<http://itcw3.naist.jp/ITC-local/mandara.html>

### ■ アナウンスについて

メンテナンス等により曼陀羅システムが利用できなくなる場合は、ITC のホームページに記載すると共にメールでお知らせしますので、ITC からのメールは必ずお読みください。

### ■ 連絡先について

<http://itcw3.naist.jp/ITC-local/ITC-mail-lists/itc-trouble.html>

ITC が管理するマシン、ネットワーク、プリンタなどに障害が起きた場合は、以下の連絡先に連絡してください。研究科により連絡先が違いますので注意してください。

研究科	連絡先	ITC 担当窓口
情報科学研究科	メールまたは WEB から ITC に連絡してください - メール (To: itc-trouble@itc.naist.jp) - WEB ( <a href="http://itcw3.naist.jp/ITC-local/ITC-mail-lists/itc-trouble.html">http://itcw3.naist.jp/ITC-local/ITC-mail-lists/itc-trouble.html</a> )	ITC 情報棟 B207
バイオサイエンス研究科	所属する研究室のコンピュータ係に連絡してください	バイオ技術職員室 バイオ棟 D214
物質創成科学研究科	所属する研究室の情報機器管理者に連絡してください	物質技術職員室 物質棟 E202

なお、メールや WEB からの連絡ができない場合(情報)や、コンピュータ係・情報機器管理者が不在の場合(バイオ・物質)、およびコンピュータウイルス感染などの非常時においては ITC の各担当窓口にご連絡ください。

# Information Initiative Center : ITC (⑧ on the campus map)

ITC manages and operates Information infrastructure and Information network (Mandara System) in NAIST. ITC also conducts the support of education and research by utilizing Information security management and Information media.

## The Mandara System includes:

- Personal Workstation (ITC manages these PCs)
- Licensed Software
- Email
- Printers
- IT Network and Wireless LAN
- File Server (Home Directory and Project Disk)
- See below for more about the Mandara System.  
<http://itcw3.naist.jp/mandara.en.html>

## Basic Rules and Regulations

When you use the Mandara System, you must observe the Ethical Regulations and the following Basic Rules.

- Mandara Operation Policy  
[http://itcw3.naist.jp/ITC-local/policy/mandara\\_operation\\_policy\\_en.pdf](http://itcw3.naist.jp/ITC-local/policy/mandara_operation_policy_en.pdf)

- Computer Security on Mandara  
<http://itcw3.naist.jp/ITC-local/policy/security/index.en.html>

**It is necessary to keep your computer secure in order to use the network properly.**

- Use of P2P Software  
<http://itcw3.naist.jp/ITC-local/policy/p2p/index.en.html>

**Using peer-to-peer (P2P) file-sharing software in NAIST or the NAIST dormitory is prohibited.**

If you break these regulations, rules and the Laws of Japan, ITC may suspend your account. So you have to keep these rules.

## What is "Mandara"

The university-wide information system at NAIST is named "Mandara", which refers to the truth in Esoteric Buddhism (i.e., the seeking of the infinitesimal paradoxically leads to infinite proliferation).

The Mandara System features strategic architectural configuration to meet user needs and build an advanced environment.

Meanwhile, an information processing environment has been developed from the viewpoint of researchers based on the basic principle of "fulfillment without excess or deficiency" as represented by Mandara.

## Ethical Regulations

### for NAIST Information Network Use

[http://itcw3.naist.jp/ITC-local/policy/ethical\\_regulations/ethical\\_regulations\\_en.pdf](http://itcw3.naist.jp/ITC-local/policy/ethical_regulations/ethical_regulations_en.pdf)

### Network Rules (Ethical Regulations – Article 4)

1. Do not violate the personal communication of others.
2. Do not violate the rights or privacy of others.
3. Do not violate copyrights or intellectual property rights.
4. Do not send or participate in the sending of obscene/indecent pictures or writing, immoral communication, or any other communication that violates Japanese laws and ordinances.
5. Do not obstruct the management and operation of the Information Network System or damage the network or its equipment through the use or downloading of harmful software or data.
6. Only access the Information Network System within the authorized limits.
7. Do not use the Information Network System for religious or political purposes.
8. Do not use the Information Network System for personal profit.
9. Do not obstruct the proper management and operation of the Information Network System.
10. Do not participate in or perform acts that unjustly impair or harm personal, university, or social interests and activities.

## More Information about the Mandara System

You can get more information about the Mandara System on the ITC web pages.

- ITC web page

<http://itcw3.naist.jp/>

- How to use the Mandara System

<http://itcw3.naist.jp/mandara.en.html>

- ITC Announcement

When the Mandara System is scheduled to stop due to some reasons such as the maintenance of network, ITC will inform you through the ITC web page and email. So, please read the email from ITC.

- Contact Information

<http://itcw3.naist.jp/ITC-local/ITC-mail-lists/itc-trouble.en.html>

When you have troubles with machines ITC manages, network and printer, please contact the person in charge through the following contact information. Please be reminded that the contact Information is different in each school.

Graduate School	Contact Information	ITC Staff's Room
Information Science	ITC - Email (To: <a href="mailto:itc-trouble@itc.naist.jp">itc-trouble@itc.naist.jp</a> ) - WEB ( <a href="http://itcw3.naist.jp/ITC-local/ITC-mail-lists/itc-trouble.en.html">http://itcw3.naist.jp/ITC-local/ITC-mail-lists/itc-trouble.en.html</a> )	IS building - B207
Biological Sciences	PC administrators and faculties in your lab	BS building - D214
Materials Science	PC administrators and faculties in your lab	MS building - E202

If the student of Information Science cannot contact the person by email or web, the person in charge is not available (for the student of Biosciences and Materials Sciences), or you have troubles such as the infection of computer virus, please contact ITC staff directly.

## 国立大学法人奈良先端科学技術大学院大学情報ネットワーク利用に関する倫理 規程

平成16年4月1日  
規程第 86 号

### (目的)

第1条 この規程は、国立大学法人奈良先端科学技術大学院大学（以下「本学」という。）における情報ネットワークの利用に関して、通信の秘密、人権若しくは知的財産権を侵害する行為、倫理上問題となる行為又は情報ネットワークの適切な運用を妨害する行為を防止し、情報ネットワークシステムの円滑な運用を図り、もって教育研究及び管理運営の活性化に資することを目的とする。

### (定義)

第2条 この規程において用いる用語の定義は、次のとおりとする。

- (1)「情報ネットワークシステム」とは、本学が管理・運用する情報ネットワーク設備、それらに接続されたコンピュータ、情報関連機器及びそれらにおいて用いられるソフトウェアをいう。
- (2)「利用者」とは、役員、職員、学生その他本学において教育研究又は事務若しくは技術に従事する者で、本学の情報ネットワークシステムを利用する者をいう。
- (3)「システム管理者」とは、総合情報基盤センター長その他本学の情報ネットワークシステムを管理する者をいう。

### (利用目的の限定)

第3条 情報ネットワークシステムの利用は、教育研究及び大学運営に関する目的に限られる。

### (遵守事項)

第4条 利用者は、情報ネットワークシステムが社会に対して強くかつ広い影響力を持つものであることを認識し、その適切かつ円滑な運用に努め、次に掲げる事項を遵守しなければならない。この場合において、利用者は、個人情報又は業務上知り得た情報を適切に取り扱わなければならない。

- (1) 他の者の通信の秘密を侵害しないこと。
- (2) プライバシー等の他の者の人権を侵害しないこと。
- (3) 著作権等の知的財産権を侵害しないこと。
- (4) わいせつな図画の流布に係る通信行為その他法令に違反し、又は公序良俗に反する通信を行わないこと。
- (5) 有害なプログラムやデータによる情報ネットワークシステムや機器類の

- 損傷その他情報ネットワークシステムの運用を妨害する行為をしないこと。
- (6) 許可された利用権限以外のアクセスを行わないこと。
  - (7) 宗教的又は政治的な目的のために利用しないこと。
  - (8) 個人的な営利を目的として利用しないこと。
  - (9) 情報ネットワークシステムの円滑な利用を妨害しないこと。
  - (10) その他個人、本学や社会の利益を不当に損なう行為をしないこと。

(システム管理者の責務)

第5条 システム管理者は、この規程の趣旨及び前条に規定する遵守事項を利用者に周知するとともに、情報ネットワークシステムの利用に関する倫理について啓発活動に努めなければならない。

- 2 システム管理者は、この規程に違反する行為又は状態があるときは、違反した者の情報ネットワークシステムの利用を停止するなど必要な措置を講ずることができる。

(実情調査等)

第6条 第4条に規定する遵守事項に違反する行為又は状態がある場合、発見者は、総合情報基盤センター（以下「センター」という。）に通知しなければならない。

- 2 センターは、実情を調査し、第4条に規定する遵守事項に違反した者が判明した場合は、学長及び当該違反者が所属する長に調査結果の報告を行うものとする。
- 3 センターは、当該事案に他の学内委員会の所掌に属する事項が含まれる場合には、前項の報告に併せて、当該委員会に調査結果を通知するものとする。
- 4 センターは、第2項の実情調査を行うに当たって、当事者その他の関係者のプライバシー、名誉その他人権に十分配慮して公正な事情聴取を行わなければならない。

(処分等)

第7条 学長は、前条第2項の報告に基づき、所定の手続を経て、違反の行為の程度に応じて、懲戒処分その他必要な措置を厳正に講ずる。

(雑則)

第8条 この規程に定めるもののほか、情報ネットワークの利用に関し必要な事項は、別に定める。

附 則

この規程は、平成16年4月1日から施行する。

附 則

この規程は、平成17年10月20日から施行する。

附 則

この規程は、平成22年8月1日から施行する。

附 則

この規程は、平成23年3月1日から施行する。



## Ethical Regulations for NAIST Information Network Use

Note: This is English translation of the Ethical Regulations for NAIST Information Network Use, which is originally in Japanese. It is provided as a reference for international staff and students to understand the content of Ethical Regulations for NAIST Information Network Use and it should not be regarded as official regulations.

### Article 1 (Purpose)

These regulations have been created to prevent actions that may violate communication privacy, human rights, or intellectual property rights, actions of moral misconduct, and those actions that may interfere with proper operation during the use of NAIST's information network. In addition, they have been created to ensure smooth operation of the information network system and contribute to the improvement of its management, supervision and role in education and research.

### Article 2 (Definitions)

- (1) The "Information Network System" refers to the facilities for the management and operation of the information network, the computers connected to this network, equipment related to the network, and the software used on it.
- (2) "Users" refers to NAIST directors, staff, faculty, students and those engaged technical, administrative, research, or educational activities, who use NAIST's information system.
- (3) "System administrator" refers to the director of the Information Initiative Center and those involved with administration and management of the information network system.

### Article 3 (Restrictions of Use)

The information network system is to be solely used for the purposes of education, research and university administration and management.

### Article 4 (Network Rules)

Users recognize that the Information Network System can have strong and broad effects on society and, in order to ensure the smooth and proper operation of the network, agree to abide by the following rules. In using the internet, the user must handle all information, personal and otherwise, attained through the system properly.

- (1) Do not violate the personal communication of others.

- (2) Do not violate the rights or privacy of others.
- (3) Do not violate copyrights or intellectual property rights.
- (4) Do not send or participate in the sending of obscene/indecent pictures or writing, immoral communication, or any other communication that violates Japanese laws and ordinances.
- (5) Do not obstruct the management and operation of the Information Network System or damage the network or its equipment through the use or downloading of harmful software or data.
- (6) Only access the Information Network System within the authorized limits.
- (7) Do not use the Information Network System for religious or political purposes.
- (8) Do not use the Information Network System for personal profit.
- (9) Do not obstruct the proper management and operation of the Information Network System.
- (10) Do not participate in or perform acts that unjustly impair or harm personal, university, or social interests and activities.

#### Article 5 (System Administrator Duties)

The system administrator will alert all users of these regulations and the rules within, while promoting moral awareness concerning information network system usage.

- (2) The system administrator may take measures such as canceling access to the Information Network System of those individuals who violate or are in violation of these regulations or any of the rules within.

#### Article 6 (Network Investigation)

Upon discovering acts or computers in violation of the rules in article 4, report this to the Information Initiative Center. (Herein referred to as “Center”)

- (2) After investigating possible violations and finding violations of the rules in article 4, the Center will notify the university president and the dean of the violator’s graduate school of the investigation results.
- (3) In the case where a violation involves areas under the administration of a university committee, the Center will also notify the appropriate committee of the investigation results.
- (4) In performing the investigation in (2), the Center will perform an impartial interview of the possible violation and those involved, taking care to respect their respective privacy, rights, and reputation.

#### Article 7 (Disciplinary Actions)

After receiving a report of the investigation in Article 6-(2) and after following the appropriate procedures, the university president will decide strict disciplinary actions appropriate to the severity of the violation.

#### Article 8 (Miscellaneous Provisions)

Provisions and rules in addition to those stated in these regulations will be established concerning information network usage.

#### Supplementary Provision

These regulations shall come into effect on April 1, 2004.

#### Supplementary Provision

These regulations shall come into effect on April 1, 2005.

#### Supplementary Provision

These regulations shall come into effect on April 1, 2010.

#### Supplementary Provision

These regulations shall come into effect on April 1, 2011.

# 全学情報環境システムの運用方針

## — 2014年度版 —

### 総合情報基盤センター

総合情報基盤センターでは本センターが管理運用する全学情報環境システムについて、2014年度は以下のような指針に基づいて運用を行う。

#### (アカウントについて)

1. 総合情報基盤センター保有システムのアカウント (以下、曼陀羅アカウント) について総合情報基盤センターでは以下の条件を満足する場合にのみ、曼陀羅アカウントを発行する。アカウントは本人のみの使用を許可しており、他人への貸与を禁止する。
  - 本学教職員
  - 本学学生
  - 本学役員
  - 本学が契約している派遣会社からの派遣職員
  - 本学によって受け入れが認められている外部研究員
  - 運用管理上必要となるアカウント
  - その他総合情報基盤センター長が認めるもの
2. 曼陀羅アカウントの失効について  
異動、退職等により本学を離れると同時に曼陀羅アカウントは失効する。曼陀羅アカウントの失効とは、該当アカウントで曼陀羅システムに login できなくなり、メールアカウントが無効となることである。ただし、メールの転送設定は、本学を離れてから3ヶ月間有効である。
3. 各研究室購入機器におけるアカウント (以下、研究室アカウント) について以下の手順で各研究室がアカウント作成を行うこと
  - UNIX マシン上で研究室アカウントを作成する際は本学環境内での UID , GID の衝突を避けるため総合情報基盤センターまで連絡すること。
  - 基本的に研究室アカウントは各研究室が管理すること。

- 曼陀羅アカウントを持っているものは、全学ファイルサーバ上のホームディレクトリを利用してよい。それ以外の研究室アカウントのホームディレクトリは各研究室で用意すること。
4. 全学情報環境システムの各システムにおける super user アカウント (Microsoft Windows については Administrator) は総合情報基盤センターが認めた利用者だけに開放する。
    - 研究遂行上、必要と認められる場合には super user アカウント (または Administrator) を開放する。その際、運用管理上の問題が発生しないように利用者と運用管理についての打ち合わせを十分行い注意喚起すること。
    - それ以外の場合には、基本的に super user (または Administrator) のアカウントは公開しない。
  5. 曼陀羅アカウントの停止について
    - 奈良先端科学技術大学院大学情報ネットワーク利用に関する倫理規程に違反した場合、割り当てた曼陀羅アカウントを停止する。

### (個人情報保護について)

6. 利用者に対する個人情報保護に関わる方針を以下のとおり定める。
  - 研究上若しくは職務上で知りえた一切の個人情報は、生涯にわたり第三者に故意または過失によって提供、漏洩しないこと。
  - 個人情報の取り扱いは、研究若しくは職務の遂行上正当な理由の場合に限定して行うこと。
  - 研究上若しくは職務上不必要となった個人情報については、完全に破棄または消去すること。
  - 万一、個人情報が提供、漏洩するような事が発生した場合は、本学規約に基づき処理されるものとする。
7. 総合情報基盤センターでは、保持する個人情報をその利用目的に限り使用する。総合情報基盤センターが保持する個人情報及びその利用目的は、以下の通りである。
  - 総合情報基盤センターが保持する個人情報
    - － 曼陀羅アカウントを所持する本人を特定できる個人情報ファイル  
この個人情報ファイルに含まれる情報は、氏名・所属・曼陀羅アカウント名・曼陀羅アカウントの有効期間・システムへの設定パラメータである。
  - 利用目的
    - － 曼陀羅アカウントの発行および失効

- システムの利用状況などの調査
- 総合情報基盤センターの円滑な運用

但し、この方針の中でいう個人情報及び個人情報ファイルとは、本学個人情報管理規程第3条で定義されたものをいう。

### (全学情報環境システム上のデータについて)

8. 全学情報環境システム上のデータは、全て本学に帰属する。

### (総合情報基盤センターから提供される機材について)

9. 総合情報基盤センター保有システムのハードウェアの増設・改変は認めない(付属機器等の接続変更を含む)。
10. 個人常用ワークステーションの本体電源は常に ON の状態にしておくこと (Microsoft Windows, Mac OS で動作するマシンを含む)。
11. 全ての個人常用ワークステーションの勝手な移動は認めない。
  - 同一の部屋内での移動であっても、ネットワークの切断が発生するような移動の場合は必ず利用者に正しい手続きにより連絡させること。
12. 個人常用ワークステーションのローカルディスク領域は各利用者には提供しない。
13. ファイルサーバのホームディレクトリ領域および 500GB 以下のプロジェクトディスク領域のバックアップは総合情報基盤センターが定期的に行う。
14. ファイルサーバのディスクの割り当ては当面、教員 200GB、学生 100GB とし、必要に応じて割当領域を変更する。
  - 割当領域の変更は、要求ベースで判断する。
  - 全てのディスク空き領域を、各研究室やユーザに対して事前に割り当てることは行わない。足りなくなった時点で割り当てるという方針で行う。

### (ネットワーク接続について)

15. ネットワーク接続に当たっては総合情報基盤センターに対してどのような機器を接続するかといった説明を必ず行わせること。ネットワーク運用上障害が予想される場合には、接続を許可しない。

16. IP address 等については総合情報基盤センターに申請を行わせ、正式なアドレスを入手させること。
17. 研究室購入の設備を学内ネットワークに接続する場合、接続に必要な機器・器材はすべて研究室側で用意させること (ケーブルを含む)。

### (消耗品の管理について)

18. システム運用上発生する消耗品については、各研究科、各部局が消耗品の発注・支払を行うこと。
19. 各フロアのプリンタ消耗品(トナー、ドラム、用紙など)の補充・交換作業は、利用者が行うこと。またこれらの在庫は、各研究科、各部局が管理すること。

### (メンテナンスについて)

20. 全学情報環境システムに不具合が生じ、緊急に対処する必要がない場合は、水曜日午前にシステムを停止して、復旧作業を行うこと。このとき、約1週間前に電子メールにて、事前周知を行うこと。
21. 全学情報環境システムに緊急を要する不具合が生じた場合は、各部局への連絡を行った後、システムを直ちに停止し、復旧作業を行うこと。

### (その他)

22. 小規模計算サーバシステム、情報科学研究システム、バイオ情報処理システム、物質創成科学情報処理システム、物質創成研究システムなどの研究系設備については、必要に応じて主たる利用者と共同運用すること。
23. 原則として、異動・退職者の曼陀羅アカウントは即座に失効させること。曼陀羅アカウント失効後、ホームディレクトリ上のデータは消去すること。
24. 全学情報環境システムの機器の破損・盗難が発生した場合には、利用者と総合情報基盤センターが誠意を持って相談の上、解決すること。
25. 全学情報環境システムのマニュアルは総合情報基盤センターが管理・保管すること。利用者がマニュアルを必要な場合、提供すること。



# MANDARA Operation Policy (ver.2012)

## Information Initiative Center of NAIST

Note: This is English translation of the MANDARA Operation Policy, which is originally in Japanese. It is provided as a reference for international staff and students to understand the content of MANDARA Operation Policy and it should not be regarded as official regulations.

### MANDARA Account

1. ITC (Information iniTiative Center) issues MANDARA System user accounts for the following types of users. Users who is issued MANDARA account must not lend it to other people.

: (“MANDARA” is the university system at NAIST)

- University executives
- Faculty members, staff and students in NAIST
- Temporary employees who have made a contract with the finance division of the University.
- Researchers who are authorized by the University Office
- Any other people who are approved by the chair of ITC

2. MANDARA Account Expiration

- Your MANDARA account will be considered expired if you are no longer employed or officially affiliated with NAIST. In the case of an expired account, you will not be able to login to the system and your mail account will be voided. You will still be able to transfer you mail for up to 3 months from the date of expiry.

3. User account settings in laboratory equipment

Please create your user account using the following procedure:

- If you create user account on UNIX system, you must contact ITC. This is necessary to avoid UID/GID conflicts between your system and MANDARA system.
- User accounts are managed by each user's respective laboratory.

- People who have MANDARA account on ITC system's can use a home directory assigned in file server. Any other accounts must be prepared by the individual.
4. Super User Accounts ("Administrator" accounts in Microsoft Windows) are available on a limited basis.
    - If you need a super user account to conduct your research, please consult with ITC. If such an account is granted, it is up to the user to ensure responsible usage of the account in order to avoid problems.
    - Super user accounts cannot be issued for any other circumstance other than the one detailed above.
  5. MANDARA Account suspension
    - Any user's MANDARA account who violates any of the policies outlined in the NAIST Information Network Ethics Regulations will be suspended.

## Privacy

6. ITC outlines the privacy policy as follows:
  - Information gained in the course of your research may not be disclosed to a third party for the rest of your life.
  - The use of personal information is restricted to cases where such information is deemed necessary for either your research or work.
  - When the personal information become unnecessary for your research, you have to completely delete the information.
  - If personal information is leaked, the issue will be handled according to our university's policies.
7. ITC use the personal information to limited purpose. The ITC saves personal information for the following reasons:
  - Personal information
    - ITC will use personal information files to estimate users' identification.
    - That file includes name, affiliation, MANDARA account name, MANDARA account term and system parameter.

- Purpose
  - MANDARA account assignment and experimentation
  - System observation
  - Stable system operation
- Personal information and files are defined in the third clause of the NAIST Personal Information Management Policy.

## Data on MANDARA

8. The amount of data property on MANDARA is vested to our university.

## Computer Equipment provided by ITC

9. You may not extend or alter any system hardware provided by ITC. Additionally, you cannot change hardware connections such as USB and Ethernet.
10. Please ensure that all individual workstations' power switches (including Microsoft Windows and Apple machines) are left on.
11. You are not allowed to move personal workstations provided by ITC.
12. ITC is unable to assign local disks attached to your workstation.
13. ITC performs scheduled backups of your home directory and project disks so long as those disks remain under the 500GB storage limit.
14. Your home directory is limited. ITC has assigned a 200GB limit for faculty members and a 100GB limit for students.
  - A) You may request to change the amount or disk space you are assigned.
  - B) ITC is unable to assign an entire disk space to a user or dedicated laboratory.

## Network Connectivity

15. You must consult with ITC before connecting any equipment to the MANDARA network. If the proposed equipment poses any potential for network system failures, the request will be denied.
16. Only use IP Addresses that have been assigned by the ITC.
17. Equipment required for connecting to the network (e.g. a network cable) must be provided by the user.

## Consumable products

18. Individual departments are responsible for the ordering and funding of consumable products.
19. Individual users are responsible for changing printer equipment such as paper, ink toner, etc. Such equipment is managed by each individual department.

## Maintenance

20. Please be aware that the network requires periodic downtime for maintenance. In such cases ITC will issue a notice by email about 1 week prior to the maintenance shutdown.
21. If a system failure occurs and emergency action is necessary, ITC will immediately shutdown the system and commence recovery work after communicating with the individual departments.

## Others

22. ITC operates the following systems with the main user:
  - Small Cluster Server, Information Science System, Bioinformatics Processing System, Material Information Processing System, Material Research System
23. Please consult with ITC before using equipment for presentations.
24. As a general rule, you should remove your data and files from MANDARA system until your MANDARA account expiry date. The files that is managed by ITC will be removed after your account expiring.
25. In the case of broken or stolen MANDARA system equipment, ITC will take the issue up with the user.
26. ITC have an individual MANDARA system user manual. Please see ITC if you require it.

## 附属図書館 (キャンパスマップ②)

本学附属図書館は先端科学技術（情報科学、バイオサイエンス、物質創成科学）に関する教育・学術研究活動を支援する電子図書館です。本学の電子図書館のコンセプトは、図書・雑誌を冊子体ではなくデジタル技術により曼陀羅ネットワークを介して、いつでもどこでも自由に利用できることです。授業ビデオ・学位論文などの大学生産物を多様なメディアで提供するとともに、世界レベルの情報を統合的にフルテキストまで容易にアクセスできます。

また、図書や雑誌を冊子体で提供する来館型図書館サービスについても、本学の教職員および学生は、24時間閲覧室の利用と貸出サービスの利用ができます。折々のテーマに沿った図書を展示する「知の森コーナー」、グループ学習タイプの閲覧室「マルチメディアラウンジ」・「シアターラウンジ」を備え、また、他大学図書館・国立国会図書館・奈良県立図書情報館とも連携し、幅広いサービスの充実に努めています。

### 電子図書館の主なサービス

#### 1. 高度な情報検索

本学蔵書・電子化資料・学術リポジトリと電子ジャーナル・電子ブック・データベースを横断的に高速検索することができます。書誌・目次・抄録情報だけでなく、本文情報を含めたきめ細かい高度な検索機能を提供しています。

#### 2. パーソナライズ機能

Web 経由で各種申し込み、進捗状況の把握やオンラインコンテンツの管理が行えます。

#### 3. 新着情報通知機能 (SDI)

本文テキストをデータベース化することにより、利用者があらかじめ登録したキーワードに合致する資料の新着情報を電子メールで自動通知します。

#### 4. 授業アーカイブ

研究科における授業をデータベース化して公開する「授業アーカイブ事業」を平成 17 年度から行っています。大学の要である日々の授業や講演を、許諾を得て蓄積・公開しています。

#### 5. 学内生産物の組織的な保存、管理

学内の学生、教員、研究者などが生産する学位論文、テクニカルレポート、科学研究費補助金研究成果報告書などの研究成果、また学内で行われる招待講演なども、著者または講演者から、インターネット経由で利用する許諾を得た上で、デジタル情報として収集し、データベース化することで一元的な保存、管理および提供を可能にしています。



## NAIST Library (② marked on the campus map)

We, NAIST Library support education and research in advanced sciences and technologies (especially in information science, biological sciences, and materials science). We pursue to make our library keep providing NAIST members with excellent accesses to books, magazines and scientific information anytime, anywhere connected with the internet through “MANDARA network”.

We provide accesses to digitalized NAIST academic works (e.g. lectures and academic dissertations), and efficiency navigation to full-text of latest scientific information on the library website.

We also provide usual library services (e.g. book circulation, magazine browsing) for 24 hours. And we are improving services: setting up the booth offering books in specialized theme, “CHI NO MORI”, renovation for group meeting rooms “Multimedia Lounge” and “Theater Lounge”, enlarging interlibrary services (already available with other academic libraries, National Diet Library and Nara Prefectural Library and Information Center).

### The major services of the library

#### 1. Advanced search

NAIST library provides fast crossover search function on the library web from our book collection, digitalized NAIST academic works, our institutional repository collection, available e-journals and e-books. This will give you fine result by search in full-text data of our collection as well as in bibliographies, tables of contents and abstracts.

#### 2. Personalization

NAIST library provides functions to allow the members to request services and to confirm order status via the personalized web page for each member.

#### 3. Selective dissemination of information ("SDI")

NAIST library provides "SDI" function to send an email to inform of arrival of the material including the words of concern that the members registered on the personalized web page.

#### 4. Lecture archives

NAIST library launched “Lecture archive”, that have digitalized our schools’ lecture movies, to make them public or release to the members on the library web from the year 2005. NAIST library is digitalizing and releasing the lectures, the principal activity of NAIST, with permission of lecturers.

#### 5. Centralized production of digitalized works

NAIST library takes the central role in producing, releasing and managing digitalized date of NAIST academic works with permission for access through the internet.

The major types of digitalized works are follows:

- a. Scientific articles
- b. Academic dissertations
- c. Technical reports
- d. KAKENHI Research-results reports
- e. Lecture movies (including guest lecturers if permitted.)

## 英語Eラーニングシステム(ALC NetAcademy 2)



### 1. ALC NetAcademy 2 とは

ALC NetAcademy 2は LAN 環境で使用するネットワーク型の英語学習システムです。英語力の向上、TOEIC テスト対策、理工系の論文読解等、自学自習に役立ててください。

学習者は各自の英語レベル、興味ある教材、リスニング・リーディングなど強化したい分野を選んで学習が可能です。

### 2. 利用対象者

本学の学生・教職員であれば「在学生の皆様へ(学内専用)」ホームページから利用することができます。学内はもちろん、自宅などの学外からも 24 時間利用することができます。利用登録等は必要ありません。

### 3. アクセス

「在学生の皆様へ(学内専用)」ホームページのその他「ALC NetAcademy」からログインしてください。  
(<http://itcw3.naist.jp/NetAcademy/NetAcademy.html>)

<ログイン方法について>

アカウント：MANDARA-DOMAIN¥曼陀羅アカウント名

パスワード：曼陀羅パスワード

### 4. コース

スーパースタANDARDコース、STANDARDコース、初中級コース プラス、  
技術英語<基礎>コース、技術英語パワーアップコースの5つのコースを利用できます。

### 5. 動作環境

NetAcademy2 は以下の環境で動作確認ができています。

OS	Windows Vista SP2 / 7 SP1 / 8 , 8.1 ※
WWW ブラウザ	Internet Explorer 8 / 9 / 10 / 11
その他	FlashPlayer 12.0

※対象 OS 以外でも FlashPlayer が動作すれば利用できるようです。ただし、表示がおかしい等の不具合が発生する可能性があります。

※MacOS X 10.3/10.4 では 『[初中級コース]の[TOEIC(R) テスト演習]で学習できない』 という症状が確認されています。





## English E-Learning System (ALC NetAcademy 2)

### 1. What's ALC NetAcademy 2?

ACL NetAcademy 2 is an online English learning system which provides self-study courses to improve English competence, practice TOEIC, and develop reading skills for scientific papers.

### 2. Who can Use NetAcademy 2?

Students and faculty members of NAIST can use the system. This system is on service 24 hours a day and is accessible at home or from outside the campus. Registration is not required.

### 3. How to Access?

You can directly access the following URL,

<http://itcw3.naist.jp/NetAcademy/NetAcademy.html>

<How to login> Account : MANDARA-DOMAIN¥“MANDARA account”

Password: “MANDARA password”

### 4. What Courses are available?

The following five courses are available:

- Super-standard Course
- Standard Course
- Course for Beginners and Intermediates Plus
- Technical English (Basic Course)
- Technical English (Power-up Course)

### 5. Recommended System Requirements

NetAcademy 2 has been tested on the following platforms:

OS	Windows Vista SP2 / 7 SP1 / 8 , 8.1 *
WWW Browser	Internet Explorer 8 / 9 / 10 / 11
Browser Plug-in	Flash Player 12.0

\*NetAcademy 2 should run on other platforms as long as Flash Player operates properly. However, there is a possibility that texts and animations are not displayed properly, etc.

\*On MacOS X 10.3/10.4, TOEIC Test in the Course for Beginners and Intermediates Plus has been confirmed not to work properly.

## 11 キャンパスライフ



## 11 キャンパスライフ

### 授業料の額及び納付方法

#### 1. 授業料の額及び口座振替による引落日

区分	授業料の額(※1)	引落日(※2)
博士前期課程	535,800 円	春学期(4月～9月)分:平成27年 5月27日(水)
博士後期課程	(半期 267,900 円)	秋学期(10月～3月)分:平成27年 11月27日(金)

※1: 在学中に授業料改訂が行われた場合には、新授業料が適用されます。

(5月及び11月に、電子メールにより授業料金額を通知しますので、ご確認願います。)

※2: 5月及び11月の授業料の引落日は27日ですが、27日が金融機関休業日の場合、翌営業日の引き落としとなります。(引き落とし日の前営業日の15時に残高照会が行われます)

#### 2. 納付方法

本学で定める春学期分及び秋学期分の引落日に、それぞれ半期分を口座振替(代行納付)により引落しします。(春学期分と併せて秋学期分も納入を希望される方は、4月30日(木)までに申し出てください。なお、免除申請者は申請の結果がわかるまで猶予されます。)口座振替の手続き等の詳細については会計課資金係(内線6227)まで問い合せてください。

授業料の納付を2期分怠ると除籍となりますので、ご注意ください。

### 学生証

本学の学生証はカードになっています。このカードは、学生の身分を証明すると同時に、各建物への時間外の入室(午後7時以降翌朝午前7時30分までの間、土曜、日曜、祝日)や証明書自動発行機の操作、図書館の本を貸し出しするための電子キーとしての働きもしますので、学内では常時着用してください。カードには、各学生の所属研究科、入学年、学生番号が入力されていますので、各建物への入室許可条件を自動判別することになります。

#### カード所持にあたっての注意事項

- ① 学内では学生証入れ等を使用し、常時着用すること。
- ② 他人に貸与又は譲渡しないこと。
- ③ 紛失した場合あるいは磁気不良等でカードが使用できない場合は、直ちに学生課学務係へ届け出ること。  
当該建物に入る際、カードリーダーを通して作動しない場合は、インターホンで所属と氏名を告げてロックを解除してもらうこと。(事務局棟1階:防災センターで対応)
- ④ 有効期間が満了したとき及び退学等により学生の身分を失ったときは、直ちに学生課学務係へ返却すること。
- ⑤ 学生証の取扱いについては以下の事項に注意すること。
  - ・高磁場・磁気(NMR等)に近づけない
  - ・高温な場所(夏場の車内等)に放置しない
  - ・折り曲げない

## 学生個人報告書

入学手続き時に提出していただいた「学生個人報告書」の情報は、緊急時における連絡用として使用しますので、以下の記載事項に変更が生じた場合は、速やかに学生課学務係へ届け出てください。

### ●記載事項

- ・入学後の住所、電話番号、携帯電話番号
- ・勤務先の情報（有職者のみ）
- ・緊急時の連絡先欄の連絡先氏名、続柄、住所、電話番号

### ●届出方法

学生課窓口（学務係）で受け付けます。

## 諸手続・諸証明書

### 1. 諸手続

手続きには、大学があらかじめ掲示等で通知をし、一定の期間内に行うものと、必要となった都度自発的に行うものがあります。手続きを怠ったり時期を失したりした場合には、本人の不利益となるばかりでなく、多方面に支障をきたすことがあるので、十分注意してください。

提出書類	内容	問合せ・提出窓口
休学願	3ヶ月以上修学できない場合 (個人留学を含む。病気の場合は診断書添付) ※2週間前までに提出	学生課学務係 (内線 5085)
復学願	休学期間の途中で復学する場合 (病気の場合は診断書添付)	
復学届	休学期間満了時に復学する場合 (病気を理由に休学し、指導教員の指示があった場合は診断書添付)	
退学願	退学する場合 ※2週間前までに提出	
改姓(名)届	姓名が変更した場合 ※住民票等、姓名の変更を確認できるものを添えて提出すること	
留学願	海外に留学するとき(3ヶ月以上の場合) ※2週間前までに提出	
海外渡航届	海外に渡航するとき(3ヶ月未満の場合) (学生出張の場合は除く)	
学生証再交付願	学生証を紛失したとき、汚損により使用不能となったとき	
進路・就職(内定)届	修了等により本学の学籍がなくなる時	キャリア支援室 (内線 5921)
旅行(一時帰国)届	外国人留学生が一時帰国・出国する時 ※事前に提出すること。所定用紙については留学生交流係まで問い合わせてください。	学生課留学生交流係 (内線 5909, 5087)

学生課関係の各種の願・届出書等の所定用紙は、学生課窓口及び学内専用ホームページ[在学生の皆様へ]-[各種申請・願・届出書等覧]  
(<https://ad-info.naist.jp/gakusei/shinsei.html>)から入手できます。

## ●休学・退学の手続きに関する注意事項

### (1) 休学

- 病気その他やむを得ない事由により、引き続き 3ヶ月以上 修学できない場合に申請することができます。
- 休学期間は 1年以内 です。ただし、特別の理由がある場合は 1年 を限度として延長を申請できます。休学期間の延長を申請する場合には、休学期間終了の2週間前までに再度休学(延長)願を提出してください。
- 休学期間が終了すると、自動的に復学となります。復学届を提出してください。
- 休学期間は標準修業年限及び在学年限に算入しません。
- 復学後の修了の見込み等もお知らせください。
- 一部の証明書(修了見込証明書、健康診断証明書、学割証)について発行することはできません。
- 図書館の利用はできません。
- 休学期間中の授業料は徴収しません。

### (2) 退学

- 博士後期課程に3年以上在籍し、指導教員から研究指導を認定された上で退学される場合は、学籍(履歴)上は「研究指導認定退学」となります。
- すでに納付した授業料は返還できません。

### (3) 共通

- 授業料の納付が許可の条件となります。
- 納付済みの授業料は返還しません。ただし、次に該当する場合は授業料を返還します。
  - ・ 休学が許可された場合、休学期間中の授業料相当額
  - ・ 春学期の授業料を徴収するときに当該年度の秋学期の授業料を併せて納付した方が、秋学期開始までに退学が許可された場合、秋学期に係る授業料相当額
- 学籍異動希望日の 2週間前 が締切となります。願出の提出が遅れた場合は許可日が翌月となります。
- 原則学期単位で申請してください。  
休学：開始日は原則4月または10月から。終了日は9月末または3月末。  
退学：許可希望日は原則9月末または3月末。
- 願出書の理由欄には具体的にご記入ください。「一身上の都合」では申請できません。
  - ・ 休学：病気療養の場合には診断書を添付、業務多忙の場合には勤務先名称をご記入ください。
- 学生宿舎等の退去、奨学金受給停止手続きなども考慮してください。

## 2. 諸証明書

### ●証明書自動発行機で交付する証明書等

在学証明書、修了見込証明書、成績証明書、修了証明書、健康診断証明書及び学生旅客運賃割引証（学割証）については、学生証があれば証明書自動発行機により、即日交付します。なお、交付条件のあるものについては、次表（備考欄）を参照してください。

証明書の名称	交付条件等	証明書自動発行機 取扱時間及び設置場所
在学証明書 英文在学証明書	研究生等の非正規生を除く	取扱時間： 月曜日から金曜日 （祝日及び年末年始は除く） 7:30～19:00 まで  設置場所： 附属図書館玄関ロビー
修了見込証明書 英文修了見込証明書	博士前期課程については半年間在学後、 博士後期課程についてはD2 から交付可能	
（博士前期課程在籍時の） 修了証明書 英文修了証明書 成績証明書 英文成績証明書	本学学内進学者のみ対象	
成績証明書／ 英文成績証明書	研究科長名で交付される証明書で、修得した 科目のみ記載され、不合格科目は記載されま せん。	
成績表／英文成績表	自身の成績を確認するものです。修得した科 目及び不合格科目について記載しています。	
健康診断証明書	一般定期健康診断時の全項目を検査してい る者に限る。なお、秋学期入学者は翌年に実 施される同健康診断を受検後に発行	
学校学生生徒旅客運賃割 引証（学割証）	・年間割当数1人当たり10枚 ・有効期間3か月 （研究生等の非正規生、休学者を除く）	

### ●窓口で交付する証明書

証明書自動発行機により発行していない証明書については、所定の証明書交付申請書を使用し、学生課窓口に応じ込んでください。交付に日時を要するものがあるので、あらかじめ余裕をもって申し込んでください。

証明書の名称	交付条件	問合せ・申請窓口
国費外国人留学生証明書等 留学生に係る証明書	交付申請受付日の翌日午後 に交付 （土曜・日曜・祝日を除く）	学生課留学生交流係 （内線 5909, 5087）
学生宿舍入居証明書	交付申請受付日の翌日午後 に交付 （土曜・日曜・祝日を除く）	学生課学生支援係 （内線 5920）
学研災・学研賠償加入証 明書	交付申請受付日の翌日午後 に交付 （土曜・日曜・祝日を除く）	学生課学生支援係 （内線 5920）

### ●通学証明書

#### (1) 通学定期券について

自宅から本学間の通学定期券を購入する場合は、入学（進学）時に配布しています通学定期乗車券発行控に学生番号、氏名及び住所を記入の上、定期券売り場で定期券購入申込書、学生証及び通学定期乗車券発行控を提示してください。（記入欄がなくなりましたら学生課窓口に応



し出てください。)

なお、本学が指定している近鉄の最寄り駅は、京都線は「高の原」駅、奈良線は「学園前」駅、けいはんな線は「学研北生駒」駅です。

## (2) 実習用通学定期券について

外部研究機関等における実習のため、実習用通学定期券を購入する場合は、通学証明書を発行しますので、実習開始の1ヶ月前までに学生課学生支援係に申し出てください。(鉄道会社等の承認が必要なため、発行に日数を要します。)

※研究生等の非正規生や休学中の学生は通学定期券を購入することはできません。

## 日本学生支援機構奨学金制度

学業・人物ともに優秀であり、かつ経済的理由により、修学が困難であると認められる場合には、本人の出願に基づいて選考の上、奨学金が貸与されます。

日本学生支援機構奨学金制度には、無利子の第一種奨学金制度と有利子の第二種奨学金制度があります。第一種奨学金の貸与をうけ、在学中に特に優れた業績をあげた者として支援機構が認定したのものには、貸与期間終了時に、学資金の全部または一部の返還が免除される制度があります。

区 分	貸与月額		貸与期間
	第一種奨学金	第二種奨学金	
博士前期課程	月額50,000円、88,000円の 選択可能	申請者が次の貸与月額から 選択(5・8・10・13・15万円)	当該課程の標準(最 短)修業年限以内
博士後期課程	月額80,000円、122,000円 の選択可能		

申請手続き等詳細については、学生課学生支援係へ問い合わせください。

## 民間育英団体の奨学金

民間の育英奨学団体から奨学生の募集があった場合は、その都度通知します。

## 授業料免除

経済的理由により授業料の納付が困難であり、かつ、学業優秀と認められる者及び入学前1年以内に、学資負担者が死亡し、又は学生若しくは学資負担者が風水害等の被害を受けたこと等により、授業料の納付が著しく困難であると認められる者に対し、選考の上、授業料の全額又は一部を免除する制度があります。申請手続き等詳細については、学生課学生支援係へ問い合わせください。

## 海外への留学制度

日本学生支援機構では、大学間交流協定などにより海外の大学等に短期間(1年以内)留学をする学生を対象とした海外留学支援制度(短期派遣:月額6~10万円)や修士または博士の学位取得を目指し、海外の大学に1年以上留学する学生等を対象とした海外留学支援制度(長期派遣:月額9~15万円程度)などがあります。詳細は、日本学生支援機構のHPをご覧ください。<http://www.jasso.go.jp/>

その他、政府奨学金や民間団体の奨学金の募集案内は、学生課留学生交流係より電子メールで通知いたします。



### 学生教育研究災害傷害保険（略称：学研災）

学生教育研究災害傷害保険は、学生が正課中、学校主催行事中、学校認定団体の課外活動中、キャンパス内の休憩中及び通学中や学外実習等の移動中に被った不慮の災害事故に対する救済措置として全国の国・公・私立大学等の学生を対象とした傷害保険です。本学では、入学手続き時に加入手続きを行い、全員加入となっています。

詳細については、「しおり」を参照してください。

区分	保険料	保険期間
博士前期課程	1,750 円	2 年間
博士後期課程	2,600 円	3 年間

### 学研災付帯賠償責任保険（略称：付帯賠償）

学研災付帯賠償責任保険は、学生が正課中、学校行事及びその往復中で、他人にけがをさせたり、他人の財物を損壊したことにより被る法律上の損害賠償を補償する保険制度です。本学では、入学手続き時に加入手続きを行い、全員加入となっています。

詳細については、「しおり」を参照してください。

区分・名称	学生教育研究賠償責任保険 (略称：学研賠)
活動内容	正課、学校行事及びその往復
対人賠償・対物賠償	1 事故 1 億円限度
保険料（※）（1 年間）	340 円

※4 月入学者は翌年 3 月 31 日まで、10 月入学者は翌年 9 月 30 日まで

### 学研災付帯学生生活総合保険（略称：学研災付帯付帯学総）

学研災付帯学生生活総合保険は、学生生活全般を補償する保険制度です。

本学では、任意加入としていますので、加入を希望する場合は、各自で申し込みを行ってください。詳細パンフレットは、学生課学生支援係に設置しています。

## 学生宿舎（キャンパスマップ⑬）

本学キャンパス内には次のとおり学生宿舎が設置されています。

[学生宿舎の概要]

区分	単 身 用	夫 婦 用	家 族 用
建物構造	鉄筋 5 階建	鉄筋 5 階建	鉄筋 5 階建
居室数	559 室	50 室	10 室
居室面積	13 m <sup>2</sup>	36.98～41.45 m <sup>2</sup>	51.56 m <sup>2</sup>
設備等	机, ベッド, ミニキッチン, トイレ等	机, キッチン, トイレ, 浴室, 洗濯機, エアコン等	机, キッチン, トイレ, 浴室, 洗濯機, エアコン等
共用設備	浴室, ランドリー室, ラウンジ等	—————	—————
寄宿料	月額 5,900 円	月額 11,900 円	月額 14,200 円
共益費	月額 4,100 円	月額 600～1,100 円	月額 1,100 円
光熱水料	入居者負担	入居者負担	入居者負担

## 大学借り上げ住宅

（独）都市再生機構の賃貸住宅（公団住宅）を大学が借り上げ、希望者に提供しています。対象団地は中登美第三団地、富雄団地、平城第一団地の 3 団地です。

詳細は学生課学生支援係へ問い合わせてください。

## 駐車場及び駐輪場の利用

### 1. 自動車に通学する場合

大学構内に自動車で乗り入れることはできません。大学北側の高山地区公共駐車場に駐車してください。駐車場は有料で、現金（1 日 300 円）を用意し又は予め定期券（駐車券）を購入して駐車してください。

なお、定期券（駐車券）は、初回のみ高山地区公共駐車場北側の大学支援財団（高山サイエンスプラザ内）で購入してください。2 回目以降は、大学会館 1 階売店で購入することができます。

・定期券料金(学生)：1ヶ月 1,500 円、3ヶ月 4,000 円、6ヶ月 7,500 円

### 2. 自転車及びバイクに通学する場合

大学構内に自転車及びバイクで乗り入れることはできません。大学北側の高山地区公共駐車場内にある駐輪場に駐輪してください。駐輪料金は無料です。

なお、駐輪場を利用する場合は、学生課学生支援係で登録手続きを行ってください。登録のない自転車やバイクは、放置自転車として撤去されます。

## 国立博物館キャンパスメンバーズ

大学と国立博物館が連携を図ることによって、博物館が所蔵する文化財を核として、文化や歴史を学ぶ場や機会を提供することを目的としています。本学では現在、奈良国立博物館・京都国立博物館とキャンパスメンバーズの提携を結んでいます。

本制度により、本学学生（正規生・非正規生）は、学生証を提示すると各博物館が開催する平常展・特別陳列が無料で何度でも観覧できます。また、各博物館が開催する特別展が特別割引料金等で観覧できます。その他の特典等の詳細については本学ホームページ（[http://www.naist.jp/campus-student/e02\\_06\\_j.html](http://www.naist.jp/campus-student/e02_06_j.html)）をご覧ください。

## 福利厚生施設

### 1. 大学会館（キャンパスマップ③）

学生及び教職員の厚生施設である大学会館に、食堂、喫茶室、売店、保健管理センターを設けています。

### 2. 研究者交流施設「ゲストハウスせんたん」（キャンパスマップ⑦）

本学学生・教職員も利用できます。申込み方法等は次のとおりです。詳しくは本学ホームページ（[http://www.naist.jp/faculty-person/b02\\_06\\_j.html](http://www.naist.jp/faculty-person/b02_06_j.html)）をご覧ください。

区 分	利用時間	申込み方法
宿泊施設	チェックイン：15時から チェックアウト：11時まで	人事課福利厚生係まで利用を申し出てください。（内線 5033） 電子メール：fukuri@ad.naist.jp
集会施設	午前9時から午後9時まで (12月29日～1月3日利用不可)	
フィットネス室	午前9時から午後10時まで	特に必要ありません

### 3. 各種運動施設

本学学生・教職員が利用できます。申込み方法等は次のとおりです。

区 分	利用時間	申込み方法
グラウンド	午前7時から日没まで	毎月20日（土、日、祝日の場合は翌平日）に翌月分を抽選。 ・場所：先端科学技術研究推進センター 1階ロビー ・時間：午前9時
バレー・バスケットコート	午前7時から午後10時まで	
テニスコート	午前7時から日没まで	
テニスコート（照明付き）	午前7時から午後9時まで	

テニス、ソフトボール等スポーツ用具類、バーベキューセットの貸出しも行っています。利用についての詳細は、学生課学生支援係に問い合わせてください。

### 4. 高山サイエンスプラザ

大学の隣接地に、本学の支援財団が運営する高山サイエンスプラザがあり、その施設内にもレストラン、研修室等が設けられています。

## 日本語補講

NAIST 内で『ボランティア団体ネットワークいこま（代表者：山崎先生）』がボランティアで日本語補講を実施してくださっています。多くの留学生がこの日本語補講に参加し、日本語学習に力を入れています。先生方は皆さん親切でとても素晴らしい授業をしてくださっています。

日本で生活するにあたり、日本語能力はやはり不可欠です。皆さんがより快適に楽しく生活を送るためにもより多くの留学生に日本語補講に参加していただきたいと思っています。

補講日：毎週火曜日 18：00 ～ 20：30 毎週土曜日 10：00 ～ 12：30

参加費：無料

休講日：夏季休暇、冬季休暇、国民の休日など

参加を希望される方は留学生交流係へ問い合わせてください。日本語レベルによりクラス分けされていますので、みなさんの現時点での日本語のレベルもあわせて教えてください。こちらから、先生に連絡し先生から皆さんに詳しいお知らせが届くようになっています。

## その他

### 1. 学生課窓口業務取扱時間

8：30～17：30（土、日、祝日、創立記念日、夏期一斉休業の期間及び12月29日～1月3日の期間を除く。）

上記時間外でも緊急の場合は、事務室入口から申し出てください。

### 2. 大学からの通知事項

本学学生への通知事項は、電子メールもしくは掲示により行いますが、個人あての通知事項は、主に電子メールで行います。諸手続の通知の確認を怠ったために、不利益が生じることがないように各自で充分注意してください。

### 3. 学生向け HP の開設【<https://ad-info.naist.jp/member/>】

本学ホームページ内に「在学生の皆様へ（学内専用）」を開設しています。お知らせ（新着情報）や、学務関係（履修・成績評価終了通知・時間割変更）、オンライン型英語学習システム（ALC NetAcademy）、就職関連情報など様々なコンテンツを用意しています。

4. 公共交通機関の遅延、学会の登壇発表、就職試験、忌引き、感染症など、やむを得ない理由による欠席のため単位修得に支障が出る場合には、担当教員に相談してください。

## 1 1 Campus Life



### Tuition and payment

#### 1. Tuition fee and due date (by automatic bank transfer)

Course	Tuition fee (*1)	Due date (*2)
Master's course	535,800 yen	Spring semester (April to September): Due May 27 (Wednesday), 2015
Doctoral course	(267,900 yen for a half-year term)	Autumn semester (October to March): Due November 27 (Friday), 2015

\*1: If the tuition fee is revised during your enrollment, the new tuition fee will be charged.

(You will be notified of the tuition fee for the semester by e-mail during May and November.)

\*2: Payment (by automatic bank transfer) is due on May 27 and November 27 every year. If the due date falls on a non-business day of the financial institution, the payment will be transferred on the following business day. (Your account balance is checked at 3:00 pm on the business day preceding the due date.)

#### 2. Payment

The tuition fee for a half-year term is automatically withdrawn from your bank account on the due dates of the spring and autumn semesters designated by NAIST. If you wish to pay the tuition fee for both semesters combined on the due date in May, please contact us by April 30 (Thursday), 2015. If you have applied for tuition fee waiver, payment of the tuition fee will be postponed until the result of the application is announced. For details of automatic bank transfer procedures and other related matters, please inquire at the Funding Section of the Finance Division (extension: 6227).

Note that failure to pay the tuition fee for two consecutive semesters will result in expulsion from NAIST.

### Student ID Card

NAIST students are issued a student ID card, which not only verifies your status as a NAIST student but also serves as an electronic key. This key is needed for: entry to NAIST's facilities before or after the normal service hours, namely between 7:00 pm and 7:30 am, and on Saturday, Sunday and national holidays; use of the automatic certificate issuing machine; and borrowing of books from the NAIST Library. Therefore, you should carry your student ID card at all times while attending NAIST. Your graduate school, year of enrollment, and student number are registered in the card, and card readers automatically scan this information to check whether you are eligible to enter specific facilities in NAIST.

### Precautions on handling your student ID card

- (1) You should keep your student ID card in a case and carry it at all times at NAIST.
- (2) You are not allowed to lend or assign your student ID card to anyone else.
- (3) If you lose your student ID card or your card has become unusable due to failure of the magnetic strip, etc., you should immediately report it to the Academic Affairs Section of the Student Affairs Division.  
If the card reader does not react properly upon inserting your student ID card to enter a certain building, call the Security Center on the first floor of the Administration Bureau building through the interphone, state your affiliation and name, and the key will be unlocked for you.
- (4) When your student ID card has expired or you are no longer a NAIST student due to withdrawal or for other reasons, return your student ID card to the Academic Affairs Section of the Student Affairs Division without delay.
- (5) Protecting your card:
  - Keep your student ID card away from strong magnetic fields or devices (e.g. NMR machines).
  - Do not leave your card in hot places (e.g. in a car during summer).
  - Do not fold your student ID card.

### Student Personal Report

The information contained in the “Student Personal Report” (*Gakusei kojin houkokusho*) submitted at the time of enrollment is used for contacting you in case of emergency. If any of the following registration details changes, please inform the Academic Affairs Section of the Student Affairs Division without delay.

#### ● Registration details

- Your address and telephone number (fixed and/or mobile) where you can be reached after enrollment in NAIST
- Information about your place of work (if you are a working student)
- Name of a contact person in case of emergency, person’s relationship with you, and his/her address and telephone number

#### ● Where to report

Please report the change to the Academic Affairs Section of the Student Affairs Division.

### Procedures and issuance of certificates

#### 1. Procedures

When requested by NAIST, by means of a notice on the bulletin board, etc., you should perform the procedures as requested within the specified period. You should also perform the prescribed procedures when necessary for your own personal reasons. Please note that failure or delay in doing so could cause hinder you in many ways and become an inconvenience to other people.

Document to be submitted	When to submit	Contact office
Leave of absence request form (Kyugaku Negai)	When you are to take a leave of absence for three consecutive months or longer by illness, studying abroad, and so on. (If illness is the reason for the leave, a medical certificate should be attached.) * The form should be submitted at least two weeks in advance.	Academic Affairs Section, Student Affairs Division (Extension: 5085)
Return from leave request form (Fukugaku Negai)	When you wish to return to NAIST before the period of the leave of absence is over. (For those who were absent due to illness, please attach a medical certificate.)	



Return from leave notice form (Fukugaku Todoke)	When you wish to return from leave during your scheduled leave of absence period.	
Withdrawal form (Taigaku Negai)	When you are to withdraw from NAIST * The form should be submitted at least two weeks in advance.	
Change of name form	When your name changes * A residence certificate or other document proving your change of name should also be submitted.	
Overseas Study Application	When you go studying abroad for three consecutive months or longer * The form should be submitted at least two weeks in advance.	
Overseas travel form	When you are to travel overseas for less than three months (except when the travel is needed as part of the regular coursework at NAIST)	
Student ID card reissue request form	When you have lost your student ID card or your card has become unusable due to damage or dirt	
Plan after completion of course /job (informal employment offer) report form	When you graduate or leave school	Career Services Office (Extension: 5921)
Notice of Absence from Japan	When international students are to temporarily return to their home countries or depart from Japan. * Please submit "Notice of Absence from Japan" before leaving. ※The form is available at International Student Affairs Section for the document.	International Student Affairs Section, Student Affairs Division (Extension: 5909, 5087)
The forms to be submitted to the Student Affairs Division are available at its counter, or can be downloaded from the intranet and website for NAIST students at: <a href="https://ad-info.naist.jp/gakusei/shinsei.html">https://ad-info.naist.jp/gakusei/shinsei.html</a>		

## ●Notes on procedures for leave of absence or withdrawal

### (1) Leave of absence

- You can apply for leave of absence if you are unable to attend school for three consecutive months or longer due to illness or for other justifiable reasons.
- The period of leave of absence is up to one year, however, you may apply for an extension of the period for another one year at the longest, if you have special reasons. To apply for an extension of the period of leave of absence, you are required to submit the leave of absence (extension) request form again, at least two weeks prior to the expiration of the initial period of leave of absence.
- Upon expiration of the period of leave of absence, you are automatically readmitted to NAIST. Please submit "Return from leave notice form."
- The period of leave of absence does not count toward the standard years of study and years of enrollment.
- Please also indicate when you expect to complete your course after returning to NAIST.
- Some certificates (including certificate of expected completion, certificate of health, and certificate of student travel discount) cannot be issued during the period of leave of absence.
- You cannot use the NAIST Library during the period of leave of absence.
- You do not have to pay tuition fees for the period of leave of absence.



**(2) Withdrawal**

- If you withdraw from NAIST after having been enrolled in the doctoral course for at least three years, provided your instructor confirms you have received his or her research guidance, you are treated as “having withdrawn from NAIST with the approval of your research instructor” in your personal record.
- Tuition fees, once paid, cannot be reimbursed.

**(3) Common matters**

- Permission for both leave of absence and withdrawal is conditioned on payment of the tuition fee.
- Tuition fees, once paid, cannot be reimbursed except in the following cases:
  - If leave of absence is permitted, the portion of the tuition fee for the period of leave of absence will be reimbursed.
  - If you paid the combined tuition fee for the spring and autumn semesters, and are permitted to withdraw from NAIST before the beginning of the autumn semester, the tuition fee for the autumn semester will be reimbursed.
- The deadline for submitting the form is two weeks prior to the date you wish to take leave of absence or withdraw. If you fail to submit the form by the deadline, the date of permission will be in the following month.
- In principle, a request for leave of absence or withdrawal should be made on a semester by semester basis.  
 Leave of absence: The period should commence from April or October and end at the end of September or March, in principle.  
 Withdrawal: The date you wish to withdraw from NAIST should be the end of September or March.
- You should indicate the reason for the leave of absence or withdrawal in the form in detail; “for personal reasons” cannot be accepted.
  - Leave of absence: If you take leave of absence due to illness, a medical certificate should be attached. If the reason is “pressure of business,” indicate the name of your workplace.
- Note that you may be required to move from NAIST’s dormitory or take procedures to stop payment of scholarship.

**2. Issuance of certificates****●Certificates that are automatically issued**

You can use the automatic certificate issuing machine to have the following certificates issued within the same day: certificate of enrollment, certificate of expected completion, certificate of academic record, certificate of completion, certificate of health and certificate of student travel discount. For conditions of issuance of these certificates, please refer to the following table.

Certificate	Conditions of issuance	Service hours and location of the automatic certificate issuing machine
Certificate of enrollment(Japanese/ English)	Not issued to non-regular students, including research fellows.	Service hours: 7:30 am to 7:00 pm Monday to Friday (excluding national holidays and year-end holidays)  Location: Entrance lobby of NAIST Library
Certificate of expected completion(Japanese/ English)	Students should have been enrolled in the master’s course for at least six months or be in the second year in the doctoral course to apply for this certificate.	
Certificate of completion of Master’s course (Japanese/ English)  Certificate of academic records of Master’s course (Japanese/ English)	Only available for those who have proceeded to the doctoral course internally from the master’s course at NAIST.	

Certificate of academic record (Japanese/ English)	The certificate of academic record is an official certificate issued in the name of the Dean of the Graduate School that does not include failed courses.	
Academic record (Japanese/ English)	The academic record is issued for students to check their academic performance including failed courses.	
Certificate of health (Japanese only)	The certificate is issued only to those who have completed all annual health checkups. Students admitted to NAIST from the autumn semester will be issued the certificate after taking the annual health checkup in the following year.	
Certificate of student travel discount (Japanese only)	<ul style="list-style-type: none"> <li>• Up to 10 certificates are issued per student annually.</li> <li>• The certificate is valid for three months. (Not issued to non-regular students, including research fellows and students on leave of absence.)</li> </ul>	

### ● Certificates issued over-the-counter

If you need certificates other than those issued by the automatic certificate issuing machine, apply at the Student Affairs Division using the prescribed application form. You should apply well in advance, as some certificates take time to issue.

Certificate	Conditions of issuance	Contact office
Certificate for Japanese Government Scholarship students	Issued in the afternoon of the day following the application (except on Saturday, Sunday and national holidays).	International Student Affairs Section, Student Affairs Division (Extension: 5909, 5087)
Certificate for international students (Ex. Certificate for Japanese Government Scholarship students)	Issued in the afternoon of the day following the application (except on Saturday, Sunday and national holidays).	International Student Affairs Section, Student Affairs Division (Extension: 5909, 5087)
Certificate of occupancy in student dormitory	Issued in the afternoon of the day following the application (except on Saturday, Sunday and national holidays).	Student Support Section, Student Affairs Division (Extension: 5920)
Certificate of Enrollment Personal Accident Insurance for Students Pursuing (PAS)	Issued in the afternoon of the day following the application (except on Saturday, Sunday and national holidays).	Student Support Section, Student Affairs Division (Extension: 5920)

## ● Commuter certificate

### (1) Student commuter pass

To buy a student commuter pass between your place of residence and NAIST, fill in your student number, name and address in a commuter pass application form (*Tsuugaku teiki joshaken hakko hikae*) distributed at the beginning of each academic year, and present the form together with a commuter pass purchase form and your student ID card to a train station with a commuter pass office. (If there is no more space on your commuter pass application form, please apply at the Student Affairs Division for an additional copy.)

The nearest Kintetsu stations designated by NAIST are Takanohara Station on the Kyoto Line, Gakuenmae Station on the Nara Line, and Gakken-Kita-Ikoma Station on the Keihanna Line.

### (2) Student commuter passes for commuting to off-campus facilities

If you are going to work at off-campus facilities as part of your study at NAIST and need a student commuter pass for that purpose, you should apply at the Student Support Section of the Student Affairs Division to have a commuter certificate issued. The application should be submitted at least one month before starting work at the off-campus facilities (the certificate takes longer to issue because we must obtain approval from the railway company).

\* Non-regular students, including research fellows and students on leave of absence, cannot purchase student commuter passes.

## Scholarships of private organizations

Students will be informed of scholarship programs offered by private organizations whenever applications are invited.

## Tuition waiver

NAIST offers a tuition fee waiver program, under which students selected from among applicants are exempt from payment of all or part of tuition fees provided that: the student has difficulty in paying tuition fees for financial reasons and is recognized for academic excellence; or the student has extreme difficulty in paying tuition fees because of the death of the person who would normally have paid the tuition fee within one year prior to his or her admission to NAIST or due to damage by wind, flood or other natural disaster to the student or the person who would normally have paid the tuition fee. For details about application procedures, please inquire at the Student Support Section of the Student Affairs Division.

## Study Abroad (Short-term study abroad program)

JASSO is providing the scholarship for qualified students under the student exchange agreement on a short-term basis within one year (Monthly stipend: ¥60,000~¥100,000) and also the scholarship for qualified students who study overseas to pursue a master or doctoral degree for over a year (Monthly stipend: ¥90,000 ~ ¥150,000 ~). Please access the website of JASSO homepage for details at <http://www.jasso.go.jp/>.

The information on other scholarships such as Government Scholarships or Private Scholarships will be notified by the International Student Affairs Section by e-mail.

### Personal Accident Insurance for Students Pursuing Education and Research (PAS)

Personal Accident Insurance for Students Pursuing Education and Research (Gakkensai) insures students enrolled in national, public, and private universities in Japan against unexpected physical injuries they may suffer while attending lectures, university events, extracurricular activities, taking a break in the campus, or traveling to and from university or off-campus facilities for research/educational purpose. At NAIST, all students are required to take out the Gakkensai insurance as part of enrollment procedures.

For more details about the Gakkensai insurance, please refer to the booklet.

Special insurance for contagious infection prevention has become optional. If you would like to apply for the insurance, please inquire at the Student Support Section of the Student Affairs Division.

Course	Insurance premium	Insurance period
Master's course	1,750 yen	2 years
Doctoral course	2,600 yen	3 years

### Liability Insurance coupled with PAS

All students are also required to take out the Personal Liability Insurance for Students (Gakkenbai). This optional coverage insures students against third-party liability for damage caused by the student to others or their property while attending lectures, university events, or traveling to and from university facilities, both on- and off-campus. For more details about the Gakkenbai insurance, please refer to the booklet.

Option	Liability insurance for students pursuing education and research
Coverage	Damage to others or their property caused by the student while attending lectures, university events and traveling to and from university facilities for these purposes
Amount of coverage	Up to 100 million yen per incident
Insurance premium* (1 year)	340 yen

- Valid for a one-year period until March 31 for students admitted in April and until September 30 for students admitted in October.

### General Insurance for Students supplementary to Gakkensai

General Insurance for Students supplementary to Gakkensai provides comprehensive coverage against risks that may arise in campus life. At NAIST, students are not obligated to be covered by this insurance. If you wish to take out the insurance, please complete the necessary procedures by yourself. Brochures with details of this insurance are available at the Student Support Section of the Student Affairs Division.

## Student dormitories (Campus map 13)

Student dormitories are located within the campus of NAIST as shown below.

### Outline of student dormitories

Type	Single-person occupancy	Couple occupancy	Family occupancy
Structure	Five-story reinforced concrete building	Five-story reinforced concrete building	Five-story reinforced concrete building
No. of residential units	559	50	10
Floor area	13 m <sup>2</sup>	36.98 – 41.45 m <sup>2</sup>	51.56 m <sup>2</sup>
Fixtures	Desk, bed, mini kitchen, toilet, etc.	Desk, kitchen, toilet, bath, laundry machine, air conditioner, etc.	Desk, kitchen, toilet, bath, laundry machine, air conditioner, etc.
Common facilities	Bath, laundry, lounge, etc.	_____	_____
Dormitory fee	5,900 yen/month	11,900 yen/month	14,200 yen/month
Common service charge	4,100 yen/month	600 – 1,100 yen/month	1,100 yen/month
Utility charge	To be paid by the occupant	To be paid by the occupant	To be paid by the occupant

## Dwellings rented by NAIST for students

NAIST also rents apartment complexes (Nakatomi Daisan Danchi, Tomio Danchi and Heijo Daiichi Danchi) owned by the Urban Renaissance Agency, and rents them out to students upon application. If you are interested, please inquire at the Student Support Section of the Student Affairs Division for details.

## Parking a car and bicycle

### 1. Commuting by car

You are not allowed to drive a car on the premises of NAIST. Please park your car in the public parking lot in the Takayama District, north of NAIST. The parking fee must be paid in cash (300 yen per day) or using a parking pass. Please note that the first time you buy a parking pass, you should buy it at the Foundation for Nara Institute of Science and Technology (in Takayama Science Plaza) at the north of the public parking lot in the Takayama District. Anytime after that, you can buy the pass at the shop on the first floor of the University Union.

Parking pass fee (for students): 1,500 yen per month, 4,000 yen per three months, 7,500 yen per six months

### 2. Commuting by bicycle and motorcycle

You are not allowed to ride a bicycle or motorcycle on the premises of NAIST. Please park your bicycle or motorcycle in the public parking lot in the Takayama District, north of NAIST. Parking is free.

If you wish to use the parking lot, you must register at the Student Support Section of the Student Affairs Division. Parking of bicycles and motorcycles in the parking lot without registration constitutes illegal parking, and such bicycles and motorcycles will be removed.

## National museums campus members

NAIST has joined the campus members system. The campus members system is a cooperative system between national museums and universities which aims to provide students with the opportunity and facilities to study culture and history through the sharing of the museums collections of cultural assets.

Holders of NAIST Student ID cards (both regular and non-regular students) are allowed free entry to the regular exhibitions including featured exhibitions at the Kyoto National Museum and Nara National Museum as many times as they wish. Or discount rate applies to the special exhibition. For more details about other benefits, please refer to the website of NAIST. ([http://www.naist.jp/campus-student/e02\\_06\\_j.html](http://www.naist.jp/campus-student/e02_06_j.html))

## Student welfare facilities

### 1. University Union (Campus map 3)

University Union houses a restaurant, tea room, shop, and healthcare center for the welfare of students and faculty members of NAIST.

### 2. Social venue for researchers: Guesthouse Sentan (Campus map 7)

Students and faculty members of NAIST can use the facilities of Guesthouse Sentan as outlined below. For more details, please refer to the website of NAIST. ([http://www.naist.jp/faculty-person/b02\\_06\\_j.html](http://www.naist.jp/faculty-person/b02_06_j.html))

Facilities	Period of use/service hours	Where to apply
Accommodation	Check-in time: after 3:00 pm Check-out time: before 11:00 am	Welfare Section of the Personnel Division Extension: 5033 E-mail: <a href="mailto:fukuri@ad.naist.jp">fukuri@ad.naist.jp</a>
Meeting room	Open from 9:00 am to 9:00 pm (Closed from December 29 to January 3)	
Fitness room	Open from 9:00 am to 10:00 pm	Application is not necessary.

### 3. Sports facilities

Students and faculty members of NAIST may use the following sports facilities for free.

Facilities	Open hours	Selection by drawing
Athletic field	7:00 am to sunset	Successful applicants are selected by ballot, which is held on the 20 <sup>th</sup> day of the preceding month (or the following weekday if the day falls on a Saturday, Sunday or national holiday). Venue of ballot: Lobby on the first floor, Research Center for Advanced Science and Technology Time of ballot: 9:00 am
Volleyball/basketball court	7:00 am to 10:00 pm	
Tennis court	7:00 am to sunset	
Tennis court (with lighting)	7:00 am to 9:00 pm	

You can also rent sporting goods for tennis, softball, etc. and barbecue equipment.

For details about using the sports facilities, please inquire at the Student Support Section of the Student Affairs Division.

### 4. Takayama Science Plaza

Takayama Science Plaza, operated by the Foundation for NAIST, adjoins NAIST, which houses a restaurant and seminar rooms.



## Japanese Language Classes

The Network Ikoma (representative : Ms.Yamazaki) provides Japanese classes on a volunteer basis at NAIST. Many students take these classes, working hard to improve their Japanese. The teachers are extremely kind, and the content of the classes they offer is excellent.

Proficiency in Japanese is key to life in Japan. We hope that many international students will take these classes so they may have a more comfortable and enjoyable stay in Japan.

Days : Tuesdays, 18 : 00 ~ 20 : 30      Saturdays, 10 : 00 ~ 12 : 30

Fees : Free of charge

Classes closed : Summer vacation, winter vacation, and national holidays.

Please contact the International Student Affairs Section if you are interested in participating.

Students are assigned to a class depending on their level, so please inform us of your current Japanese level. We will contact the teachers, who provide students with further details on the classes.

## Other matters

### 1. Counter hours of the Student Affairs Division

8:30 am – 5:30 pm (except Saturdays, Sundays, national holidays, foundation day of NAIST, Office closing days for summer, and December 29 to January 3)

In case of emergency, you can enter the office, if open, even before or after the counter hours.

### 2. Notification from NAIST

NAIST notifies students of necessary information by e-mail or through the bulletin board. Private notices will usually be sent by e-mail. Please check incoming e-mails carefully: If you overlook important information sent by NAIST such as a request to submit an application, you may suffer a disadvantage.

### 3. Website for students [<https://ad-info.naist.jp/member/>]

You can access the website for students by clicking “Internal Only” on NAIST’s website. This website contains various useful information, including announcements (the latest updates), Academic affairs (curriculum, notice to students for the academic records, changes of class schedule), an online English study system (ALC NetAcademy) and job information.

4. Consult Faculty members in charge of subjects if students cannot attend lectures and are possibility not to get credits due to unavoidable reasons including delayed public transportation, conference presentation, employment examinations, mourning, infectious disease and so on.



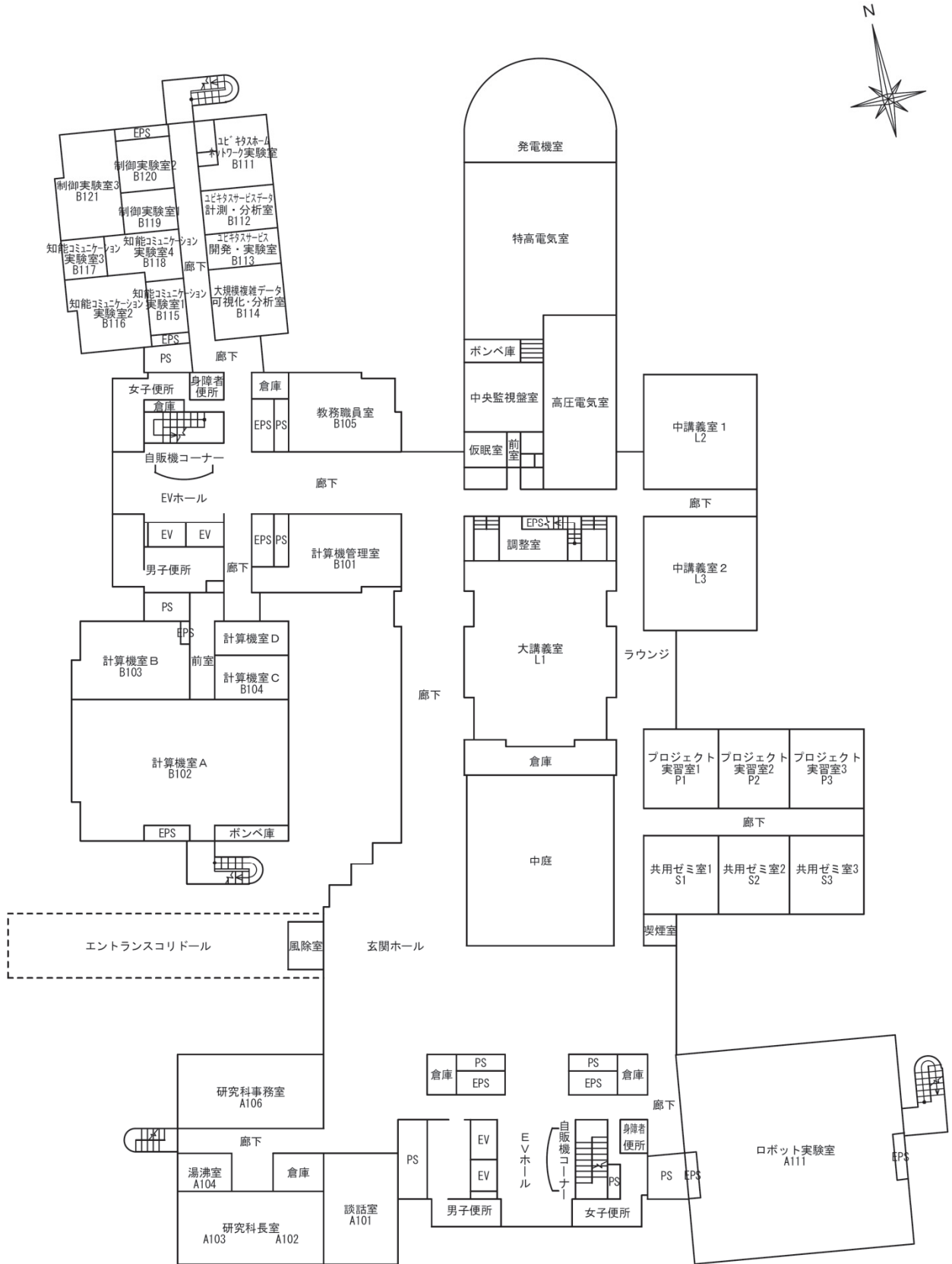
・キャンパスマップ



- |                              |                             |
|------------------------------|-----------------------------|
| ①事務局                         | ⑩動物飼育実験施設                   |
| ②総合情報基盤センター・<br>附属図書館(電子図書館) | ⑪植物温室                       |
| ③学生会館・保健管理センター               | ⑫物質創成科学研究科・<br>物質科学教育研究センター |
| ④IR オフィス・研究推進機構              | ⑬学生宿舎・職員宿舎                  |
| ⑤学際融合領域研究棟 2 号館              | ⑭グリーンラボ                     |
| ⑥ミレニアムホール                    | ⑮正門                         |
| ⑦ゲストハウスせんたん                  | ⑯事務局別館                      |
| ⑧情報科学研究科                     | ⑰バイオナノプロセス実験施設              |
| ⑨バイオサイエンス研究科・<br>遺伝子教育研究センター | ⑱学際融合領域研究棟 1 号館             |

キャンパスマップ

・ 情報科学研究科平面図

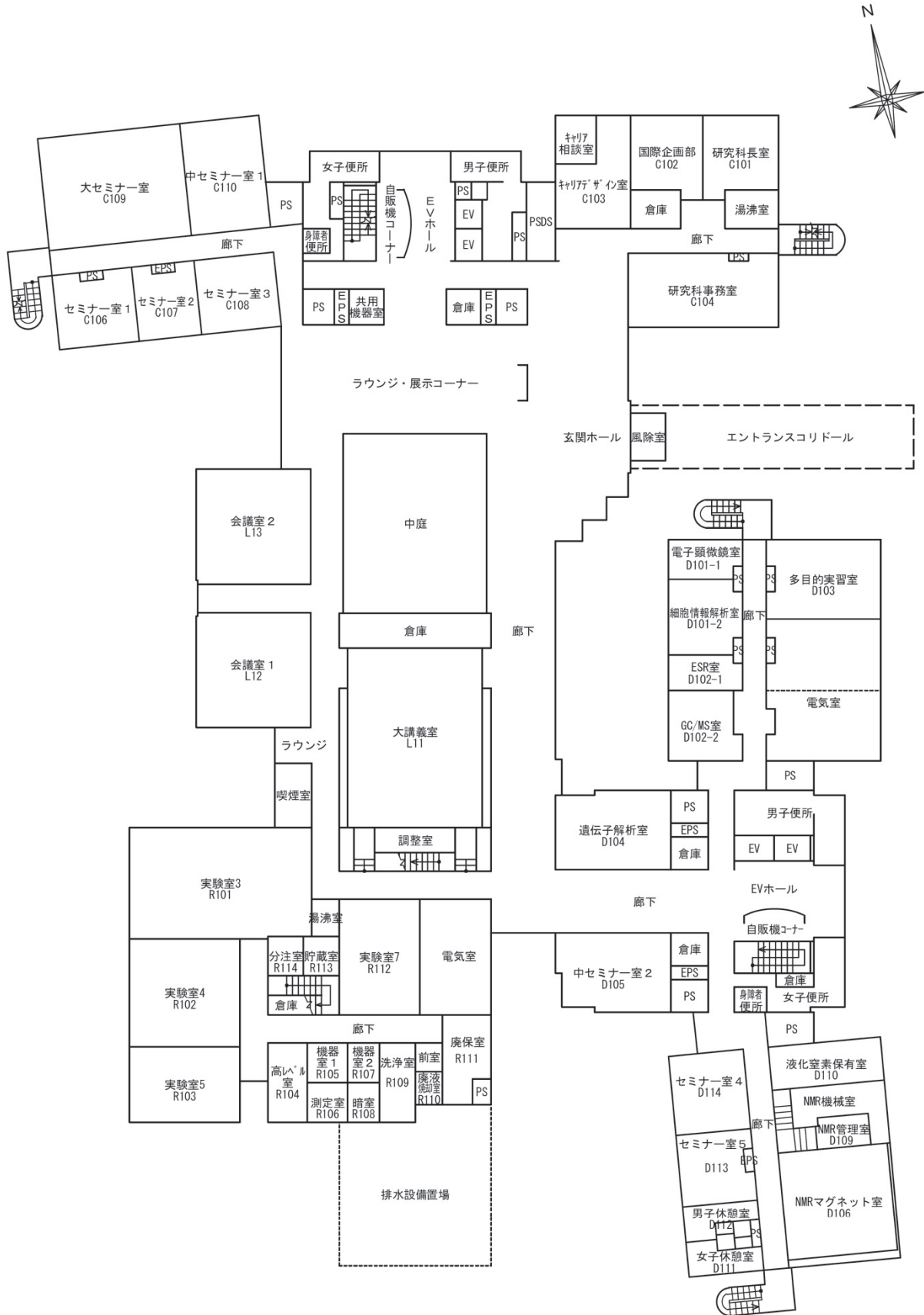


建物平面図

1 F 平面図

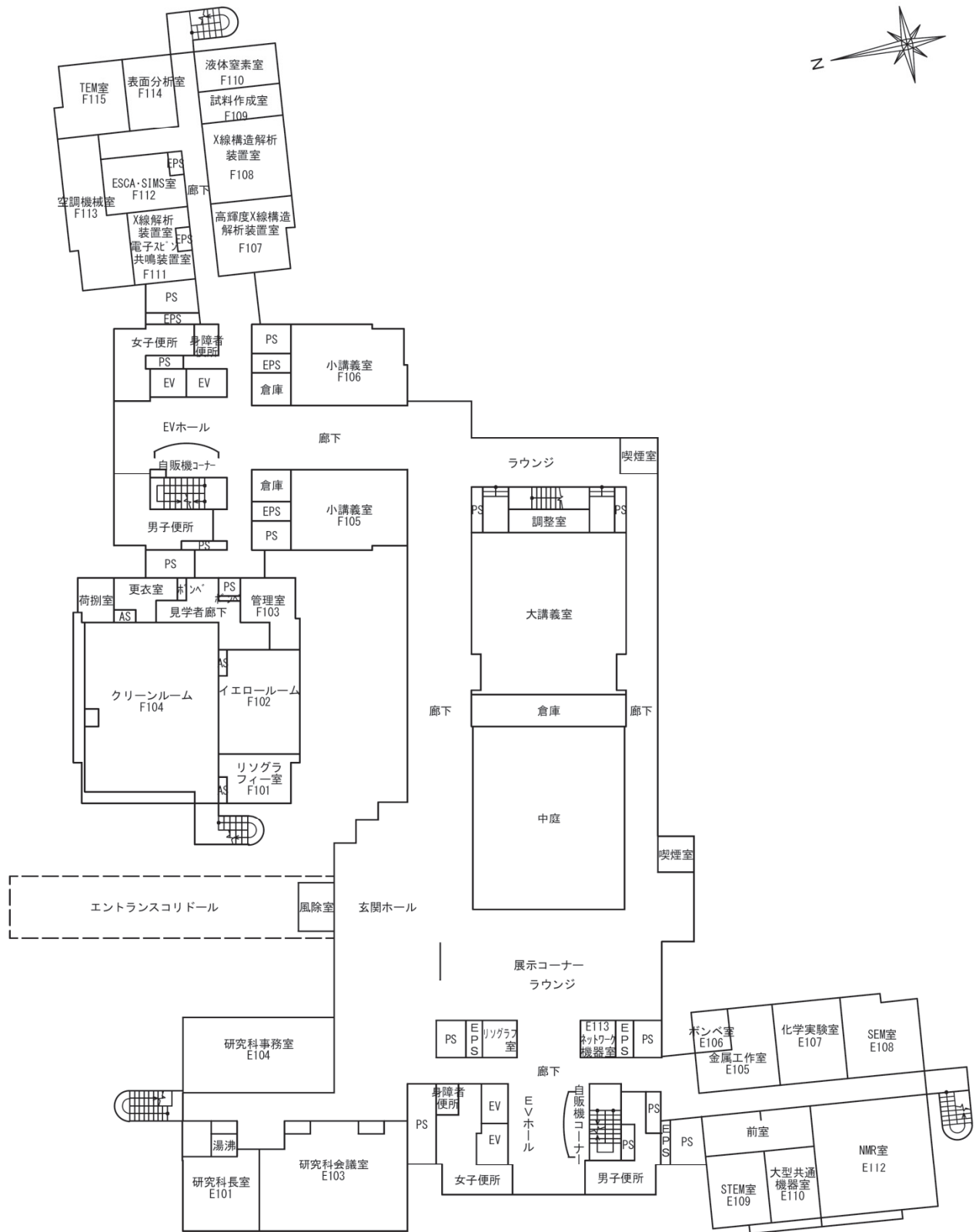
・バイオサイエンス研究科平面図

建物平面図



1 F 平面図

・物質創成科学研究科平面図



1 F 平面図

建物平面図



## 12 学則・諸規程

平成27年4月からの学則について

- ・現在掲載しております学則は、平成27年3月時点のものです。
- ・平成27年4月以降は、掲載しております3月時点のものから、変更がおこなわれます。
- ・詳細は、本学ホームページ (<http://reiki.naist.jp/kiyaku/pdf/02010.pdf>) を参照ください。

## 奈良先端科学技術大学院大学学則

平成16年4月1日  
学則第 1 号

## 目次

- 第1章 総則（第1条－第3条）
  - 第2章 教育研究組織等（第4条－第11条）
  - 第3章 学長、副学長及び研究科長等（第12条－第19条）
  - 第4章 教授会（第20条）
  - 第5章 入学定員及び収容定員（第21条）
  - 第6章 学年、学期及び休業日（第22条－第24条）
  - 第7章 入学（第25条－第30条）
  - 第8章 標準修業年限及び在学年限（第31条・第32条）
  - 第9章 教育方法等（第33条－第40条）
  - 第10章 修了の要件及び学位等（第41条－第46条）
  - 第11章 休学、留学、再入学、転入学、転学、転研究科及び退学（第47条－第53条）
  - 第12章 検定料、入学料及び授業料等（第54条－第65条）
  - 第13章 特別聴講学生、特別研究学生、科目等履修生、研究生及び特別学修生（第66条－第69条の2）
  - 第14章 賞罰及び除籍（第70条・第71条）
  - 第15章 学生宿舎（第72条）
  - 第16章 公開講座（第73条）
- 附則

## 第1章 総則

## （目的）

第1条 奈良先端科学技術大学院大学（以下「本学」という。）は、最先端の研究を推進するとともに、その成果に基づく高度な教育により人材を養成し、もって科学技術の進歩及び社会の発展に寄与することを目的とする。

## （自己評価等）

第2条 本学は、その教育研究水準の向上を図り、前条の目的及び社会的使命を達成するため、本学における教育研究活動等の状況について自ら点検及び評価（以下「自己評価等」という。）を行い、その結果を公表するものとする。

- 2 本学は、自己評価等の結果について、学外者による検証を行う。
- 3 自己評価等の実施に関し必要な事項は、別に定める。



(情報の積極的な提供)

第3条 本学は、教育研究活動等の状況について、刊行物への掲載その他広く周知を図ることができる方法によって、積極的に情報を提供するものとする。

## 第2章 教育研究組織等

(大学院)

第4条 本学に、大学院を置く。

(研究科、専攻)

第5条 大学院に、次に掲げる研究科及び専攻を置く。

研 究 科	専 攻
情報科学研究科	情報科学専攻
バイオサイエンス研究科	バイオサイエンス専攻
物質創成科学研究科	物質創成科学専攻

(研究科の目的)

第6条 研究科ごとに、次に掲げる教育研究上の目的を定める。

(1) 情報科学研究科

コンピュータ本体及び情報ネットワークに関する技術、コンピュータと人間のインタラクション及びメディアに関する技術、ロボット等コンピュータを駆使する各種システム及び生命現象や生命機能を解き明かすバイオ情報処理に関する技術などの分野で、最先端の研究を推進するとともに、その成果に基づく体系的な教育プログラムの実施により、高度情報化社会を支える研究開発を担う研究者や高度な専門性を持った技術者を養成することを目的とする。

(2) バイオサイエンス研究科

生命現象の基本原則と生物の多様性を分子・細胞・個体レベルで解明し、また、その成果を人類社会の諸問題の解決に活用するための最先端の研究を推進するとともに、バイオサイエンスが関わる広範な領域をカバーした体系的な教育を行い、バイオサイエンスの深化とその活用を担う、創造的かつ先端的な研究者及び高度な専門性を持った技術者を養成することを目的とする。

(3) 物質創成科学研究科

物質の構造と機能を分子・原子・電子レベルまでに立ち返って解明し、物質科学の創造

的な研究を推進するとともに、物質科学の広範な領域をカバーした体系的な教育を通じて、人類社会の諸問題や産業界の要請に強い関心を持ち、物質科学や融合領域の創造的かつ先端的研究を担う人材及び技術革新の場や幅広い科学技術分野で活躍する人材を養成することを目的とする。

(教員組織)

第7条 研究科に、教員組織を置く。

2 教員組織に関し必要な事項は、別に定める。

(課程及び課程の目的)

第8条 研究科の課程は、博士課程とする。

2 博士課程は、これを前期の課程（以下「博士前期課程」という。）及び後期の課程（以下「博士後期課程」という。）に区分し、博士前期課程は、これを修士課程として取り扱うものとする。

3 博士前期課程は、広い視野に立って精深な学識を授け、専攻分野における研究能力又は高度の専門性を要する職業等に必要の高度の能力を養うことを目的とする。

4 博士後期課程は、専攻分野について、研究者として自立して研究活動を行い、又はその他の高度に専門的な業務に従事するに必要な高度の研究能力及びその基礎となる豊かな学識を養うことを目的とする。

(総合情報基盤センター)

第9条 本学に、総合情報基盤センターを置く。

2 総合情報基盤センターに、附属図書館を置く。

3 総合情報基盤センターに関し必要な事項は、別に定める。

(先端科学技術研究推進センター)

第9条の2 本学に、先端科学技術研究推進センターを置く。

2 先端科学技術研究推進センターに関し必要な事項は、別に定める。

(学内共同教育研究施設)

第10条 本学に、次に掲げる学内共同教育研究施設を置く。

(1) 遺伝子教育研究センター

(2) 物質科学教育研究センター

2 学内共同教育研究施設に関し必要な事項は、別に定める。

(保健管理センター)

- 第11条 本学に、保健管理センターを置く。  
2 保健管理センターに関し必要な事項は、別に定める。

### 第3章 学長、副学長及び研究科長等

#### (構成員)

- 第12条 本学の構成員は、次のとおりとする。

学長  
副学長  
研究科長  
副研究科長  
総合情報基盤センター長  
先端科学技術研究推進センター長  
学内共同教育研究施設の長  
遺伝子教育研究センター長  
物質科学教育研究センター長  
保健管理センター所長  
教員  
一般職員  
その他必要な職員

- 2 教員は、教授、准教授、講師、助教及び助手とする。  
3 一般職員は、事務職員、技術職員、看護職員及び教務職員とする。

#### (学長)

- 第13条 学長は、本学の校務をつかさどり、所属職員を統督する。

#### (副学長)

- 第14条 副学長は、学長を補佐する。

#### (研究科長)

- 第15条 研究科長は、当該研究科及び研究科に係る学内共同教育研究施設の運営をつかさどる。

#### (副研究科長)

- 第16条 副研究科長は、当該研究科長を補佐する。

#### (総合情報基盤センター長)

- 第17条 総合情報基盤センター長は、総合情報基盤センターの業務をつかさどる。

(先端科学技術研究推進センター長)

第17条の2 先端科学技術研究推進センター長は、先端科学技術研究推進センターの業務をつかさどる。

(学内共同教育研究施設の長)

第18条 各学内共同教育研究施設の長は、当該学内共同教育研究施設の業務をつかさどる。

(保健管理センター所長)

第19条 保健管理センター所長は、保健管理センターの業務をつかさどる。

#### 第4章 教授会

(教授会)

第20条 研究科に、教授会を置く。

2 教授会は、当該研究科に係る次に掲げる事項について審議する。

- (1) 教育課程の編成に関する事項
- (2) 学生の入学に関する事項
- (3) 学生の休学に関する事項
- (4) 学生の留学に関する事項
- (5) 学生の転学に関する事項
- (6) 学生の退学に関する事項
- (7) 学位の認定に関する事項
- (8) 学生の成績に関する事項
- (9) 学生団体、学生活動及び学生生活に関する事項
- (10) 学生の賞罰に関する事項
- (11) 研究の体制に関する事項
- (12) 研究科の教育及び研究について密接に関係する学内共同教育研究施設の教育及び研究に関する事項
- (13) 自己点検等に関する事項
- (14) その他教育及び研究に関する事項

3 教授会は、当該研究科の教育又は研究に携わる専任の教授及び准教授で組織する。ただし、研究科長は、必要に応じて、その他教育又は研究に携わる教員を教授会の構成員とすることができる。

4 前項にかかわらず、外国出張中の者、休職中の者その他の者を構成員から除くことができる。

5 教授会に議長を置き、研究科長をもって充てる。

6 議長は、教授会を主宰する。

7 議長に事故があるときは、副研究科長が議長の職務を代行する。

8 教授会は、構成員の過半数の出席がなければ、議事を開き、議決すること

ができない。

- 9 教授会の議事は、出席構成員の過半数をもって決し、可否同数のときは、議長が決するところによる。
- 10 研究科長が必要と認めたときは、構成員以外の者を教授会に出席させることができる。

## 第5章 入学定員及び収容定員

### (入学定員及び収容定員)

第21条 入学定員及び収容定員は、別表のとおりとする。

## 第6章 学年、学期及び休業日

### (学年)

第22条 学年は、4月1日に始まり、翌年3月31日に終わる。

- 2 前項の規定にかかわらず、秋学期に入学した者の学年は、10月1日に始まり、翌年9月30日に終わる。

### (学期)

第23条 前条の学年を、次の学期に分ける。

- (1) 春学期 4月1日から9月30日まで
- (2) 秋学期 10月1日から翌年3月31日まで

### (休業日)

第24条 休業日は、次のとおりとする。

- (1) 日曜日及び土曜日
- (2) 国民の祝日に関する法律（昭和23年法律第178号）に定める休日
- (3) 創立記念日（10月1日）
- (4) 春季、夏季及び冬季の休業日
- 2 前項第4号の休業日については、別に定める。
- 3 学長は、必要があると認めるときは、臨時の休業日を定めることができる。
- 4 第1項の規定にかかわらず、研究科長が教育上の必要があると認めるときは、休業日に授業を行うことができる。

## 第7章 入学

### (入学資格)

第25条 博士前期課程に入学することのできる者は、次の各号のいずれかに該当する者とする。

- (1) 学校教育法（昭和22年法律第26号）第83条第1項に定める大学を

## 卒業した者

- (2) 学校教育法第104条第4項の規定により学士の学位を授与された者
  - (3) 外国において、学校教育における16年の課程を修了した者
  - (4) 外国の学校が行う通信教育における授業科目を我が国において履修することにより当該外国の学校教育における16年の課程を修了した者
  - (5) 我が国において、外国の大学の課程（その修了者が当該外国の学校教育における16年の課程を修了したとされるものに限る。）を有するものとして当該外国の学校教育制度において位置付けられた教育施設であって、文部科学大臣が別に指定するものの当該課程を修了した者
  - (6) 専修学校の専門課程（修業年限が4年以上であることその他の文部科学大臣が定める基準を満たすものに限る。）で文部科学大臣が別に指定するものを文部科学大臣が定める日以後に修了した者
  - (7) 学校教育法施行規則（昭和22年文部省令第11号）第155条第1項第6号に定める文部科学大臣の指定した者
  - (8) 次のいずれかに該当し、所定の単位を優れた成績をもって修得したものと、本学において認めた者
    - ア 大学に3年以上在学した者
    - イ 外国において、学校教育における15年の課程を修了した者
    - ウ 外国の学校が行う通信教育における授業科目を我が国において履修することにより当該外国の学校教育における15年の課程を修了した者
    - エ 我が国において、外国の大学の課程（その修了者が当該外国の学校教育における15年の課程を修了したとされるものに限る。）を有するものとして当該外国の学校教育制度において位置付けられた教育施設であって、文部科学大臣が別に指定するものの当該課程を修了した者
  - (9) 学校教育法第102条第2項の規定により大学院に入学したことがある者であって、本学において、大学院における教育を受けるにふさわしい学力があると認めたもの
  - (10) 本学において、個別の入学資格審査により、大学を卒業した者と同等以上の学力があると認めた者で、22歳に達したもの
- 2 博士後期課程に入学することのできる者は、次の各号のいずれかに該当する者とする。
- (1) 修士の学位又は専門職学位（学校教育法第104条第1項の規定に基づき学位規則（昭和28年文部省令第9号）第5条の2に規定する専門職学位をいう。以下同じ。）を有する者
  - (2) 外国において、修士の学位又は専門職学位に相当する学位を授与された者
  - (3) 外国の学校が行う通信教育における授業科目を我が国において履修し、修士の学位又は専門職学位に相当する学位を授与された者
  - (4) 我が国において、外国の大学院の課程を有するものとして当該外国の学校教育制度において位置付けられた教育施設であって、文部科学大臣が別



- に指定するものの当該課程を修了し、修士の学位又は専門職学位に相当する学位を授与された者
- (5) 国際連合大学本部に関する国際連合と日本国との間の協定の実施に伴う特別措置法（昭和51年法律第72号）第1条第2項に規定する1972年12月11日の国際連合総会決議に基づき設立された国際連合大学（以下「国際連合大学」という。）の課程を修了し、修士の学位に相当する学位を授与された者
- (6) 外国の学校、第4号の指定を受けた教育施設又は国際連合大学の教育課程を履修し、大学院設置基準（昭和49年文部省令第28号）第16条の2に規定する試験及び審査に相当するものに合格し、修士の学位を有する者と同等以上の学力があると認められた者
- (7) 学校教育法施行規則第156条第6号に定める文部科学大臣の指定した者
- (8) 本学において、個別の入学資格審査により、修士の学位又は専門職学位を有する者と同等以上の学力があると認めた者で、24歳に達したもの
- 3 第1項第10号及び前項第8号に定める入学資格審査の実施方法等については、各研究科において、別に定める。

#### （入学の時期）

第26条 入学の時期は、学期の始めとする。

#### （入学の出願）

第27条 本学に入学を志願する者は、入学願書に所定の書類等を添えて、学長に願い出なければならない。

#### （入学者の選抜）

第28条 本学に入学を志願する者については、別に定めるところにより選抜を行う。

#### （入学手続き及び入学許可）

第29条 前条の選抜の結果に基づき合格の通知を受け、入学しようとする者は、所定の書類等を提出しなければならない。

2 学長は、前項の手続きを完了した者に入学を許可する。

#### （博士後期課程への進学）

第30条 本学の博士前期課程を修了し、引き続き博士後期課程に進学を志願する者については、当該研究科の教授会が選考の上、進学を許可する。

## 第8章 標準修業年限及び在学年限



(標準修業年限)

第31条 博士前期課程の標準修業年限は2年、博士後期課程の標準修業年限は3年とする。

(在学年限)

第32条 博士前期課程の学生は4年、博士後期課程の学生は6年を超えて在学することができない。

## 第9章 教育方法等

(教育方法)

第33条 研究科における教育は、授業科目の授業及び学位論文の作成等に対する指導（以下「研究指導」という。）によって行う。

(授業科目及びその単位数並びに履修方法等)

第34条 前条の授業科目及びその単位数並びに履修方法等は、当該研究科において別に定める。

(単位の計算方法)

第35条 各授業科目の単位数は、1単位の授業科目を45時間の学修を必要とする内容をもって構成することを標準とし、授業の方法に応じ、当該授業による教育効果、授業時間外に必要な学修等を考慮して、次の基準により計算するものとする。

- (1) 講義及び演習については、15時間の授業をもって1単位とする。
- (2) 実験及び実習については、30時間の授業をもって1単位とする。
- (3) 各研究科において、一の授業科目について、講義、演習、実験又は実習のうち2以上の方法の併用により行う場合については、その組み合わせに応じ、前2号に規定する基準を考慮して当該研究科が定める時間の授業をもって1単位とする。

- 2 前項の規定にかかわらず、研究論文及び課題研究の授業科目については、これらの学修の成果を評価して単位を授与することが適切と認められる場合には、これらに必要な学修等を考慮して、単位数を定めることができる。

(成績評価基準等の明示等)

第35条の2 各研究科は、学生に対して、授業及び研究指導の方法及び内容並びに1年間の授業及び研究指導の計画をあらかじめ明示するものとする。

- 2 各研究科は、学修の成果及び学位論文に係る評価並びに修了の認定に当たっては、客観性及び厳格性を確保するため、学生に対してその基準をあらかじめ明示するとともに、当該基準にしたがって適切に行うものとする。

(教育内容等の改善のための組織的な研修等)

第35条の3 本学は、当該研究科の授業及び研究指導の内容及び方法の改善を図るための組織的な研修及び研究を実施するものとする。

2 教育内容等の改善のための組織的な研修等に関し必要な事項は、別に定める。

(単位の授与)

第36条 授業科目を履修し、その試験又は研究報告に合格した者には、所定の単位を与える。

(他の研究科の授業科目の履修等)

第37条 学生が他の研究科の授業科目を履修することが教育上有益であると当該研究科の教授会において認めるときは、他の研究科の授業科目を履修することができる。

2 前項の規定により履修した授業科目について修得した単位は、当該研究科において定める範囲内で第35条に規定する単位に充当することができる。

3 他の研究科の授業科目の履修に関し必要な事項は、別に定める。

(他の大学院における授業科目の履修等)

第38条 学生が他の大学院の授業科目を履修することが教育上有益であると当該研究科の教授会において認めるときは、あらかじめ、当該他の大学院と協議の上、当該他の大学院の授業科目を履修することを認めることがある。

2 前項の規定により履修した授業科目について修得した単位は、本学において修得したものとみなす。ただし、本学において修得したものとみなすことができる単位数は、10単位を超えないものとする。

3 第1項の規定により授業科目を履修した期間は、在学期間に算入する。

4 前3項の規定は、外国の大学院が行う通信教育における授業科目を我が国において履修する場合、外国の大学院の教育課程を有するものとして当該外国の学校教育制度において位置付けられた教育施設であって、文部科学大臣が別に指定するものの当該教育課程における授業科目を我が国において履修する場合及び国際連合大学の教育課程における授業科目を履修する場合について準用する。

5 他の大学院における授業科目の履修等に関し必要な事項は、別に定める。

(休学期間中に外国の大学院において履修した授業科目の単位の認定)

第38条の2 学生が休学期間中に外国の大学院において履修した授業科目について修得した単位を、当該研究科の教授会において教育上有益であると認めるときは、本学において修得したものとみなすことができる。

2 前項の規定により本学において修得したものとみなすことができる単位数は、前条第2項及び第4項により修得したものとみなす単位数と合わせて10

単位を超えないものとする。

(入学前の既修得単位の認定)

第39条 学生が本学に入学する前に大学院において履修した授業科目について修得した単位(大学院設置基準第15条において準用する大学設置基準(昭和31年文部省令第28号)第31条に定める科目等履修生として修得した単位を含む。)を、当該研究科の教授会において教育上有益であると認めるときは、本学に入学した後の本学における授業科目の履修により修得したものとみなすことができる。

- 2 前項の規定により本学において修得したものとみなすことができる単位数は、本学において修得したものの以外については、10単位を超えないものとする。
- 3 入学前の既修得単位の認定に関し必要な事項は、別に定める。

(他の大学院等における研究指導等)

第40条 学生が、他の大学院又は研究所等において研究指導を受けることが教育上有益であると当該研究科の教授会において認めるときは、あらかじめ、当該他の大学院又は研究所等と協議の上、当該他の大学院又は研究所等において必要な研究指導を受けることを認めることがある。ただし、博士前期課程の学生が当該研究指導を受ける期間は、1年を超えないものとする。

- 2 前項の規定により他の大学院又は研究所等において受けた研究指導は、本学の研究科において受けた研究指導とみなすことができる。
- 3 第1項の規定により研究指導を受けた期間は、在学期間に算入する。
- 4 他の大学院等における研究指導等に関し必要な事項は、別に定める。

## 第10章 修了の要件及び学位等

(博士前期課程の修了の要件)

第41条 博士前期課程の修了の要件は、博士前期課程に標準修業年限以上在学し、各研究科の定めるところにより、所要の授業科目について30単位以上を修得し、かつ、必要な研究指導を受けた上、修士論文の審査及び最終試験に合格することとする。ただし、在学期間に関しては、優れた研究業績を上げた者については、博士前期課程に1年以上在学すれば足りるものとする。

- 2 前項の場合において、当該研究科の教授会において適当と認められる場合には、特定の課題についての研究の成果の審査をもって修士論文の審査に代えることができる。

(博士後期課程の修了の要件)

第42条 博士後期課程の修了の要件は、博士後期課程に標準修業年限以上在学し、各研究科の定めるところにより、所要の単位以上を修得し、必要な研

究指導を受けた上、博士論文の審査及び最終試験に合格することとする。ただし、在学期間に関しては、優れた研究業績を上げた者については、1年以上在学すれば足りるものとする。

- 2 前条第1項ただし書の規定による在学期間をもって博士前期課程を修了した者及び他の大学院の修士課程又は博士前期課程を1年以上2年未満で修了した者の博士後期課程の修了の要件は、前項ただし書中「1年」とあるのは「3年から博士前期課程又は修士課程における在学期間を減じた期間」と読み替えて、同項の規定を適用する。
- 3 前2項の規定にかかわらず、学校教育法施行規則第156条の規定により、大学院への入学資格に関し修士の学位を有する者と同等以上の学力があると認められた者が、博士後期課程に入学した場合の博士後期課程の修了の要件は、博士後期課程に3年以上在学し、各研究科の定めるところにより、所要の単位以上を修得し、必要な研究指導を受けた上、博士論文の審査及び最終試験に合格することとする。ただし、在学期間に関しては、優れた研究業績を上げた者については、博士後期課程に1年以上在学すれば足りるものとする。

(修了の認定)

第43条 修了の認定は、当該研究科の教授会が行う。

(学位)

第44条 研究科の課程を修了した者には、修了した課程に応じて修士又は博士の学位を授与する。

- 2 前項に定めるもののほか、博士の学位は、本学に博士論文を提出して、その審査に合格し、かつ、本学の博士後期課程を修了した者と同等以上の学力を有することを確認された者にも授与することができる。
- 3 学位に関し必要な事項は、別に定める。

(修了の時期)

第45条 修了の時期は、学期の終りとする。

- 2 前項の規定にかかわらず、学長が必要と認めた場合は、学期の途中において修了させることができる。

(教育職員の免許状授与の所要資格の取得)

第46条 教育職員の免許状授与の所要資格（以下「授与資格」という。）を取得しようとする者は、教育職員免許法（昭和24年法律第147号）及び教育職員免許法施行規則（昭和29年文部省令第26号）に定める所要の単位を修得しなければならない。

- 2 本学において、授与資格を取得できる教育職員の免許状の種類及び免許教科等は、次の表に掲げるとおりとする。

研究科	専攻	免許状の種類	免許教科
情報科学研究科	情報科学専攻	高等学校教諭専修 免許状	情報
バイオサイエンス 研究科	バイオサイエンス 専攻	中学校教諭専修免 許状 高等学校教諭専修 免許状	理科 理科
物質創成科学研究 科	物質創成科学専攻	中学校教諭専修免 許状 高等学校教諭専修 免許状	理科 理科

### 第11章 休学、留学、再入学、転入学、転学、転研究科及び退学 (休学)

第47条 病気その他のやむを得ない事由又は学長が認める事由により、引き続き3月以上修学できない者は、当該研究科の教授会の審議を経て、学長の許可を得て、休学することができる。

2 病気のため修学することが適当でないと認められる者については、学長は休学を命ずることができる。

3 休学の事由が消滅したときは、学長の許可を得て、復学することができる。

4 休学期間は、1年以内とする。ただし、特別の理由がある場合は、1年を限度として休学期間の延長を認めることができる。

5 休学期間は、博士前期課程及び博士後期課程ごとに、それぞれ通算して2年を超えることができない。

6 前2項の規定にかかわらず、学長が特に認める休学の事由については、休学期間を別に定めることができる。

7 休学期間は、第31条に規定する標準修業年限及び第32条に規定する在学年限に算入しない。

### (留学)

第48条 外国の大学院又は研究所等に留学しようとする者は、当該研究科の教授会の審議を経て、学長の許可を受けなければならない。

2 留学期間中における授業科目の履修等の取扱いについては、第38条及び第40条の規定を準用する。

### (再入学)

第49条 本学を退学した者又は除籍された者で、当該研究科に再入学を志願する者がある場合は、当該研究科の教育研究に支障がないときに限り、当該研究科の教授会の選考の上、学長が再入学を許可することがある。



- 2 前項の場合において、既に修得した授業科目の単位及び在学期間の認定は、当該研究科の教授会において行う。

(転入学)

第50条 他の大学院に在学する者又は外国の大学院に在学する者で、本学に転入学を志願する者がある場合は、本学の教育研究に支障がないときに限り、在籍を希望する研究科の教授会の選考の上、学長が転入学を許可することがある。

- 2 前項の場合において、既に修得した授業科目の単位及び在学期間の認定は、当該研究科の教授会において行う。
- 3 前2項の規定は、我が国において、外国の大学院の課程を有するものとして当該外国の学校教育制度において位置付けられた教育施設であって、文部科学大臣が別に指定するものの当該課程に在学する者（学校教育法第102条第1項に規定する者に限る。）及び国際連合大学の課程に在学する者の場合について準用する。

(転学)

第51条 他の大学院又は外国の大学院に転学を志願する者は、当該研究科の教授会の審議を経て、学長の許可を受けなければならない。

- 2 前項の規定は、我が国において、外国の大学院の課程を有するものとして当該外国の学校教育制度において位置付けられた教育施設であって、文部科学大臣が別に指定するもの及び国際連合大学の場合について準用する。

(転研究科)

第52条 転研究科を志願する者がある場合は、転研究科先の教育研究に支障がないときに限り、在籍を希望する研究科の教授会の選考の上、当該研究科長が転研究科を許可することがある。

- 2 前項の場合において、既に修得した授業科目の単位及び在学期間の認定は、当該研究科の教授会において行う。

(退学)

第53条 退学しようとする者は、当該研究科の教授会の審議を経て、学長の許可を受けなければならない。

第12章 検定料、入学料及び授業料等

(検定料、入学料及び授業料の額)

第54条 検定料、入学料及び授業料の額は、次の表のとおりとする。

検定料	入学料	授業料（年額）
30,000円	282,000円	535,800円

(検定料の納付)

第55条 入学、再入学及び転入学を志願する者は、入学願書提出と同時に、検定料を納付しなければならない。

- 2 前項の規定にかかわらず、国費外国人留学生制度実施要項（昭和29年3月31日文科大臣裁定。以下「実施要項」という。）第4条の推薦による入学志望者は、検定料の納付を要しない。

(入学料の納付)

第56条 入学、再入学及び転入学しようとする者は、所定の期日までに、入学料を納付しなければならない。

- 2 前項の規定にかかわらず、国費外国人留学生（実施要項第2条に定めるものをいう。以下同じ。）は、入学料の納付を要しない。

(授業料の納付)

第57条 授業料は、春学期（4月から9月まで）及び秋学期（10月から翌年3月まで）の2期に分けて、年額の2分の1ずつ納付しなければならない。

- 2 納付の時期は、第63条の規定により授業料の徴収猶予を許可された場合を除き、5月及び11月とする。
- 3 前2項の規定にかかわらず、学生の申出があつたときは、春学期の授業料を徴収する時に、当該年度の秋学期に係る授業料を併せて徴収するものとする。
- 4 入学年度の春学期又は春学期及び秋学期に係る授業料については、第1項及び第2項の規定にかかわらず、入学を許可される者の申出があつたときは、入学を許可する時に徴収するものとする。
- 5 第1項の規定にかかわらず、国費外国人留学生は、授業料の納付を要しない。

(復学等の場合における授業料の額及び徴収方法)

第58条 春学期又は秋学期の中途において復学、転入学又は再入学（以下「復学等」という。）をした者から春学期又は秋学期において徴収する授業料の額は、授業料の年額の12分の1に相当する額（以下「月額」という。）に復学等当月から次の徴収の時期前までの月数を乗じて得た額とし、復学等当月に徴収するものとする。

(学年の途中で修了する場合における授業料の額)

第59条 特別の事情により、学年の途中で修了する者から徴収する授業料の額は、月額に在学する月数を乗じて得た額とする。

(休学する場合における授業料の額)



第60条 休学期間の授業料は、徴収しない。

2 徴収しない授業料の額は、月額に休学当月の翌月から復学当月の前月までの月数を乗じて得た額とする。

(退学等における授業料の額)

第61条 春学期又は秋学期の中途において退学し、転学し、除籍され、又は退学を命じられた者の授業料は、当該期分を徴収する。

(入学料及び授業料の免除等)

第62条 入学料の全額若しくは一部を免除し、又はその徴収を猶予することのできる者は、次の各号のいずれかに該当する者とする。

- (1) 経済的理由によって、入学料の納付が困難であり、かつ、学業優秀と認められる者又はその他やむを得ない事情があると認められる者
- (2) 学業成績が特に優秀であり、かつ、人物が優れていると認められる者
- (3) その他学長が必要と認める者

第63条 授業料の全額若しくは一部を免除し、又はその徴収を猶予することのできる者は、次の各号のいずれかに該当する者とする。

- (1) 経済的理由によって、授業料の納付が困難であり、かつ、学業優秀と認められる者又はその他やむを得ない事情があると認められる者
- (2) 学業成績が特に優秀であり、かつ、人物が優れていると認められる者
- (3) その他学長が必要と認める者

第64条 入学料及び授業料の免除及び徴収猶予に関し必要な事項は、別に定める。

(納付済みの検定料、入学料及び授業料)

第65条 納付済みの検定料、入学料及び授業料は返還しない。

2 前項の規定にかかわらず、次に掲げる場合は、授業料を返還する。

- (1) 第57条第3項の規定により春学期及び秋学期に係る授業料を併せて納付した者が、秋学期に係る授業料の納付期限前に退学した場合 秋学期に係る授業料相当額
- (2) 第57条第4項の規定により入学を許可する時に授業料を納付した者が、入学する月の前月の末日までに入学を辞退した場合 当該授業料相当額
- (3) 第57条に基づき授業料を納付した者が、特別の事情により、学年の途中で修了する場合 当該者が支払った授業料から、月額に在学する月数を乗じた額を減じて得た授業料相当額
- (4) 授業料を納付している者が休学する場合 第60条第2項に該当する授業料相当額

### 第13章 特別聴講学生、特別研究学生、科目等履修生、研究生及び特別学修生

#### (特別聴講学生)

第66条 教育上有益と認めるときは、他の大学院又は外国の大学院との協議に基づき、当該他の大学院又は外国の大学院に在学中の者を特別聴講学生として入学を許可し、研究科の授業科目を履修させることができる。

2 前項の規定は、我が国において、外国の大学院の課程を有するものとして当該外国の学校教育制度において位置付けられた教育施設であつて、文部科学大臣が別に指定するもの及び国際連合大学の場合について準用する。

3 特別聴講学生に関し必要な事項は、別に定める。

#### (特別研究学生)

第67条 教育上有益と認めるときは、他の大学院又は外国の大学院との協議に基づき、当該他の大学院又は外国の大学院に在学中の者を特別研究学生として入学を許可し、研究科の研究指導を受けさせることができる。

2 特別研究学生に関し必要な事項は、別に定める。

#### (科目等履修生)

第68条 本学の学生以外の者で研究科の授業科目中1科目又は複数科目を選択し履修しようとする者がある場合は、当該研究科の教育研究に支障がないと認めるときに限り、当該研究科の教授会の選考の上、科目等履修生として入学を許可し、単位を与えることができる。

2 科目等履修生に関し必要な事項は、別に定める。

#### (研究生)

第69条 研究科において特定事項について研究しようとする者がある場合は、当該研究科の教育研究に支障のないときに限り、当該研究科の教授会の選考の上、研究生として入学を許可することがある。

2 研究生に関し必要な事項は、別に定める。

#### (特別学修生)

第69条の2 教育上有益と認めるときは、他の大学(外国の大学を含む。)又は高等専門学校との協議に基づき、当該他の大学の学部若しくはこれに相当する組織又は高等専門学校の専攻科に在学中の者を特別学修生として入学を許可し、研究科の学修指導を受けさせることができる。

2 特別学修生に関し必要な事項は、別に定める。

## 第14章 賞罰及び除籍

### (賞罰)

- 第70条 学長は、表彰に価する行為を行った者があるときは、表彰することができる。
- 2 学長は、本学の規則に違反し又は本学の教育研究活動を著しく阻害する行為を行った者があるときは、当該研究科の教授会の審議に基づき、懲戒することができる。
- 3 前項に規定する懲戒は、退学、停学及び訓告とする。

### (除籍)

- 第71条 次の各号のいずれかに該当する者は、除籍する。
- (1) 在学期間が第32条に規定する在学年限を超えた者
- (2) 休学期間が第47条第4項に規定する期間を超えた者
- (3) 入学料の免除を許可されなかった者及び一部の免除を許可された者並びに徴収を猶予された者又は免除の許可を取り消された者で、その納付すべき入学料を所定の期日までに納付しなかったもの
- (4) 授業料の納付を怠り、督促を受けてなお納付しなかった者

## 第15章 学生宿舎

### (学生宿舎)

- 第72条 本学に、学生宿舎を置く。
- 2 学生宿舎に関し必要な事項は、別に定める。

## 第16章 公開講座

### (公開講座)

- 第73条 本学に、社会人の教養を高め、文化の向上に資するため、公開講座を開設することができる。
- 2 公開講座に関し必要な事項は、別に定める。

## 附 則

### (施行期日)

- 1 この学則は、平成16年4月1日から施行する。

### (経過措置)

- 2 平成16年3月31日現在において本学に在学している者（以下この項で「在学者」という。）及び平成16年4月1日以後において在学者の属する年次に再入学及び転入学する者については、旧奈良先端科学技術大学院大学学則は、この学則の施行後も、なおその効力を有する。

## 附 則

この学則は、平成17年4月1日から施行する。

附 則

この学則は、平成17年4月21日から施行し、この学則による改正後の奈良先端科学技術大学院大学学則の規定は、平成17年4月1日から適用する。

附 則

この学則は、平成17年11月17日から施行する。

附 則

この学則は、平成19年4月1日から施行する。

附 則

この学則は、平成20年1月24日から施行し、この学則による改正後の奈良先端科学技術大学院大学学則の規定は、平成19年12月26日から適用する。

附 則

この学則は、平成21年4月1日から施行する。

附 則

この学則は、平成22年4月1日から施行する。

附 則

この学則は、平成22年12月1日から施行する。

附 則

この学則は、平成22年12月1日から施行する。

附 則

(施行期日)

- 1 この学則は、平成23年4月1日から施行する。
- 2 情報科学研究科の情報処理学専攻、情報システム学専攻及び情報生命科学専攻並びにバイオサイエンス研究科の細胞生物学専攻及び分子生物学専攻は、改正後の第5条の規定にかかわらず、平成23年3月31日に当該専攻に在学する者が当該専攻に在学しなくなるまでの間、存続するものとする。  
(平成23年度及び平成24年度の収容定員)
- 3 第21条の規定にかかわらず、平成23年度及び平成24年度の収容定員は、次の表に掲げるとおりとする。

年度	研究科	専攻	入学定員		収容定員
			博士前期課程	博士後期課程	
平成23年度	情報科学研究科	情報科学専攻	135人	40人	175人
		情報処理学専攻			96人
		情報システム学専攻			77人
		情報生命科学			59人

		学専攻			
		計	135人	40人	407人
	バイオサイ エンス研究 科	バイオサイ エンス専攻 細胞生物学 専攻 分子生物学 専攻	125人	37人	162人
		計	125人	37人	344人
平成24年 度	情報科学研 究科	情報科学専 攻 情報処理学 専攻 情報システ ム学専攻	135人	40人	350人
		情報生命科 学専攻			11人
		計	135人	40人	393人
	バイオサイ エンス研究 科	バイオサイ エンス専攻 細胞生物学 専攻 分子生物学 専攻	125人	37人	324人
		計	125人	37人	358人

(研究科において所要資格を取得できる教育職員の免許状の種類に関する経過措置)

- 4 附則第2項の専攻において取得できる教育職員の免許状の種類及び免許教科は、改正後の第46条第2項の規定にかかわらず、なお従前の例による。

附 則

この学則は、平成23年4月1日から施行する。

附 則

この学則は、平成24年4月1日から施行する。

附 則

この学則は、平成24年6月1日から施行する。

## 附 則

この学則は、平成25年2月1日から施行する。

## 附 則

この学則は、平成26年4月1日から施行する。

## 附 則

この学則は、平成26年12月1日から施行する。

別表（第21条関係）

研究科	専攻	入学定員		収容定員
		博士前期 課程	博士後期 課程	
情報科学研究科	情報科学専攻	135人	40人	390人
バイオサイエンス 研究科	バイオサイエンス専 攻	125人	37人	361人
物質創成科学研究 科	物質創成科学専攻	90人	30人	270人
合 計		350人	107人	1,021人

# Regulations of Nara Institute of Science and Technology

April 1, 2004  
Regulations No. 1

## Table of Contents

- I. General Provisions (Articles 1 to 3)
- II. Educational and Research Organization (Articles 4 to 11)
- III. President, Vice President, Deans, etc. (Articles 12 to 19)
- IV. Faculty Council (Article 20)
- V. Admission Capacity and Enrollment Capacity (Article 21)
- VI. Academic Year, Semesters, and Closed Days (Articles 22 to 24)
- VII. Admission (Articles 25 to 30)
- VIII. Standard Terms of Study and Maximum Years of Enrollment (Articles 31 to 32)
- IX. Education at Graduate School (Articles 33 to 40)
- X. Course and Degree Requirements (Articles 41 to 46)
- XI. Leave of Absence, Study Abroad, Readmission, Transfer from/to another School, Transfer to another Graduate School within NAIST, and Withdrawal (Articles 47 to 53)
- XII. Entrance Examination, Admission and Tuition Fees (Articles 54 to 65)
- XIII. Special Auditing Students, Special Research Students, Non-Degree Students, Research Students and Undergraduate Internship Students (Articles 66 to 69-2)
- XIV. Rewards, Punishments and Expulsion (Articles 70 to 71)
- XV. Student Dormitories (Article 72)
- XVI. Open Lectures (Article 73)

## Supplementary Provisions

### I. General Provisions

#### Article 1 (Purpose)

Nara Institute of Science and Technology (“NAIST”) aims to promote cutting-edge research activities and train high-caliber personnel through advanced education based on the results of such research activities, thereby contributing to the advancement of science and technology and prosperity of society.



### Article 2 (Self-assessment)

1. NAIST shall inspect and assess educational and research activities conducted internally (“Self-assessment”) and make the results of the Self-assessment publicly available, with a view to raising the standard of internal education and research and achieving its purpose and social mission described in the foregoing article.
2. NAIST shall have the results of the Self-assessment examined by third party reviewers.
3. Matters concerning implementation of the Self-assessment shall be provided for separately.

### Article 3 (Active provision of information)

NAIST shall actively provide information on its educational and research activities through publications or other suitable means.

## II. Educational and Research Organization

### Article 4 (University with graduate school curriculum)

NAIST is a university with graduate school curriculum only.

### Article 5 (Graduate School and department)

The Graduate Schools of NAIST have the graduate schools and departments shown in the following table.

Graduate School	Department
Information Science	Information Science
Biological Sciences	Biological Sciences
Materials Science	Materials Science

### Article 6 (Objectives of Graduate Schools)

Respective Graduate Schools shall have the following objectives concerning educational and research activities.

#### (1) Graduate School of Information Science

Promotes advanced research on information science, offers systematic education programs covering diverse fields related to information science (including information processing technology for assisting senses and judgments, technology for building large-scale information systems, technology for building and operating reliable information networks, and extensive interdisciplinary research involving information science and life science), and thereby produces researchers capable of undertaking R&D in the future and engineers with advanced expertise.

#### (2) Graduate School of Biological Sciences

Promotes state-of-the-art research for elucidating the basic principles of life phenomena and

biological diversity on molecular, cellular, and individual levels, and for utilizing the results to resolve problems faced by the human society, offers systematic education programs covering diverse fields related to biological sciences, and thereby produces creative and leading-edge researchers and engineers with advanced expertise capable of promoting and utilizing biological sciences

### (3) Graduate School of Materials Science

Elucidates structures and functions of materials on molecular, atomic, and electron levels, promotes creative research on materials science, and offers systematic education programs covering diverse fields related to materials science, and thereby produces human resources (i) who are keenly interested in the problems faced by human society and the needs of industrial circles and capable of undertaking creative and advanced research in materials science and interdisciplinary domains, and (ii) who assume active roles in fields of technological innovation and diverse sciences and technologies

### Article 7 (Chairs)

1. The Graduate Schools have Chairs.
2. The Chairs of the Graduate School consist of basic, guest, endowed, collaborative, and educational collaborative chairs.
3. Matters relating to the Chairs shall be provided for separately.

### Article 8 (Courses and their purposes)

1. The Graduate Schools of NAIST have doctoral courses.
2. Each of the doctoral courses consists of a former course (“Master’s Course”) and a latter course (“Doctoral Course”).
3. The Master’s Course aims to equip students with profound academic knowledge based on broader perspectives, and help students develop the ability to conduct advanced research in their fields of specialty or engage in professions that require highly specialized skills.
4. The Doctoral Course aims to help students develop the ability to conduct advanced research activities on their own, or research skills of the highest level necessary for highly sophisticated professions, and to foster profound academic knowledge indispensable for such research activities and professions.

### Article 9 (NAIST Library)

1. NAIST has a library.
2. Matters relating to the library shall be provided for separately.

### Article 10 (Common educational and research institutions)

1. NAIST has the following common educational and research institutions:
  - (1) Information Technology Center

(2) Research and Education Center for Genetic Information

(3) Research and Education Center for Materials Science

(4) Research Center for Advanced Science and Technology

2. Matters relating to the common educational and research institutions shall be provided for separately.

#### Article 11 (Health Care Center)

1. NAIST has a Health Care Center.

2. Matters relating to the Health Care Center shall be provided for separately.

### III. President, Vice President, Deans, etc.

#### Article 12 (Organization)

1. The organization of NAIST consists of the following members:

President

Vice President

Deans of respective Graduate Schools

Vice Deans of respective Graduate Schools

Director of NAIST Library

Directors of the common educational and research institutions

Director of Information Technology Center

Director of Research and Education Center for Genetic Information

Director of Research and Education Center for Materials Science

Director of Research Center for Advanced Science and Technology

Director of Health Care Center

Faculty members

General staff members

Other staff members

2. The faculty members of NAIST consist of professors, associate professors, lecturers, assistant professors, and research associates.

3. General staff members of NAIST consist of administrative staff, technical staff, nurses and academic staff.

#### Article 13 (President)

The President shall be responsible for management of internal affairs at NAIST and supervision of all faculty and staff members thereof.

#### Article 14 (Vice President)

The Vice President shall be responsible for supporting the President.

#### Article 15 (Deans of respective Graduate Schools)

Each of the Deans shall be responsible for the administration of his or her Graduate School and the common educational and research institution associated therewith.

#### Article 16 (Vice Deans of respective Graduate Schools)

Each of the Vice Deans shall be responsible for supporting the Dean of his or her Graduate School.

#### Article 17 (Director of NAIST Library)

The Director of the NAIST Library shall be responsible for administration of the Library.

#### Article 18 (Directors of the common educational and research institutions)

Directors of the common educational and research institutions shall be responsible for affairs at the respective common educational and research institutions.

#### Article 19 (Director of Health Care Center)

The Director of the Health Care Center shall be responsible for its administration.

### IV. Faculty Council

#### Article 20 (Faculty Council)

1. Each of the Graduate Schools has a Faculty Council.
2. The Faculty Council of each Graduate School shall be responsible for discussing matters relating to:
  - (1) Arrangement of curriculum
  - (2) Admission of students
  - (3) Students taking a leave of absence
  - (4) Students studying abroad
  - (5) Students transferring to another school
  - (6) Students withdrawing from studies
  - (7) Awarding of degrees
  - (8) Academic performance of students
  - (9) Students' groups, activities, and campus life
  - (10) Rewards and punishments to students
  - (11) Research systems
  - (12) Research and educational programs of the common educational and research institutions that are closely associated with the research and educational purposes of the relevant Graduate School
  - (13) Self-inspection
  - (14) Other educational and research issues

3. Each of the Faculty Councils shall consist of full-time professors and associate professors engaged in educational or research activities of the relevant Graduate School. However, the Dean of the Graduate School may invite faculty members involved in educational or research activities of other Graduate Schools to join its Faculty Council if necessary.
4. Notwithstanding the provision of the foregoing subsection, members of the Faculty Council who are on an official trip abroad, on leave of absence or absent for other reasons may be removed from the Faculty Council.
5. The Dean of each of the Graduate Schools shall serve as chairman of the respective Faculty Council.
6. The Chairman of each of the Faculty Councils shall preside over the council's meetings.
7. In case the Chairman has become unable to serve his or her role, the Vice Dean shall act as the chairman on his or her behalf.
8. For the meetings and resolutions of the Faculty Councils to be valid, a majority of all the members thereof shall be present.
9. Resolutions at Faculty Council meetings shall be passed with assenting votes of a majority of the faculty members present at the meeting. In case of a tied vote, the chairman shall cast the deciding vote.
10. The Dean may invite individuals who are not members of the Faculty Council to attend the council's meeting if he deems it necessary to do so.

#### V. Admission Capacity and Enrollment Capacity

##### Article 21 (Admission capacity and enrollment capacity)

The admission capacity and enrollment capacity of each of the Graduate Schools of NAIST shall be as shown in the attached Schedule.

#### VI. Academic Year, Semesters, and Closed Days

##### Article 22 (Academic year)

1. At NAIST, the academic year shall commence on April 1 and end on March 31 of the following year.
2. Notwithstanding the provision of the foregoing subsection, the academic year shall commence on October 1 and end on September 30 of the following year for students who are admitted to NAIST in the autumn semester.

##### Article 23 (Semesters)

The academic year specified in the foregoing article shall consist of:

- (1) Spring semester (from April 1 to September 30), and

(2) Autumn semester (from October 1 to March 31 of the following year).

#### Article 24 (Closed days)

1. NAIIST shall be closed on the following days:

(1) Sunday and Saturday

(2) Days designated as national holidays under the Public Holiday Law (1948 Law No. 178)

(3) Anniversary of the founding of NAIIST (October 1)

(4) Spring, summer and winter holidays

2. Details about the spring, summer and winter holidays shown in the foregoing subsection (4) shall be provided for separately.

3. The President may designate a temporarily closed day if he deems it necessary to do so.

4. Regardless of Article 1, classes may be held on holidays when deemed necessary for educational purposes by the dean.

### VII. Admission

#### Article 25 (Applicant qualifications)

1. Admission to the Master's Course is granted to individuals who:

(1) Have graduated from university stipulated in Article 83-1 of the School Education Law (1947 Law No. 26)

(2) Have been awarded a bachelor's degree pursuant to Article 104-4 of the School Education Law

(3) Have completed a 16-year course of school education abroad

(4) Have taken a correspondence course in Japan offered by a foreign school, thereby completing a 16-year course of school education of the foreign country where the school is located

(5) Have completed a course of an educational institution that is recognized as offering a regular curriculum of a foreign university in compliance with the school education system of the country, and that is designated separately by the Minister of Education, Culture, Sports, Science and Technology, provided that completion of the said course shall constitute completion of a 16-year course of school education in the country

(6) Have completed the specialized course offered by a special training school that is designated separately by the Minister of Education, Culture, Sports, Science and Technology, on or after the day specified by the Minister, provided that the said course shall be a four-year or longer course, and meet all the other criteria set forth by the Minister

(7) Have been designated by the Minister of Education, Culture, Sports, Science and Technology, in accordance with Article 155-1 (6), of the Enforcement Regulations for the School Education Law (1947 Ordinance of the Ministry of Education No. 11)

(8) Fall into any of the following categories and are recognized by NAIIST as having earned the necessary credits with outstanding academic grades:

(a) Individuals who have been enrolled in university for at least three years

(b) Individuals who have completed a 15-year course of school education abroad

(c) Individuals who have taken a correspondence course in Japan offered by a foreign school, thereby completing a 15-year course of school education of the foreign country where the school is located

(d) Individuals who have completed a course of an educational institution that is recognized as offering a regular curriculum of a foreign university in compliance with the school education system of the country, and that is designated separately by the Minister of Education, Culture, Sports, Science and Technology, provided that completion of the said course shall constitute completion of a 15-year course of school education in the country

(9) Have been enrolled in graduate school before pursuant to Article 102-2 of the School Education Law and are recognized by NAIIST as having adequate academic ability to be educated at the Graduate School thereof

(10) Have been recognized by NAIIST through an individual entrance screening as having academic ability equivalent to or greater than that of a university graduate and are at least 22 years of age

2. Admission to the Doctoral Course is granted to individuals who:

(1) Have been awarded a master's degree or a professional degree specified in Article 5-2 of the Rules for Degrees (1953 Ordinance of the Ministry of Education No. 9) pursuant to Article 104-1 of the School Education Law ("Professional Degree")

(2) Have been awarded a master's degree or other degree equivalent to a Professional Degree abroad

(3) Have been awarded a master's degree or other degree equivalent to a Professional Degree by completing a correspondence course in Japan offered by a foreign school

(4) Have been awarded a master's degree or other degree equivalent to a Professional Degree by completing a course of an educational institution in Japan that is recognized as offering a regular curriculum of a foreign graduate school in compliance with the school education system of the country, and that is designated separately by the Minister of Education, Culture, Sports, Science and Technology

(5) Have been designated by the Minister of Education, Culture, Sports, Science and Technology, in accordance with Article 156-1 (4), of the Enforcement Regulations for the School Education Law

(6) Have been recognized by NAIIST through an individual entrance screening as having academic ability equivalent to or greater than that of a master's degree or Professional Degree holder and are at least 24 years of age

3. Methods for implementing entrance screening, etc., set forth in Paragraph 1 (10) and



Paragraph 2 (6), hereof shall be stipulated separately by respective Graduate Schools.

#### Article 26 (Timing of admission)

Students shall be admitted to NAIST at the beginning of each semester.

#### Article 27 (Application for admission)

To apply for admission to NAIST, an admission application form shall be submitted together with designated documents to the President of NAIST.

#### Article 28 (Screening)

Applicants for admission to NAIST shall be screened by the procedures set forth separately.

#### Article 29 (Enrollment procedures and admission)

1. Applicants who have received notification of acceptance as a result of the screening specified in the foregoing article shall submit the designated documents to be admitted to NAIST.
2. The President shall admit applicants to NAIST upon completion of the procedures set forth in the foregoing subsection.

#### Article 30 (Admission to Doctoral Course)

Admission of students to the Doctoral Course upon completion of the Master's Course of NAIST shall be subject to screening by the Faculty Council of the relevant Graduate School.

### VIII. Standard Terms of Study and Maximum Years of Enrollment

#### Article 31 (Standard terms of study)

The standard terms of study at the Master's Course and Doctoral Course shall be two years and three years, respectively.

#### Article 32 (Maximum years of enrollment)

Maximum years of enrollment in the Master's Course and Doctoral Course shall be four years and six years, respectively.

### IX. Education at Graduate Schools

#### Article 33 (Graduate school education)

Education at the Graduate Schools shall be provided by means of lectures on subjects and guidance on writing theses ("Research Guidance").

#### Article 34 (Courses, credits, and registration procedures)

The courses to be taught as set forth in the foregoing article, the credits allotted to the said

courses, and registration procedures shall be provided for separately by each of the Graduate Schools.

#### Article 35 (Calculation of credits)

1. Based on the general rule that one credit shall be composed of a total of 45 hours of studying by students, the following basis shall be adopted for calculating credits at NAIST, taking into consideration the educational effects and hours required for off-campus studying, which vary depending on how the subject is taught:

(1) Fifteen hours of lectures and seminars shall yield one credit.

(2) Thirty hours of experiments and practical work shall yield one credit.

(3) When a Graduate School employs a combination of two or more methods out of lectures, seminars, experiments, or practical work for a course, one credit shall consist of class hours determined by the Graduate School in light of the standards prescribed in the preceding two items, in accordance with the combination of such methods.

2. Notwithstanding the provision of the foregoing subsection, the number of credits to be allotted to thesis writing and thematic research may be determined upon consideration of the amount of study needed therefor, if it is deemed appropriate to award credits based on an evaluation of the results of the study.

#### Article 35-2 (Publication of Standards for Evaluating Grades)

1. A Graduate School shall present to its students, in advance, a clear outline of the methodology and contents of classes and Research Guidance, as well as a class and Research Guidance schedule for the year.

2. A Graduate School shall, when assessing its students' academic achievement and theses and approving their completion, present them with a clear outline of the standards therefor, in advance, so as to ensure objectivity and rigidity, and shall conduct an assessment and approval process appropriately in accordance with said standards.

#### Article 35-3 (Organized Training for Improving Educational Contents)

1. NAIST shall conduct organized training and research for improving the contents and methodology used to give classes and Research Guidance at its Graduate Schools.

2. Necessary matters related to organized training for improving educational contents shall be stipulated separately.

#### Article 36 (Awarding of credits)

Students who have completed each course can earn credits therefor upon passing the examination or acceptance of a research report.

#### Article 37 (Studying in another Graduate School of NAIST)

1. Students may take a course offered by another Graduate School of NAIST if the Faculty Council of their Graduate School deems it educationally beneficial to do so.
2. Course credits that students have earned pursuant to the foregoing subsection may be counted toward degree credits specified in Article 35 to the extent permitted by their Graduate School.
3. Matters relating to taking of courses of other Graduate Schools shall be provided for separately.

#### Article 38 (Studying in another graduate school outside of NAIST)

1. Students may take a course offered by another graduate school outside of NAIST if the Faculty Council of their Graduate School deems it educationally beneficial to do so, subject to prior consultation with the relevant graduate school.
2. Course credits that students have earned pursuant to the foregoing subsection shall be treated as credits earned internally, provided that the number of such credits shall not exceed ten.
3. The period of studying at another graduate school pursuant to subsection 1 of this Article shall be counted toward the period of study at NAIST.
4. Matters relating to taking of courses of other graduate schools shall be provided for separately.

#### Article 38-2 (Approval of credits for courses completed at a foreign university during a leave of absence)

1. Students may earn credits for courses completed at a foreign university during a leave of absence if the Faculty Council of their Graduate School deems it educationally beneficial to do so, subject to prior consultation with the relevant graduate school.
2. Course credits that students have earned pursuant to the foregoing subsection shall be treated as credits earned internally, provided that the number of such credits shall not exceed ten.

#### Article 39 (Treatment of credits earned prior to admission to NAIST)

1. Credits that a student has earned at another graduate school prior to admission to NAIST, including credits that have been earned by the student as a non-degree student as defined in the Standards for the Establishment of Graduate Schools (1974 Ordinance of the Ministry of Education No. 28), may be treated as credits that have been earned by the student at NAIST after his or her admission thereto, if the Faculty Council of his or her Graduate School deems it educationally beneficial to do so.
2. The number of credits that have been earned at another graduate school but are treated as having been earned at NAIST pursuant to the foregoing subsection shall not exceed ten.

3. Other matters relating to credits earned prior to admission to NAIST shall be provided for separately.

#### Article 40 (Research Guidance at another graduate school)

1. Students may receive Research Guidance offered by another graduate school or research institution outside of NAIST as needed, if the Faculty Council of their Graduate School deems it educationally beneficial to do so, subject to prior consultation with the relevant graduate school or research institution. However, the period during which students enrolled in the Master's Course are allowed to receive Research Guidance at another graduate school or research institution shall not exceed one year.
2. Research Guidance that students receive from another graduate school or research institution pursuant to the foregoing subsection may be treated as Research Guidance received by the students at the Graduate School of NAIST.
3. The period during which students receive Research Guidance pursuant to subsection 1 of this Article shall be counted toward the period of study at NAIST.
4. Matters relating to Research Guidance at another graduate school or research institution shall be provided for separately.

### X. Course and Degree Requirements

#### Article 41 (Requirements for completion of Master's Course)

1. To complete the Master's Course, students shall have been enrolled in the Master's Course for the standard term of study at the shortest, earn at least thirty credits in the subjects designated by their Graduate School, receive necessary Research Guidance, and pass the master's thesis examination or final examination. However, students who have achieved outstanding research results may complete the Master's Course after having been enrolled in the said course for one year at the shortest, instead of the standard term of study.
2. For the purpose described in the foregoing subsection, an examination of research results on specified themes may be conducted in place of the master's thesis examination if the Faculty Council of the Graduate School deems it appropriate to do so.

#### Article 42 (Requirements for completion of Doctoral Course)

1. To complete the Doctoral Course, students shall have been enrolled in the Doctoral Course for the standard term of study at the shortest, receive necessary Research Guidance, and pass the doctoral thesis examination or final examination. However, students who have achieved outstanding research results may complete the Doctoral Course after having been enrolled in the said course for one year at the shortest, instead of the standard term of study.
2. The part of the provision of the foregoing subsection that reads "However, students who have

achieved outstanding research results may complete the Doctoral Course after having been enrolled in the said course for one year at the shortest, instead of the standard term of study” shall read “However, students who have achieved outstanding research results may complete the Doctoral Course after having been enrolled in the said course for the period of three years less the period of enrollment in the Master’s Course at the shortest, instead of the standard term of study,” to apply to students who have completed the Master’s Course at NAIST in one year at the shortest pursuant to subsection 1 of Article 41, or who have completed the master’s course of another graduate school outside of NAIST taking between one and two years.

3. Notwithstanding the provisions of the foregoing two subsections, for students who have been admitted to the Doctoral Course after having been recognized as having academic ability equivalent to or greater than that of a master’s degree holder pursuant to Article 156 of the Enforcement Regulations for the School Education Law, the requirements for completion of the Doctoral Course shall be: enrollment in the said course for three years at the shortest, receipt of necessary Research Guidance, and passing of the doctoral thesis examination or final examination. However, students who have achieved outstanding research results may complete the Doctoral Course after having been enrolled in the said course for one year at the shortest, instead of three years.

#### Article 43 (Approval of completion)

Approval of completion of the Master’s Course and Doctoral Course shall be given by the Faculty Council of the relevant Graduate School.

#### Article 44 (Awarding of degrees)

1. Students who have completed the Master’s Course or Doctoral Course shall be awarded a master’s degree or doctoral degree, respectively.
2. In addition to the provision of the foregoing subsection, a doctoral degree shall be awarded to individuals who have submitted a doctoral thesis to NAIST, passed the doctoral thesis examination and been recognized as having academic ability equivalent to or greater than that of an individual who has completed the Doctoral Course at NAIST.
3. Matters relating to awarding of degrees shall be provided for separately.

#### Article 45 (Timing of completion)

1. The Master’s Course and Doctoral Course shall be completed at the end of each semester.
2. Notwithstanding the provision of the foregoing subsection, the Master’s Course and Doctoral Course may be completed during a semester if deemed necessary by the President.

#### Article 46 (Teaching qualifications)

1. Students who wish to obtain teaching qualifications shall earn the credits specified by the Teacher’s Certificate Law (1949 Law No. 147) and the Enforcement Regulations for the

Teacher's Certificate Law (1954 Ordinance of the Ministry of Education No. 26).

2. Teaching qualifications that can be obtained at the Graduate Schools of NAIST are as shown in the following table.

Graduate School	Department	Teaching qualification	Subject
Information Science	Information Science	High school teacher's qualification	Information
Biological Sciences	Biological Sciences	Junior high school teacher's qualification High school teacher's qualification	Science Science
Materials Science	Materials Science	Junior high school teacher's qualification High school teacher's qualification	Science Science

XI. Leave of Absence, Study Abroad, Readmission, Transfer from/to another School, Transfer to another Graduate School within NAIST, and Withdrawal

Article 47 (Leave of absence)

1. A student who must be absent from school for three consecutive months or longer due to illness, or for other reasons deemed justifiable by the President, may take a leave of absence with President's permission, following deliberation by the Faculty Council of his or her Graduate School.
2. The President may order a student who is recognized to be too ill to attend school to take leave of absence.
3. When the grounds for the leave of absence have been resolved, the student may return to school with permission of the President.
4. The period of leave of absence shall be up to one year, provided, however, that the said period may be extended for up to another one year if there is any justifiable reason.
5. The period of leave of absence shall not exceed two years in total during enrollment in the Master's Course or Doctoral Course, respectively.
6. Notwithstanding the provision of subsections 4 and 5, a student may be given special permission to take a leave of absence if deemed appropriate by the President.
7. The period of leave of absence shall not be counted toward the standard term of study specified in Article 31 and the minimum years of enrollment specified in Article 32.

Article 48 (Study abroad)

1. A student who wishes to study at a graduate school or research institution abroad shall obtain permission of the President in advance, following deliberation by the Faculty Council of his or her Graduate School.



2. The provisions of Article 38 and Article 40 shall apply for the treatment of credits earned during study abroad.

#### Article 49 (Readmission)

1. An individual who withdrew or was expelled from NAIIST in the past and wishes to be readmitted in the Graduate School of NAIIST may be permitted to do so by the President, subject to screening by the Faculty Council of the relevant Graduate School, only if doing so is deemed not to interfere in any way with the educational and research activities of the Graduate School.

2. If readmission is permitted pursuant to the provision of the foregoing subsection, the Faculty Council of the relevant Graduate School shall agree to count the credits earned during the previous enrollment and years of the previous enrollment toward course requirements.

#### Article 50 (Transfer from another school)

1. A student who is enrolled in another graduate school outside of NAIIST and wishes to transfer to NAIIST may be permitted to do so by the President, subject to screening by the Faculty Council of the relevant Graduate School, only if doing so is deemed not to interfere in any way with the educational and research activities of NAIIST.

2. If transfer to NAIIST is permitted pursuant to the provision of the foregoing subsection, the Faculty Council of the relevant Graduate School shall agree to count the credits earned during the previous enrollment and years of the previous enrollment toward course requirements.

#### Article 51 (Transfer from another Graduate School)

1. A student who is enrolled in a Graduate School at NAIIST and wishes to transfer to another Graduate School at NAIIST may be permitted to do so by the Dean of the Graduate School to which he or she wishes to transfer, subject to screening by the Faculty Council of the Graduate School, only if doing so is deemed not to interfere in any way with educational and research activities of the Graduate School.

2. If transfer to another Graduate School at NAIIST is permitted pursuant to the provision of the foregoing subsection, the Faculty Council of the relevant Graduate School shall agree to count the credits earned during the previous enrollment and years of the previous enrollment toward course requirements.

#### Article 52 (Transfer to another graduate school)

A NAIIST student who wishes to transfer to another graduate school outside of NAIIST shall obtain permission of the President in advance following deliberation by the Faculty Council of his or her Graduate School.

#### Article 53 (Withdrawal)

A NAIIST student who wishes to withdraw from NAIIST shall obtain permission of the President



in advance following deliberation by the Faculty Council of his or her Graduate School.

## XII. Entrance Examination, Admission and Tuition Fees

### Article 54 (Amounts of the entrance examination, admission and tuition fees)

The amounts of the entrance examination, admission and tuition fees shall be as shown in the following table.

Entrance examination fee	Admission fee	Annual tuition fee
30,000 yen	282,000 yen	535,800 yen

### Article 55 (Payment of the entrance examination fee)

Individuals who apply for admission, readmission or transfer to NAIST shall submit an application form and pay the entrance examination fee at the same time.

### Article 56 (Payment of the admission fee)

Individuals who are to be admitted, readmitted or transferred to NAIST shall pay the admission fee by the due date specified by NAIST.

### Article 57 (Payment of the tuition fee)

1. Students shall pay the annual tuition fee in two equal installments for the spring semester (from April to September) and the autumn semester (from October to March of the following year).
2. The due dates of the tuition payment shall be in May and November except when delayed payment is permitted pursuant to the provision of Article 63.
3. Notwithstanding the provisions of the foregoing two subsections, students, by submitting an application, may pay the tuition fee for the autumn semester at the same time as paying the tuition fee for the spring semester.
4. Notwithstanding the provisions of subsections 1 and 2 above, students may, by submitting an application, pay the tuition fee for the spring semester or for the spring and autumn semesters of the year of admission, at the time when accepted for admission.

### Article 58 (Amount and payment of the tuition fee in case of re-enrollment)

In case of re-enrollment, transfer from another school, and readmission (“Re-enrollment”) during the spring or autumn semester, the tuition fee shall be paid in an amount of one twelfth of the annual tuition fee (“Monthly Fee”) multiplied by the number of months from the month of Re-enrollment to the month preceding the next tuition payment. Payment shall be made in the month of Re-enrollment.

Article 59 (Amount of the tuition fee in case of completion of the course before the end of the academic year)

In case of completion of the course before the end of the academic year due to special circumstances, the tuition fee shall be paid in an amount of the Monthly Fee multiplied by the number of months of enrollment in NAIIST.

Article 60 (Amount of the tuition fee in case of leave of absence)

1. Payment of tuition fee is not required during leave of absence.
2. The amount of the tuition fee for which payment is not required shall be the Monthly Fee multiplied by the number of months from the month following the leave of absence to the month preceding Re-enrollment.

Article 61 (Amount of the tuition fee in case of withdrawal)

In case of withdrawal, whether voluntary or forced, transfer to another school, or expulsion from NAIIST during a spring or autumn semester, the tuition fee for the entire semester shall be paid.

Article 62 (Exemption from payment of admission and tuition fees)

Students may be exempted from payment of all or part of the admission fee or allowed delayed payment thereof if he or she has difficulties paying the admission fee for financial reasons and also is recognized as having outstanding academic ability, or if he or she has other justifiable reasons.

Article 63

Students may be exempted from payment of all or part of the tuition fee or allowed delayed payment thereof if he or she has difficulties paying the tuition fee for financial reasons and also is recognized as having outstanding academic ability, or if he or she has other justifiable reasons.

Article 64

Matters relating to exemption of payment of admission and tuition fees and delayed payment thereof shall be provided for separately.

Article 65 (Treatment of entrance examination, admission and tuition fees once paid)

1. Once paid, entrance examination, admission and tuition fees cannot be refunded.
2. Notwithstanding the provision of the foregoing subsection, the tuition fee shall be refunded in the following cases.

(1) If a student who paid the tuition fee for both the spring and autumn semester at the same time pursuant to the provision of Article 57-3 above is to withdraw from NAIIST before the due date of tuition payment for the autumn semester, the tuition fee for the autumn semester shall

be refunded.

(2) If a student who paid the tuition fee at the time when he or she was accepted for admission pursuant to the provision of Article 57-4 above declares his or her intention to decline the acceptance by the last day of the month preceding the admission, the amount equivalent to the paid tuition fee shall be refunded.

(3) If a student who paid tuition fees pursuant to the provision of Article 57 is to complete his or her course before the end of the academic year due to special circumstances, the amount of the paid tuition fee less the Monthly Fee multiplied by the number of months of enrollment shall be refunded.

(4) If a student who paid tuition fees is to take leave of absence, the amount specified in Article 60-2 shall be refunded.

### XIII. Special Auditing Students, Special Research Students, Non-Degree Students, Research Students and Undergraduate Internship Students

#### Article 66 (Special auditing students)

1. If deemed beneficial for educational purposes, students enrolled in another graduate school outside of NAIIST, whether domestic or foreign, may be admitted to NAIIST as special auditing students to take a course at the Graduate School of NAIIST, subject to consultation with the graduate school.

2. Matters relating to special auditing students shall be provided for separately.

#### Article 67 (Special research students)

1. If deemed beneficial for educational purposes, students enrolled in another graduate school outside of NAIIST, whether domestic or foreign, may be admitted to NAIIST as special research students to receive Research Guidance at the Graduate School of NAIIST, subject to consultation with the graduate school.

2. Matters relating to special research students shall be provided for separately.

#### Article 68 (Non-degree students)

1. Individuals who are not NAIIST students but wish to study one or more elective subjects at the Graduate School of NAIIST may be admitted to NAIIST as non-degree students and awarded credits, subject to screening by the Faculty Council of the relevant Graduate School, only if doing so is deemed not to interfere in any way with the educational and research activities of the Graduate School.

2. Matters relating to non-degree students shall be provided for separately.

#### Article 69 (Research students)

1. Individuals who wish to conduct research on a specific theme at the Graduate School of NAIIST may be admitted to NAIIST as research students, subject to screening by the Faculty

Council of the relevant Graduate School, only if doing so is deemed not to interfere in any way with the educational and research activities of the Graduate School.

2. Matters relating to research students shall be provided for separately.

#### Article 69-2 (Undergraduate internship students)

1. If deemed beneficial for educational purposes, students enrolled in another university (including foreign universities) or technical college may be admitted to NAIIST as undergraduate internship students to receive academic guidance in a NAIIST graduate school, subject to consultation with the graduate school.

2. Matters relating to undergraduate internship students shall be provided for separately.

### XIV. Rewards, Punishments and Expulsion

#### Article 70 (Rewards and punishments)

1. The President may commend students who have done something worthy of public recognition.

2. The President may take disciplinary measures against students who have acted against the rules of NAIIST or who have materially disturbed the educational and research activities of NAIIST, following deliberation by the Faculty Council of the relevant Graduate School.

3. The disciplinary measures set forth in the foregoing subsection shall mean forced withdrawal, suspension from NAIIST, and warning.

#### Article 71 (Expulsion)

A student shall be expelled from NAIIST if he or she:

(1) Has been enrolled in NAIIST for longer than the period specified in Article 32.

(2) Has been on leave of absence for longer than the period specified in Article 47-4.

(3) Has failed to pay the admission fee by the due date if the student has not been exempted from payment of the admission fee, has been exempted from payment of part of admission fee, has been allowed delayed payment of the admission fee, or has the payment exemption withdrawn.

(4) Has failed to pay the tuition fee by the due date and still not paid it even after receiving a reminder.

### XV. Student Dormitories

#### Article 72 (Student dormitories)

1. NAIIST has student dormitories.

2. Matters relating to the student dormitories shall be provided for separately.

## XVI. Open Lectures

### Article 73 (Open lectures)

1. NAIIST may offer open lectures with a view to educating the public and contributing to cultural enrichment.
2. Matters relating to the open lectures shall be provided for separately.

### Supplementary provisions

#### (Effective date)

1. These Regulations shall come into effect on April 1, 2004.

#### (Transitional measures)

2. In case of amendment of the Regulations of the Nara Institute of Science and Technology, the Regulations before the amendment shall remain applicable to the students who are enrolled in NAIIST as of March 31, 2004 (“Existing Students”) and also to the students who are readmitted or transferred to NAIIST after April 1, 2004 if they are in the same grade as the Existing Students.

### Supplementary provision

These Regulations shall come into effect on April 1, 2005.

### Supplementary provision

These Regulations shall come into effect on April 21, 2005, while the Regulations of the Nara Institute of Science and Technology as amended hereunder shall be applied from April 1, 2005.

### Supplementary provision

These Regulations shall come into effect on November 17, 2005.

### Supplementary provision

These Regulations shall come into effect on April 1, 2007.

### Supplementary provision

These Regulations shall come into effect on January 24, 2008, while the Regulations of the Nara Institute of Science and Technology as amended hereunder shall be applied from December 26, 2007.

### Supplementary provision

These Regulations shall come into effect on April 1, 2014.

### Schedule (supplementary to Article 21)

Graduate school	Department	Admission capacity		Enrollment capacity
		Master's Course	Doctoral Course	
Information Science	Information Science	135	40	390
Biological Sciences	Biological Sciences	125	37	361
Materials Science	Materials Science	90	30	270
<b>Total</b>		<b>350</b>	<b>107</b>	<b>1,021</b>

## 奈良先端科学技術大学院大学特別研究学生交流規程

平成16年4月1日

規程第25号

### 第1章 総則

#### (趣旨)

**第1条** この規程は、奈良先端科学技術大学院大学学則（平成16学則第1号。以下「学則」という。）第40条第4項及び第67条第2項の規定に基づき、奈良先端科学技術大学院大学（以下「本学」という。）の学生で、他の大学院（外国の大学院を含む。以下同じ。）又は研究所等（以下「他の大学院等」という。）において研究指導を受けようとする者（以下「特別研究派遣学生」という。）及び他の大学院の学生で、本学の研究科において研究指導を受けようとする者（以下「特別研究学生」という。）の取扱いに関し必要な事項を定める。

#### (他の大学院等との協議)

**第2条** 学則第40条第1項及び第67条第1項の規定に基づく本学と他の大学院等との協議は、研究指導計画その他関連する事項について、当該研究科の教授会の審議を経て、当該研究科長が行う。ただし、外国の大学院等にあつては、やむを得ない場合に限り、当該大学院等との協議を欠くことができる。

### 第2章 特別研究派遣学生

#### (出願手続)

**第3条** 特別研究派遣学生として、他の大学院等において研究指導を受けようとする者は、主指導教員の許可を得て、次の各号に掲げる書類を添えて当該研究科長に願い出なければならない。

- (1) 特別研究派遣学生申請書（様式第1号）
- (2) 他の大学院等の要求する書類

#### (派遣の許可)

**第4条** 前条の願い出があつたときは、当該研究科長は、第2条の協議の結果に基づき、これを許可する。

#### (他の大学院等における研究指導の期間)

**第5条** 他の大学院等において研究指導を受ける期間は、1年以内とする。ただし、博士後期課程の学生にあつては、教育研究上有益と認められるときは、他の大学院等との協議に基づき、その期間を延長することができる。

- 2 前項の期間は、博士前期課程の学生にあつては、通算して1年を超えることができない。

#### (在学期間の取扱い)

**第6条** 特別研究派遣学生として研究指導を受けた期間は、本学での在学期間に含めるものとする。

#### (研究報告書等の提出)

**第7条** 特別研究派遣学生は、他の大学院等における研究指導が終了したときは、直ちに（外国の大



学院又は研究所等において研究指導を受けた者にあつては、帰国の日から1月以内に)、当該研究科長に研究指導報告書(様式第2号)及び当該他の大学院等の交付する研究指導の概要を記載した報告書を提出しなければならない。

#### (研究指導の認定)

**第8条** 特別研究派遣学生が、他の大学院等において受けた研究指導は、前条に規定する報告書により、当該研究科の教授会の議に基づき、本学における課程修了に必要な研究指導の一部として認定することができる。

#### (授業料)

**第9条** 特別研究派遣学生は、本学の学生としての授業料を納付するものとする。

#### (派遣許可の取消し)

**第10条** 特別研究派遣学生が次の各号のいずれかに該当する場合は、当該研究科長は、当該他の大学院等との協議に基づき、派遣の許可を取り消すことができる。

- (1) 研究指導計画の完了の見込みがないと認められるとき。
- (2) 当該他の大学院等の規則等に違反し、又はその本分に反する行為があると認められるとき。
- (3) その他派遣の趣旨に反する行為があると認められるとき。

### 第3章 特別研究学生

#### (出願手続)

**第11条** 本学の特別研究学生を志願する者は、他の大学院を経て、次の各号に掲げる書類を提出しなければならない。

- (1) 特別研究学生申請書(様式第3号)
- (2) 受入れ研究科の必要とする書類

#### (受入れの許可)

**第12条** 他の大学院から特別研究学生の受入れの依頼があつたときは、当該研究科長は、第2条の協議の結果に基づき、これを許可する。

#### (受入れの期間)

**第13条** 他の大学院からの研究指導を受託する期間は、1年以内とする。ただし、博士後期課程に在籍する特別研究学生にあつては、研究の状況により、当該学生の所属する他の大学院からの申請に基づき、当該研究科の教授会の議を経て、その延長を許可することができる。

2 前項の期間は、博士前期課程の学生にあつては、通算して1年を超えることはできない。

#### (研究指導状況報告書)

**第14条** 特別研究学生の研究指導を終了したときは、当該研究科長は、指導教員の報告に基づき、研究指導状況報告書(様式第4号)を交付する。

#### (学生証)

**第15条** 特別研究学生は、所定の学生証の交付を受け、常に携帯しなければならない。

(授業料等)

**第16条** 特別研究学生に係る検定料及び入学料は、徴収しない。

- 2 特別研究学生が、国立大学の大学院の学生であるときは、授業料を徴収しない。
- 3 特別研究学生が、公立若しくは私立の大学の大学院又は外国の大学の大学院の学生である場合は、授業料として月額29,700円を徴収する。ただし、大学間交流協定に基づき授業料を徴収しないことが定められたときは、授業料を徴収しない。
- 4 前項の授業料は、研究指導を受ける期間が6月を超える場合は、初めの6月とこれを超える期間に分けて、それぞれの期間分に係る額を当該期間の当初の月に納付するものとし、研究指導を受ける期間が6月未満であるときは、その期間分に相当する額を当該期間の当初の月に納付するものとする。
- 5 納付した授業料は、返還しない。

(受入れ許可の取消し)

**第17条** 特別研究学生が次の各号のいずれかに該当する場合は、当該研究科長は、当該他の大学院との協議に基づき、受入れの許可を取り消すことができる。

- (1) 研究指導計画の完了の見込みがないと認められるとき。
- (2) 本学の規則等に違反し、又はその本分に反する行為があると認められるとき。
- (3) その他受入れの趣旨に反する行為があると認められるとき。

(準用)

**第18条** 学則その他学生に関する規定は、特別研究学生について準用する。

## 第4章 雑則

(雑則)

**第19条** この規程に定めるもののほか、特別研究派遣学生及び特別研究学生の取扱いについては、当該他の大学院等との協議の上、決定するものとする。

附則

(施行期日)

- 1 この規程は、平成16年4月1日から施行する。

(経過措置)

- 2 平成16年3月31日に在学する特別研究派遣学生又は特別研究学生のうち研究指導の期間の末日が平成16年4月1日以降の者については、旧奈良先端科学技術大学院大学特別研究学生交流規程は、この規程の施行後も、なおその効力を有する。

附則

この規程は、平成17年4月1日から施行する。

# Regulations for Special Research Students Exchange Program of Nara Institute of Science and Technology

April 1, 2004

Regulations No. 25

## I. General Provisions

### Article 1 (Purpose)

The purpose of these Regulations is to stipulate matters relating to the treatment of students of the Nara Institute of Science and Technology (“NAIST”) who wish to receive research guidance at another graduate school or research institution, whether in Japan or abroad (“External Graduate School”) (“Special Research Students”) and students of an External Graduate School who wish to receive research guidance at any of the Graduate Schools of NAIST (“Special Visiting Research Students”) pursuant, respectively, to the provisions of Article 40-4 and Article 67-2 of the Regulations of the Nara Institute of Science and Technology (2004 Regulations No. 1) (“NAIST Regulations”).

### Article 2 (Consultation with External Graduate School)

The Dean of the relevant Graduate School shall be responsible for consulting with the External Graduate School involved on behalf of NAIST pursuant to the provisions of Article 40-1 and Article 67-1 of NAIST Regulations, following deliberation on the research guidance program and other related matters by the Faculty Council of the Graduate School involved. However, such consultation with an External Graduate School that is located abroad may be omitted if there is a justifiable reason.

## II. Special Research Students

### Article 3 (Application procedures)

A student of NAIST who wishes to receive research guidance at an External Graduate School as a Special Research Student shall make an application by submitting the following documents to the Dean of his or her Graduate School, subject to receiving permission from his or her main research instructor:

- (1) Special Research Student Application Form (Form No. 1)
- (2) Documents required by the External Graduate School

#### Article 4 (Permission)

Upon receiving the application stipulated in the foregoing article, the Dean of the Graduate School shall give permission to the student, following the consultation under Article 2 above.

#### Article 5 (Period of research guidance at External Graduate School)

1. The period during which a Special Research Student receives research guidance at an External Graduate School shall be up to one year. In the case of a student enrolled in the Doctoral Course, however, the said period may be extended, subject to consultation with the External Graduate School, if doing so is deemed to be educationally beneficial.
2. The period specified in the foregoing subsection shall not exceed one year in total in the case of a student enrolled in the Master's Course.

#### Article 6 (Treatment of enrollment period)

The period during which a NAIST student receives research guidance at an External Graduate School as a Special Research Student shall count toward the number of years of enrollment at NAIST.

#### Article 7 (Submission of research report)

A Special Research Student shall submit a research report (Form No. 2) and report issued by the External Graduate School outlining the research guidance he or she has received to the Dean of his or her Graduate School at NAIST immediately upon completion of research guidance at the External Graduate School (within one month after returning to Japan if the student has received research guidance at a foreign graduate school or research institution).

#### Article 8 (Acceptance of research guidance)

The Research Guidance that a Special Research Student has received at an External Graduate School may be accepted as part of research guidance necessary for completing the course at NAIST, subject to submission of the reports specified in the foregoing article and deliberation by the Faculty Council of the relevant Graduate School.

#### Article 9 (Tuition fee)

Special Research Students shall be required to pay tuition fees as students of NAIST.

#### Article 10 (Withdrawal of permission)

The Dean of the relevant Graduate School may withdraw the permission for a student to receive research guidance at an External Graduate School as a Special Research Student, following consultation with the External Graduate School involved, if:

- (1) The research guidance is unlikely to be completed;
- (2) The student has failed to comply with the regulations of the External Graduate School or acted against the interests thereof; or
- (3) The student has failed to meet the purpose of the Special Research Students Exchange Program.

### III. Special Visiting Research Students

#### Article 11 (Application procedures)

A student of an External Graduate School who wishes to study at NAIST as a Special Visiting Research Student shall submit the following documents via the External Graduate School:

- (1) Special Visiting Research Student Application Form (Form No. 3)
- (2) Documents required by the Graduate School of NAIST to which the student is to be admitted

#### Article 12 (Permission of acceptance)

Upon receiving a request to accept a Special Visiting Research Student from an External Graduate School, the Dean of the Graduate School shall give permission to accept the student, following the consultation under Article 2 above.

#### Article 13 (Period of research guidance at NAIST)

1. The period during which NAIST provides a Special Visiting Research Student with research guidance upon request from an External Graduate School shall be up to one year. In case of a Special Visiting Research Student enrolled in the Doctoral Course, however, extension of the said period may be permitted depending on the progress of the research, subject to deliberation by the Faculty Council of the Graduate School at NAIST, if requested by the External Graduate School.
2. The period specified in the foregoing subsection shall not exceed one year in total in case of a student enrolled in the Master's Course.

#### Article 14 (Research guidance report)

Upon completion of research guidance to a Special Visiting Research Student, the Dean of the Graduate School shall issue a Research Guidance Report (Form No. 4) based on the report submitted by the research instructor.

#### Article 15 (Student ID card)

A Special Visiting Research Student shall be issued with a student ID card and carry it at all times.

#### Article 16 (Tuition fee)

1. A Special Visiting Research Student shall be exempted from payment of screening and admission fees.
2. A Special Visiting Research Student who is enrolled in the graduate school of a national university shall not be liable to pay tuition fee for the research guidance provided by NAIST.
3. A Special Visiting Research Student who is enrolled in the graduate school of a public, private, or foreign university shall pay tuition fees for the research guidance provided by NAIST in the monthly amount of 29,700 yen, provided, however, that this provision shall not apply if waiver of tuition fee is agreed upon under an inter-university exchange arrangement.
4. If a Special Visiting Research Student receives research guidance at NAIST for longer than six months, the student shall pay the tuition fee stipulated in the foregoing subsection in two installments, for the first six-month term and for the remaining term, in the first month of the respective terms. If a Special Visiting Research Student receives research guidance at NAIST for less than six months, the student shall pay the tuition fee for the entire period in the first month thereof.
5. Tuition fees, once paid, shall not be refunded.

#### Article 17 (Withdrawal of permission)

The Dean of the relevant Graduate School may withdraw the permission for a student to receive research guidance at NAIST as a Special Visiting Research Student, following consultation with the graduate school of the student, if:

- (1) The research guidance program is unlikely to be completed;
- (2) The student has failed to comply with the regulations of NAIST or acted against the interests of NAIST; or
- (3) The student has failed to meet the purpose of the Special Visiting Research Student program.

#### Article 18 (Application of NAIST Regulations, etc.)

NAIST Regulations and other rules governing students of NAIST shall also apply to Special Visiting Research Students.

### IV. Miscellaneous Provision

#### Article 19 (Miscellaneous provision)

Other matters relating to the treatment of Special Research Students and Special Visiting Research Students shall be decided through consultation between NAIST and the External Graduate School involved.

Supplementary provision

(Effective date)

1. These Regulations shall come into effect on April 1, 2004.

(Transitional measures)

2. In case of amendment of these Regulations for the Special Research Students Exchange Program of the Nara Institute of Science and Technology, the Regulations before the amendment shall remain applicable to the Special Research Students and Special Visiting Research Students who are enrolled in NAIST as of March 31, 2004 and whose research guidance ends on or after April 1, 2004.

Supplementary provision

These Regulations shall come into effect on April 1, 2005.



## 奈良先端科学技術大学院大学特別聴講学生交流規程

平成16年4月1日

規程第24号

### 第1章 総則

#### (趣旨)

**第1条** この規程は、奈良先端科学技術大学院大学学則（平成16年学則第1号。以下「学則」という。）第38条第4項及び第66条第2項の規定に基づき、奈良先端科学技術大学院大学（以下「本学」という。）の学生で、他の大学院（外国の大学院を含む。以下同じ。）において授業科目を履修しようとする者（以下「特別聴講派遣学生」という。）及び他の大学院の学生で、本学の研究科において授業科目を履修しようとする者（以下「特別聴講学生」という。）の取扱いに関し必要な事項を定める。

#### (他の大学院との協議)

**第2条** 学則第38条第1項及び第66条第1項の規定に基づく本学と他の大学院との協議は、履修できる授業科目の範囲その他関連する事項について、当該研究科の教授会の審議を経て、当該研究科長が行う。ただし、外国の大学院にあっては、やむを得ない場合に限り、当該大学院との協議を欠くことができる。

### 第2章 特別聴講派遣学生

#### (出願手続)

**第3条** 特別聴講派遣学生として、他の大学院の授業科目を履修しようとする者は、主指導教員の許可を得て、次の各号に掲げる書類を添えて当該研究科長に願い出なければならない。

- (1) 他の大学院における履修願（様式第1号）
- (2) 他の大学院の要求する書類

#### (派遣の許可)

**第4条** 前条の願い出があったときは、当該研究科長は、第2条の協議の結果に基づき、これを許可する。

#### (他の大学院における履修期間)

**第5条** 特別聴講派遣学生の履修期間は、原則として1年以内とする。

#### (在学期間の取扱い)

**第6条** 特別聴講派遣学生としての履修期間は、本学での在学期間を含めるものとする。

#### (履修できる授業科目)

**第7条** 特別聴講派遣学生が他の大学院で履修できる授業科目は、原則として講義のみとし、実験、実習、演習及び研究等は含めないものとする。

2 特別聴講派遣学生が他の大学院で履修できる単位数は、10単位を超えない範囲とする。

#### (学業成績証明書の提出)

**第8条** 特別聴講派遣学生は、履修が終了したときは、直ちに（外国の大学院において授業科目を履修した特別聴講派遣学生にあつては、帰国の日から1月以内に）、当該研究科長に当該他の大学院の交付する学業成績証明書を提出しなければならない。

（単位の認定）

**第9条** 特別聴講派遣学生が他の大学院において修得した単位は、前条に規定する学業成績証明書により、10単位を超えない範囲で、当該研究科の教授会の議を経た上、本学において修得したものと認定する。

（授業料）

**第10条** 特別聴講派遣学生は、本学の学生としての授業料を納付するものとする。

（派遣許可の取消し）

**第11条** 特別聴講派遣学生の行為が派遣の趣旨に反すると認められる場合は、当該研究科長は、当該他の大学院との協議に基づき、派遣の許可を取り消すことができる。

### 第3章 特別聴講学生

（出願手続）

**第12条** 本学の特別聴講学生を志願する者は、他の大学院を経て、次の各号に掲げる書類を提出しなければならない。

- （1）特別聴講学生申請書（様式第2号）
- （2）受入れ研究科の必要とする書類

（受入れの許可）

**第13条** 他の大学院から特別聴講学生の受入れの依頼があつたときは、当該研究科長は、第2条の協議の結果に基づき、これを許可する。

（受入れ期間）

**第14条** 特別聴講学生の受入れの期間は、原則として1年以内とする。

（履修できる授業科目）

**第15条** 特別聴講学生が本学で履修できる授業科目は、原則として講義のみとし、実験、実習、演習及び研究等は含めないものとする。

2 特別聴講学生が本学で履修できる単位数は、10単位を超えない範囲とする。

（学業成績証明書の交付）

**第16条** 特別聴講学生が所定の授業科目の履修を終了したときは、当該研究科長は、学業成績証明書を交付するものとする。

（学生証）

**第17条** 特別聴講学生は、所定の学生証の交付を受け、常に携帯しなければならない。

（授業料等）

**第18条** 特別聴講学生に係る検定料及び入学料は、徴収しない。

- 2 特別聴講学生が国立大学の大学院の学生であるときは、授業料を徴収しない。
- 3 特別聴講学生が公立若しくは私立の大学の大学院又は外国の大学の大学院の学生である場合は、授業料として1単位当たり14,800円とする。ただし、大学間交流協定に基づき授業料を徴収しないことが定められたときは、授業料を徴収しない。
- 4 前項の授業料は、春学期に係る履修科目については4月に、秋学期に係る履修科目については10月に納付するものとする。
- 5 納付した授業料は、返還しない。

(受入れ許可の取消し)

**第19条** 特別聴講学生の行為が受入れの趣旨に反すると認められる場合は、当該研究科長は、当該他の大学院との協議に基づき、受入れの許可を取り消すことができる。

(準用)

**第20条** 学則その他学生に関する規定は、特別聴講学生について準用する。

## 第4章 雑則

(雑則)

**第21条** この規程に定めるもののほか、特別聴講派遣学生及び特別聴講学生の取扱いについては、当該他の大学院との協議の上、決定するものとする。

附則

(施行期日)

- 1 この規程は、平成16年4月1日から施行する。

(経過措置)

- 2 平成16年3月31日に在学する特別聴講派遣学生又は特別聴講学生のうち履修期間の末日が平成16年4月1日以降の者については、旧奈良先端科学技術大学院大学特別聴講学生交流規程は、この規程の施行後も、なおその効力を有する。

附則

この規程は、平成17年4月1日から施行する。

附則

この規程は、平成25年4月1日から施行する。

# Regulations for Special Auditing Students Exchange Program of Nara Institute of Science and Technology

April 1, 2004

Regulations No. 24

## I. General Provisions

### Article 1 (Purpose)

The purpose of these Regulations is to stipulate matters relating to the treatment of students of the Nara Institute of Science and Technology (“NAIST”) who wish to study specific subjects for credit at another graduate school, whether in Japan or abroad (“External Graduate School”) (“Special Auditing Students”) and students of an External Graduate School who wish to study specific subjects for credit at any of the Graduate Schools of NAIST (“Special Visiting Auditing Students”) pursuant, respectively, to the provisions of Article 38-4 and Article 66-2 of the Regulations of the Nara Institute of Science and Technology (2004 Regulations No. 1) (“NAIST Regulations”).

### Article 2 (Consultation with External Graduate School)

The Dean of the relevant Graduate School shall be responsible for consulting with the External Graduate School involved on behalf of NAIST pursuant to the provisions of Article 38-1 and Article 66-1 of NAIST Regulations, following deliberation on the subjects to be offered under the Special Auditing Students Exchange Program and other related matters by the Faculty Council of the Graduate School involved. However, such consultation with an External Graduate School that is located abroad may be omitted if there is a justifiable reason.

## II. Special Auditing Students

### Article 3 (Application procedures)

A student of NAIST who wishes to study specific subjects at an External Graduate School as a Special Auditing Student shall make an application by submitting the following documents to the Dean of his or her Graduate School, subject to permission of his or her main research instructor:

- (1) Application Form for Study at External Graduate School (Form No. 1)
- (2) Documents required by the External Graduate School

### Article 4 (Permission)

Upon receiving the application stipulated in the foregoing article, the Dean of the Graduate School shall give permission to the student, following the consultation under Article 2 above.

#### Article 5 (Period of study at External Graduate School)

In principle, the period during which Special Auditing Students may study at an External Graduate School shall be up to one year.

#### Article 6 (Treatment of enrollment period)

The period for Special Auditing Students to study at an External Graduate School shall count toward the number of years of enrollment at NAIST.

#### Article 7 (Subjects)

1. In principle, the subjects that Special Auditing Students are allowed to study at an External Graduate School shall be limited to lectures. Experiments, practical works, seminars and research shall not be offered under this Program.
2. Special Auditing Students shall earn no more than 10 credits at an External Graduate School.

#### Article 8 (Submission of certificate of academic record)

A Special Auditing Student shall submit a certificate of academic record issued by the External Graduate School to the Dean of his or her Graduate School at NAIST immediately upon completion of the study at the External Graduate School (within one month after returning to Japan if the student has studied at a foreign graduate school).

#### Article 9 (Awarding of credits)

As for credits that a Special Auditing Student has earned while studying at an External Graduate School, up to ten such credits may be treated as credits earned at NAIST, subject to submission of the certificate of academic record specified in the foregoing article and deliberation by the Faculty Council of the Graduate School involved.

#### Article 10 (Tuition fee)

Special Auditing Students shall be required to pay tuition fees as students of NAIST.

#### Article 11 (Withdrawal of permission)

The Dean of the relevant Graduate School may withdraw the permission for a student to study at an External Graduate School as a Special Auditing Student, following consultation with the External

Graduate School involved, if the student has failed to meet the purpose of the Special Auditing Students Exchange Program.

### III. Special Visiting Auditing Students

#### Article 12 (Application procedures)

A student of an External Graduate School who wishes to study at NAIST as a Special Visiting Auditing Student shall submit the following documents via the External Graduate School:

- (1) Application Form for Study at NAIST as Special Visiting Auditing Student (Form No. 2)
- (2) Documents required by the Graduate School of NAIST to which the student is to be admitted

#### Article 13 (Permission of acceptance)

Upon receiving a request to accept a Special Visiting Auditing Student from an External Graduate School, the Dean of the Graduate School of NAIST shall give permission to accept the student, following the consultation under Article 2 above.

#### Article 14 (Period of study at NAIST)

In principle, the period during which Special Visiting Auditing Students may study at NAIST shall be up to one year.

#### Article 15 (Subjects)

1. In principle, the subjects that Special Visiting Auditing Students are allowed to study at NAIST shall be limited to lectures. Experiments, practical works, seminars and research shall not be offered under this Program.
2. Special Auditing Students shall earn no more than 10 credits at NAIST.

#### Article 16 (Issuance of a certificate of academic record)

Upon completion of study by a Special Visiting Auditing Student at NAIST, the Dean of the Graduate School involved shall issue a certificate of academic record to the student.

#### Article 17 (Student ID card)

A Special Visiting Auditing Student shall be issued with a student ID card and shall carry it at all times.

#### Article 18 (Tuition fee)

1. A Special Visiting Auditing Student shall be exempted from payment of screening and

admission fees.

2. A Special Visiting Auditing Student who is enrolled in the graduate school of a national university shall not be liable to pay tuition fees for studying at NAIST.
3. A Special Visiting Auditing Student who is enrolled in the graduate school of a public, private, or foreign university shall pay tuition fees for studying at NAIST in the amount of 14,800 yen per credit, provided, however, that this provision does not apply if a waiver of tuition fee is agreed upon under an inter-university exchange arrangement.
4. The tuition fee specified in the foregoing subsection shall be paid in April for the spring semester and in October for the autumn semester.
5. Tuition fees, once paid, shall not be refunded.

#### Article 19 (Withdrawal of permission)

The Dean of the relevant Graduate School may withdraw the permission for a student to study at NAIST as a Special Visiting Auditing Student, following consultation with the External Graduate School involved, if the student has failed to meet the purpose of the Special Auditing Students Exchange Program.

#### Article 20 (Application of NAIST Regulations, etc.)

NAIST Regulations and other rules governing students of NAIST shall also apply to Special Visiting Auditing Students.

### IV. Miscellaneous Provision

#### Article 21 (Miscellaneous provision)

Other matters relating to the treatment of Special Auditing Students and Special Visiting Auditing Students shall be decided through consultation between NAIST and the External Graduate School involved.

#### Supplementary provision

(Effective date)

1. These Regulations shall come into effect on April 1, 2004.

(Transitional measures)

2. In case of amendment of these Regulations for Special Auditing Students Exchange Program of the Nara Institute of Science and Technology, the Regulations before the amendment shall remain applicable to the Special Auditing Students and Special Visiting Auditing Students who are enrolled in NAIST as of March 31, 2004 and whose study at an External Graduate School or NAIST, respectively,



ends on or after April 1, 2004.

Supplementary provision

These Regulations shall come into effect on April 1, 2005.

Supplementary provision

These Regulations shall come into effect on April 1, 2013.

## 奈良先端科学技術大学院大学研究生規程

平成16年4月1日

規程第27号

## (趣 旨)

第1条 この規程は、奈良先端科学技術大学院大学学則(平成16年学則第1号。以下「学則」という。)第69条第2項に基づき、奈良先端科学技術大学院大学における研究生に関し必要な事項を定める。

## (許 可)

第2条 研究生として入学を志願する者があるときは、当該研究科の教授会において選考の上、学長が入学を許可する。

## (入学資格)

第3条 研究生として入学できる者は、大学を卒業した者又はこれと同等以上の学力を有すると当該研究科において認めた者とする。

## (出願手続)

第4条 研究生として入学を志願する者は、次の各号に掲げる書類に検定料を添えて願出しなければならない。

(1) 研究生入学願書(所定様式)

(2) 最終出身学校の卒業証明書及び成績証明書

(3) 写真2枚

2 会社等(官公庁を含む。以下同じ。)に在職している者にあつては、前項に規定する書類のほか、次の各号に掲げる書類を提出しなければならない。

(1) 個人的研究のため研究生を志願する者である旨の本人の確約書

(2) 会社等の事業目的のために派遣する者ではない旨の所属長の確約書

3 外国人にあつては、前2項に規定する書類のほか、在留カード(両面)の写しを提出しなければならない。ただし、国内に在留していない者は、入学後提出するものとする。

## (入学の時期)

第5条 入学の時期は、学期の始めとする。ただし、特別の理由があると認めるときは、この限りでない。

## (研究期間)

第6条 研究期間は、1年以内とする。ただし、特別の理由により引き続き研究を願出た者については、当該研究科の教授会の議を経て研究期間を延長することができる。

## (研 究)

第7条 研究生は、指導教員のもとで、研究に従事するものとする。

## (研究証明書の交付)

第8条 研究事項について、研究証明書を必要とするときは、これを交付する。

**(授業料等)**

**第9条** 研究生の検定料、入学料及び授業料（以下「授業料等」という。）の額は、次のとおりとする。

検定料 9,800 円

入学料 84,600 円

授業料 29,700 円（月額）

2 前項の授業料は、研究予定期間が6月を超える場合は、初めの6月とこれを超える期間に分けて、それぞれの期間分に係る額を当該期間の当初の月に納付するものとし、研究予定期間が6月未満であるときは、その期間分に係る額を当該期間の当初の月に納付するものとする。

3 納付した授業料等は返還しない。

**(退学)**

**第10条** 研究生が研究期間中に退学しようとするときは、当該研究科長に願い出て、学長の許可を受けなければならない。

**(準用)**

**第11条** 学則その他学生に関する規定は、研究生について準用する。

**(雑則)**

**第12条** この規程に定めるもののほか、研究生に関し必要な事項は、別に定める。

**附 則****(施行期日)**

1 この規程は、平成16年4月1日から施行する。

**(経過措置)**

2 平成16年3月31日に在学する研究生のうち研究期間の末日が平成16年4月1日以降の者については、旧奈良先端科学技術大学院大学研究生規則は、この規程の施行後も、なおその効力を有する。

**附 則**

この規程は、平成17年4月1日から施行する。

**附 則**

この規程は、平成26年2月1日から施行する。

# Regulations for Research Students of Nara Institute of Science and Technology

April 1, 2004  
Regulations No. 27

## Article 1 (Purpose)

The purpose of these Regulations is to stipulate matters relating to research students of the Nara Institute of Science and Technology (“NAIST”) (“Research Students”) pursuant to the provision of Article 69-2 of the Regulations of the Nara Institute of Science and Technology (2004 Regulations No. 1) (“NAIST Regulations”).

## Article 2 (Admission)

Individuals who wish to study at NAIST as a Research Student may be admitted to NAIST by the President, subject to screening by the Faculty Council of the relevant Graduate School of NAIST.

## Article 3 (Eligibility)

Admission to NAIST as a Research Student is granted to individuals who have graduated from university or who have been recognized by the relevant Graduate School of NAIST as having academic ability equivalent to or greater than that of a university graduate.

## Article 4 (Application procedures)

1. Individuals who wish to be admitted to NAIST as a Research Student shall submit the following documents and pay the entrance examination fee:
  - (1) Application Form for Admission to NAIST as Research Student (prescribed form)
  - (2) Certificate of graduation and certificate of academic record issued by the last school attended
  - (3) Two photographs
2. If an employee of a company or governmental agency (“Company”) applies for admission to NAIST as a Research Student, the applicant shall submit the following documents in addition to the documents specified in the foregoing subsection:
  - (1) Written confirmation of the applicant that he or she is applying for admission to NAIST as a Research Student for the exclusive purpose of pursuing personal research interests
  - (2) Written confirmation of the immediate supervisor of the applicant at the Company that the applicant is to study at NAIST as a Research Student, and not for the purpose of the Company

3. If a foreign national applies for admission to NAIST as a Research Student, the applicant shall submit his or her copy of “resident card” (Both Sides) in addition to the documents specified in the foregoing subsections, provided, however, that the copy of “resident card” (Both Sides) may be submitted after admission to NAIST if he or she has not yet been granted resident status in Japan at the time of application.

#### Article 5 (Timing of admission)

Research Students shall be admitted to NAIST at the beginning of each semester, provided, however, that this provision does not apply if there is a justifiable reason.

#### Article 6 (Period of research at NAIST)

The period for which Research Students can conduct research at NAIST shall be up to one year, provided, however, that the said period may be extended subject to deliberation by the Faculty Council of the relevant Graduate School, if the Research Student applies for an extension thereof with a justifiable reason.

#### Article 7 (Research at NAIST)

Research Students shall engage in research at NAIST under the guidance of their research instructor.

#### Article 8 (Issuance of research certificate)

NAIST shall issue a research certificate concerning research matters as needed.

#### Article 9 (Tuition and other fees)

1. Research Students shall pay the screening, admission and tuition fees (“Tuition and Other Fees”) in the following amounts.  
Screening fee: 9,800 yen  
Admission fee: 84,600 yen  
Tuition fee: 29,700 yen per month
2. If a Research Student conducts research at NAIST for longer than six months, the student shall pay the tuition fee stipulated in the foregoing subsection in two installments, for the first six-month term and for the remaining term, in the first month of the respective terms. If a Research Student conducts research at NAIST for less than six months, the student shall pay the tuition fee for the entire period in the first month thereof.
3. Tuition and Other Fees, once paid, shall not be refunded.

#### Article 10 (Withdrawal)

A Research Student who wishes to withdraw from NAIST shall ask the Dean of his or her Graduate School for withdrawal status and obtain permission from the President of NAIST.

#### Article 11 (Application of NAIST Regulations, etc.)

NAIST Regulations and other rules governing students of NAIST shall also apply to Research Students.

#### Article 12 (Miscellaneous provision)

Other matters relating to Research Students shall be provided for separately.

#### Supplementary provision

(Effective date)

1. These Regulations shall come into effect on April 1, 2004.

(Transitional measures)

2. In case of amendment of these Regulations for Research Students of the Nara Institute of Science and Technology, the Regulations before the amendment shall remain applicable to the Research Students who are enrolled in NAIST as of March 31, 2004 and whose research at NAIST ends on or after April 1, 2004.

#### Supplementary provision

These Regulations shall come into effect on April 1, 2005.

#### Supplementary provision

These Regulations shall come into effect on February 1, 2014.

## 奈良先端科学技術大学院大学科目等履修生規程

平成16年4月1日

規程第26号

## (趣旨)

**第1条** この規程は、奈良先端科学技術大学院大学学則(平成16年学則第1号。以下「学則」という。)第68条第2項に基づき、奈良先端科学技術大学院大学における科目等履修生に関し必要な事項を定める。

## (許可)

**第2条** 科目等履修生として入学を志願する者があるときは、当該研究科の教授会において選考の上、学長が入学を許可する。

## (入学資格)

**第3条** 科目等履修生として入学できる者は、大学を卒業した者又はこれと同等以上の学力を有すると当該研究科において認めた者とする。

## (出願手続)

**第4条** 科目等履修生として入学を志願する者は、次の各号に掲げる書類に検定料を添えて願出しなければならない。

(1) 科目等履修生入学願書(所定様式)

(2) 最終出身学校の卒業証明書及び成績証明書

(3) 写真2枚

2 他の大学院、外国の大学院、民間企業、研究機関等と連携し実施する教育プログラム(以下「連携教育プログラム」という。)の授業科目の履修に係る検定料について、学長が徴収しないことが適当であると認めた場合は、前項の規定にかかわらず、当該検定料を徴収しない。

3 外国人にあっては、前項に規定する書類のほか、在留カード(両面)の写しを提出しなければならない。ただし、願出の時に国内に在留していない者は、入学後に提出するものとする。

## (入学の時期)

**第5条** 入学の時期は、学期の始めとする。

## (在学期間)

**第6条** 在学期間は、1年以内とする。ただし、本人の願出があった場合は、当該研究科の教授会の議を経て1年に限り在学期間を延長することができる。

## (履修科目等)

**第7条** 科目等履修生が履修できる授業科目は、原則として講義によって行う科目のみとする。

## (単位修得証明書の交付)

**第8条** 履修科目について、単位修得証明書を必要とするときは、これを交付する。

## (授業料等)

**第9条** 科目等履修生の検定料、入学料及び授業料(以下「授業料等」という。)の額は、次のとおり



とする。

検定料 9,800 円

入学料 28,200 円

授業料 14,800 円 (1 単位当たり)

- 2 入学料は、所定の期日までに納付しなければならない。
- 3 授業料は、春学期に係る履修科目については4月に、秋学期に係る履修科目については10月に納付しなければならない。
- 4 連携教育プログラムの授業科目の履修に係る入学料及び授業料について、学長が徴収しないことが適当であると認めた場合は、前2項の規定にかかわらず、当該入学料及び授業料を徴収しない。
- 5 納付した授業料等は、返還しない。

#### (退 学)

**第10条** 科目等履修生が在学期間中に退学しようとするときは、当該研究科長に願い出て、学長の許可を受けなければならない。

#### (準 用)

**第11条** 学則その他学生に関する規定は、科目等履修生について準用する。

#### (雑 則)

**第12条** この規程に定めるもののほか、科目等履修生に関し必要な事項は、別に定める。

#### 附 則

この規程は、平成16年4月1日から施行する。

#### 附 則

この規程は、平成17年4月1日から施行する。

#### 附 則

この規程は、平成23年1月1日から施行する。

#### 附 則

この規程は、平成26年2月1日から施行する。

# Regulations for Non-Degree Students of Nara Institute of Science and Technology

April 1, 2004  
Regulations No. 26

## Article 1 (Purpose)

The purpose of these Regulations is to stipulate matters relating to non-degree students of the Nara Institute of Science and Technology (“NAIST”) (“Non-Degree Students”) pursuant to the provision of Article 68-2 of the Regulations of the Nara Institute of Science and Technology (2004 Regulations No. 1) (“NAIST Regulations”).

## Article 2 (Admission)

Individuals who wish to study at NAIST as a Non-Degree Student may be admitted to NAIST by the President, subject to screening by the Faculty Council of the relevant Graduate School of NAIST.

## Article 3 (Eligibility)

Admission to NAIST as a Non-Degree Student is granted to individuals who have graduated from university or who have been recognized by the relevant Graduate School of NAIST as having academic ability equivalent to or greater than that of a university graduate.

## Article 4 (Application procedures)

1. Individuals who wish to be admitted to NAIST as a Non-Degree Student shall submit the following documents and pay the entrance examination fee:
  - (1) Application Form for Admission to NAIST as Non-Degree Student (prescribed form)
  - (2) Certificate of graduation and certificate of academic record issued by the last school attended
  - (3) Two photographs
2. Screening fee for taking courses of the collaboration program with other universities’ graduate schools, foreign graduate schools, private corporations, and research institutes (“Collaborative Educational Program”) shall be exempted, regardless of the foregoing subsection, provided that president approves the exemption appropriate.
3. If a foreign national applies for admission to NAIST as a Non-Degree Student, the applicant shall submit his or her copy of “resident card” (Both Sides) in addition to the documents specified in the subsection 1 of this Article, provided, however, that the copy of “resident card” (Both Sides) may be

submitted after admission to NAIST if he or she has not yet been granted resident status in Japan at the time of application.

#### Article 5 (Timing of admission)

Non-Degree Students shall be admitted to NAIST at the beginning of each semester.

#### Article 6 (Period of enrollment)

The period for Non-Degree Students to study at NAIST shall be up to one year, provided, however, that the said period may be extended for up to one additional year, subject to deliberation by the Faculty Council of the relevant Graduate School, if the Non-Degree Student applies for extension thereof.

#### Article 7 (Subjects)

In principle, the subjects that Non-Degree Students are allowed to study at NAIST for credits shall be limited to those offered by means of lecture.

#### Article 8 (Issuance of certificate of credits earned)

NAIST shall issue a certificate of credits earned for the relevant subjects as needed.

#### Article 9 (Tuition and other fees)

1. Non-Degree Students shall pay the screening, admission and tuition fees (“Tuition and Other Fees”) in the following amounts.

Screening fee: 9,800 yen

Admission fee: 28,200 yen

Tuition fee: 14,800 yen per credit

2. Screening fee shall be paid by prescribed due date.

3. The tuition fee shall be paid in April for the spring semester and in October for the autumn semester.

4. The Admission fee and tuition fee for taking courses of Collaborative Educational Program shall be exempted, regardless of the foregoing subsection 2, provided that president approves the exemption appropriate.

5. Tuition and Other Fees, once paid, shall not be refunded.

#### Article 10 (Withdrawal)

A Non-Degree Student who wishes to withdraw from NAIST shall ask the Dean of his or her Graduate

School for withdrawal and obtain the permission of the President of NAIST.

Article 11 (Application of NAIST Regulations, etc.)

NAIST Regulations and other rules governing students of NAIST shall also apply to Non-Degree Students.

Article 12 (Miscellaneous provision)

Other matters relating to Non-Degree Students shall be provided for separately.

Supplementary provision

These Regulations shall come into effect on April 1, 2004.

Supplementary provision

These Regulations shall come into effect on April 1, 2005.

Supplementary provision

These Regulations shall come into effect on January 1, 2011.

Supplementary provision

These Regulations shall come into effect on February 1, 2014.

## 奈良先端科学技術大学院大学特別学修生規程

平成26年11月27日  
規程 2 号

(趣旨)

第1条 この規程は、奈良先端科学技術大学院大学学則（平成16年学則第1号。以下「学則」という。）第69条の2第2項の規定に基づき、奈良先端科学技術大学院大学（以下「本学」という。）における特別学修生に関し必要な事項を定める。

(他大学等との協議)

第2条 学則第69条の2第1項の規定に基づく本学と他の大学（外国の大学を含む。）又は高等専門学校（以下「他大学等」という。）との協議は、学修指導計画その他関連する事項について、当該研究科の教授会の審議を経て、当該研究科長が行う。ただし、外国の大学にあっては、やむを得ない場合に限り、当該他大学等との協議を欠くことができる。

(出願手続)

第3条 本学の特別学修生を志願する者は、他大学等を経て、次の各号に掲げる書類を提出しなければならない。

- (1) 特別学修生申請書（様式第1号）
- (2) 受入れ研究科の必要とする書類

(受入れの許可)

第4条 他大学等から特別学修生の受入れの依頼があったときは、当該研究科長は、第2条の協議の結果に基づき、これを許可する。

(入学の時期)

第5条 入学の時期は、月の初めとする。ただし、特別の理由があると認めるときは、この限りでない。

(受入れの期間)

第6条 他大学等からの学修指導を受託する期間は、1月以上1年以内とする。

(学修指導状況報告書)

第7条 特別学修生の学修指導を終了したときは、当該研究科長は、指導教員の報告に基づき、学修指導状況報告書（様式第2号）を交付する。

(学生証)

第8条 特別学修生は、所定の学生証の交付を受け、常に携帯しなければならない。

(授業料等)

第9条 特別学修生に係る検定料及び入学料は、徴収しない。

- 2 特別学修生に係る授業料は、月額29,700円を徴収する。ただし、他大学等との協定に基づき授業料を徴収しないことが定められたときは、授業料を徴収しない。
- 3 前項の規定にかかわらず、学長が特に認める場合、授業料を徴収しないことができる。
- 4 第2項の授業料は、学修指導を受ける期間が6月を超える場合は、初めの6月とこれを超える期間に分けて、それぞれの期間分に係る額を当該期間の当初の月に納付するものとし、学修指導を受ける期間が6月未満であるときは、その期間分に相当する額を当該期間の当初の月に納付するものとする。
- 5 納付した授業料は、返還しない。

(受入れ許可の取消し)

第10条 特別学修生が次の各号のいずれかに該当する場合は、当該研究科長は、当該他大学等との協議に基づき、受入れの許可を取り消すことができる。

- (1) 学修指導計画の完了の見込みがないと認められるとき。
- (2) 本学の規則等に違反し、又はその本分に反する行為があると認められるとき。
- (3) その他受入れの趣旨に反する行為があると認められるとき。

(準用)

第11条 学則その他学生に関する規定は、特別学修生について準用する。

(雑則)

第12条 この規程に定めるもののほか、特別学修生の取扱いについては、当該他大学等との協議の上、決定するものとする。

附 則

この規程は、平成26年12月1日から施行し、平成27年度入学者（入学志願者を含む。）から適用する。

# Regulations for Undergraduate Internship Students of Nara Institute of Science and Technology

November 27, 2014  
Regulations No. 2

## Article 1 (Purpose)

These rules explain the necessary provisions regarding visiting students at the Nara Institute of Science and Technology (hereinafter “this university”) on the basis of Article 69.2.2 of the school regulations of Nara Institute of Science and Technology (school regulations No. 1 established in 2004, hereinafter “school regulations”).

## Article 2 (Consultations with partner schools)

Consultations between this university and another university (including foreign universities) or technical college (hereinafter “partner school”), as stipulated in Article 69.2.2 of the school regulations, shall be held by the dean of the graduate school concerned following deliberation on the academic supervision plan and other related items in the faculty meeting of the same graduate school. However, consultations with the partner school concerned may be omitted in the case that a university is located abroad and an unavoidable reason exists.

## Article 3 (Application procedures)

Those applying for visiting student status at this university shall submit the following documents via the partner school.

- (1) Application form for visiting students (format No. 1)
- (2) Documents required by the receiving graduate school

## Article 4 (Permission of Acceptance)

When a partner school requests the dean of the graduate school concerned to accept visiting students, he or she shall consider the results of the deliberations described in Article 2 in order to determine whether to approve the request.

## Article 5 (Timing of admission)

Visiting students are admitted at the beginning of the month. However, this can be adjusted if there are exceptional circumstances.

## Article 6 (Period of acceptance)

Students from partner schools can be enrolled under these regulations for a minimum of one month and up to a year.

## Article 7 (Report on the progress of enrollment)

When a visiting student finishes his or her enrollment, the dean of the graduate school



concerned shall deliver a report on the results of the enrollment (format No. 2) based on reports by the visiting student's research supervisor.

#### Article 8 (Student ID card)

Visiting students shall be given a designated student card and shall carry it with them at all times.

#### Article 9 (Tuition fee)

1. The admission test fee and the enrollment fee are not required for visiting students.
2. Monthly tuition of 29,700 yen shall be paid by the visiting student. However, the tuition shall not be required if a tuition waiver has been agreed upon in the framework of an agreement with the partner school.
3. Notwithstanding the provision in the section above, tuition may be exempted if the dean finds it particularly necessary.
4. If the visiting student enrolls for greater than six months, the tuition as prescribed in section 2 shall be paid in two separate installments, the first six months and the remaining period, and shall be paid in full during the first month of each period. If the enrollment is less than six months, the corresponding amount of tuition shall be paid during the first month of enrollment.
5. Once paid, tuition is not refundable.

#### Article 10 (Withdrawal of permission)

If the visiting student falls under any of the following categories, the dean of the graduate school concerned may revoke the acceptance in consultation with the partner school concerned.

- (1) He or she is not likely to complete the academic supervision plan.
- (2) He or she has violated the rules of this university, or it has been confirmed that he or she has committed an act that is unfit for a student.
- (3) It has been confirmed that he or she has committed an act that is generally in conflict with the purpose of acceptance.

#### Article 11 (Application of NAIST Regulations, etc.)

In principle, all school regulations, as well as other rules regarding students, apply to visiting students.

#### Article 12 (Miscellaneous provision)

In addition to the present rules, the handling of visiting students shall be determined in consultation with the partner schools concerned.

#### Supplementary provision

The present rules shall be in force from December 1, 2014 and shall apply to those admitted in the academic year 2015 and later (including applicants).

## 奈良先端科学技術大学院大学学生表彰規程

平成16年12月7日

規程第89号

### (趣旨)

**第1条** この規程は、奈良先端科学技術大学院大学学則第70条の規定に基づき、奈良先端科学技術大学院大学（以下「本学」という。）の学生（学生団体を含む。）の表彰に関し必要な事項を定める。

### (表彰の基準)

**第2条** 表彰は、次の各号のいずれかに該当する者に行うことができる。

- (1) 学業において、研鑽に励み、他の学生の模範となった者
- (2) 学術研究活動において、特に優れた成果を挙げた者
- (3) 社会活動において、特に顕著な業績を挙げた者
- (4) 課外活動その他の活動において、特に顕著な業績を挙げた者
- (5) その他表彰に値する行為等があったと認められる者

2 前項に規定する者には、表彰の時点において、死亡等の者を含むものとする。

### (表彰候補者の推薦)

**第3条** 役員又は研究科長は、前条に該当すると認められる者がある場合は、推薦書（別紙様式第1号）を、学長に提出するものとする。

### (表彰者の決定)

**第4条** 学長は、前条の推薦に基づき、表彰者を決定する。

### (表彰の方法)

**第5条** 学長は、前条の表彰者を決定したときは、表彰状（別紙様式第2号）を授与する。

2 学長は、前項の表彰状に添えて、記念品等を贈呈することができる。

### (表彰の時期)

**第6条** 表彰の時期は、学位記授与式又は当該表彰の内容を勘案し、学長が決定する。

### (事務)

**第7条** 学生の表彰に関する事務は、教育研究支援部学生課が行う。

### (雑則)

**第8条** この規程に定めるもののほか、学生の表彰に関し必要な事項は、別に定める。

### 附 則

この規程は、平成16年12月7日から施行する。

### 附 則

この規程は、平成18年11月15日から施行し、平成18年4月1日から適用する。

### 附 則

この規程は、平成19年7月26日から施行し、平成19年4月1日から適用する。

# Regulations for Student Commendation of Nara Institute of Science and Technology

December 7, 2004  
Regulations No. 89

## Article 1 (Purpose)

The purpose of these Regulations is to stipulate matters relating to commendation of performance worthy of public recognition that has been achieved by students (including groups of students) of the Nara Institute of Science and Technology (“NAIST”) pursuant to the provision of Article 70 of the NAIST Regulations.

## Article 2 (Commendation criteria)

1. NAIST shall commend students for:

- (1) Hard work in academic studies that sets a good example for other students;
- (2) Remarkable performance achieved in academic and research activities;
- (3) Remarkable performance achieved in social activities;
- (4) Remarkable performance achieved in extracurricular and other activities; or
- (5) Other conduct judged to be worthy of public recognition.

2. Students to be commended pursuant to the foregoing subsection shall include those who are dead at the time of commendation.

## Article 3 (Nomination)

Administrative staff or the Dean of the relevant Graduate School shall submit a letter of nomination (Form No. 1 attached hereto) to the President to recommend a student who is deemed to meet any of the commendation criteria specified in the foregoing subsection for commendation.

## Article 4 (Decision on commendation of student)

The President shall decide whether to commend the student based on the nomination specified in the foregoing article.

## Article 5 (Commendation)

1. The President shall award a certificate of commendation (Form No. 2 attached hereto) to the student whom it was decided should be commended pursuant to the provision of the foregoing article.
2. The President may present a commemorative gift to the student in addition to the certificate of commendation specified in the foregoing subsection.

Article 6 (Timing of commendation)

The President shall determine the timing of commendation, in consideration of the timing of the degree conferring ceremony or the nature of the commendation.

Article 7 (Clerical work)

The Student Affairs Division of the Education and Research Support Department shall be responsible for handling clerical work necessary for student commendations.

Article 8 (Miscellaneous provision)

Other matters relating to student commendations shall be provided for separately.

Supplementary provision

These Regulations shall come into effect on December 7, 2004.

Supplementary provision

These Regulations shall come into effect on November 15, 2006 and be retrospectively applied from April 1, 2006.

Supplementary provision

These Regulations shall come into effect on July 26, 2007 and be retrospectively applied from April 1, 2007.

## 奈良先端科学技術大学院大学優秀学生奨学制度規程

平成22年9月21日  
規程第4号

## (目的)

第1条 この規程は、奈良先端科学技術大学院大学（以下「本学」という。）の学生のうち、特に優秀な学生を奨励・支援することにより、優れた人材の養成に資することを目的とする奨学制度に関し、必要な事項を定める。

## (名称)

第2条 奨学制度の名称は、奈良先端科学技術大学院大学優秀学生奨学制度とする。

## (奨学対象者)

第3条 奨学制度の対象者（以下「奨学対象者」という。）は、奨学対象者を決定する年度（以下「当該年度」という。）に本学の博士後期課程1年次に在籍する学生で、学業成績が特に優秀であり、かつ、人物が優れた者とする。ただし、国費外国人留学生及び奈良先端科学技術大学院大学留学生特別支援制度に採用された者を除くものとする。

## (奨学対象枠)

第4条 奨学制度の対象枠は、毎年度15名以内とする。

## (奨学の方法)

第5条 奨学支援の方法は、当該年度の授業料の全額免除の方法とする。

## (奨学対象者の決定時期)

第6条 奨学対象者を決定する時期は、4月とする。

## (奨学対象候補者推薦枠の通知)

第7条 学長は、研究科ごとに奨学対象者の候補者（以下「奨学対象候補者」という。）の推薦枠を決定し、あらかじめ、研究科長に通知する。

## (奨学対象候補者の決定)

第8条 研究科長は、奨学対象候補者を選考するための基準（以下「選考基準」という。）を定め、推薦枠とともに学内に公表し、奨学対象候補者を公募する。

2 研究科長は、前項の選考基準に基づき、応募者のうちから奨学対象候補者を決定し、選考基準と推薦順位を添えて、学長に推薦する。

## (奨学対象者の選考)

第9条 学長は、研究科長の推薦に基づき奨学対象者の選考を行うため、奈良先端科学技術大学院大学優秀学生選考委員会（以下「委員会」という。）を置く。

2 委員会は、次に掲げる委員をもって組織する。

- (1) 学長
- (2) 学長が指名する理事
- (3) 学長が指名する副学長
- (4) 各研究科長

3 委員会に委員長を置き、学長をもって充てる。

4 委員長は、委員会を主宰する。

- 5 委員長に事故があるときは、あらかじめ委員長が指名する委員が委員長の職務を代行する。
- 6 委員長が必要と認めるときは、第2項に規定する委員以外を出席させることができる。

(奨学対象者の決定)

第10条 学長は、委員会の選考に基づき、奨学対象者を決定する。

- 2 学長は、各研究科長に選考結果を通知するとともに、学内に選考結果を公表する。

(表彰及び報告会)

第11条 学長は、奨学対象者を表彰し、奨学対象者による報告会を開催する。

(事務)

第12条 奨学制度に関する事務は、教育研究支援部学生課が行う。

(雑則)

第13条 この規程に定めるもののほか、奨学制度に関し必要な事項は、別に定める。

附 則

(施行期日)

- 1 この規程は、平成22年10月1日から施行する。

(経過措置)

- 2 平成22年度に限り、奨学支援の方法は、第5条の規定に関わらず、当該年度の授業料の半額免除の方法とし、奨学対象者を決定する時期は、第6条の規定に関わらず、10月とする。

## Regulations for NAIST Excellent Student Scholarship Program

September 21, 2010

Regulations No. 4

### Article 1 (Objective)

These regulations provide for necessary matters regarding the scholarship program that is intended to help develop excellent human resources by giving incentives to and supporting excellent students of Nara Institute of Science and Technology (hereinafter referred to as “NAIST”).

### Article 2 (Name)

The name of the scholarship program shall be the NAIST Excellent Student Scholarship Program.

### Article 3 (Qualified students)

Students qualified to receive scholarships under the scholarship program (hereinafter referred to as “qualified students”) shall be students who are enrolled in the first year of a doctoral course at NAIST in an academic year in which qualified students are selected (hereinafter referred to as “the academic year”) and whose academic performance is outstanding and whose character is excellent, excluding foreign students financed by the Japanese government and those selected for the NAIST International Scholar Program.

### Article 4 (Maximum number of qualified students)

The maximum number of qualified students shall be 15 in each academic year.

### Article 5 (Method of scholarship support)

The scholarship support shall be provided in the form of exemption from payment of all tuition fees for the academic year.

### Article 6 (Timing of selecting qualified students)

Qualified students shall be selected in April.

### Article 7 (Notification of the number of scholarship candidates subject to recommendation)



The President shall set the number of candidates for qualified students (hereinafter referred to as “scholarship candidates”) subject to recommendation for each graduate school and notify the deans in advance.

#### Article 8 (Selection of scholarship candidates)

1. The deans shall set the criteria for screening scholarship candidates (hereinafter referred to as “the screening criteria”), announce on campus the screening criteria together with the number of candidates for qualified students, and solicit applications for scholarship candidates.
2. The deans shall select scholarship candidates from among the applicants based on the screening criteria set forth in the preceding paragraph, and recommend the scholarship candidates to the President, also providing the screening criteria and the order of recommendation.

#### Article 9 (Screening of qualified students)

1. The President shall set up a NAIIST Excellent Student Screening Committee (hereinafter referred to as “the Committee”) to screen qualified students based on the deans’ recommendations.
2. The Committee shall consist of the following members:
  - (1) President
  - (2) Executive Director appointed by the President
  - (3) Vice President appointed by the President
  - (4) Deans
3. The Committee shall have a chairperson, who shall be the President.
4. The chairperson shall preside over the meetings of the Committee.
5. If the chairperson becomes unable to serve, a Committee member appointed by the chairperson in advance shall perform the duties of the chairperson.
6. If the chairperson finds it to be necessary, individuals other than Committee members set forth in Paragraph 2 shall be allowed to attend the Committee meetings.

#### Article 10 (Selection of qualified students)

1. The President shall select qualified students based on screening by the Committee.
2. The President shall notify the deans of the screening results, and announce the screening results on campus.

#### Article 11 (Commendation and presentation session)

The President shall commend qualified students, and shall host a presentation session by the qualified students.

#### Article 12 (Clerical work)

Clerical work regarding the scholarship program shall be undertaken by the Student Affairs Division of the Academic Affairs Department.

#### Article 13 (Miscellaneous provisions)

In addition to the matters provided for in these regulations, necessary matters concerning the scholarship program shall be provided for separately.

#### Supplementary provisions

##### 1 (Effective date)

These regulations shall come into effect on October 1, 2010.

##### 2 (Transitional measures)

For academic year 2010 alone, the scholarship support shall be provided in the form of exemption from payment of half the tuition fees for the academic year regardless of the provisions of Article 5, and qualified students shall be selected in October regardless of the provisions of Article 6.



# 奈良先端科学技術大学院大学 学歌

作曲：古川 聖

若々しく ♩ = 116

*mp*

かす がやま ずい うんなびき あけ ほののそら のはるけさ  
とみ おがわ たゆ ることなく せせ らぎのひか りはながる  
いこ まやま ゆう こえみれば なに わづにつ かもふね

*mp*

ちの もりの さい せんたんへ どく そうのせい ふう を おくめ  
さか りゆく みら のそらへ えい えんのしん り を しめ  
じょう ほうは こ にあつま せん たんのえ い ち を つな

*mp*

る なら せ なんとん かがく ぎじゅつ たいがく いん たか き り そち  
す なら せ なんとん かがく ぎじゅつ たいがく いん たか が や く な  
ぐ なら せ なんとん かがく ぎじゅつ たいがく いん たか あ ら た く な

*mp*

—(う)の きざ は し の ほ る  
せいの きざ は し の ほ る  
だいの きざ は し の ほ る

## 奈良先端科学技術大学院大学学歌

- 一、春日山 瑞雲なびき  
あけぼのの 空の遙けさ  
知の森の 最先端へ  
独創の 清風を送る  
奈良先端科学技術大学院  
高き理想の階のぼる
- 二、富雄川 絶ゆることなく  
せせらぎの 光は流る  
盛りゆく 未来の蒼天へ  
永遠の 真理を示す  
奈良先端科学技術大学院  
輝く知性の階のぼる
- 三、生駒山 夕越え見れば  
難波津に 集う百船  
情報は 平城に集まり  
先端の 叡知を繋ぐ  
奈良先端科学技術大学院  
新たな時代の階のぼる

原作：岡部 剛機

